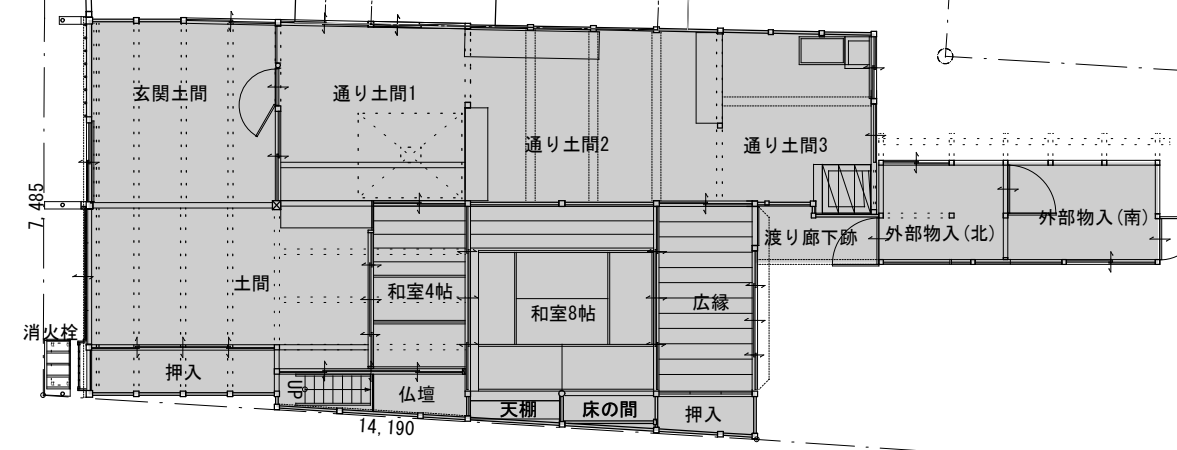
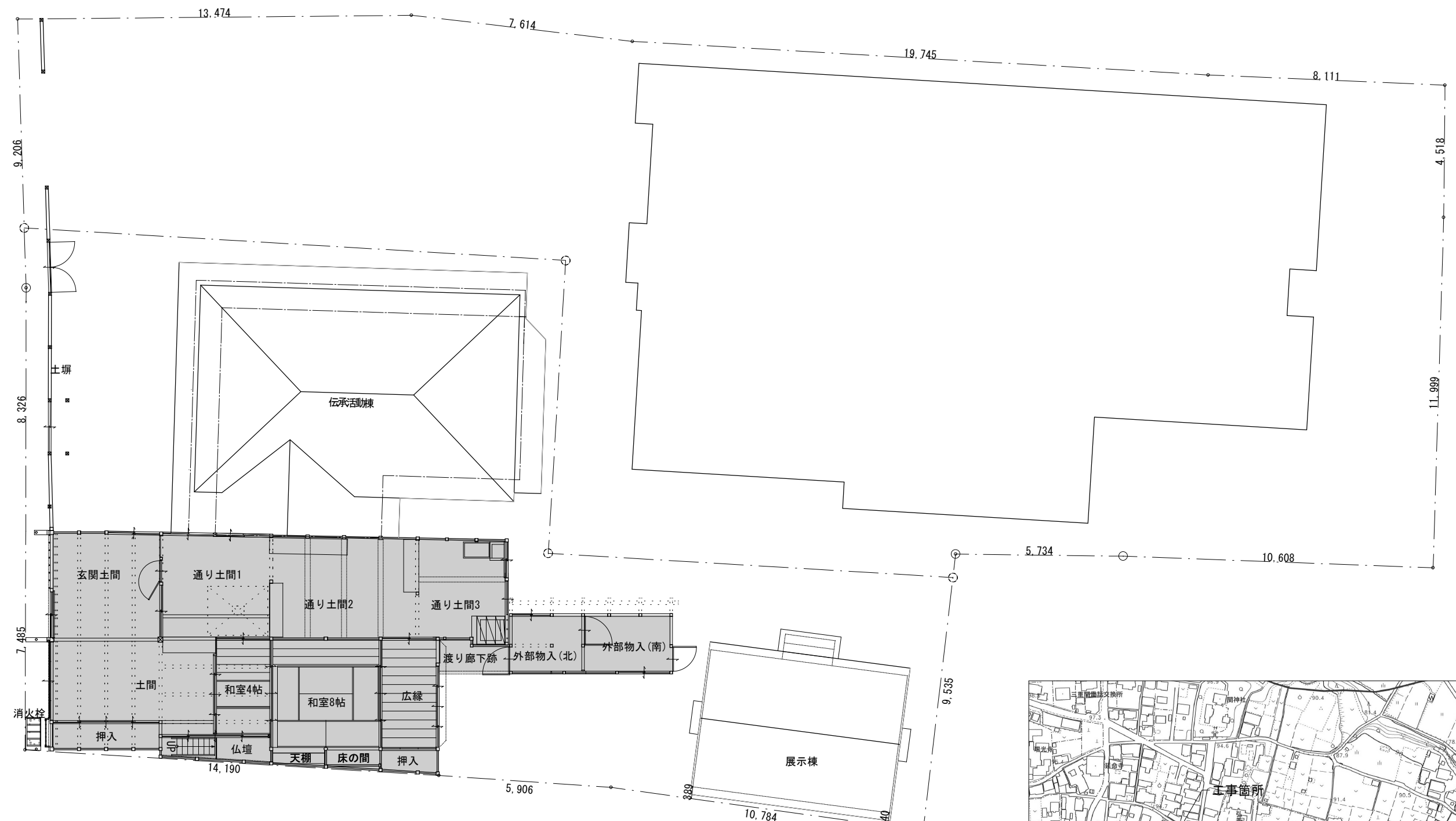
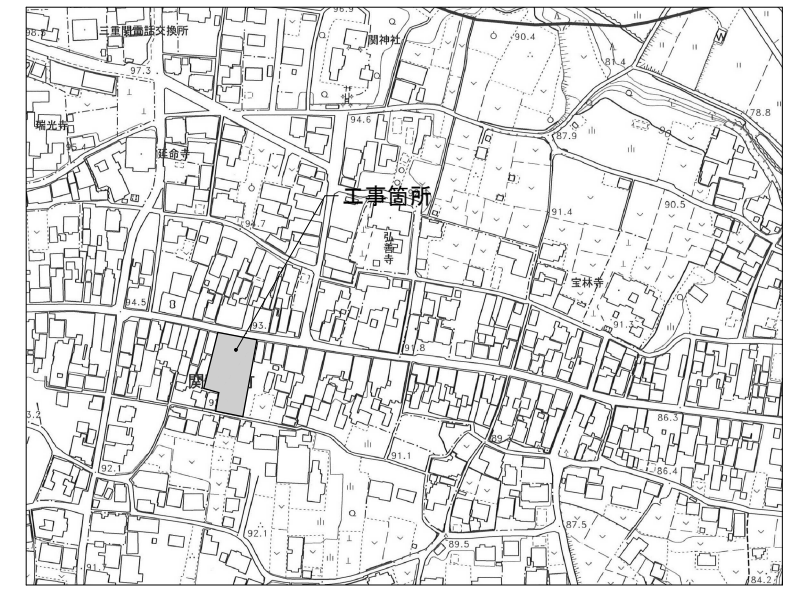
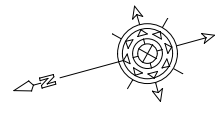


現状図		改修図		電気設備図		機械設備図			
P-01	図面リスト	R-01	特記仕様書1	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	特記仕様書		
P-02	現状配置図	R-02	特記仕様書2	E-02	配置図	M-02	改修配置図		
P-03	現状仕上表	R-03	特記仕様書3	E-03	分電盤及び照明器具姿図	M-03	図示記号・機器・器具表		
P-04	現状一階平面図	R-04	改修配置図	E-04	1階 改修後平面図 照明設備図	M-04	1階 改修平面図 給排水・換気設備		
P-05	現状二階平面図	R-05	改修仕上表	E-05	1階 改修後平面図 コンセント設備図				
P-06	現状南北立面図	R-06	改修一階平面図	E-06	火報報知系統・凡例				
P-07	現状東立面図	R-07	改修二階平面図	E-07	1階 改修後平面図 火災報知設備				
P-08	現状屋根伏図	R-08	トイレ平面詳細図	E-08	2階 改修後平面図 火災報知設備				
P-09	現状矩計図	R-09	改修南北立面図	E-09	1階 改修前平面図 撤去図				
P-10	現状断面図01	R-10	改修東立面図						
P-11	現状断面図02	R-11	改修矩計図						
P-12	現状断面図03	R-12	改修断面図01						
P-13	現状断面図04	R-13	改修断面図02						
P-14	現状面積算定図	R-14	改修断面図03						
P-15	現状展開図(1)	R-15	改修断面図04						
P-16	現状展開図(2)	R-16	改修展開図1						
P-17	現状展開図(3)	R-17	改修展開図2						
P-18	現状展開図(4)	R-18	改修展開図3						
P-19	現状展開図(5)	R-19	改修展開図4						
P-20	現状展開図(6)	R-20	改修展開図5						
P-21	現状展開図(7)	R-21	改修展開図6						
P-22	現状展開図(8)	R-22	改修トイレ展開図1						
P-23	現状展開図(9)	R-23	改修トイレ展開図2						
P-24	現状建具表キープラン	R-24	改修建具キープラン						
P-25	現状建具表1	R-25	改修建具表1						
P-26	現状建具表2	R-26	改修建具表2						
P-27	現状建具表3	R-27	改修建具表3						
P-28	現状床伏図	R-28	改修建具表4						
P-29	現状天井伏図	R-29	改修天井伏図						
P-30	現状基礎,土台伏図	R-30	改修基礎伏図						
P-31	現状梁伏図	R-31	改修床伏図						
P-32	現状屋根伏図	R-32	改修梁伏図						
P-33	現状軸組図1	R-33	改修小屋伏図						
P-34	現状軸組図2	R-34	改修軸組図1						
P-35	現状軸組図3	R-35	改修軸組図2						
P-36	現状軸組図4	R-36	改修軸組図3						
P-37	現状軸組図5	R-37	改修軸組図4						
P-38	現状一階劣化平面図	R-38	改修軸組図5						
P-39	現状二階劣化平面図	R-39	改修トイレ棟断面図						
P-40	現状一階柱傾き図	R-40	構造補強一階平面図						
P-41	現状二階柱傾き図	R-41	構造補強二階平面図						
P-42	現状一階痕跡平面図	R-42	カウンター部分詳細図						
P-43	現状二階痕跡平面図	R-43	改修井戸蓋図						
P-44		R-44	構造特記仕様書1						
P-45		R-45	構造特記仕様書2						
P-46		R-46							
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事		亀山市民文化振興局まちなみ文化財室		管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218		日付	日付	日付	図面リスト		P-01



凡例
 対象建築物を示す。



案内図

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状配置図		P-02

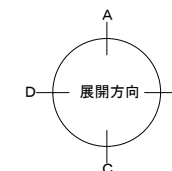
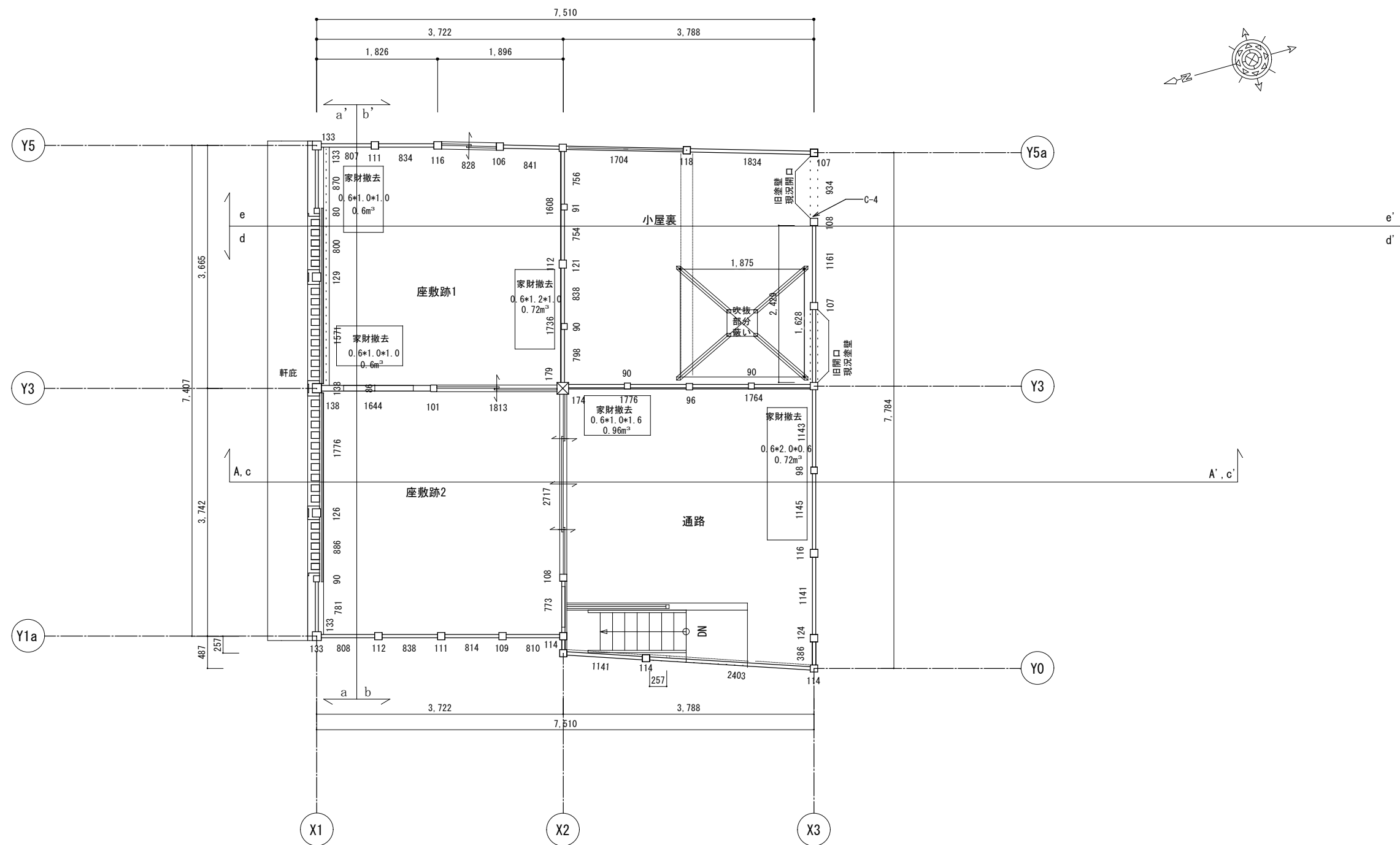
外部仕上表

名称	仕様	名称	仕様	備考
屋根	棧瓦土葺き(京華巴) 野地 杉板 垂木105φ半割り桁より45□加工@360 約5寸 銅製軒, 樋 塩ビ製軒, 樋	基礎	玉石、延べ石 コンクリート布基礎	トップライト4ヶ所
	下屋 棧瓦土葺き(万十無紋) 野地 杉板 垂木45*60@360 約5寸 塩ビ製軒 庇 銅板張り	床束	杉 桧60φ~100φ 転用材	
外壁	北 土壁しっくい仕上げ 虫籠窓 腰壁 杉目板張り 東 杉目板張り 北 しっくい仕上げ, 腰壁 杉目板張り	土台	杉 120*90, 105*90	
		大引	杉 105*105~120φ	
軒天	垂木、野地現し 東けらば 一部土壁塗り込めしっくい仕上げ 一階軒天 出桁化粧板張り 竿縁30□	根太	杉 54~54*50	
	庇 化粧板張り 小舞15□ 海布丸太30φ	胴縁	—	
建具	木製引き違いガラス戸、木製開き戸 木製格子戸 障子 襖	間柱	—	
		管柱	杉 105□~178*169	
基礎	玉石、のべ石基礎	小屋梁	松 120~270φ, 120□	
	束石	軒桁	杉 120*150	
外部土間	のべ石 土間コンクリート	小屋束	杉 90φ, 90□~100□	
		母屋	杉 120φ	
渡り廊下	のべ石 土間コンクリート	垂木	杉 105φ半割り, 60*54, 54□, 45□	
		棟木	杉 120~150φ	

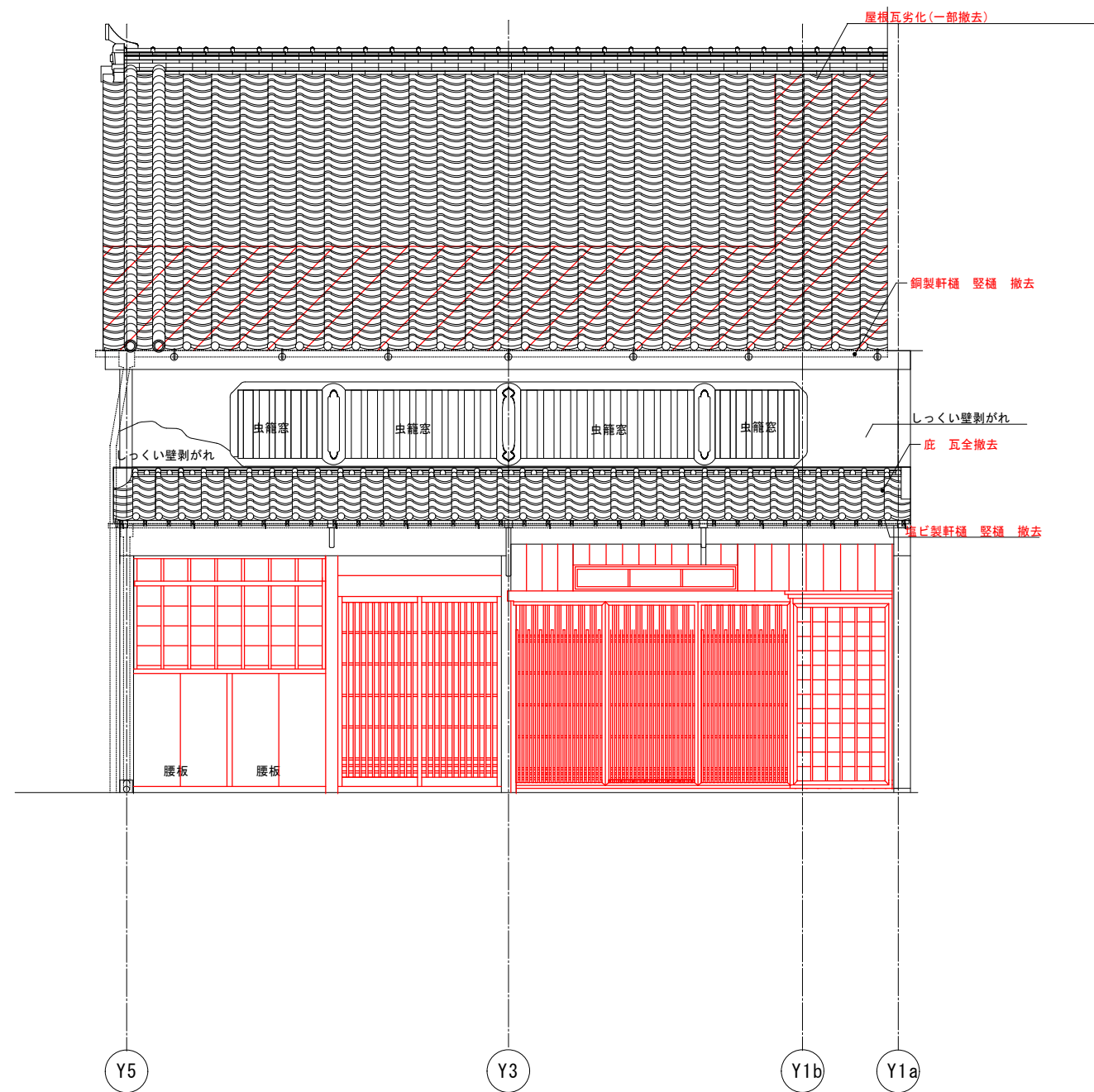
主要構造部

内部仕上表

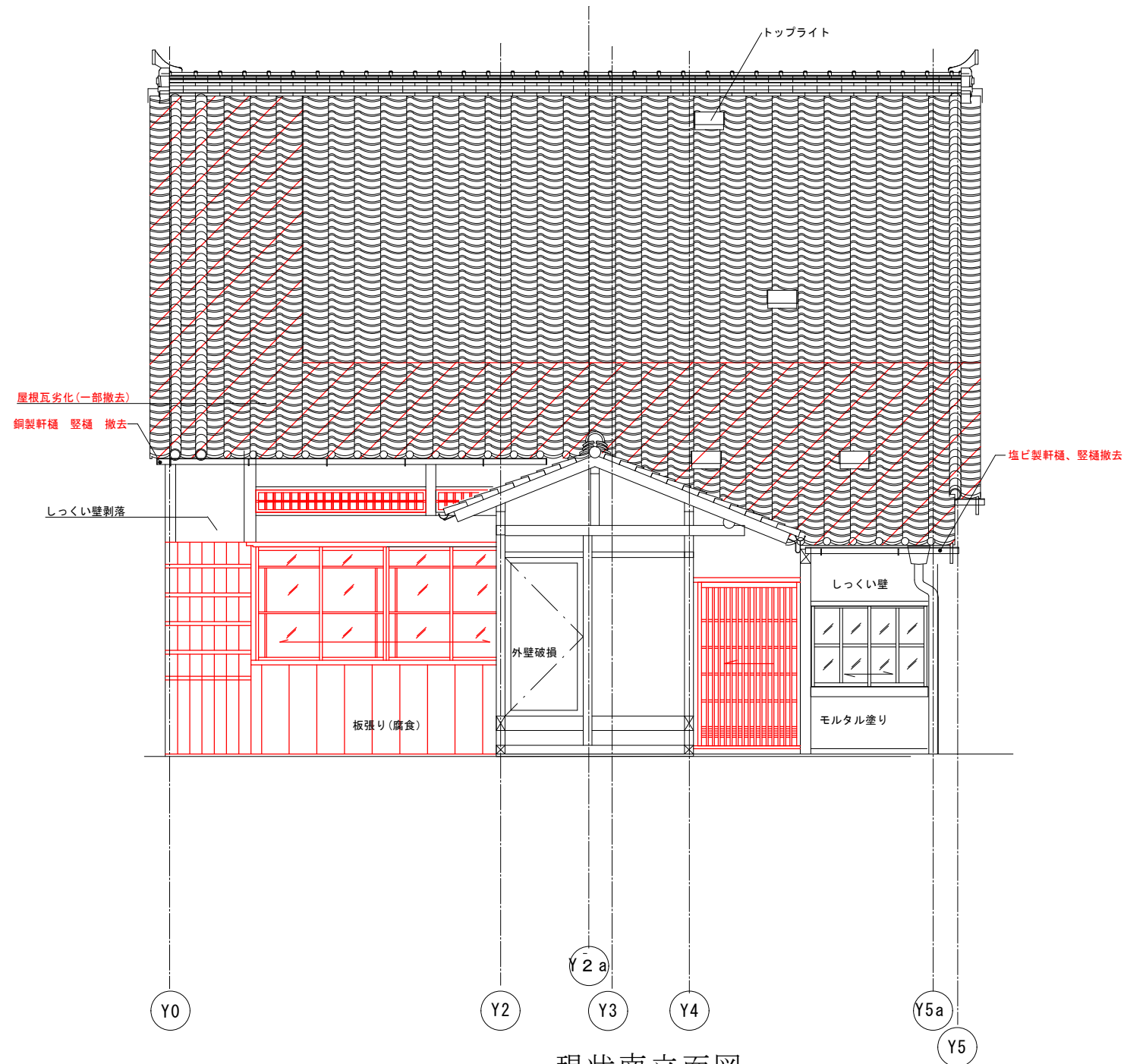
名称	床		巾木	腰壁		廻り縁	天井		備考
	仕	上		仕	上		仕	上	
1階	和室8帖	畳 杉板 t=15	畳寄せ	土壁下地	じゅらく仕上げ	杉	竿縁天井	杉目板	
	和室4帖	畳 杉板 t=15 一部 杉板 t=21	畳寄せ	一部 土壁下地	しっくい壁仕上げ	杉	松板	踏み天井	
	土間	土敷き	—	一部 土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	松板	踏み天井	
	玄関土間	土間コンクリート	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	松板	踏み天井	
	通り土間1	土間たたき仕上げ	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	松板	踏み天井	
	通り土間2	土間たたき仕上げ	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	一部天窓吹き抜け板張り仕上げ	梁、杉野地板あらし	
	通り土間3	土間たたき仕上げ	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	梁、杉野地板あらし		井戸、流し台あり
	広縁	縁甲板 t=18	雑巾摺り	土壁下地	じゅらく仕上げ	杉	竿縁杉板		
	押入、仏間	杉板	杉	一部土壁下地	化粧合板仕上げ	杉	竿縁杉板		
	床の間	ケヤキ板	雑巾摺り	土壁下地	しっくい壁仕上げ	杉	竿縁杉板		
	天棚	ケヤキ板	雑巾摺り	土壁下地	じゅらく仕上げ	杉	竿縁杉板		天袋付
	外部物入 南北共	土間たたき仕上げ 一部板張り	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	杉	梁、杉野地板あらし		
	2階	小屋裏	松板 t=28	—	一部板下地あらし、腰タイル	土壁下地 中塗り仕上げ	—	梁、杉野地板あらし	
通路		松板 t=28	畳寄せ	土壁下地	モルタル塗り壁仕上げ	杉	竿縁天井	杉目板	
座敷跡1,2 共通		松板 t=28	畳寄せ	土壁下地	モルタル塗り壁仕上げ	杉	半弓形竿縁天井	杉目板	



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階平面図	1/70	P-05



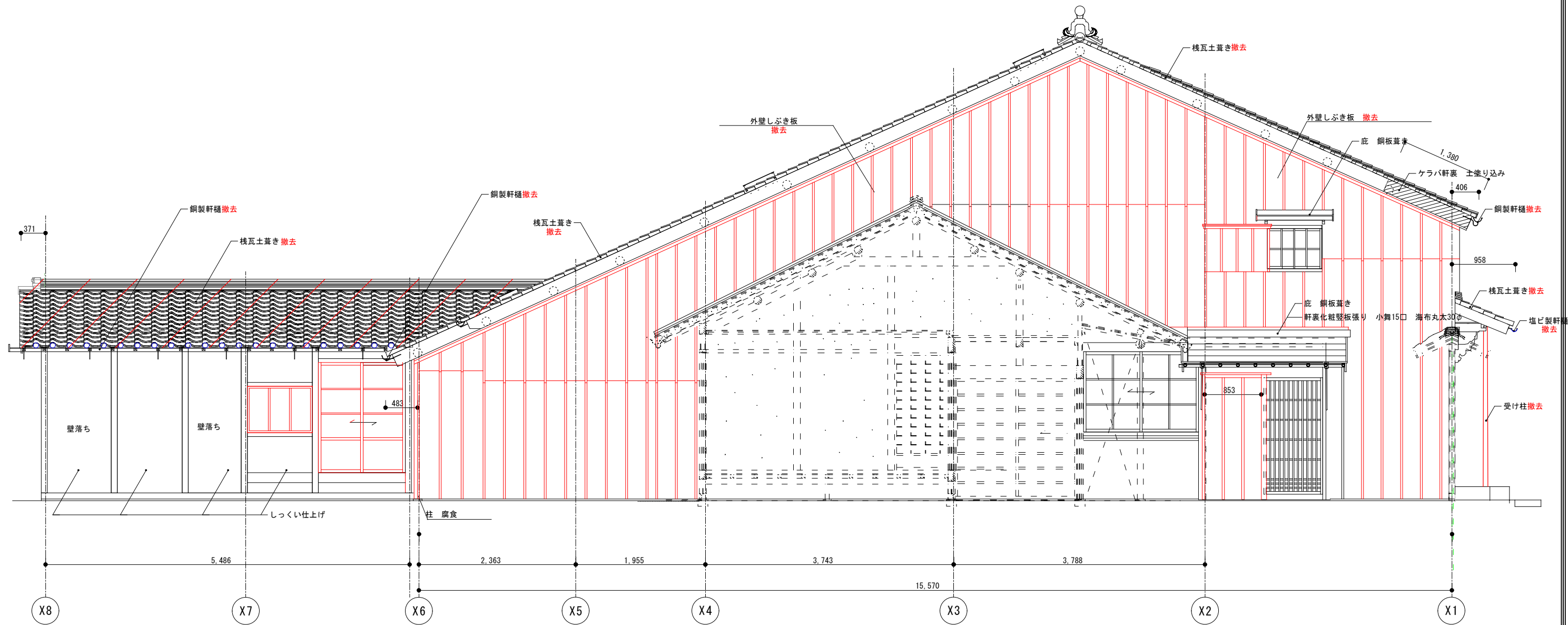
現状北立面図



現状南立面図

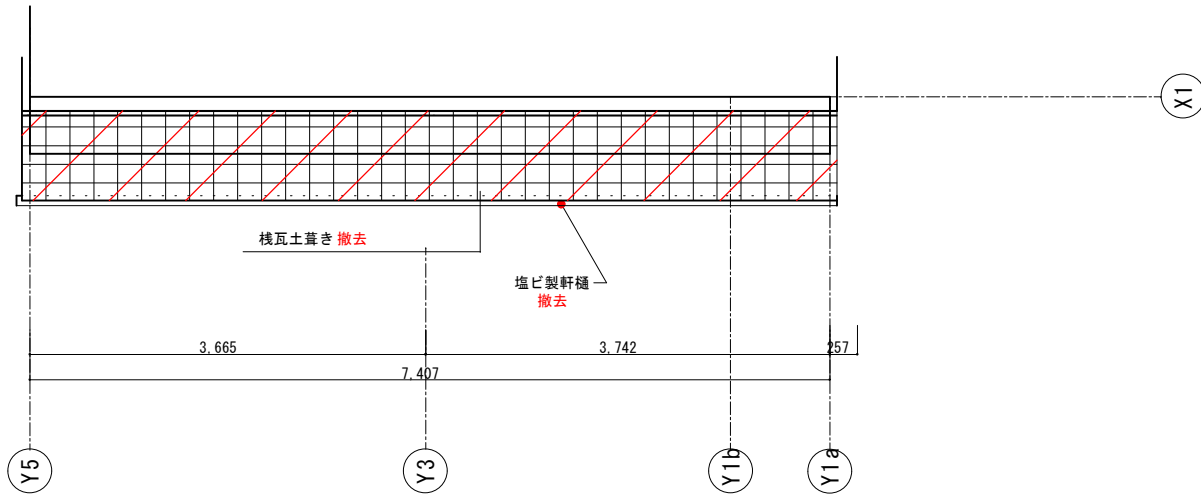
解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状南北立面図	1/60	P-06

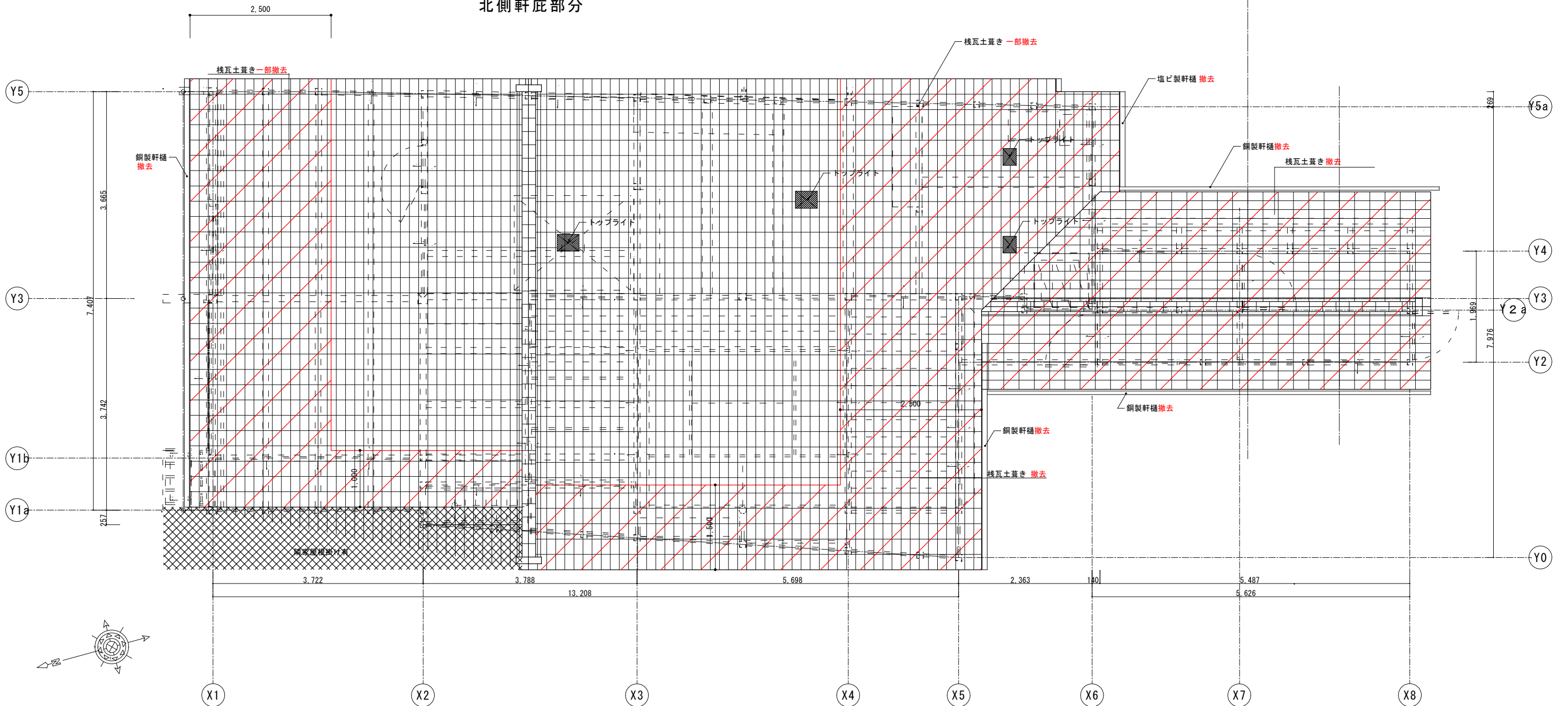


解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状東立面図	縮尺 1/70	図面NO P-07
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



北側軒底部分



解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名
 関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室
 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者
 日付

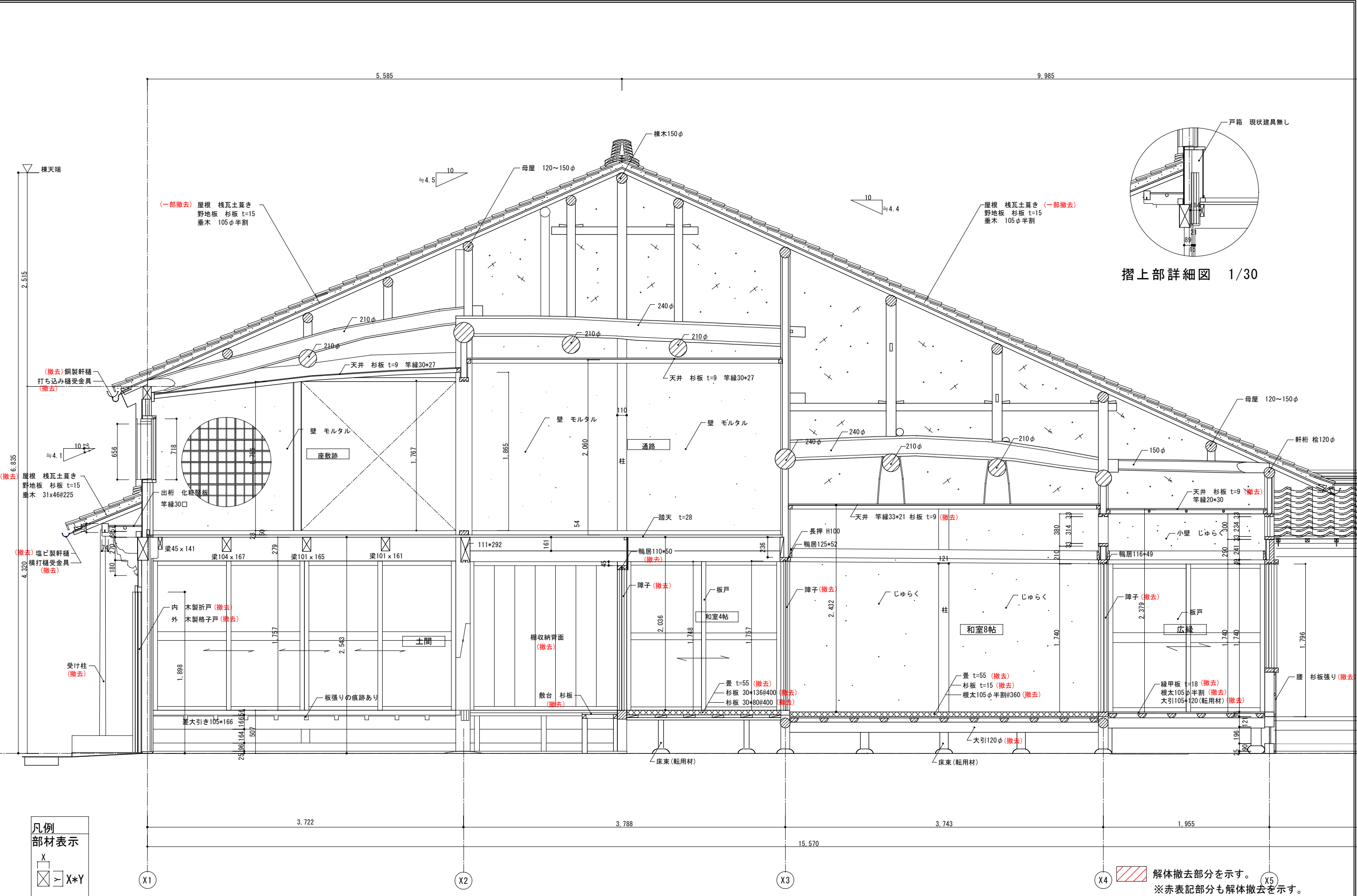
設計者
 日付

担当者
 日付

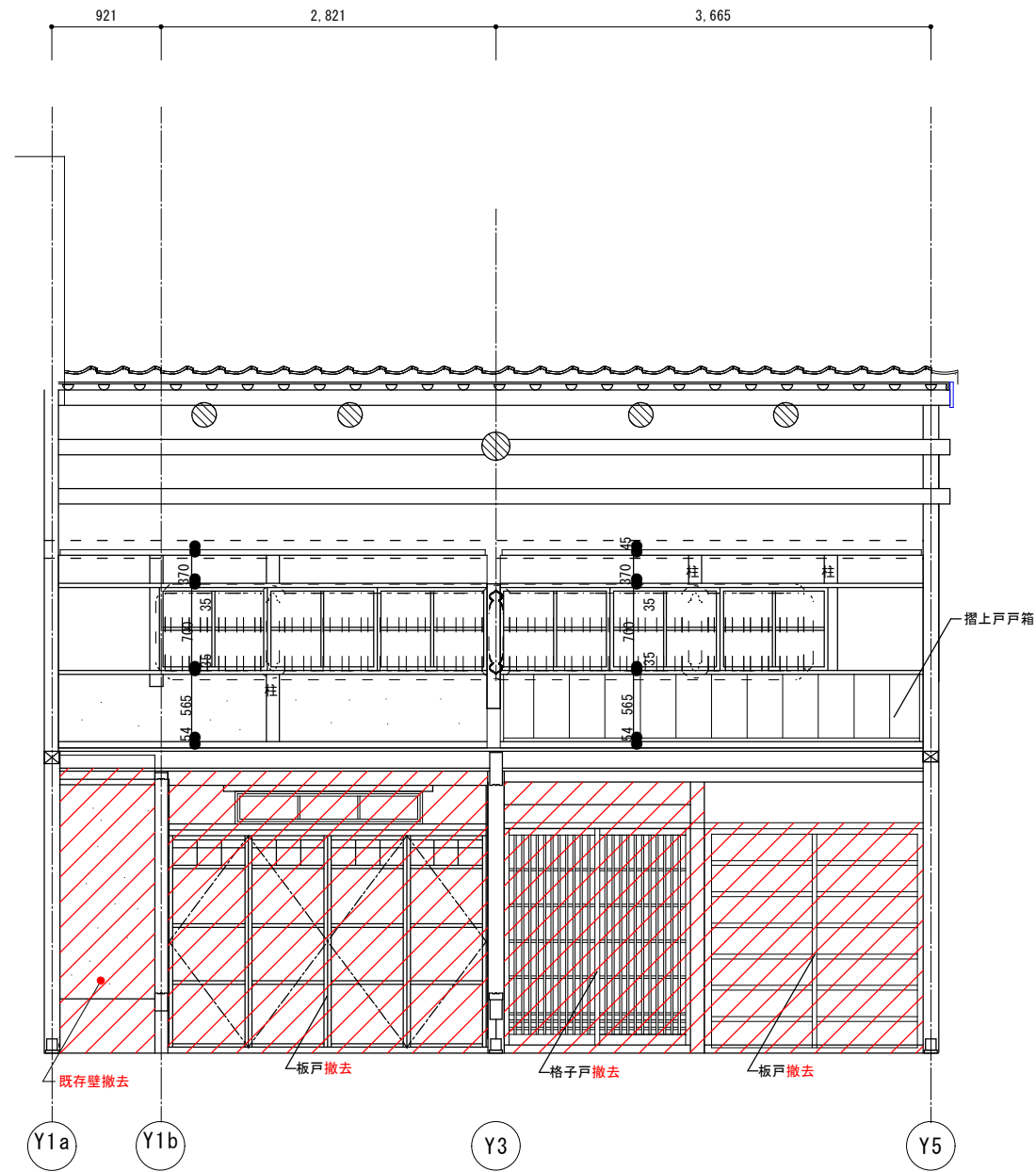
図面名
 現状屋根伏図

縮尺
 1/70

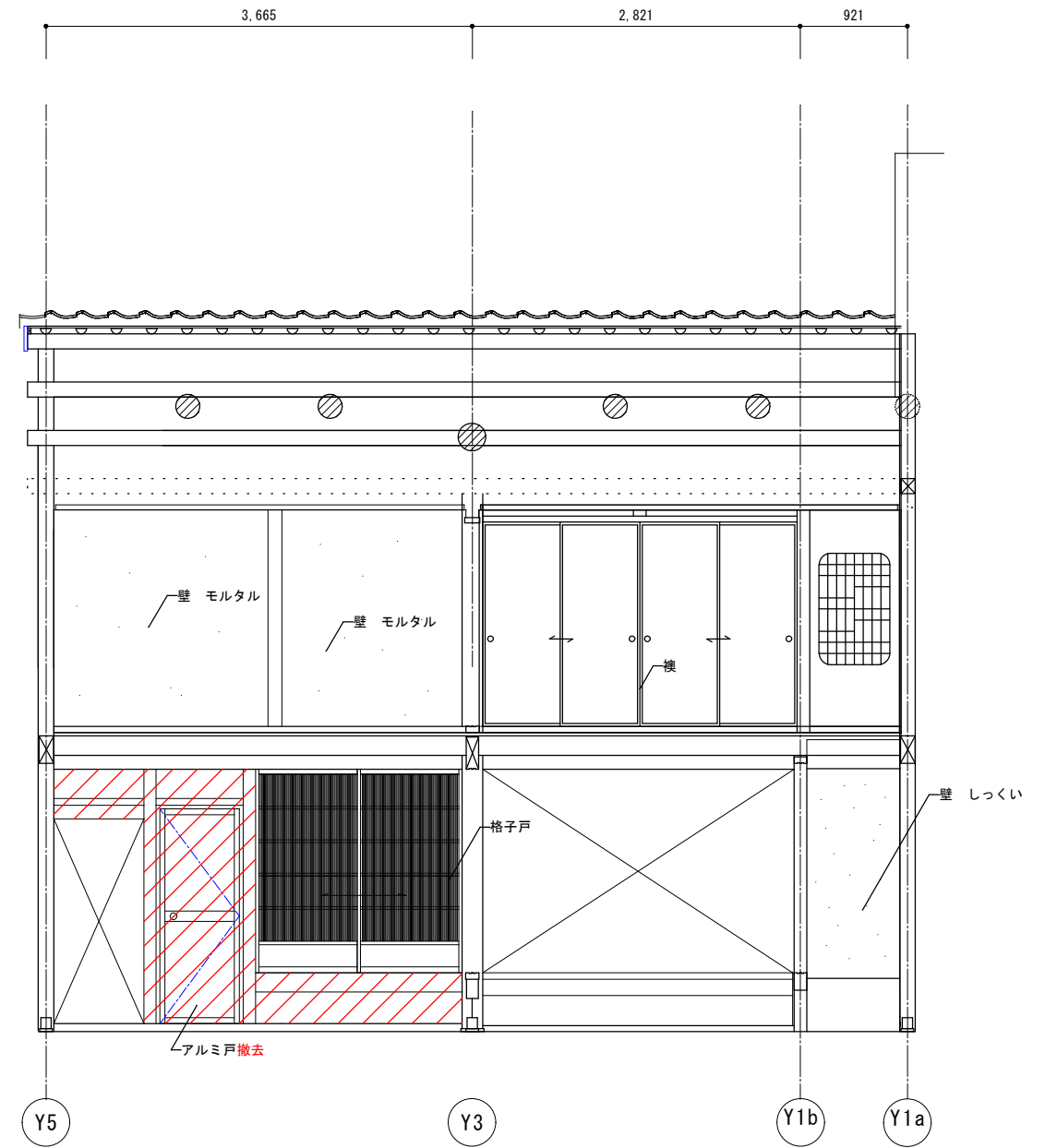
図面NO
 P-08




工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218			日付	日付	日付	現状矩計図	1/40	P-09



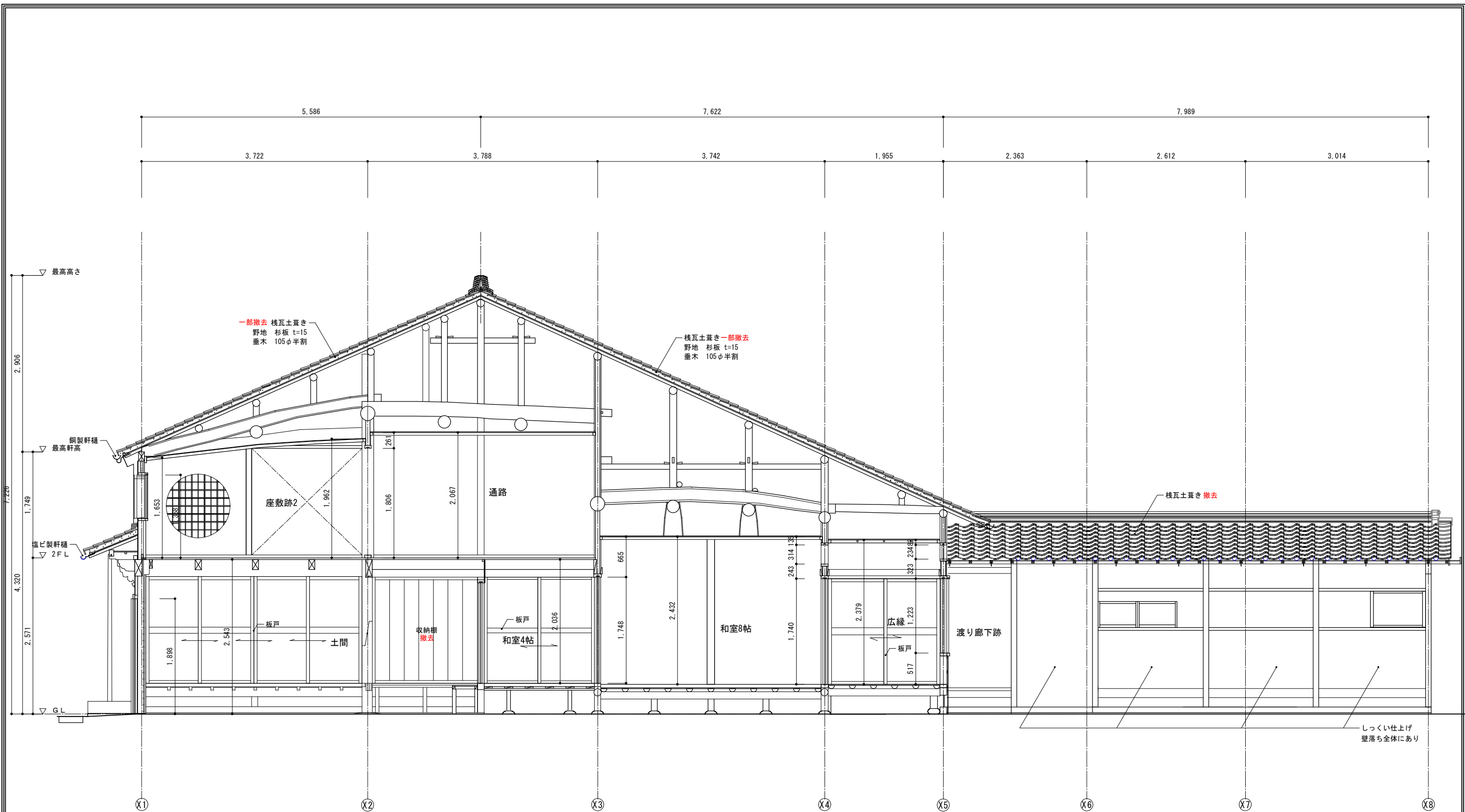
a-a' 断面図



b-b' 断面図

 解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

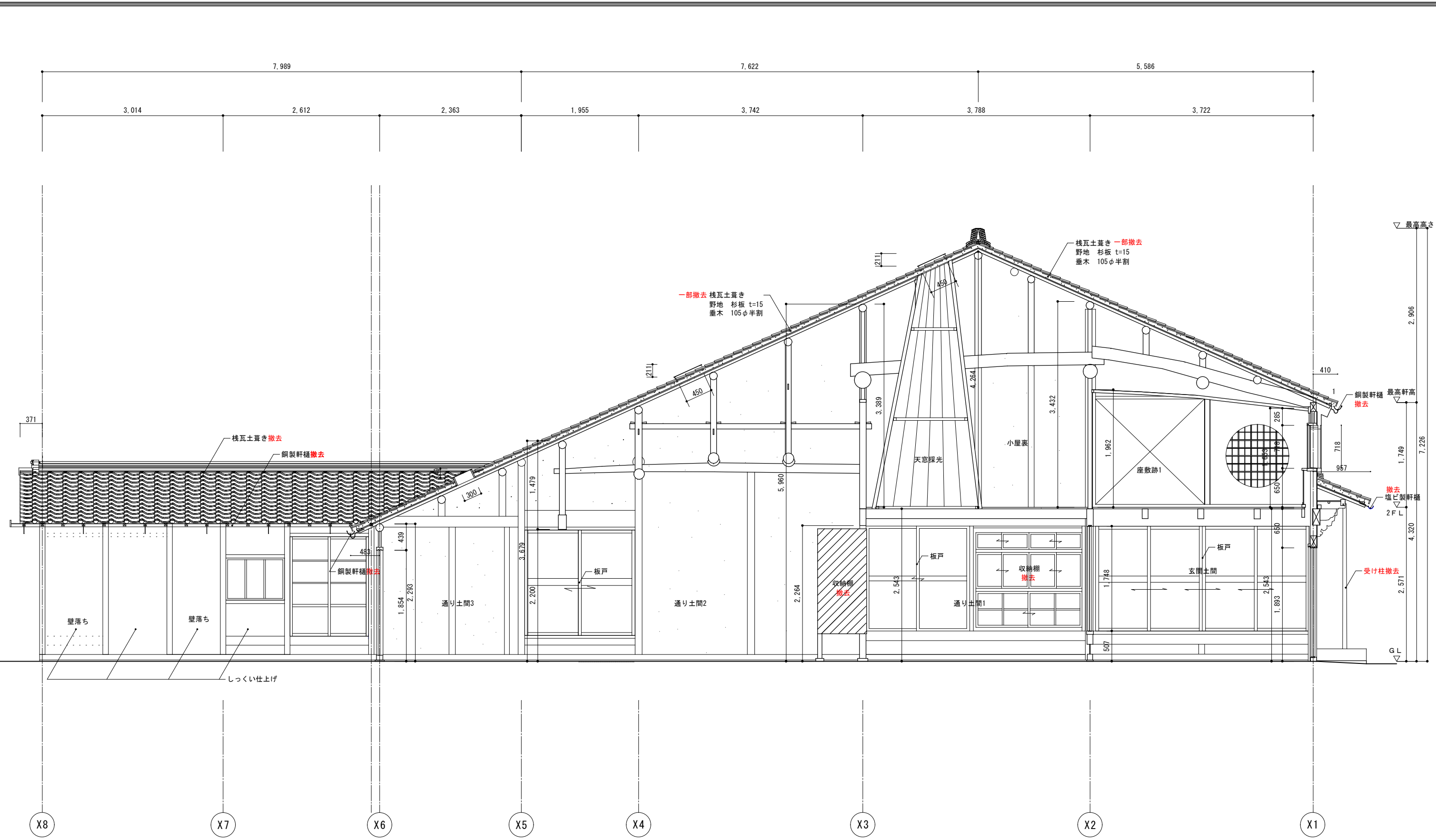
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状断面図01	1/60	P-10




現状c-c' 断面図

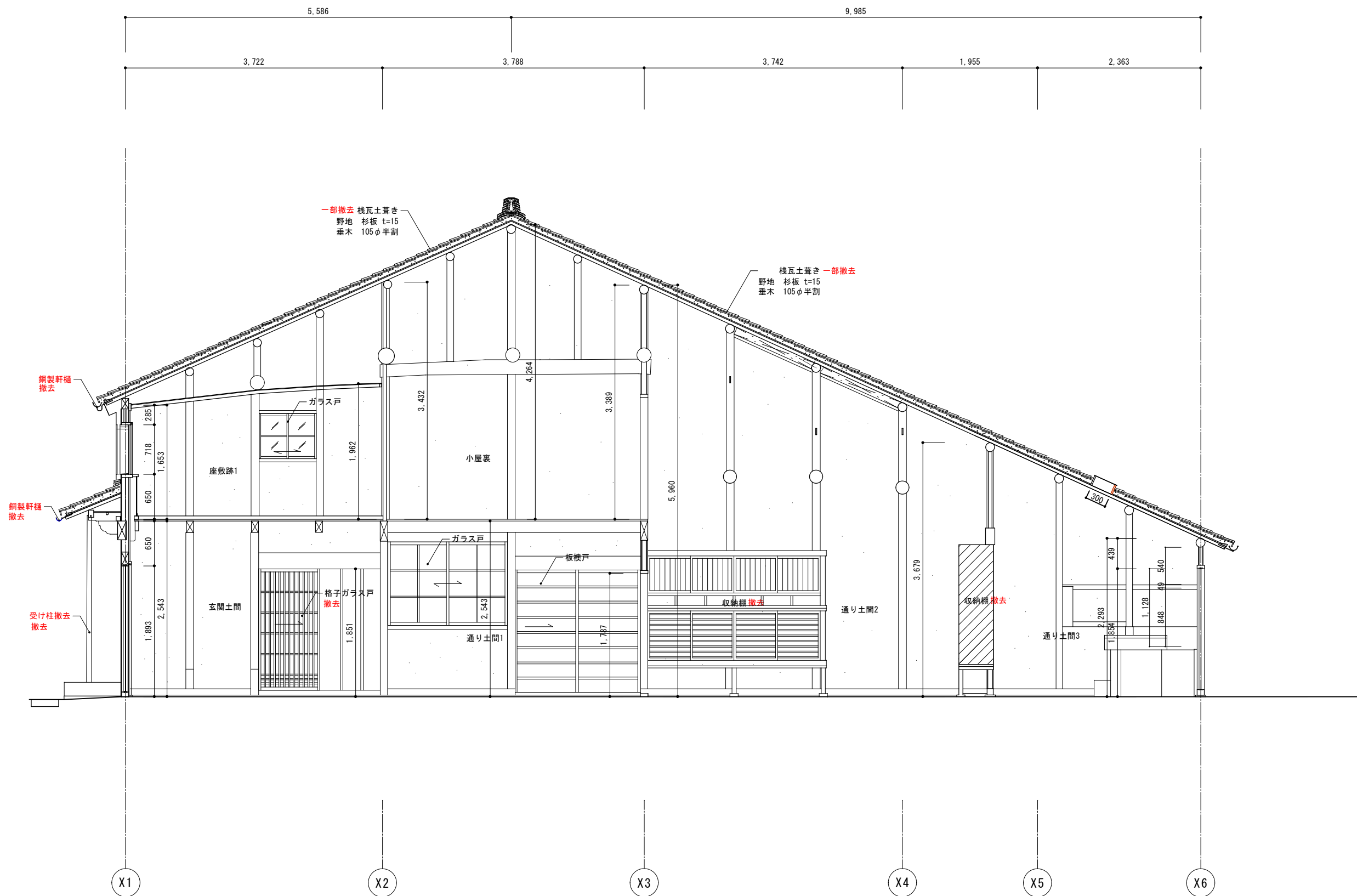
解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状断面図02	縮尺 1/60	図面NO P-11
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						




 解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状断面図03	縮尺 1/60	図面NO P-12
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



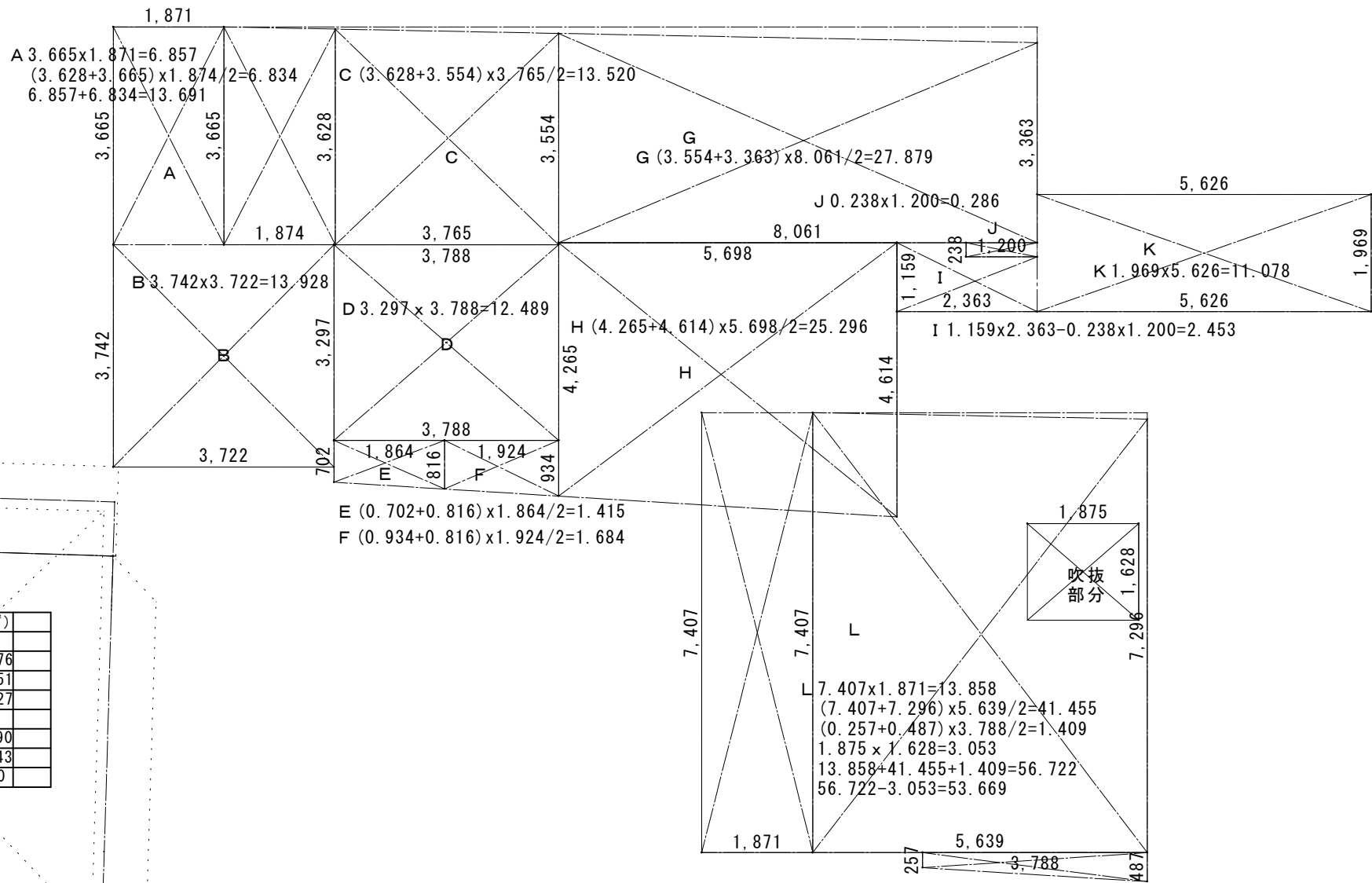
e-e' 断面図

 解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状断面図04	縮尺 1/60	図面NO P-13
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

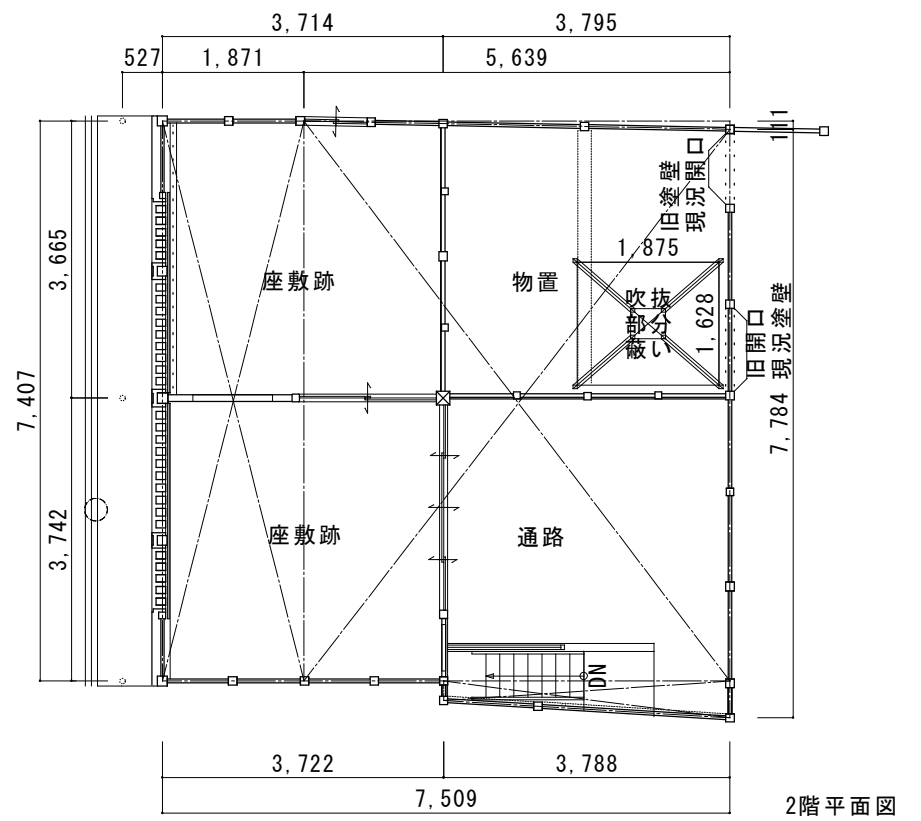
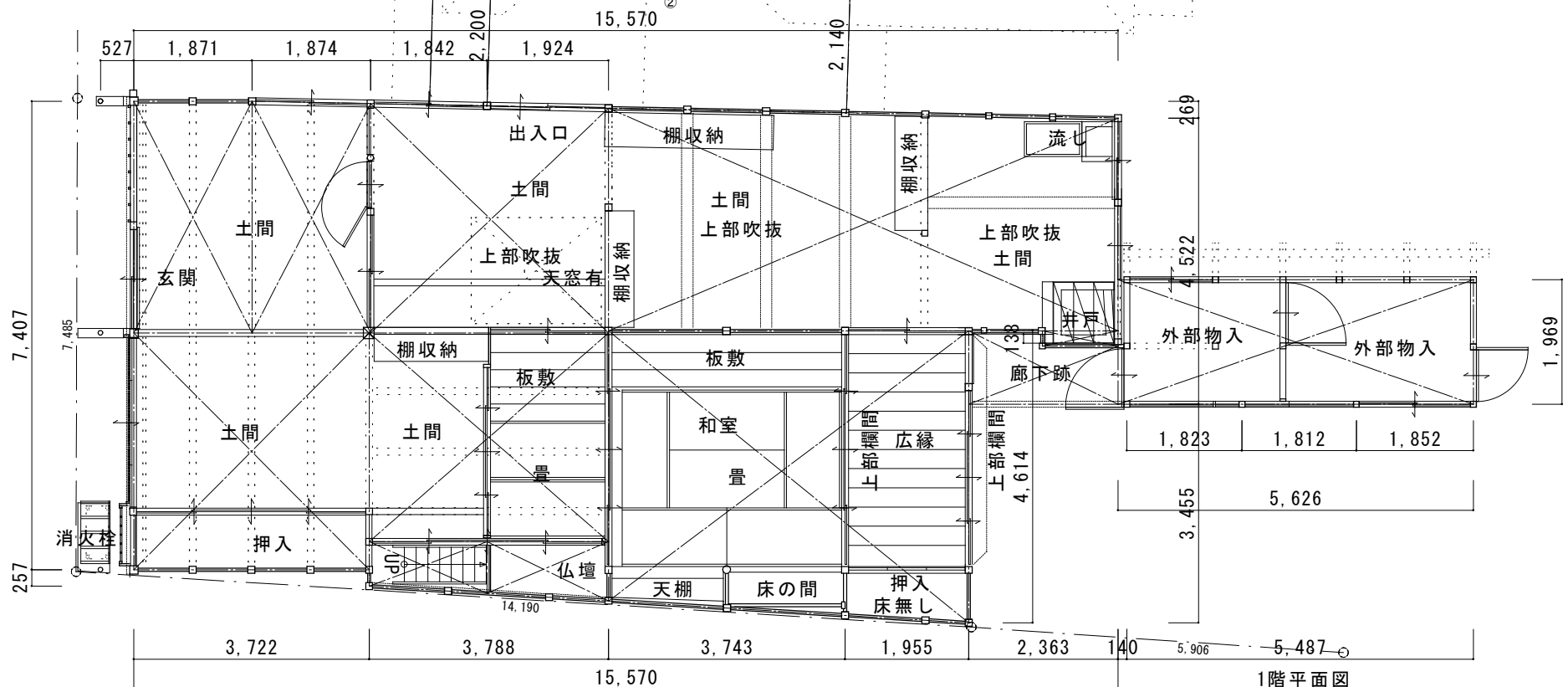
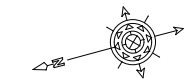
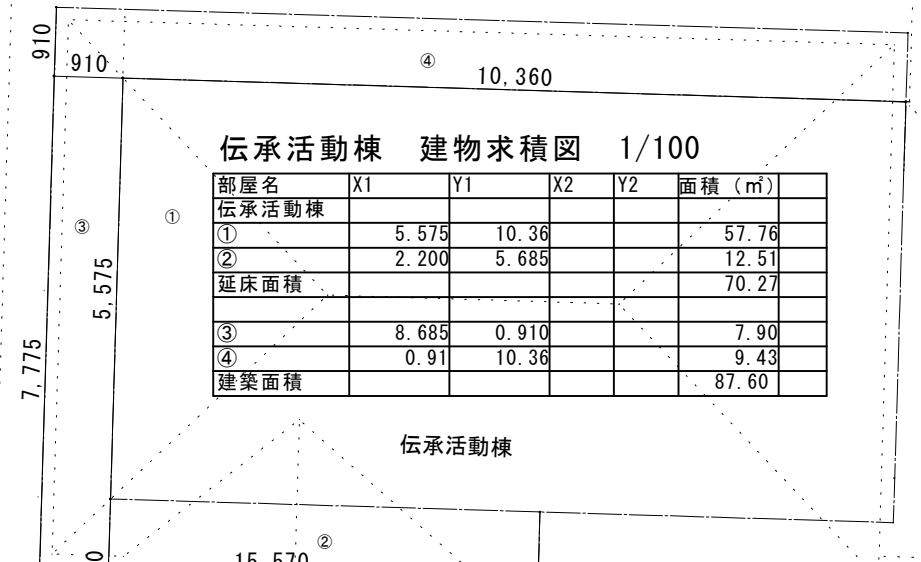
関の山車会館管理・展示棟 建物求積図 1/100

1階面積		2階面積	
A $3.665 \times 1.871 = 6.857$		L $7.407 \times 1.871 = 13.858$	
$(3.628 + 3.665) \times 1.874 / 2 = 6.834$		$(7.407 + 7.296) \times 5.639 / 2 = 41.455$	
$6.857 + 6.834 = 13.691$		$(0.257 + 0.487) \times 3.788 / 2 = 1.409$	
B $3.742 \times 3.722 = 13.928$		$1.875 \times 1.628 = 3.053$	
C $(3.628 + 3.554) \times 3.765 / 2 = 13.520$		$13.858 + 41.455 + 1.409 = 56.722$	
D $3.297 \times 3.788 = 12.489$		$56.722 - 3.053 = 53.669$	
E $(0.702 + 0.816) \times 1.864 / 2 = 1.415$			
F $(0.934 + 0.816) \times 1.924 / 2 = 1.684$			
G $(3.554 + 3.363) \times 8.061 / 2 = 27.879$			
H $(4.265 + 4.614) \times 5.698 / 2 = 25.296$			
I $1.159 \times 2.363 - 0.238 \times 1.200 = 2.453$			
J $0.238 \times 1.200 = 0.286$			
K $1.969 \times 5.626 = 11.078$			
$13.691 + 13.928 + 13.520 + 12.489 + 1.415 + 1.684$			
$+ 27.879 + 25.296 + 2.453 + 0.286 + 11.078 =$			
		建築面積	123.71㎡
		1階床面積	123.71㎡
		2階床面積	53.66㎡
		延べ床面積	177.37㎡
			123.719

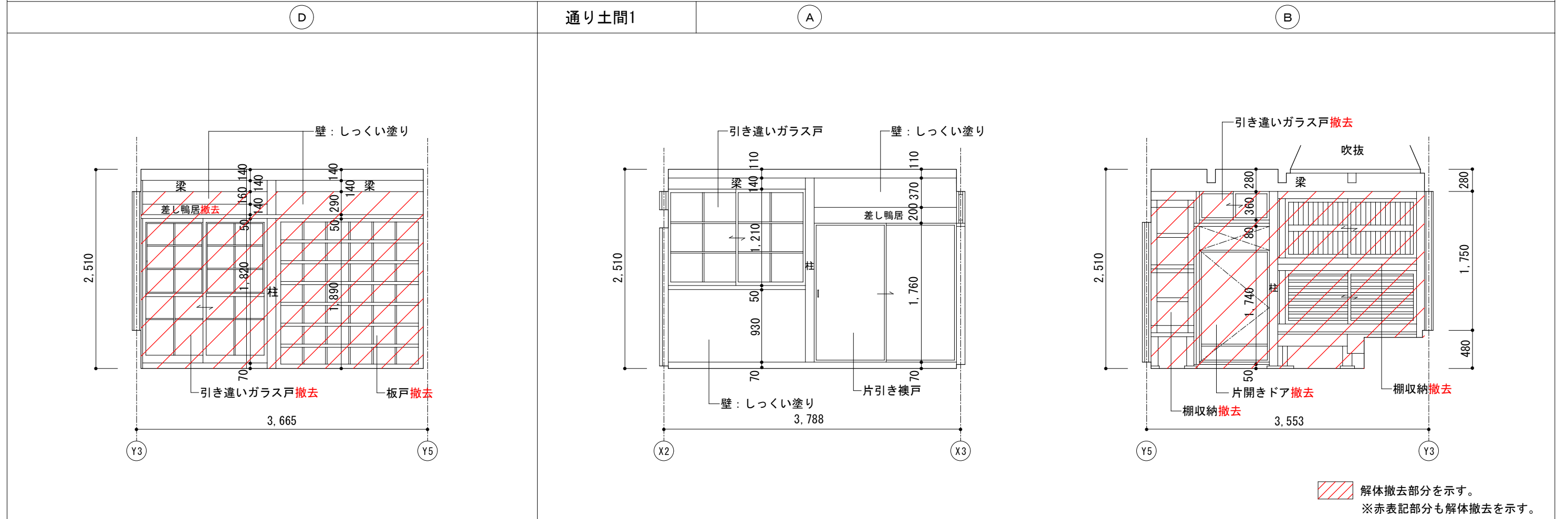
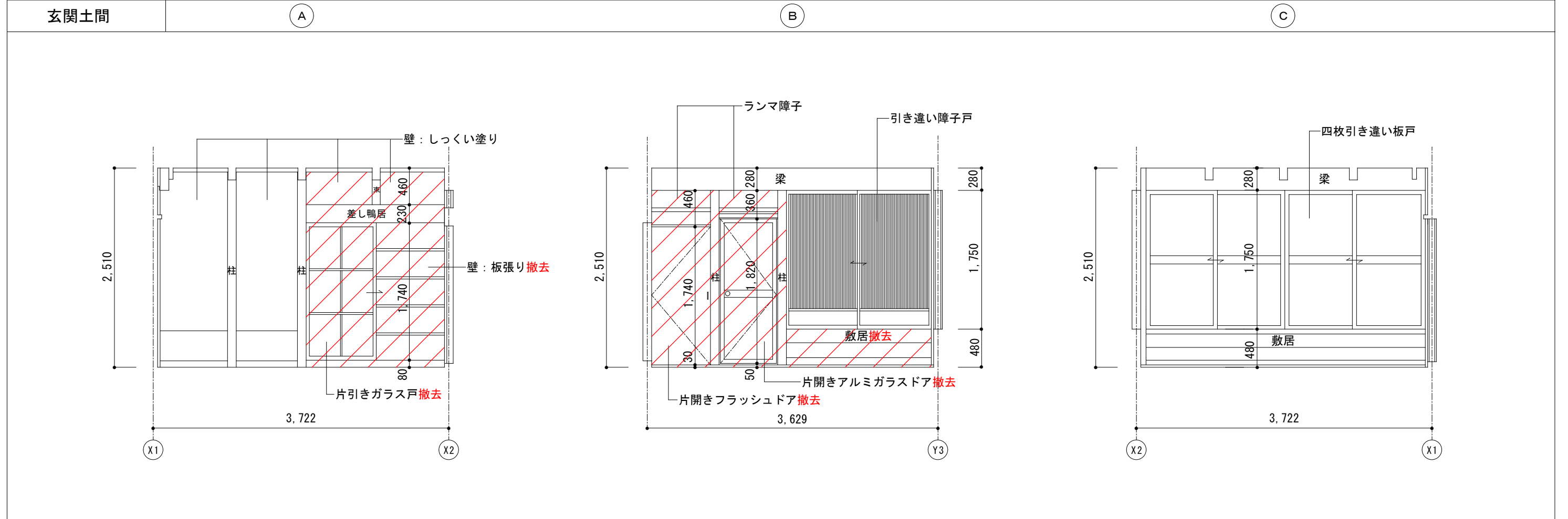


伝承活動棟 建物求積図 1/100

部屋名	X1	Y1	X2	Y2	面積 (㎡)
伝承活動棟					
①	5.575	10.36			57.76
②	2.200	5.685			12.51
延床面積					70.27
③	8.685	0.910			7.90
④	0.91	10.36			9.43
建築面積					87.60

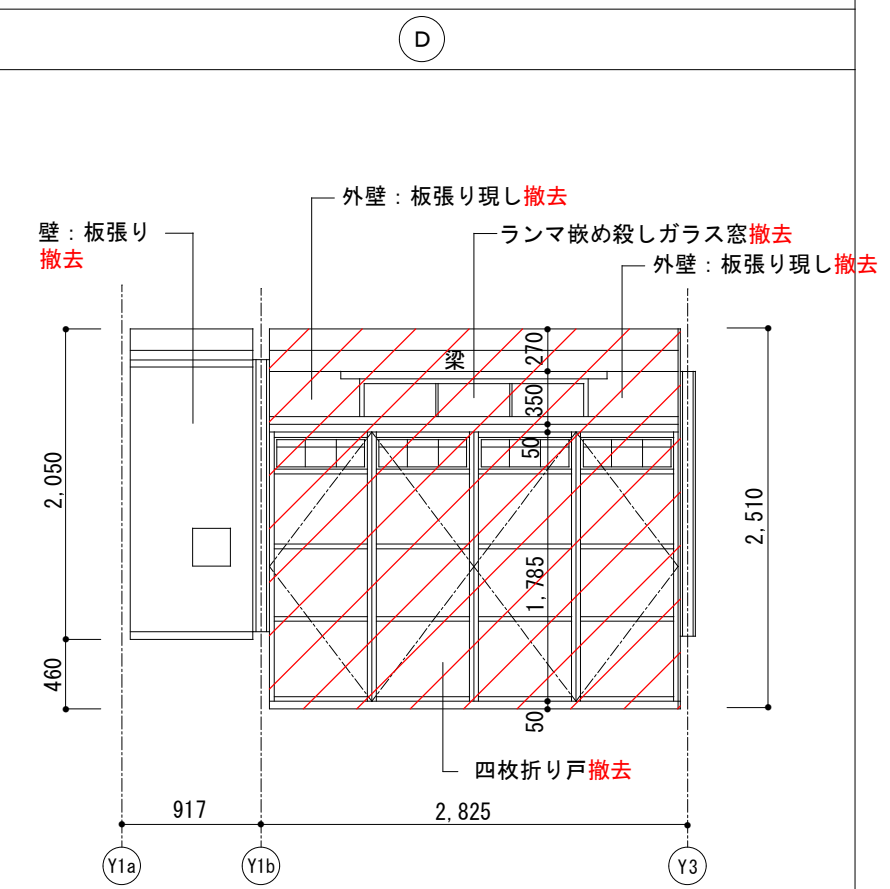
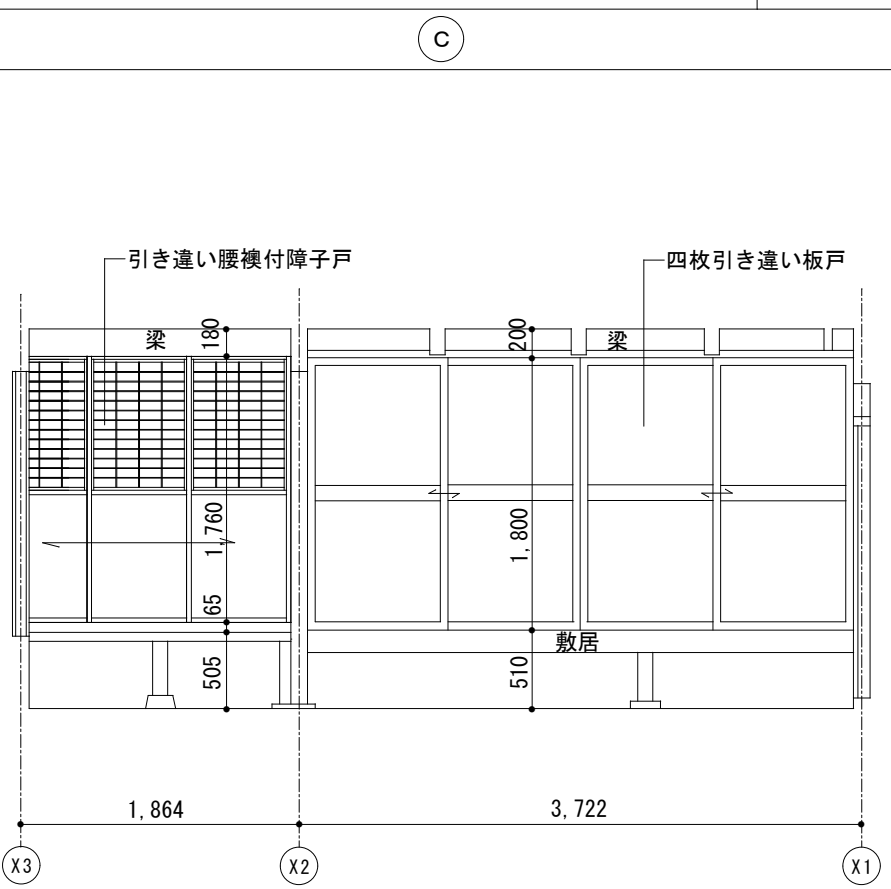
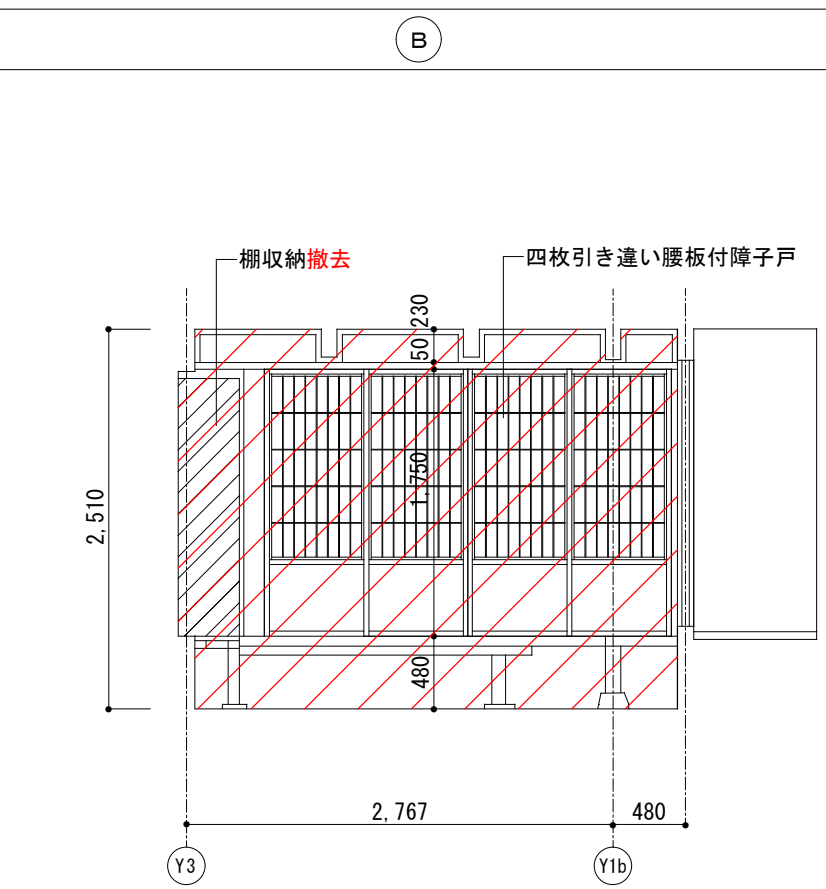
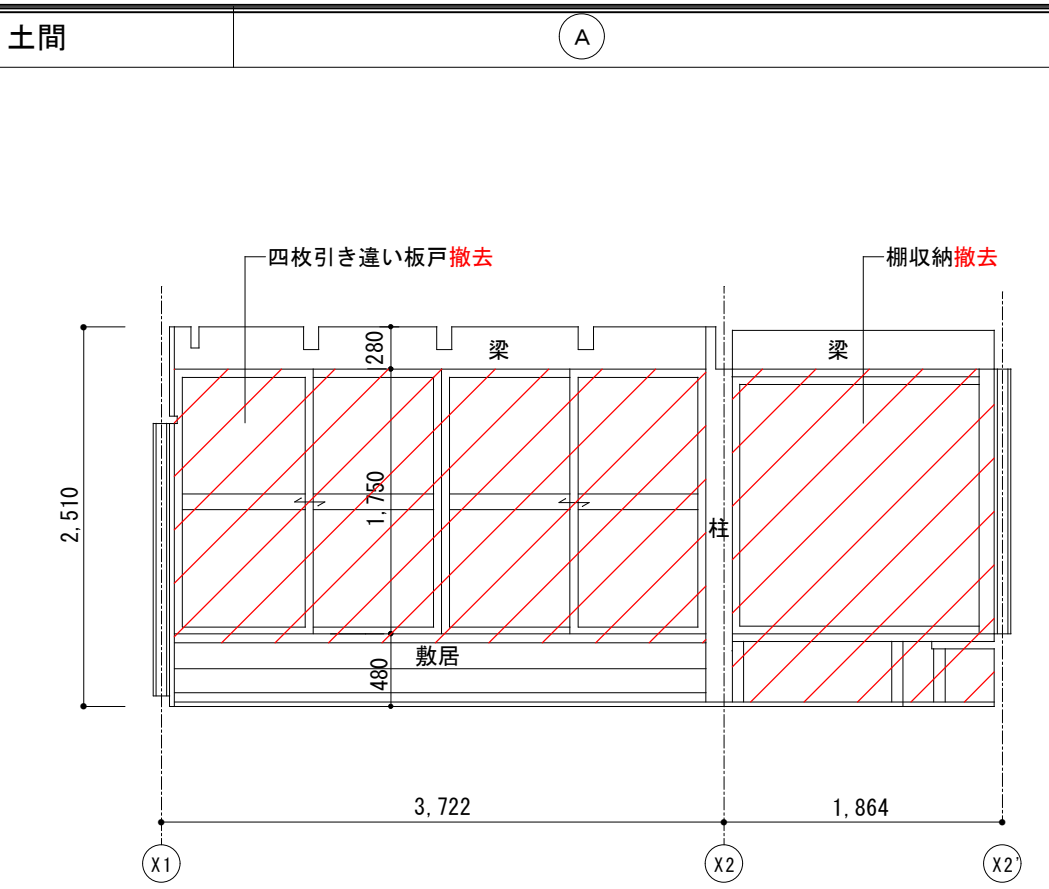
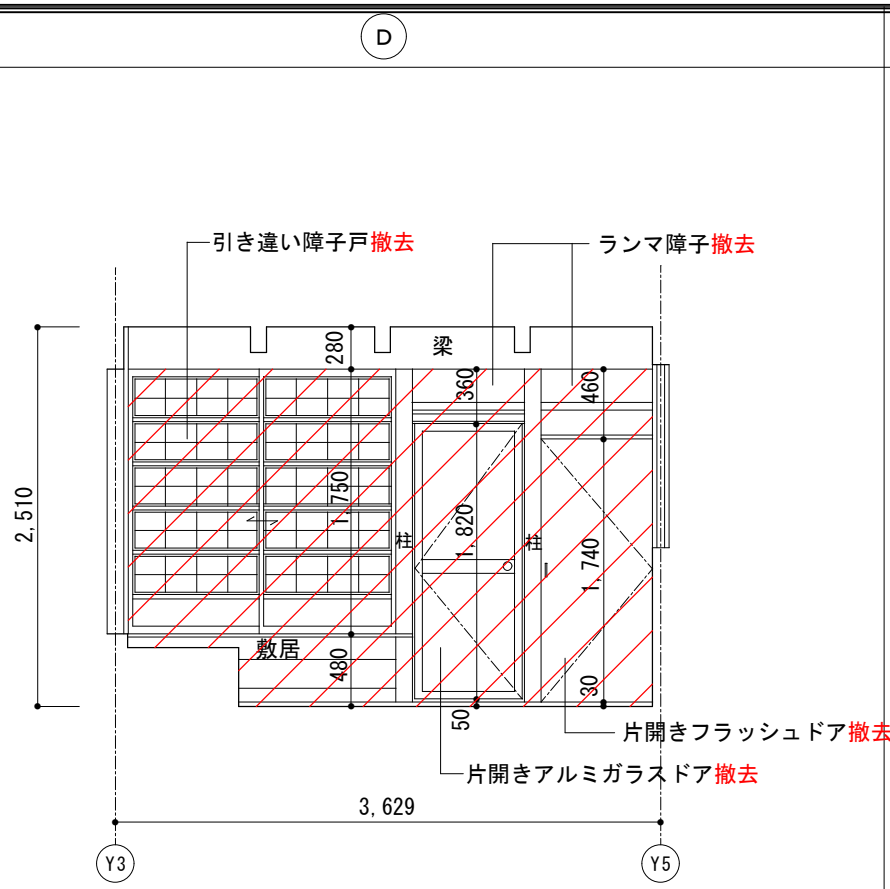
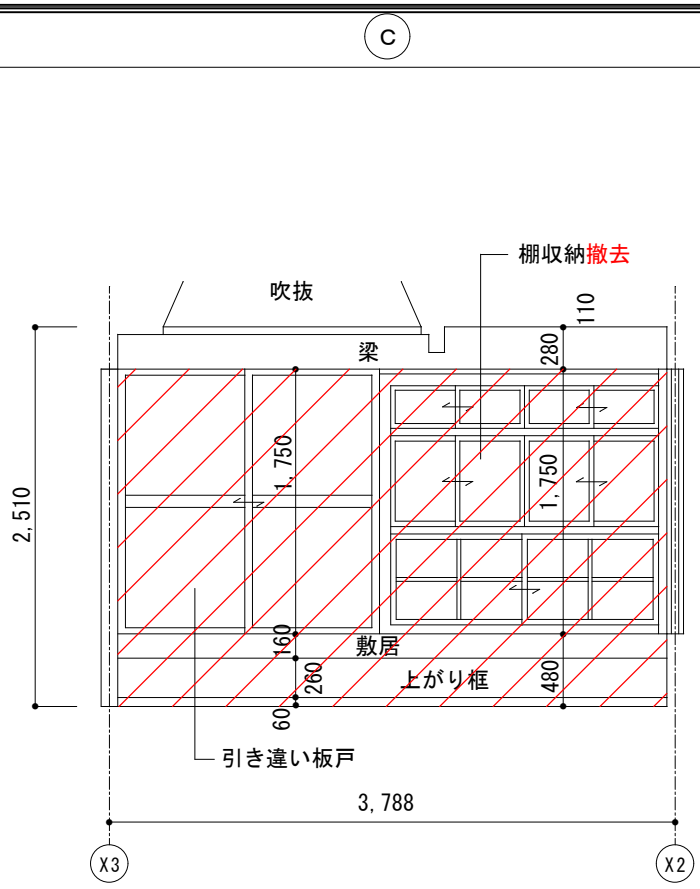


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状面積算定図	1/150	P-14



解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

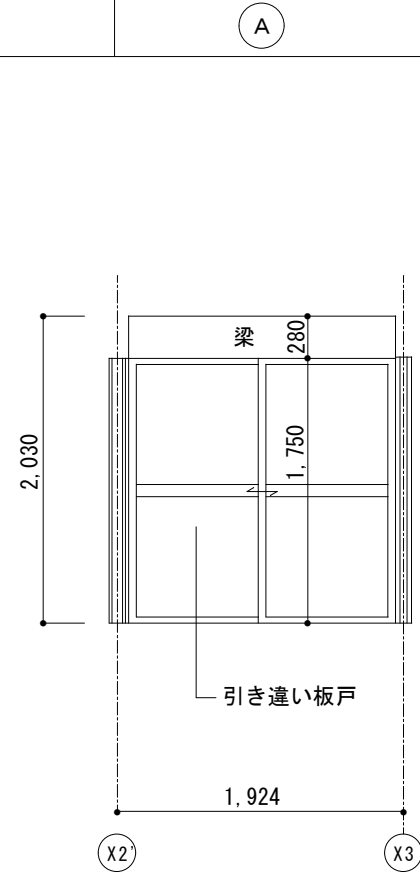
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状展開図(1)	縮尺 1/50	図面NO P-15
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



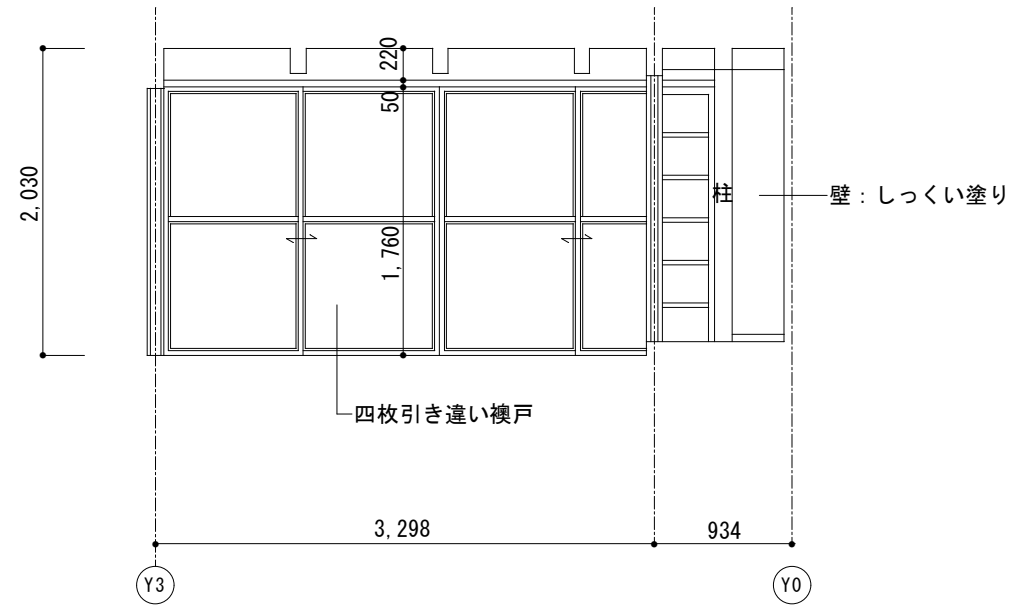
解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状展開図(2)	1/50	P-16

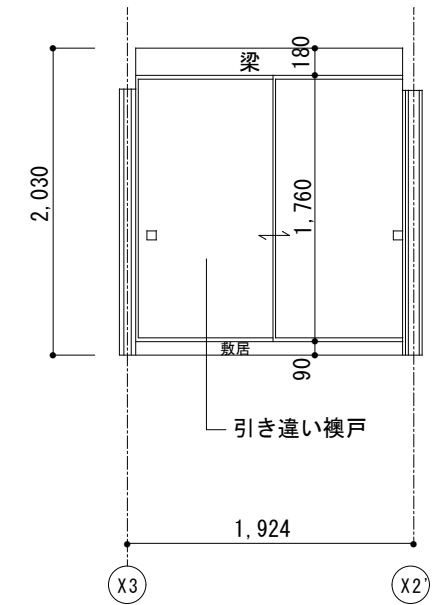
和室 (4帖)



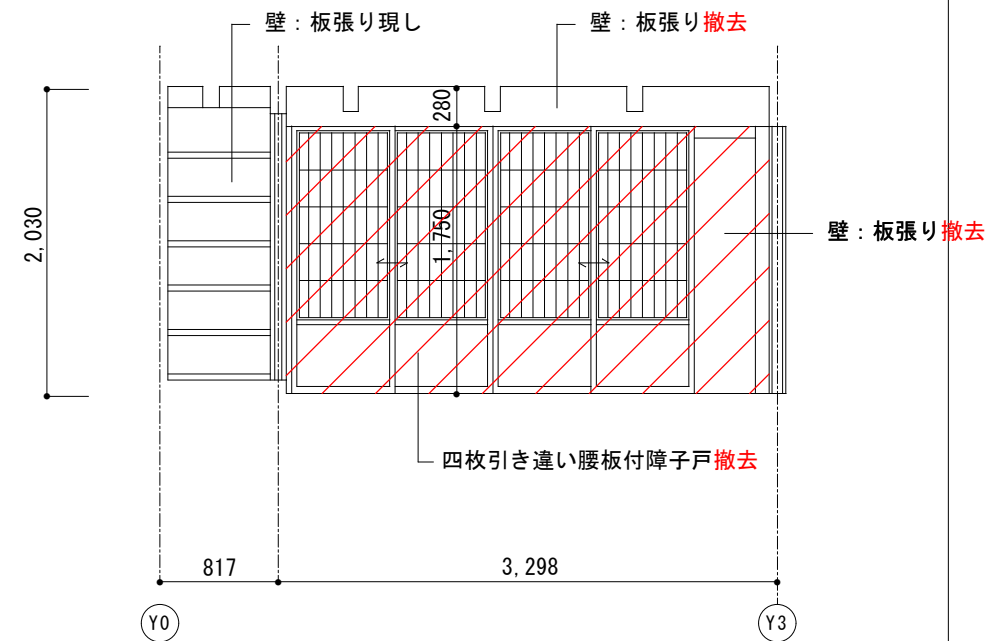
B



C

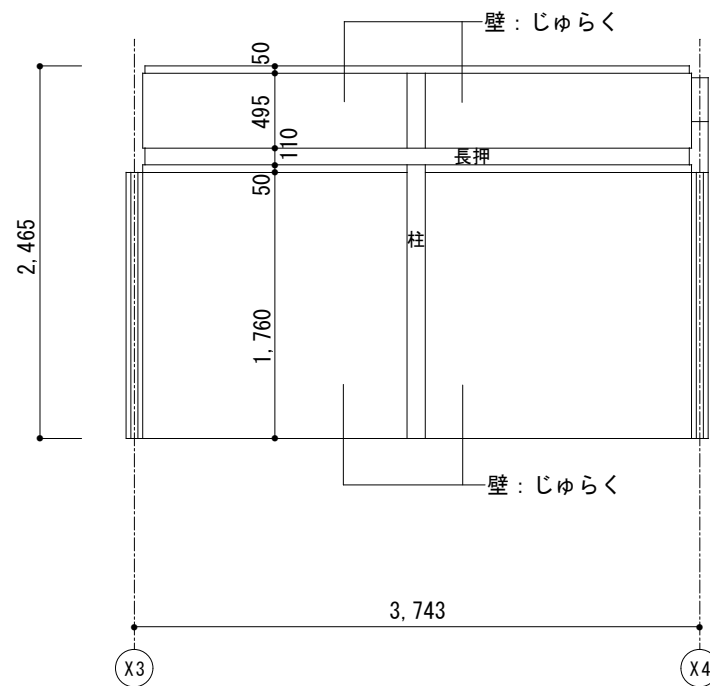


D

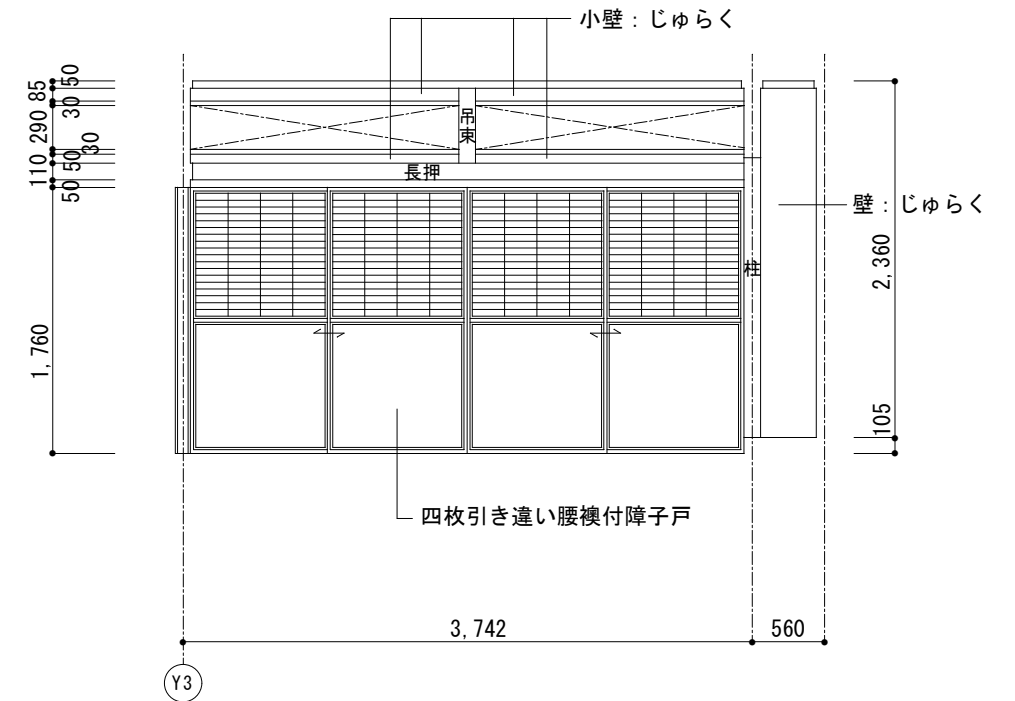


和室 (8帖)

A



B



解体撤去部分を示す。
※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名
関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

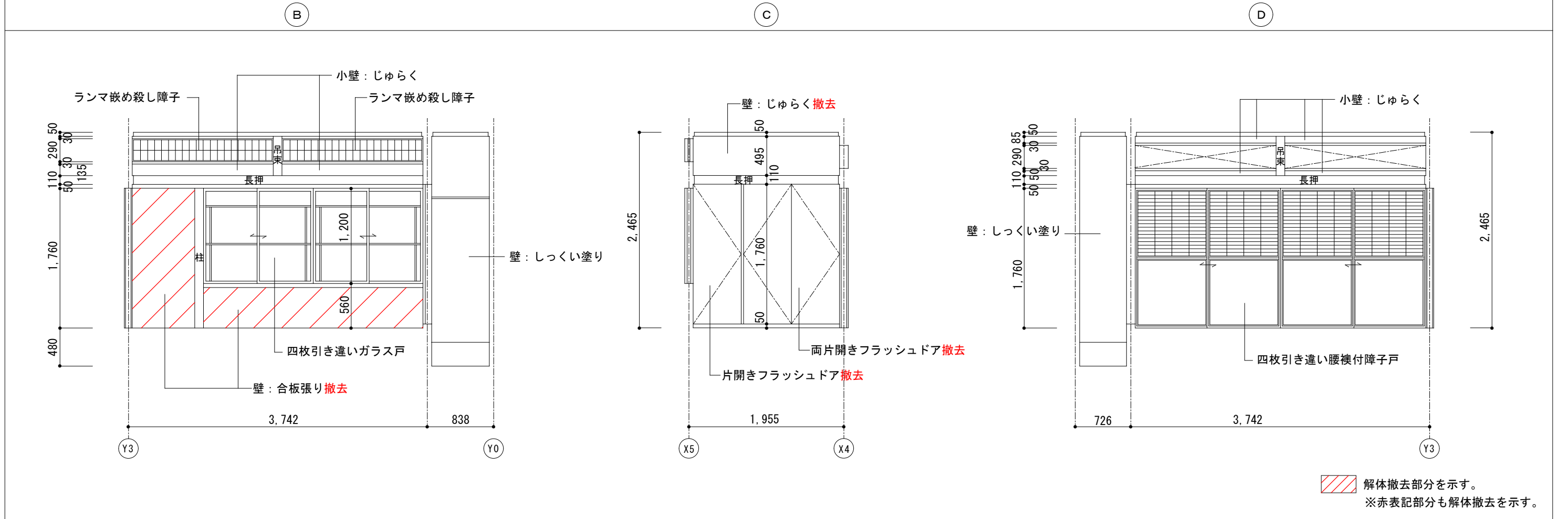
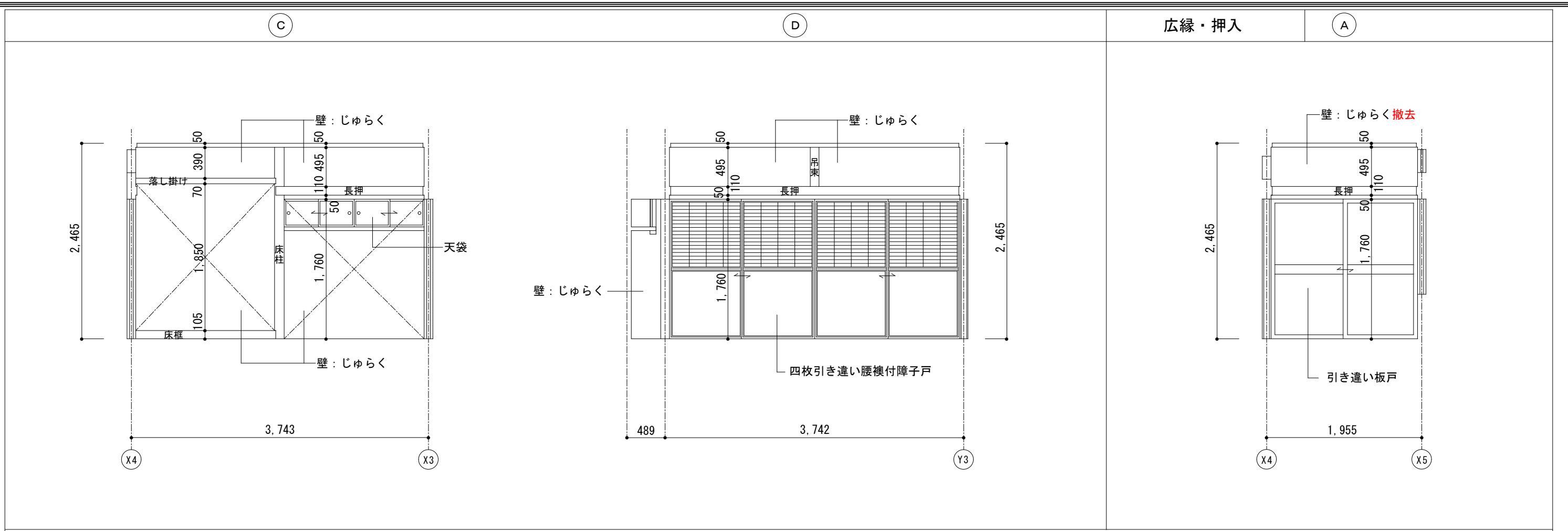
〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者 設計者 担当者
日付 日付 日付

図面名
現状展開図(3)

縮尺
1/50

図面NO
P-17

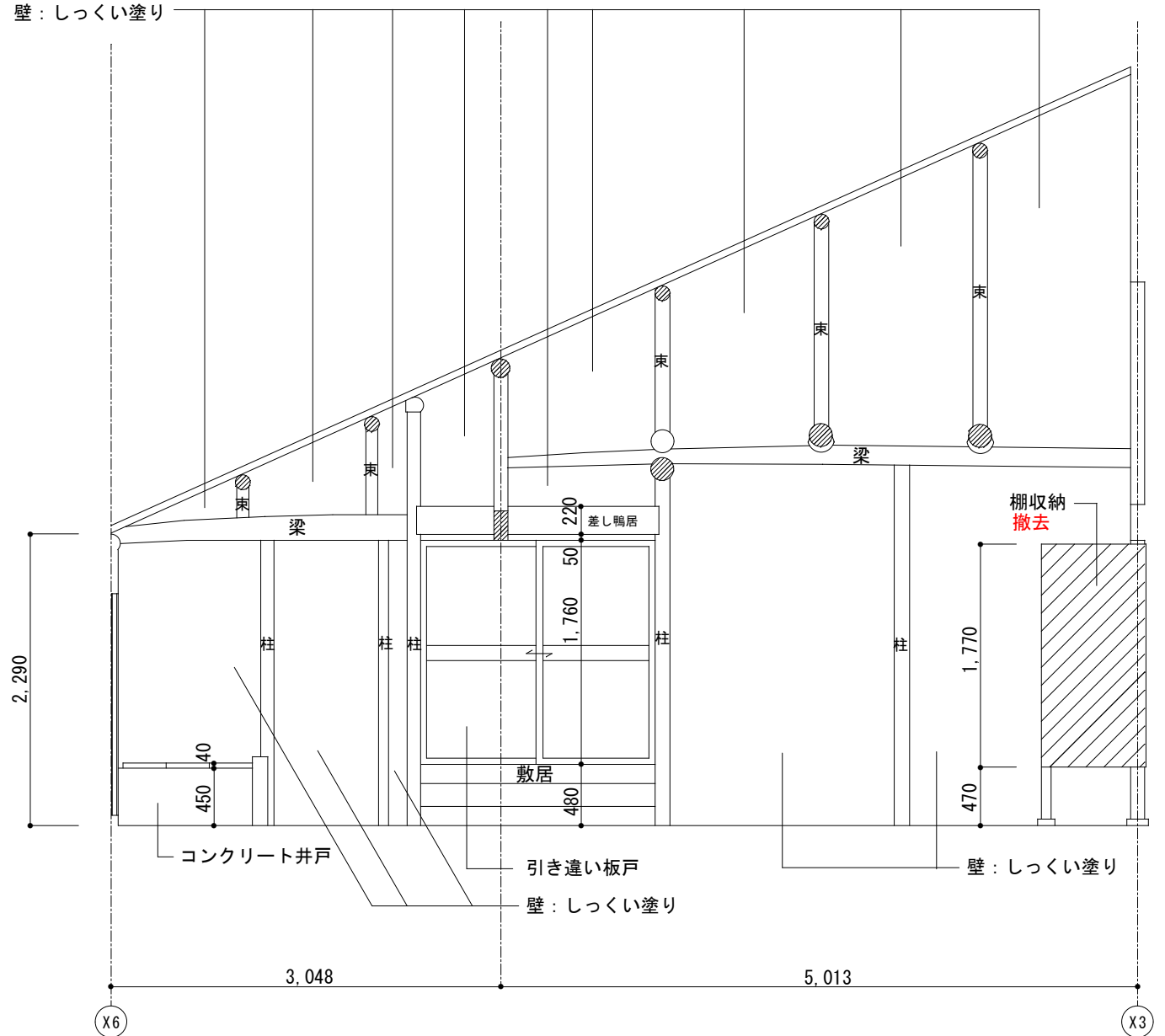
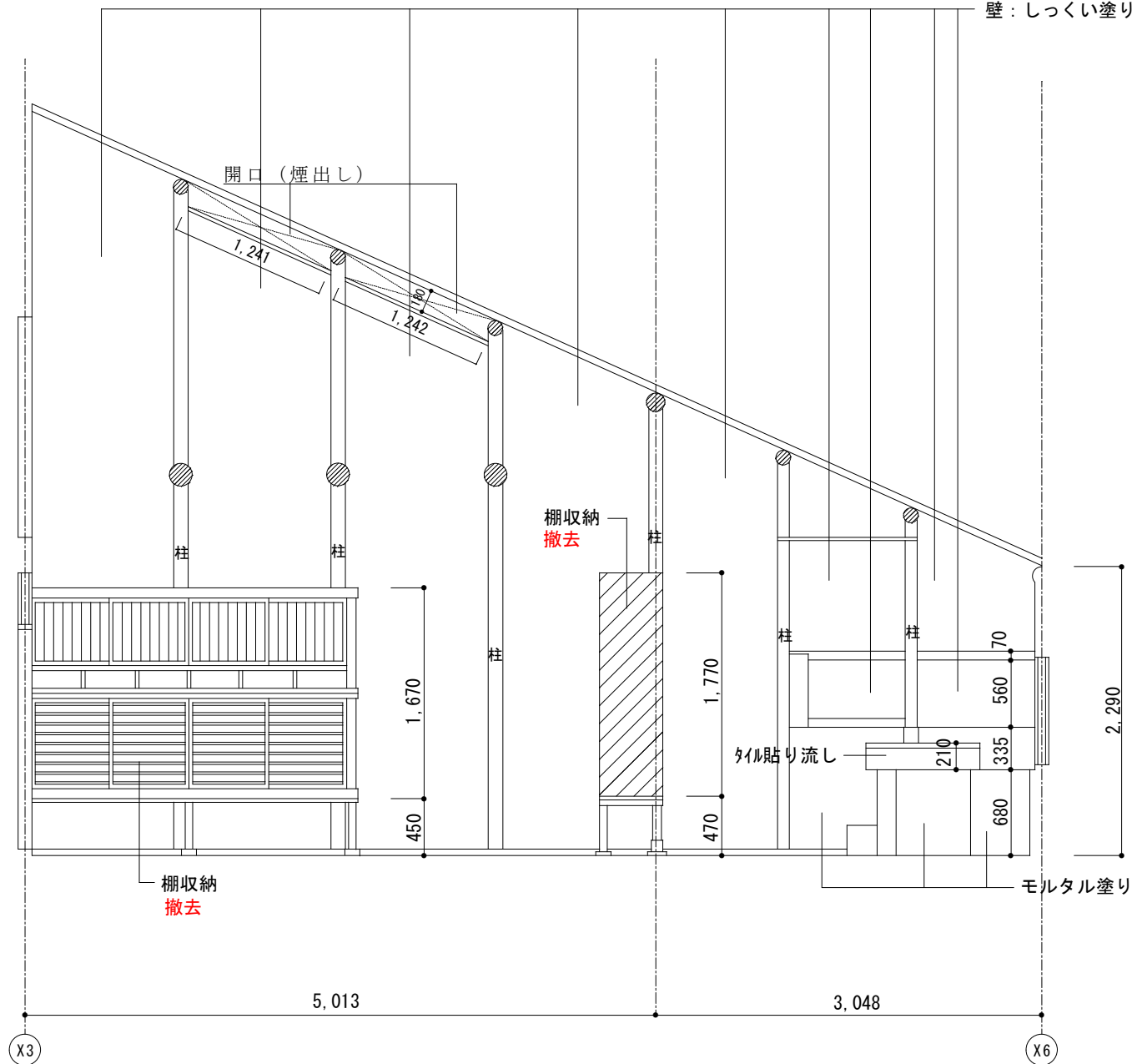



解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状展開図(4)	縮尺 1/50	図面NO P-18
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

壁：しっくい塗り

壁：しっくい塗り



 解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名
 関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

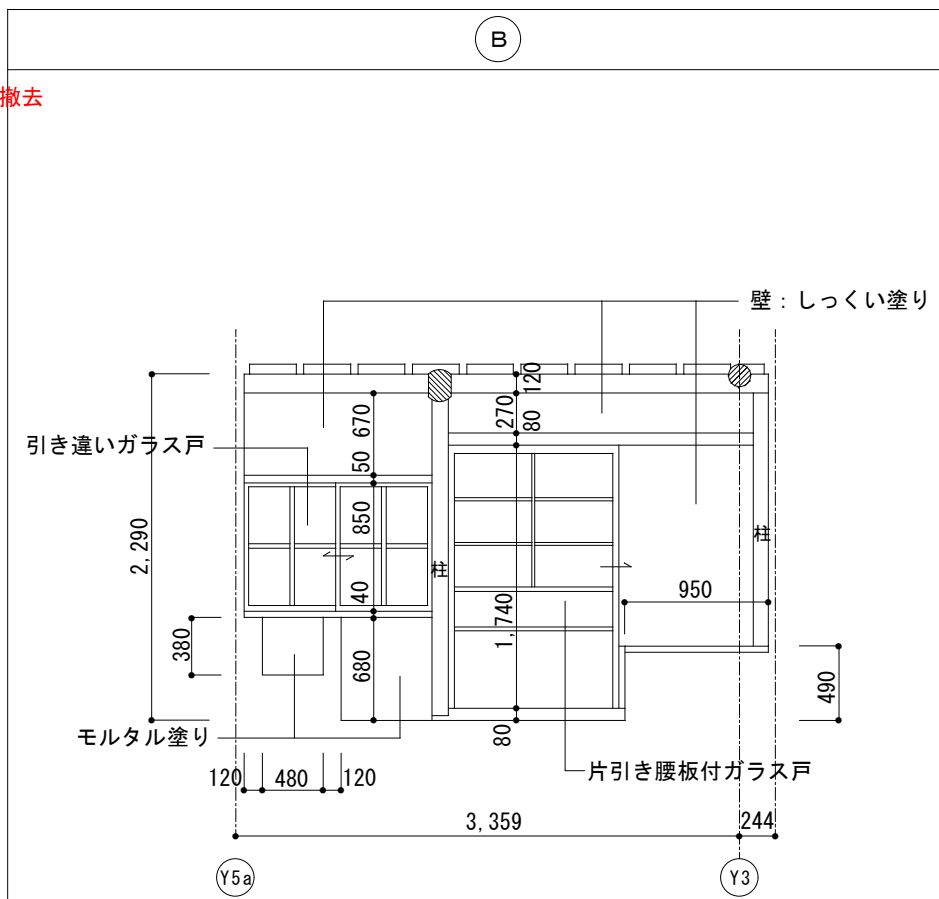
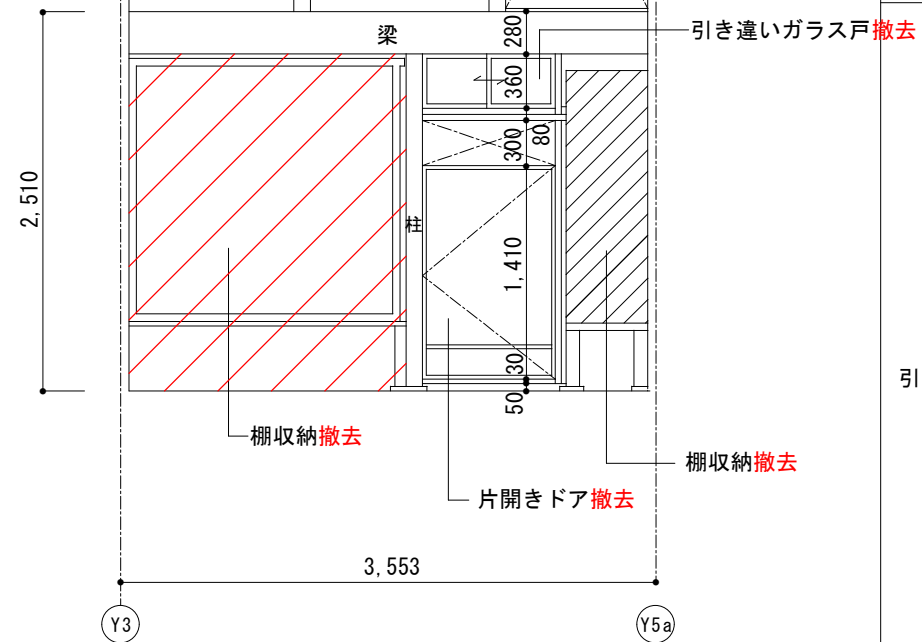
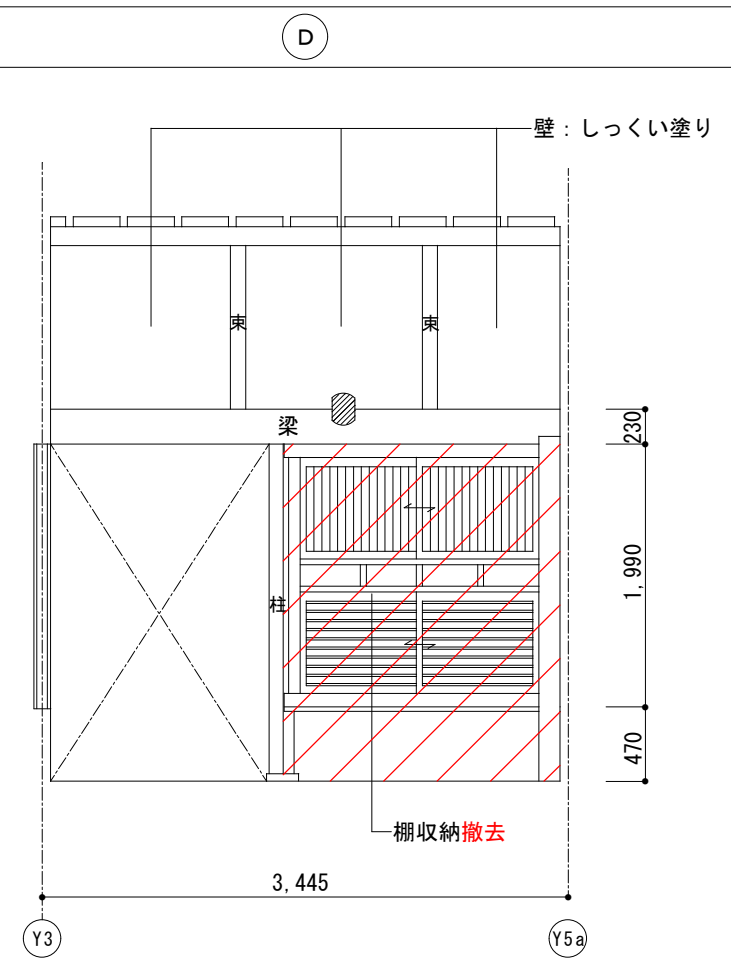
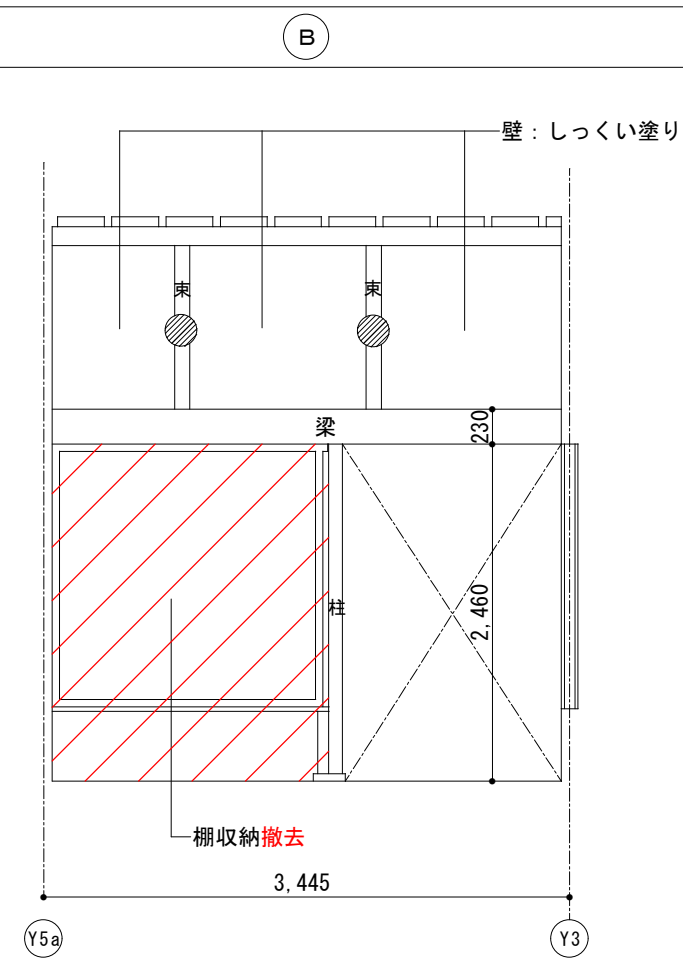
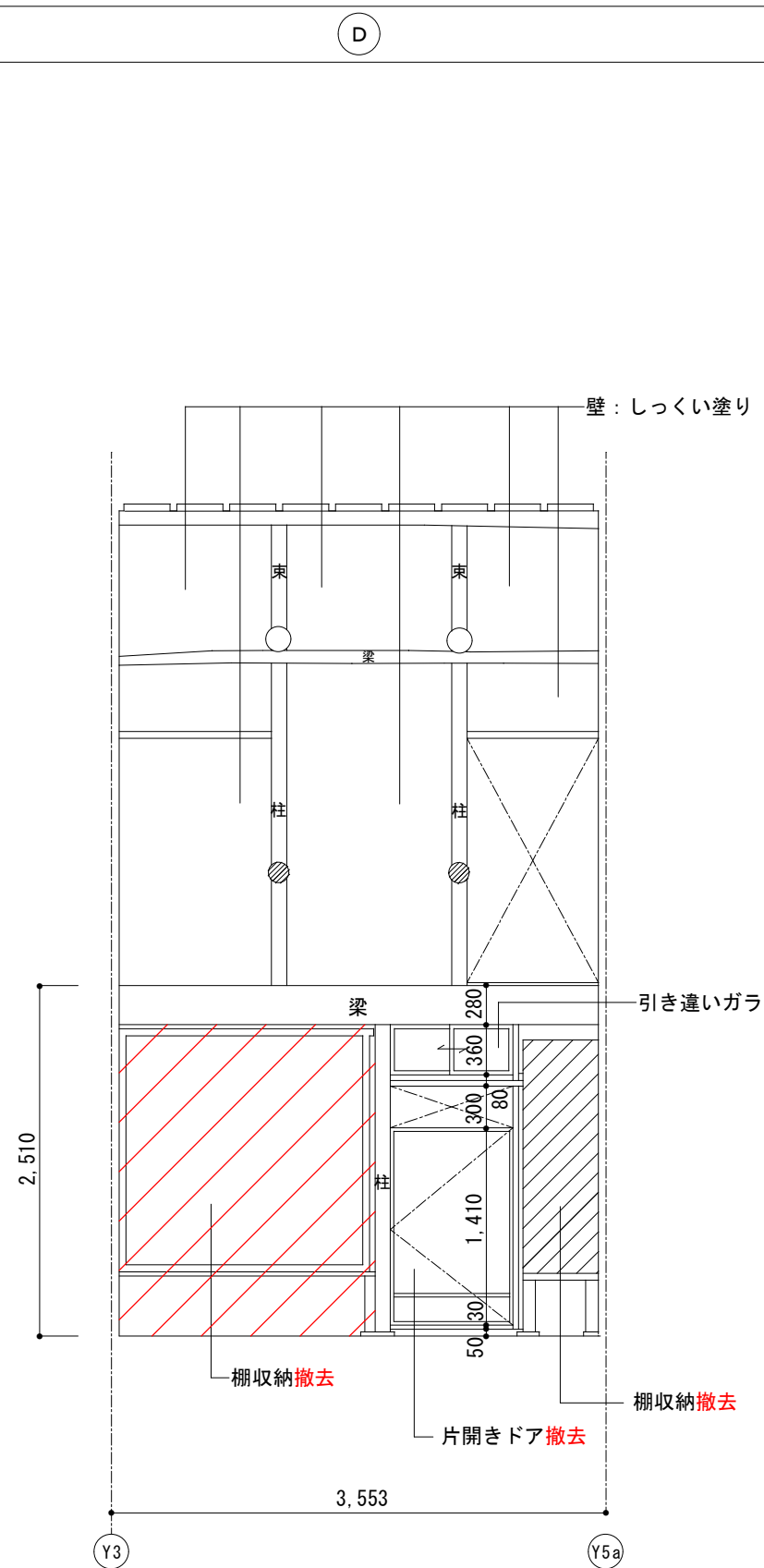
〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者 設計者 担当者
 日付 日付 日付

図面名
 現状展開図(5)

縮尺
 1/50

図面NO
 P-19



解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状展開図(6)	縮尺 1/50	図面NO P-20
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

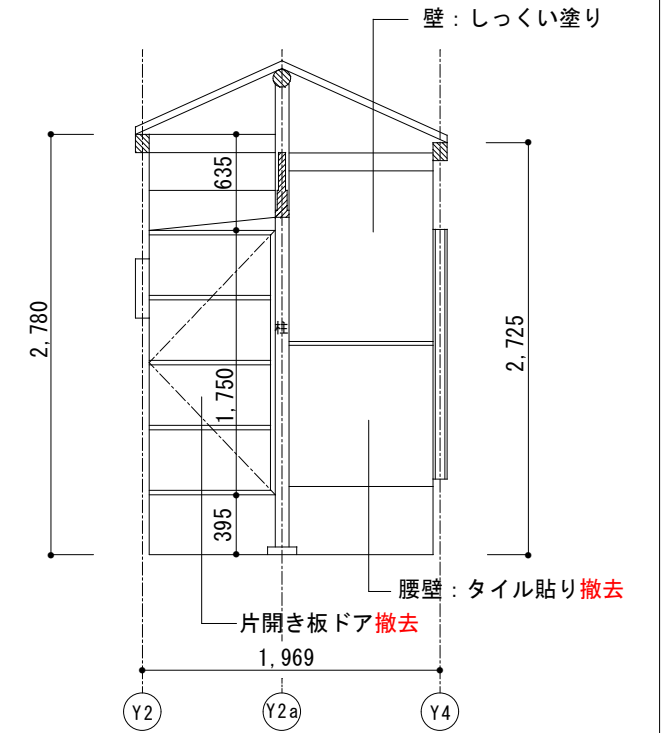
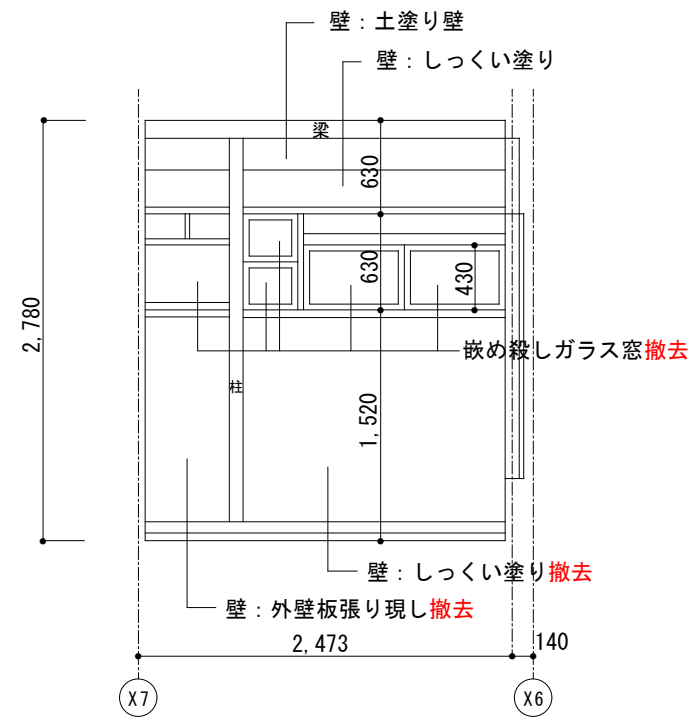
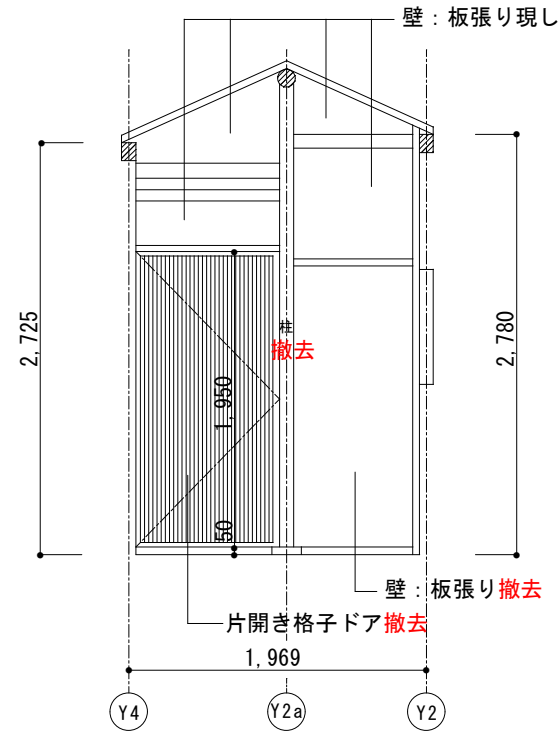
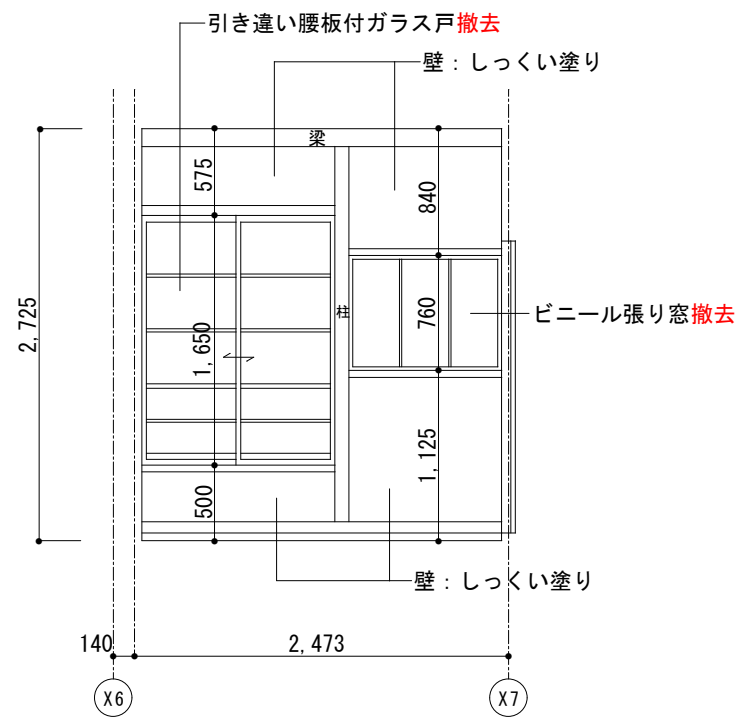
外部物入（北側）

(A)

(B)

(C)

(D)



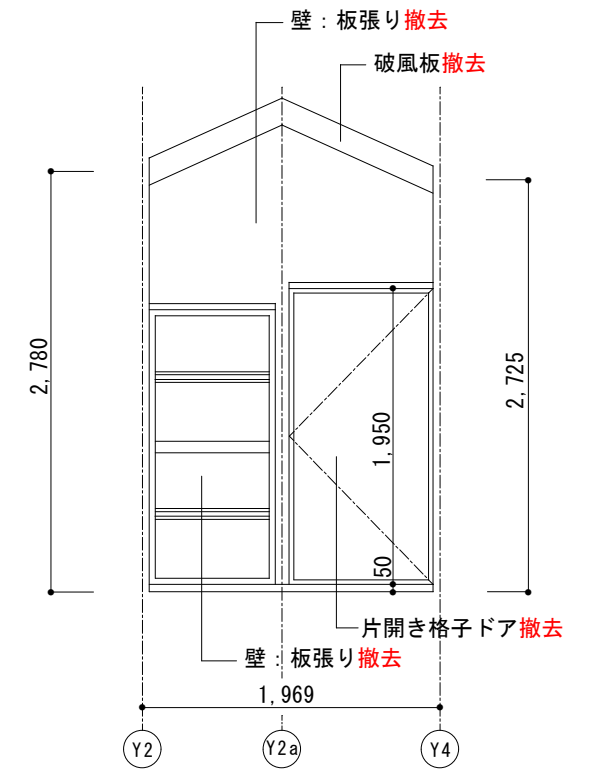
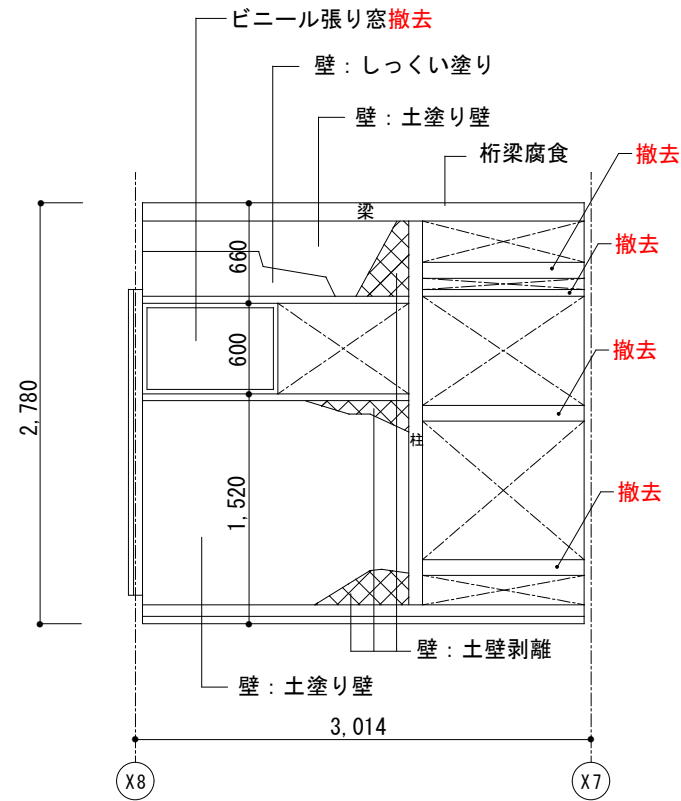
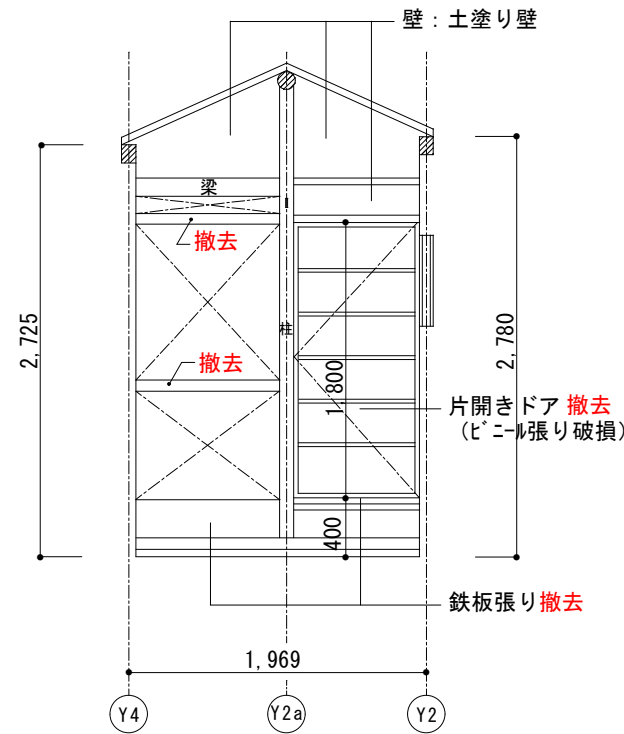
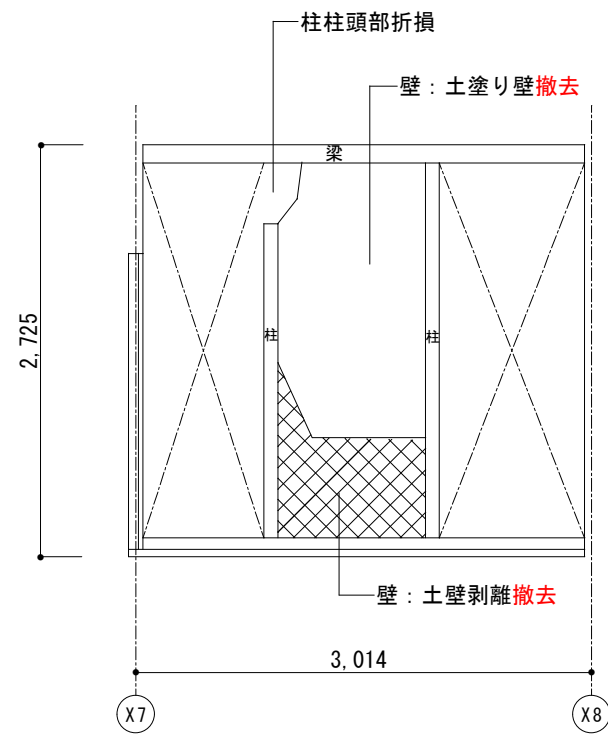
外部物入（南側）

(A)

(B)

(C)

(D)



解体撤去部分を示す。
※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者

日付

設計者

日付

担当者

日付

図面名

現状展開図(7)

縮尺

1/50

図面NO

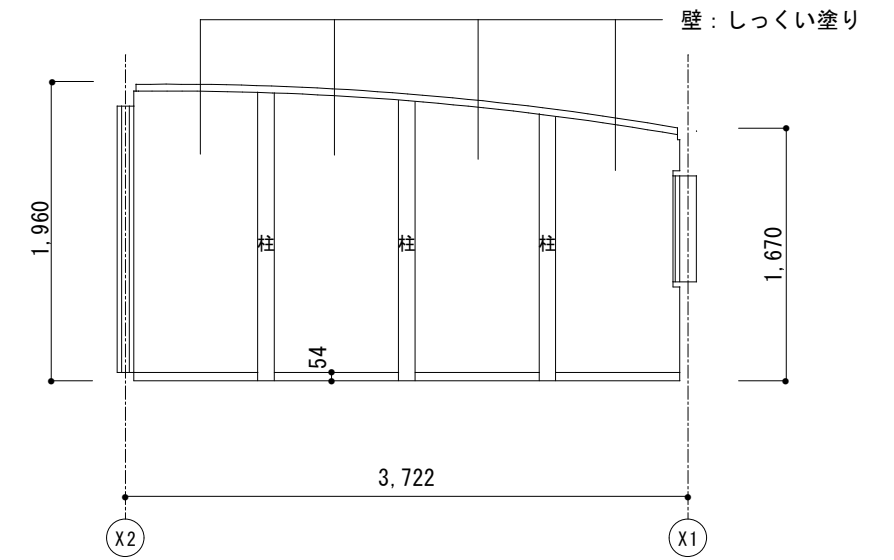
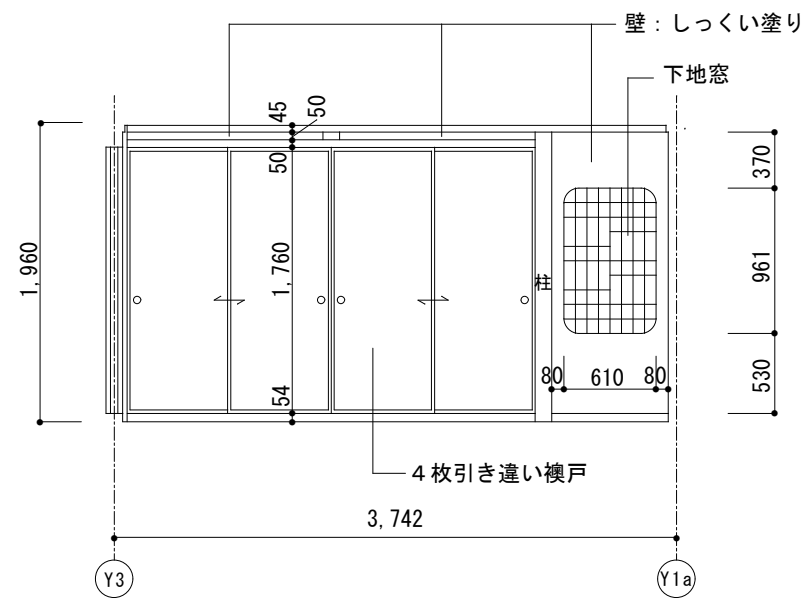
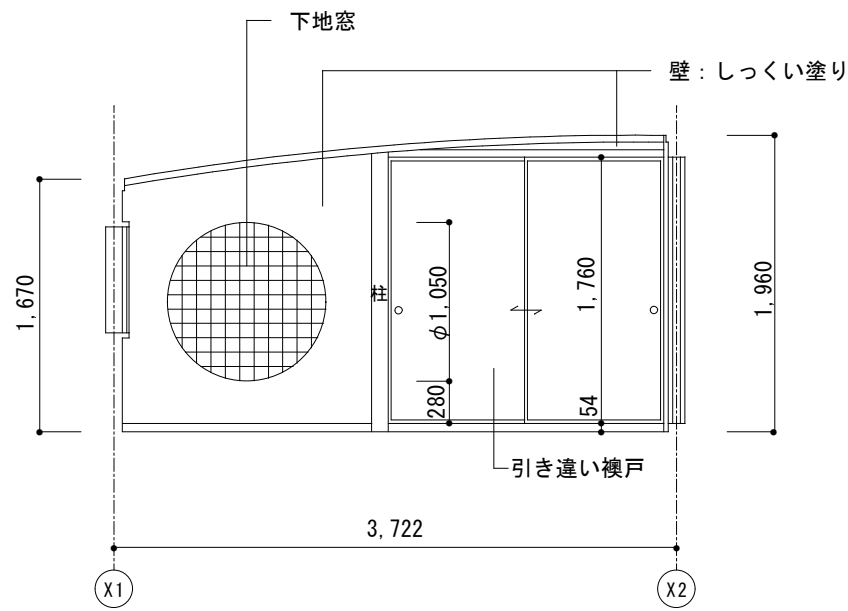
P-21

2階座敷跡2

(A)

(B)

(C)

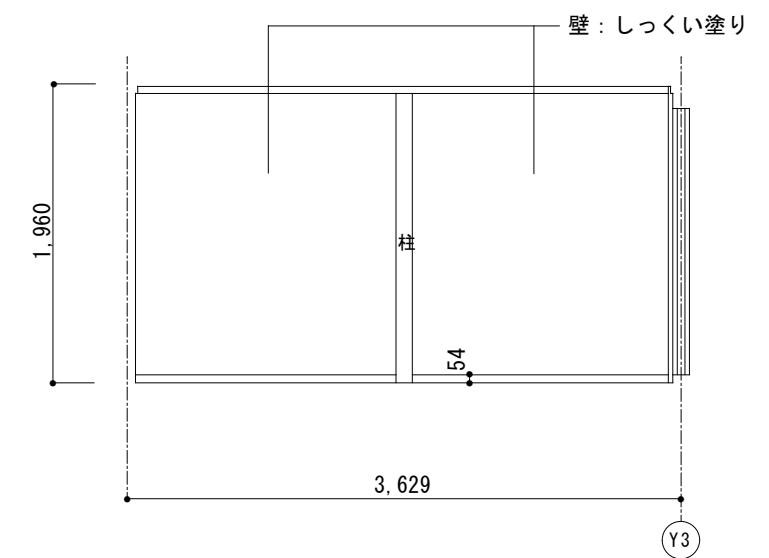
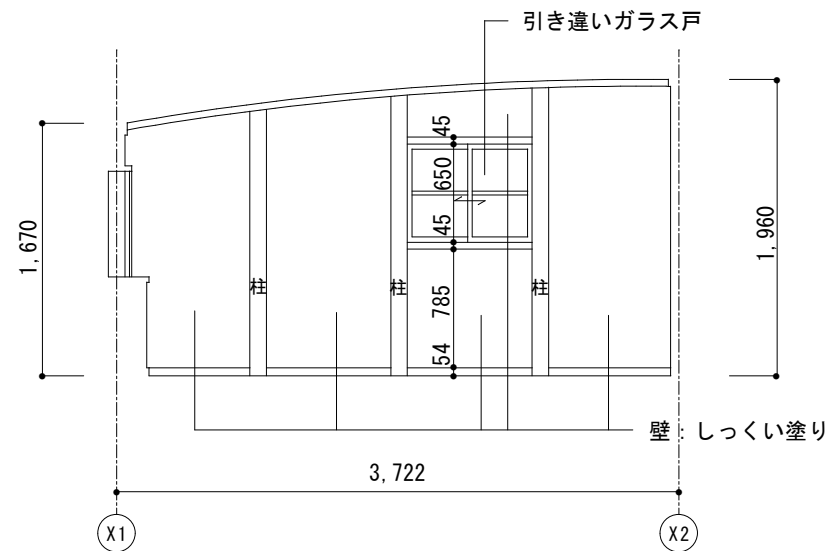
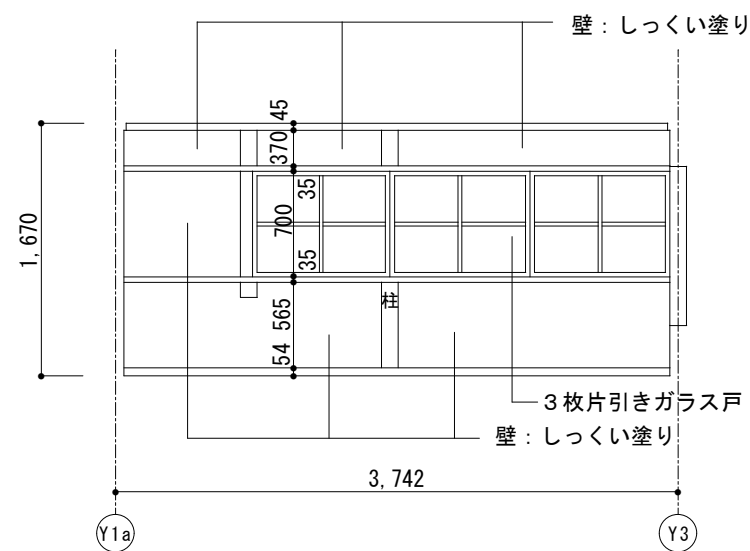


(D)

2階座敷跡1

(A)

(B)



工事名
関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者
日付

設計者
日付

担当者
日付

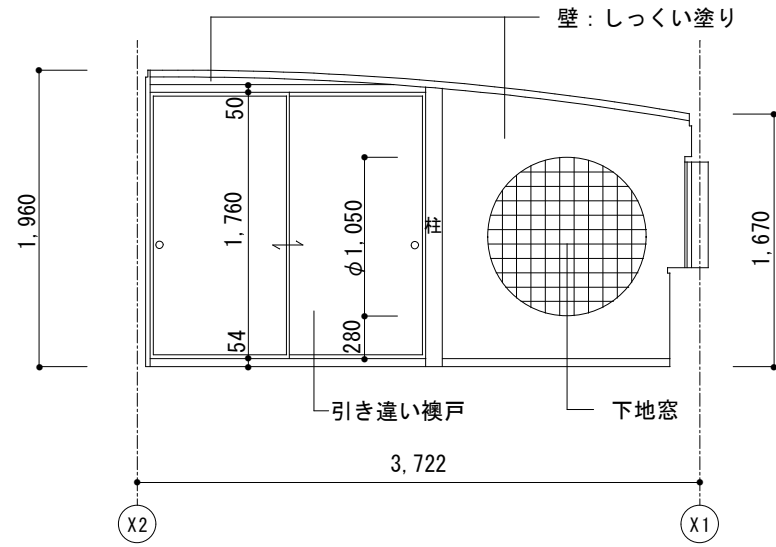
図面名
現状展開図(8)

縮尺
1/50

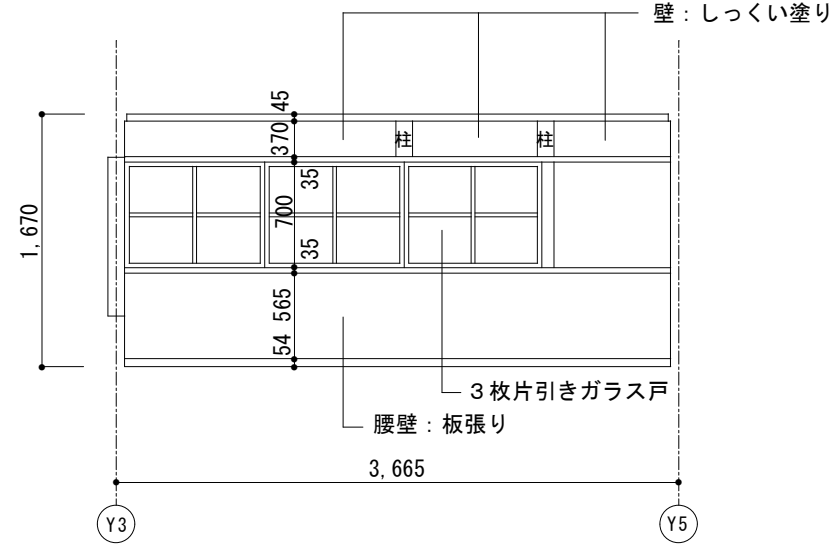
図面NO
P-22

2階座敷跡2

(C)

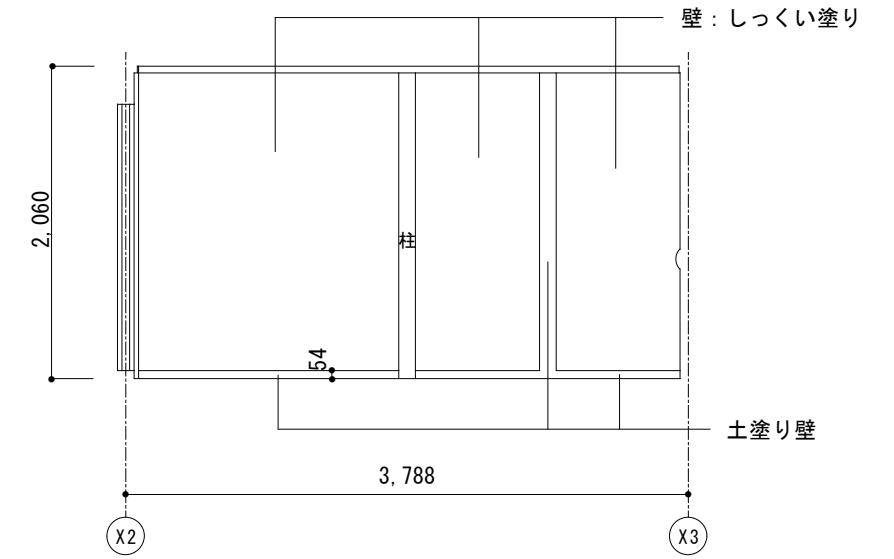


(D)

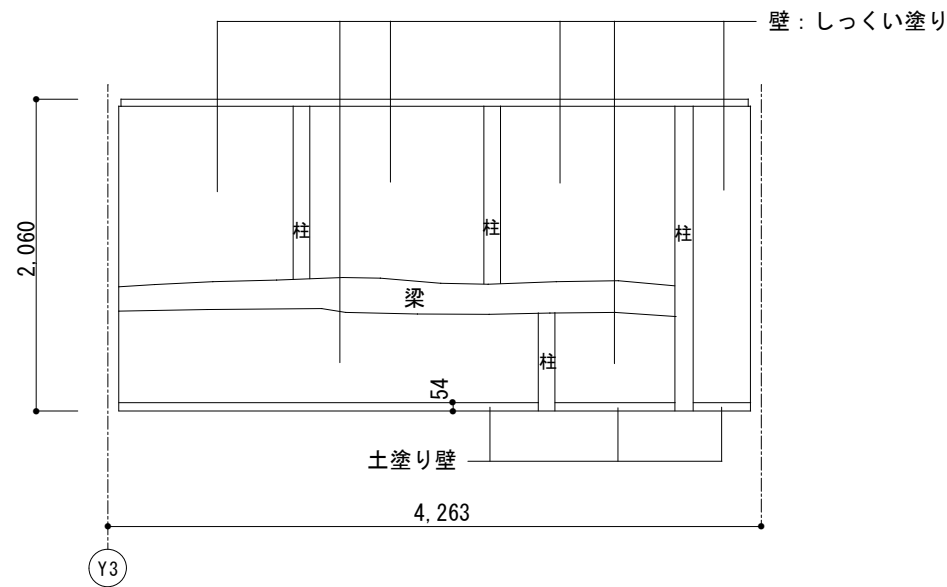


2階通路

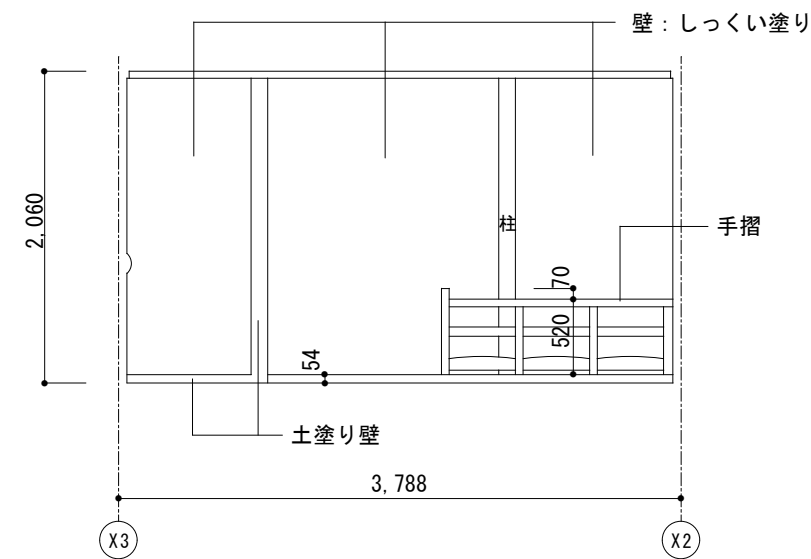
(A)



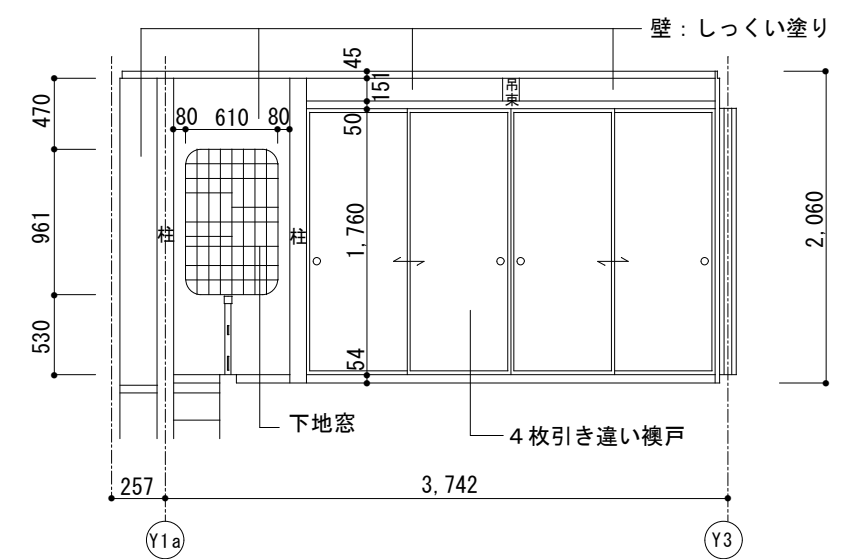
(B)

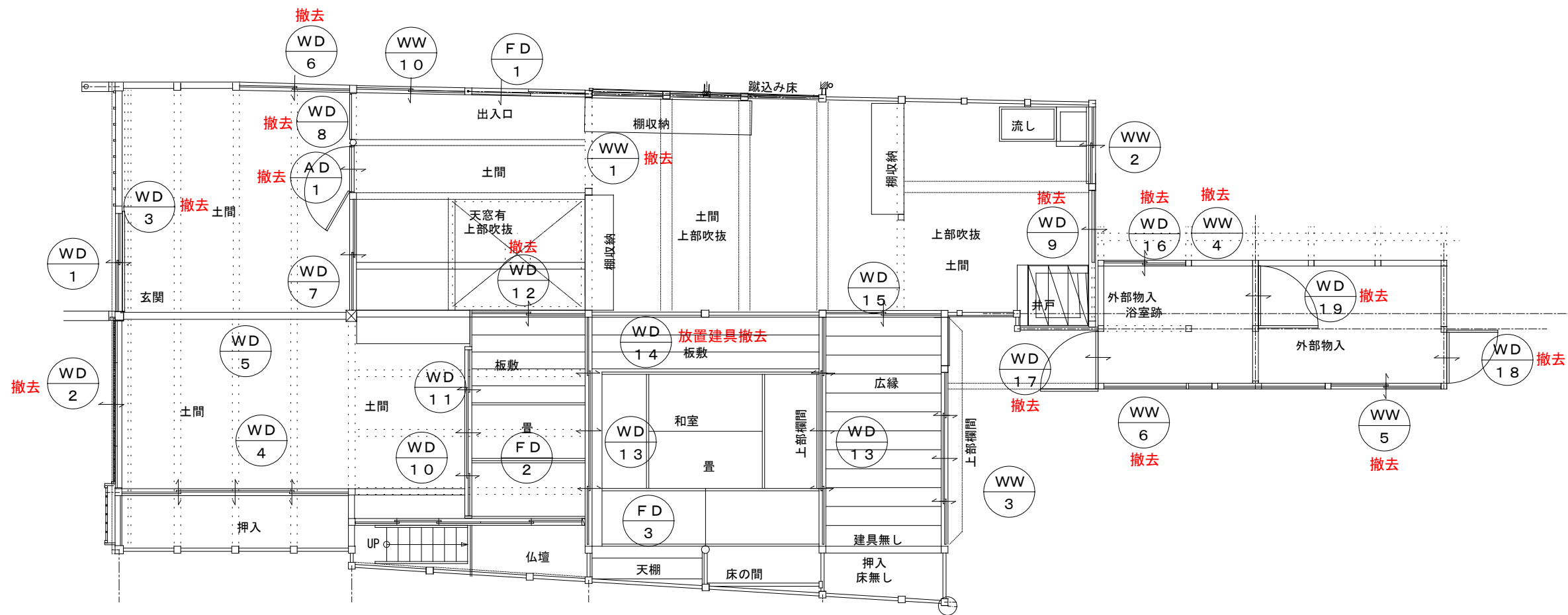
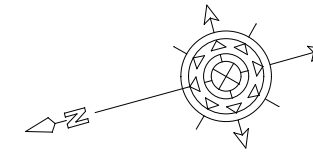
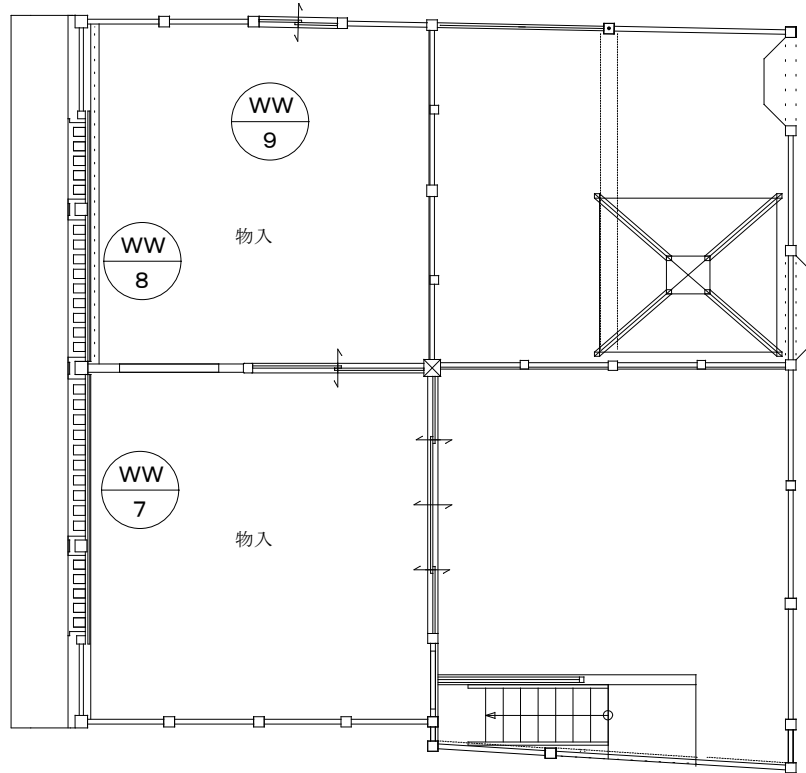


(C)



(D)



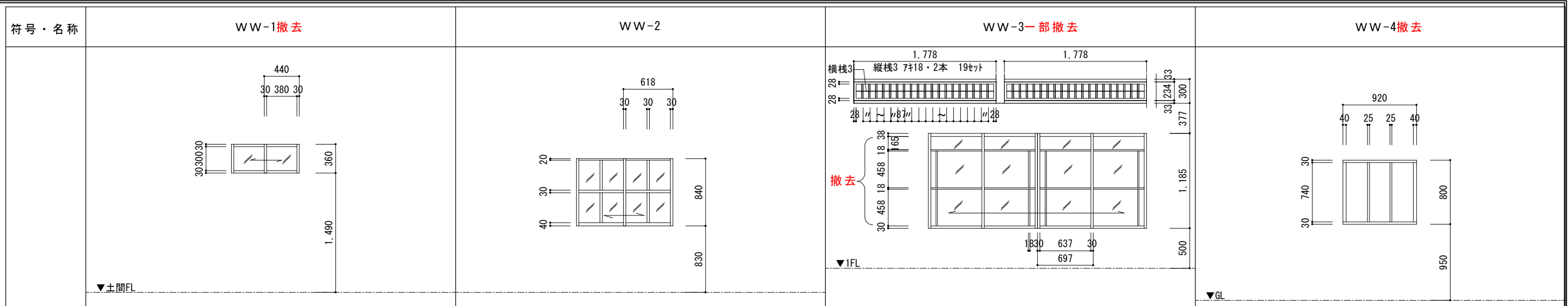


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状建具表キープラン	1/80	P-24

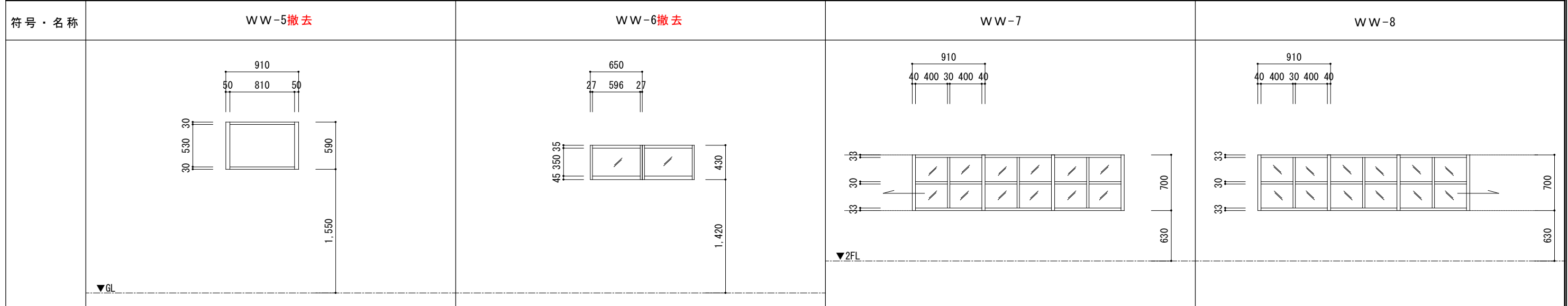
符号・名称	WD-1 (外)	WD-1 (内)	WD-2 (外) 改修	WD-2 (内) 撤去
状況	格子(既設)	ガラス格子 引違い戸(既設)	ガラス格子 折戸(既設)	ガラス格子 折戸(既設)
使用場所	玄関(外側)	玄関(内側)	土間(外側)	土間(内側)
符号・名称	WD-3撤去	WD-4	転用 WD-5	WD-6撤去
状況	板戸 引戸(既設)	板戸 4枚引違い戸(既設)	板戸 4枚引違い戸(既設)	ガラス戸 引違い戸(既設)
使用場所	玄関(内側)	押入	土間	土間
符号・名称	転用 WD-7 (北面)	WD-7 (南面)	WD-8	WD-9撤去
状況	格子 引違い戸(既設)	障子 引違い戸(既設)	木製フラッシュ戸(既設)	格子片引戸(既設)
使用場所	土間	土間	土間	土間(うら)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 現状建具表1	縮尺 1/50	図面NO P-25
		日付	日付	日付			

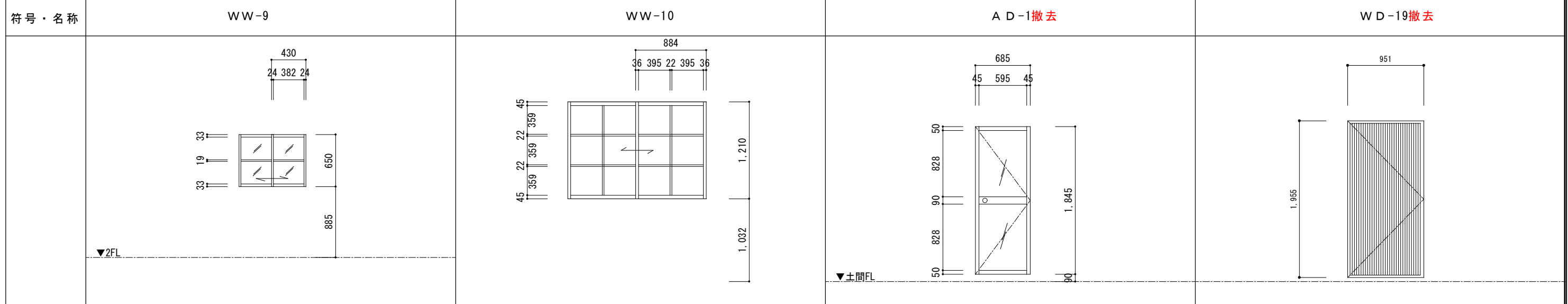
符号・名称	WD-10	WD-11転用	WD-12撤去	WD-13(8枚)
状況	格子 引違い戸(既設)	障子戸 引違い戸(既設)	板戸 引違い戸(既設)	襖障子戸 4枚引違い戸(既設)
使用場所	階段	土間—仏間	土間—仏間	和室
符号・名称	WD-14撤去	WD-15	WD-16撤去	WD-17撤去
状況	障子戸 4枚引違い戸(既設)	板戸 引違い戸(既設)	ガラス戸 引違い戸(既設)	板戸 開き戸(既設)
使用場所	和室8帖に重ねて放置	広縁	外部物入	外部物入
符号・名称	WD-18撤去	FD-1	FD-2	FD-3
状況	板戸 開き戸(既設)	襖戸 引戸(既設)	襖戸 引違い戸(既設)	襖戸 4枚引違い戸(既設)
使用場所	外部物入	土間	仏間	天棚



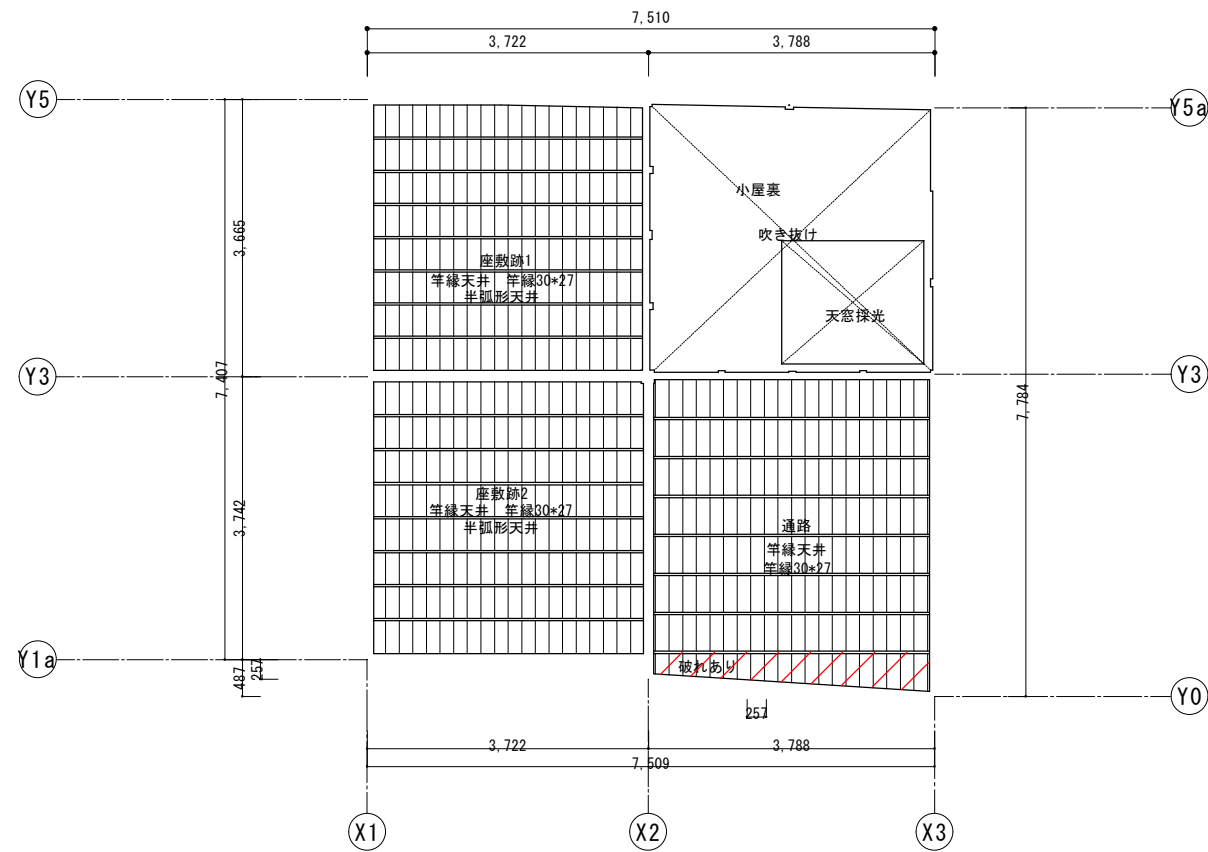
状況	ガラス戸 引違い戸 (既設)	ガラス戸 引違い戸 (既設)	ガラス戸 4枚引違い戸 (既設)	ビニール戸 はめころし戸 (既設)
使用場所	土間	土間	広縁	外部物入



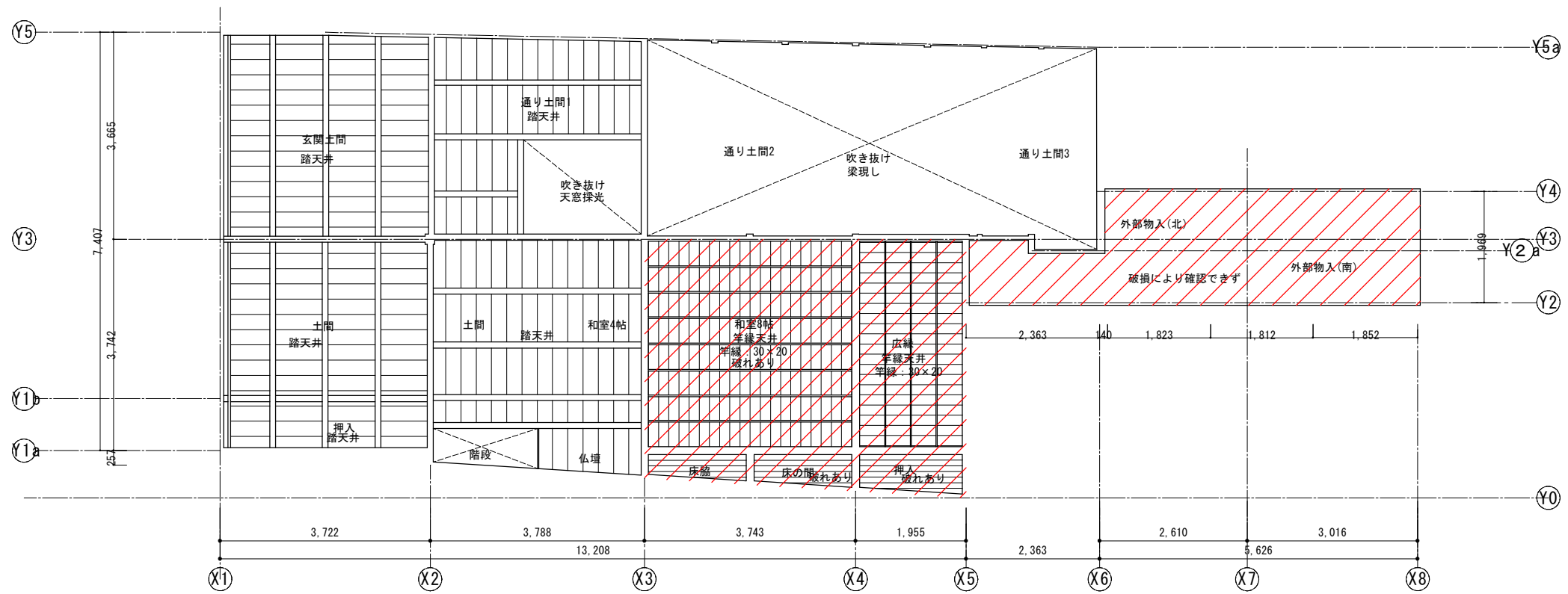
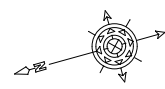
状況	ビニール戸 はめころし戸 (既設)	ビニール戸 はめころし戸 (既設)	ガラス戸 3枚引戸 (既設)	ガラス戸 3枚引戸 (既設)
使用場所	外部物入	外部物入	物入	物入



状況	ガラス戸 引違い戸 (既設)	ガラス戸 引違い戸 (既設)	アルミ戸 開き戸 (既設)	板戸 開き戸 (既設)
使用場所	物入	土間	土間	外部物入



二階天井伏図

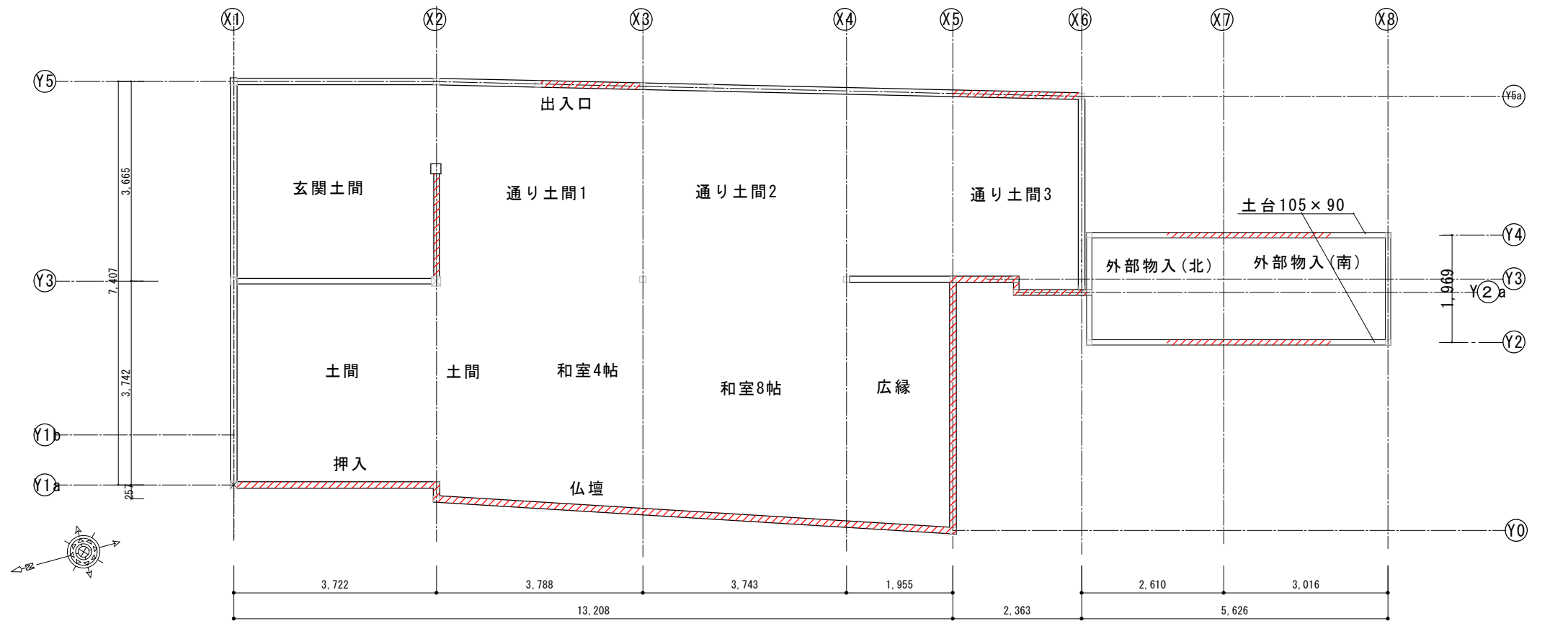


一階天井伏図

凡例

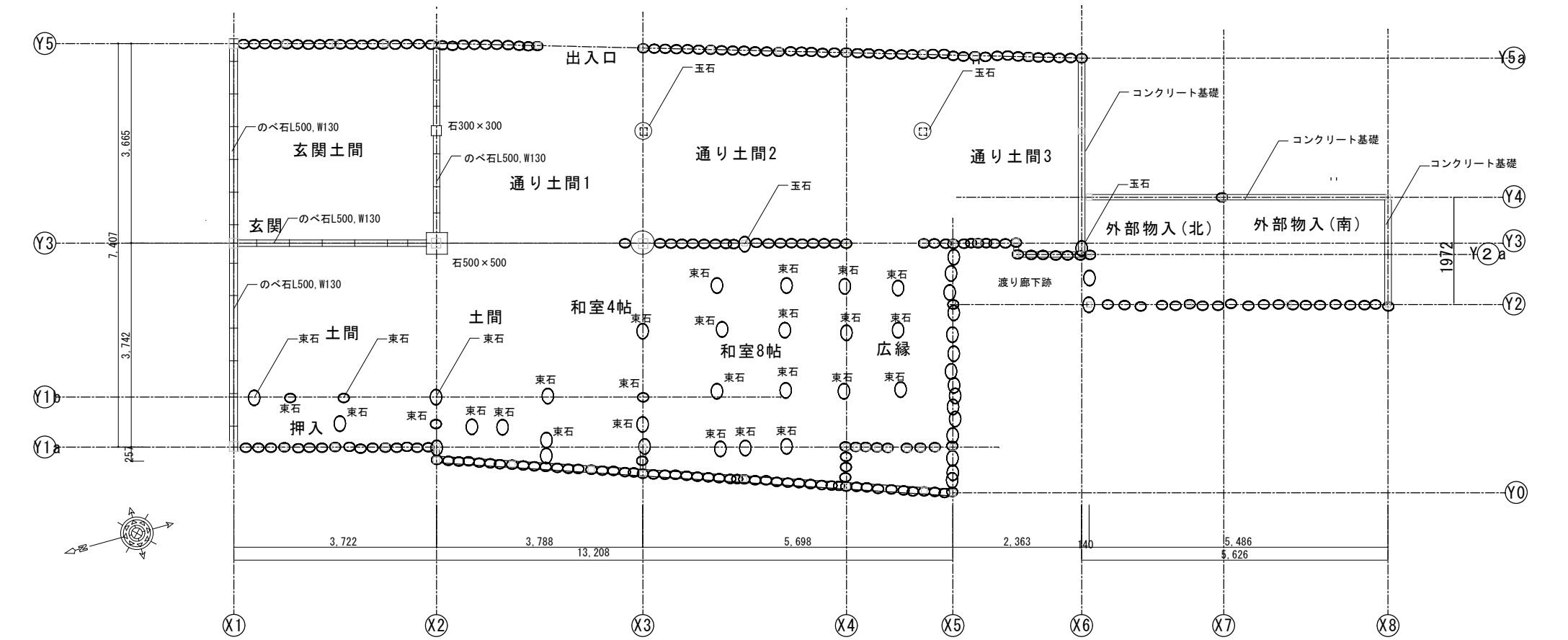
破損部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状天井伏図	1/100	P-29



土台伏図

※土台特記なし部分120×90

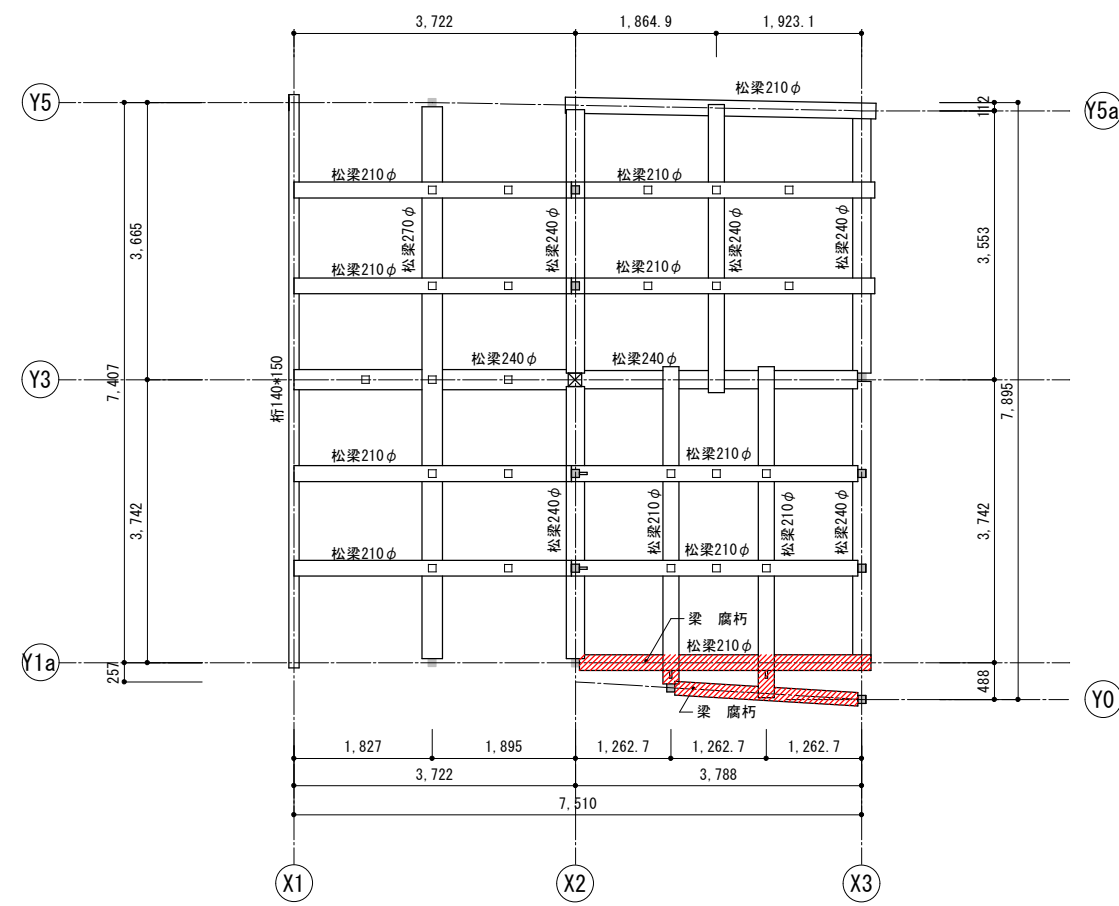
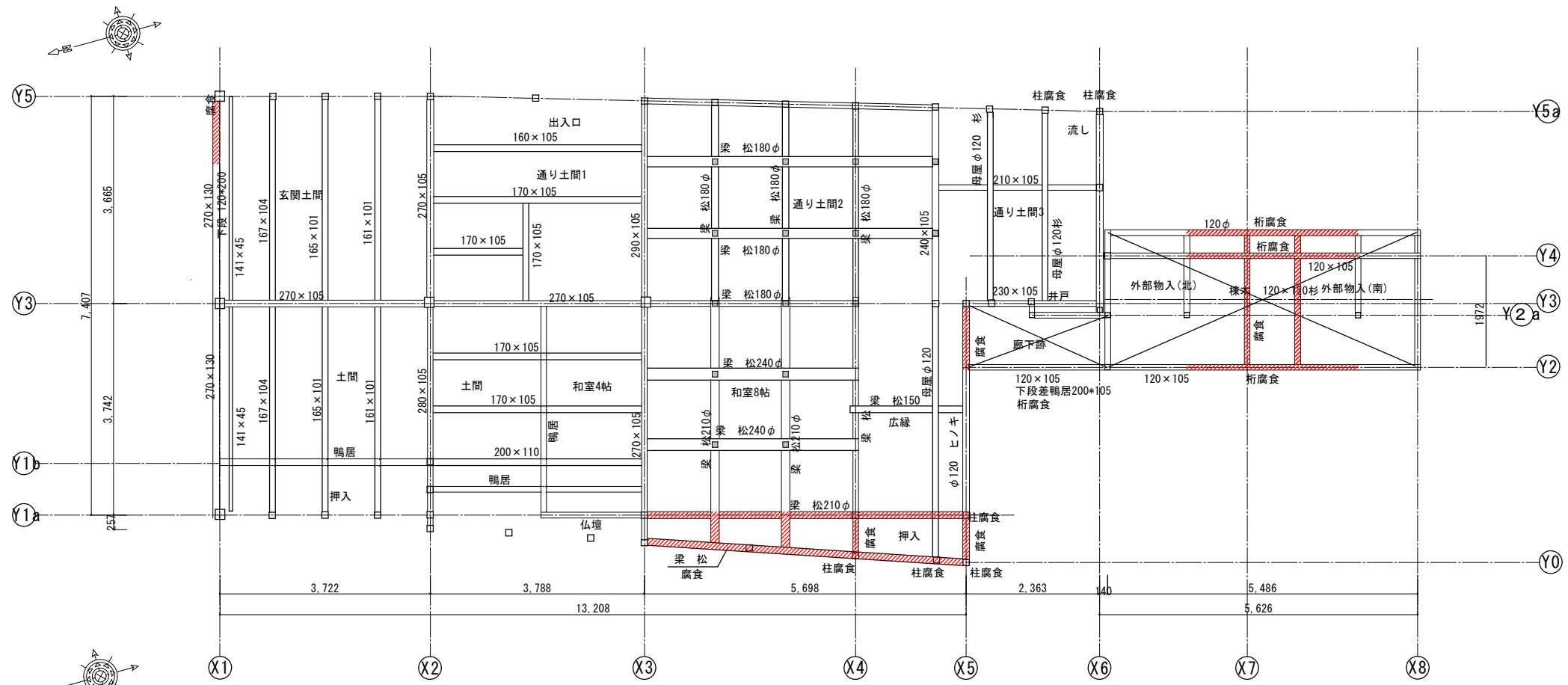


基礎伏図

凡例

腐朽部分撤去を示す。

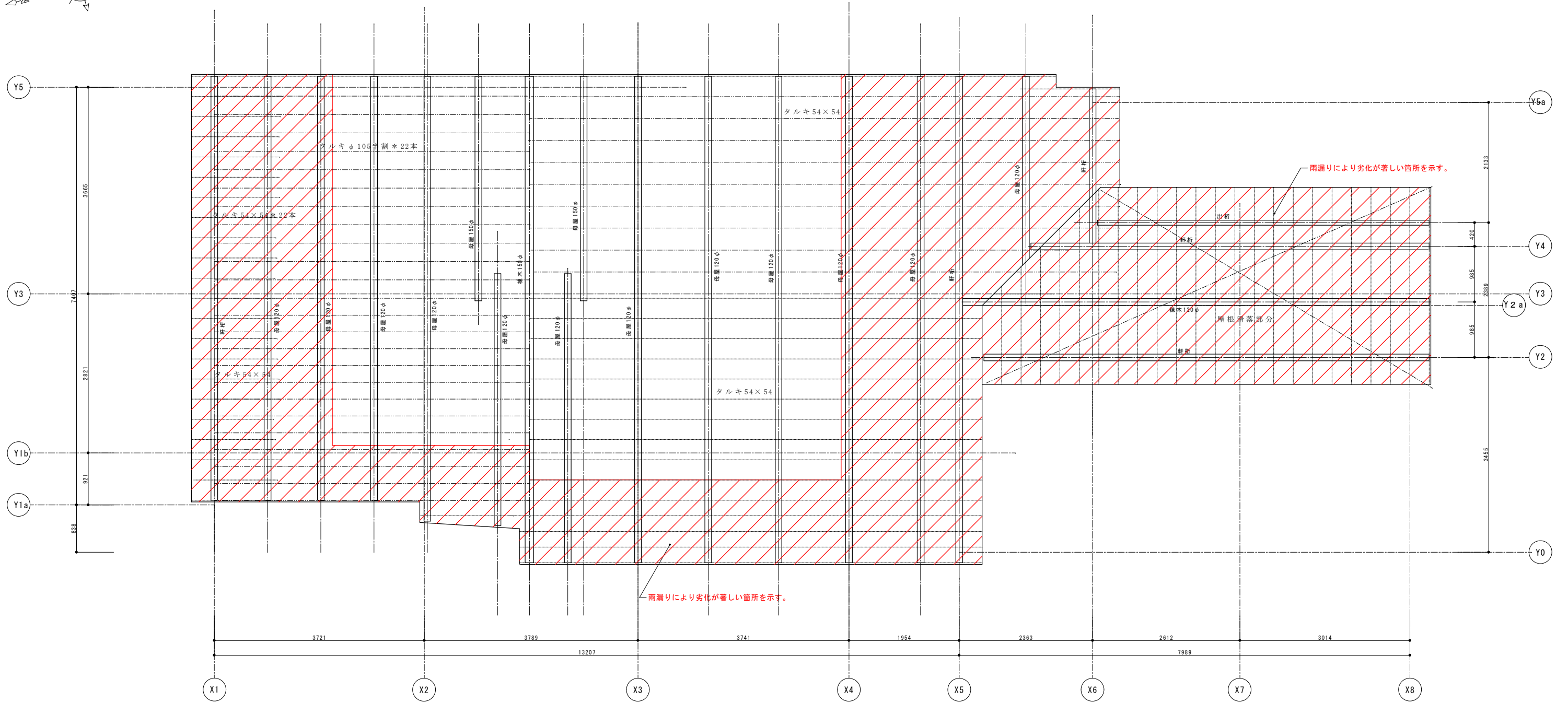
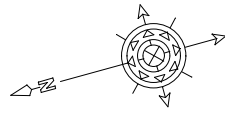
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状基礎、土台伏図	1/100	P-30




凡例

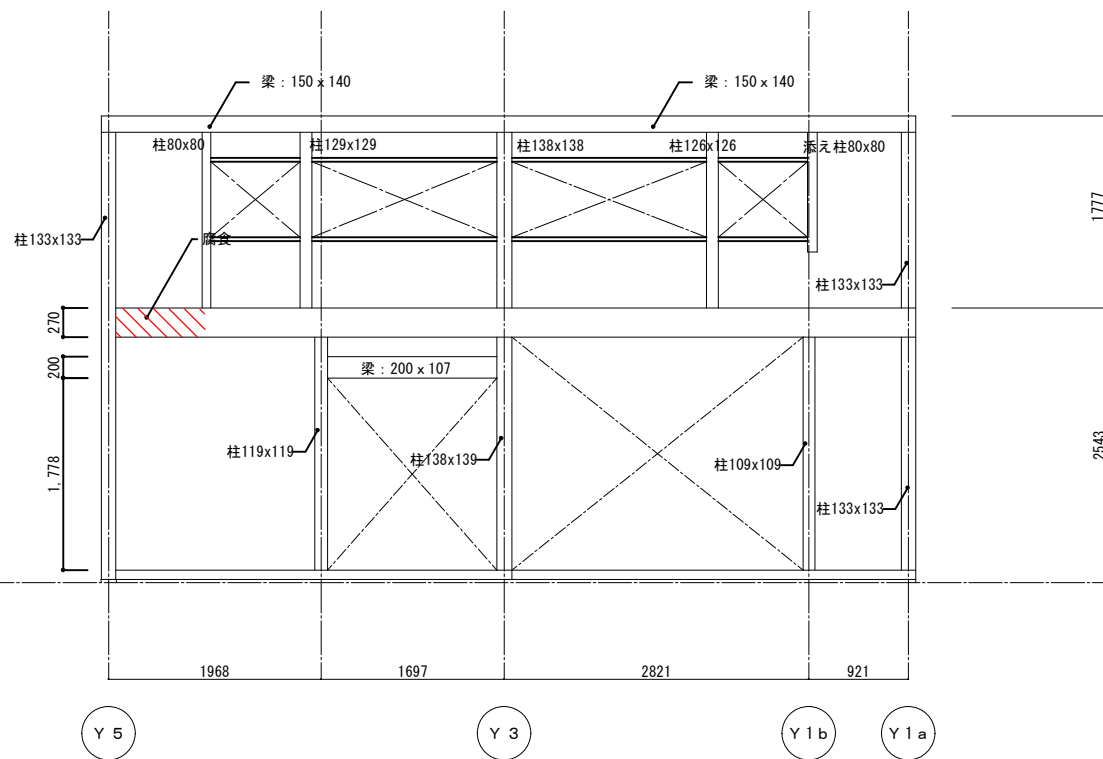
▨ 桁、梁腐朽部分撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状梁伏図	1/100	P-31

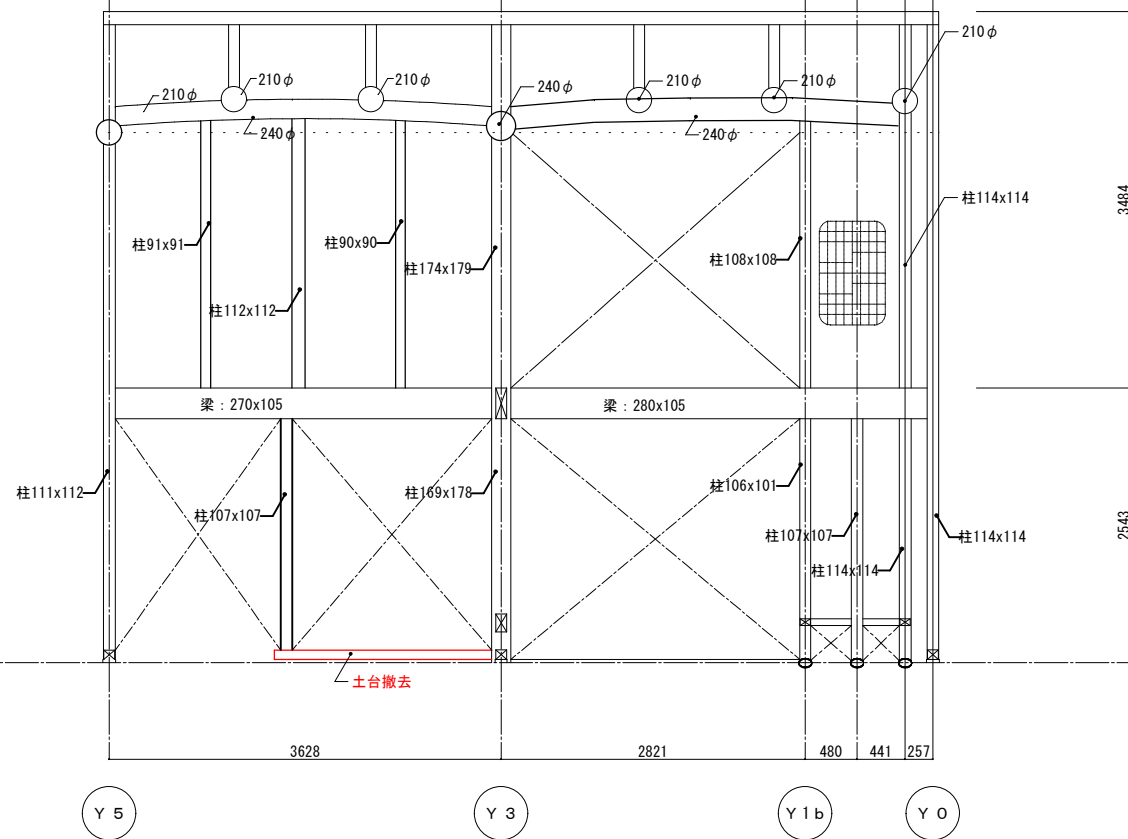


 解体撤去部分を示す。
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

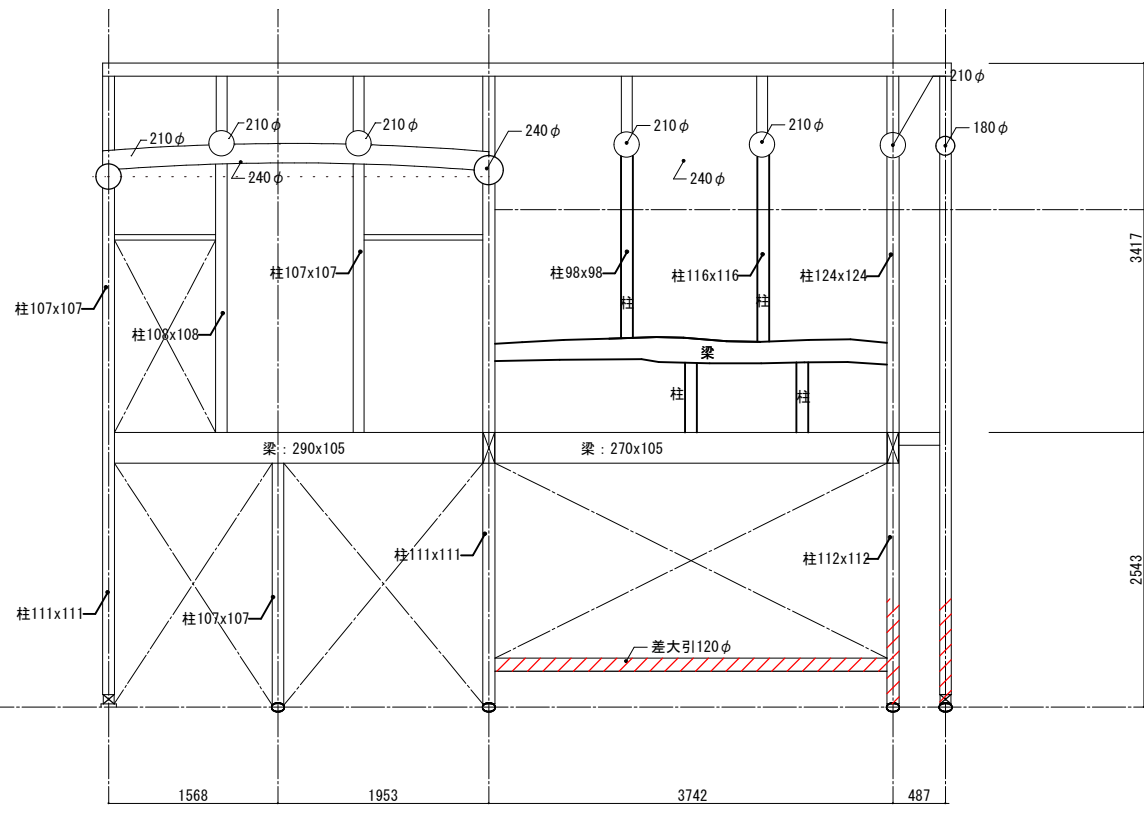
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 現状屋根伏図	縮尺 1/100	図面NO P-32
		日付	日付	日付			



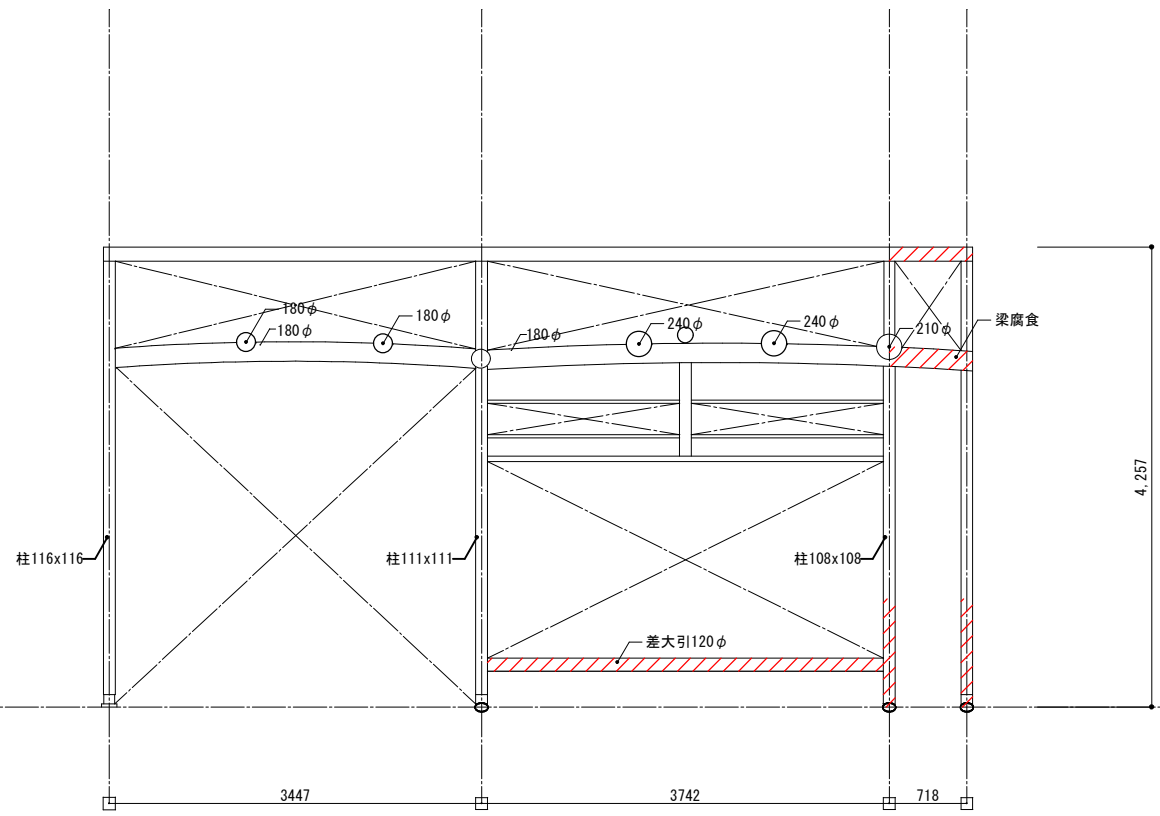
X 1 通り



X 2 通り



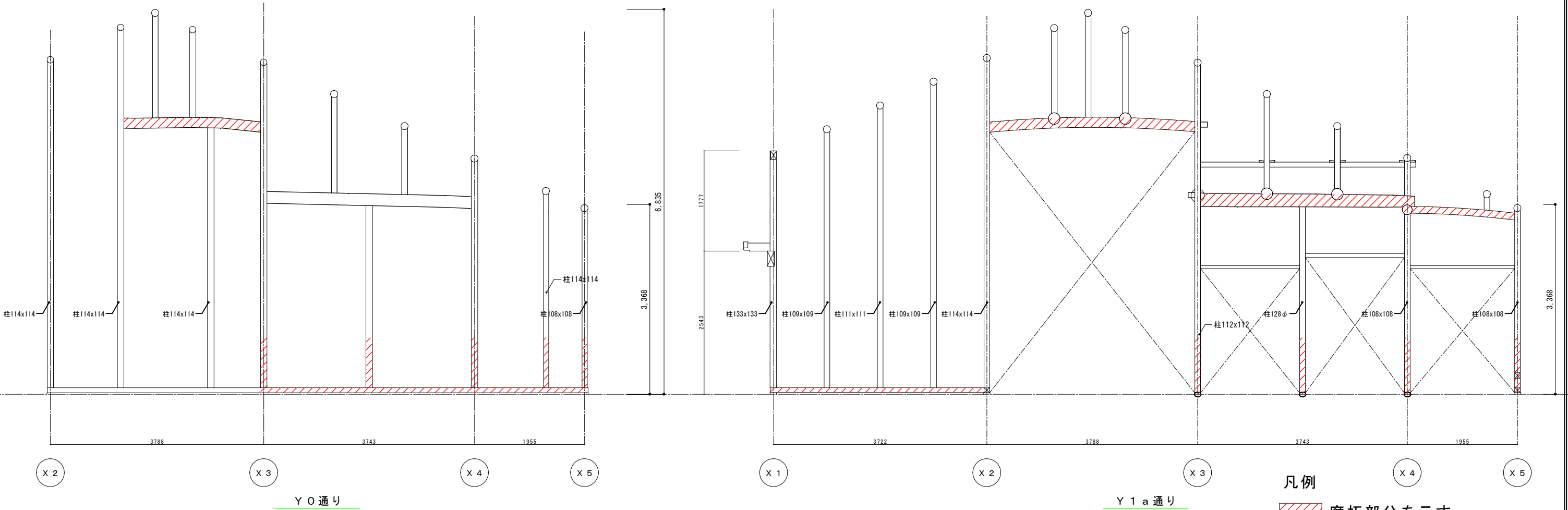
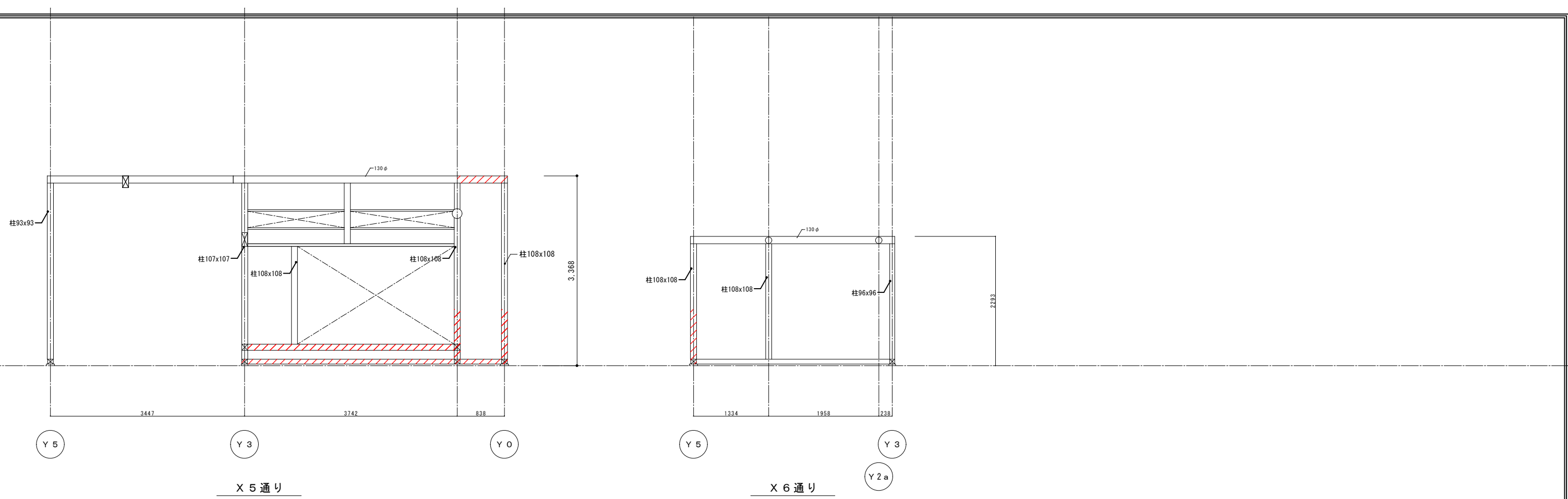
X 3 通り



X 4 通り

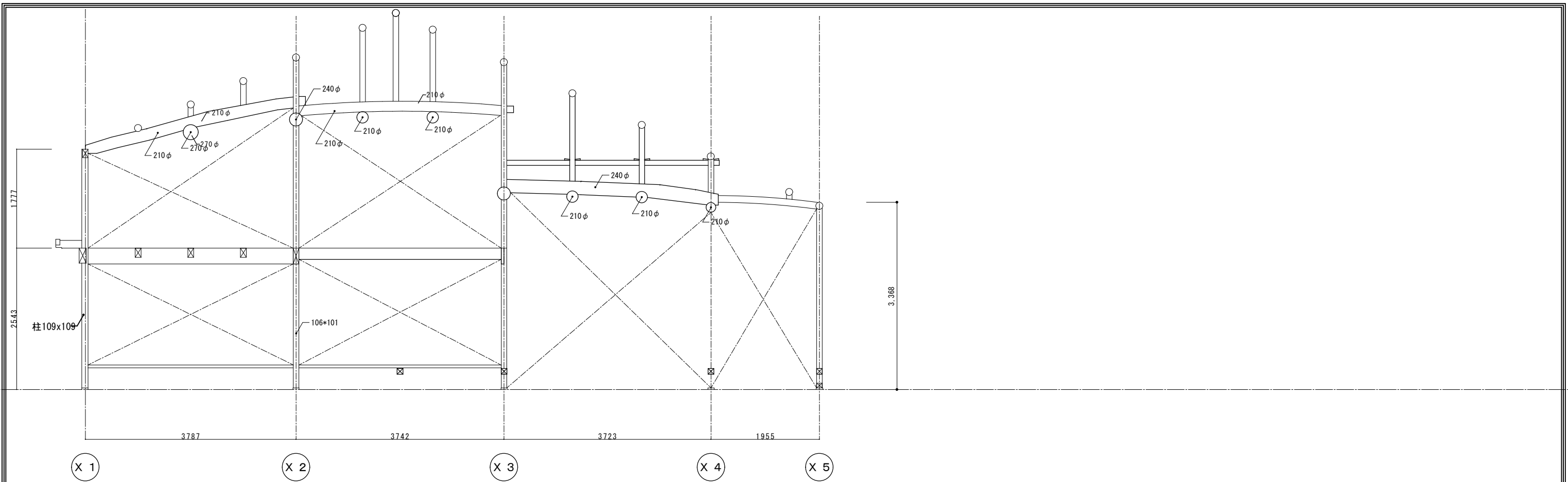
凡例
 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状軸組図1	1/70	P-33

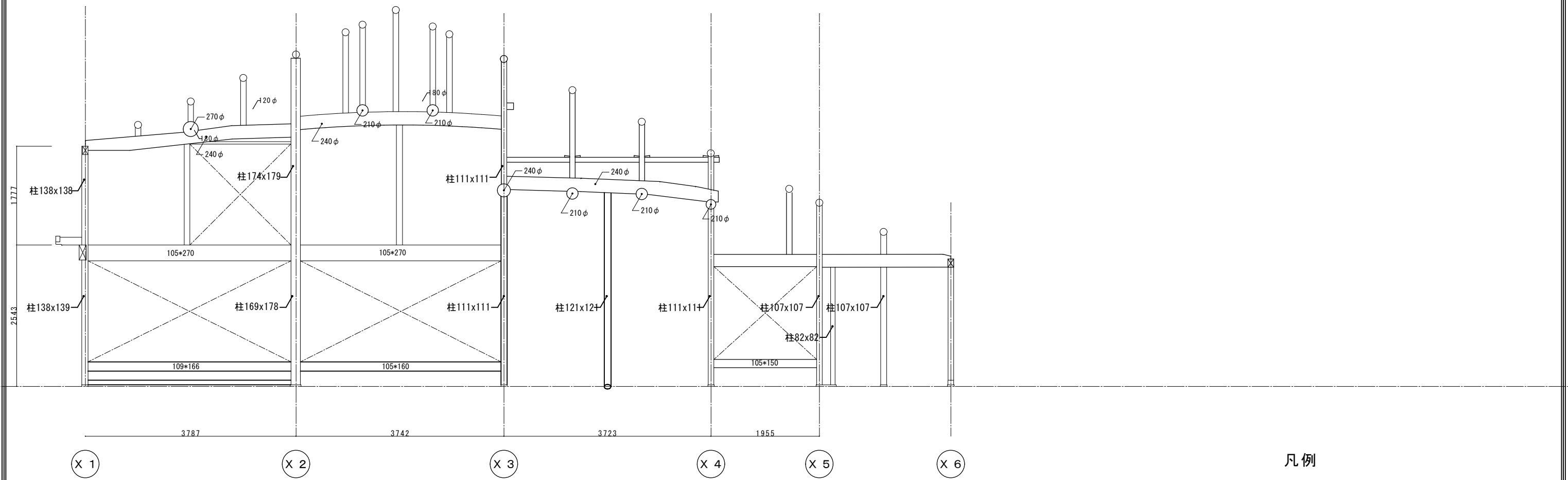


凡例 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状軸組図2	1/70	P-34




Y 1 b 通り

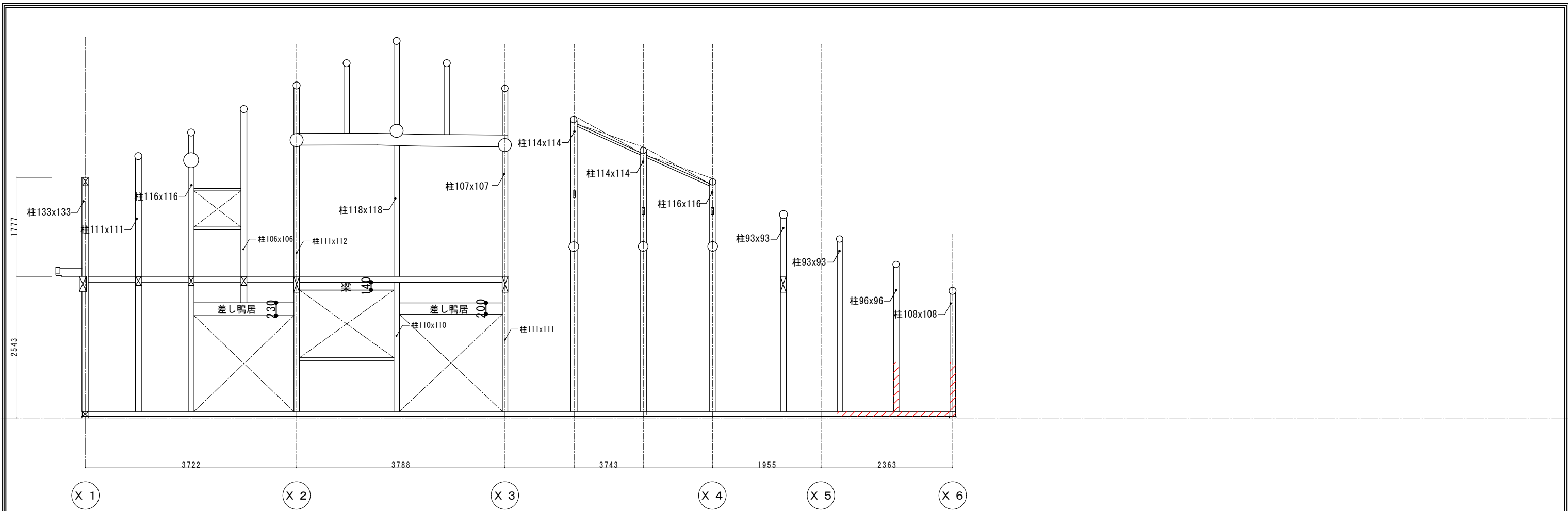


Y 3 通り

凡例


 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 現状軸組図3	縮尺 1/70	図面NO P-35
		日付	日付	日付			

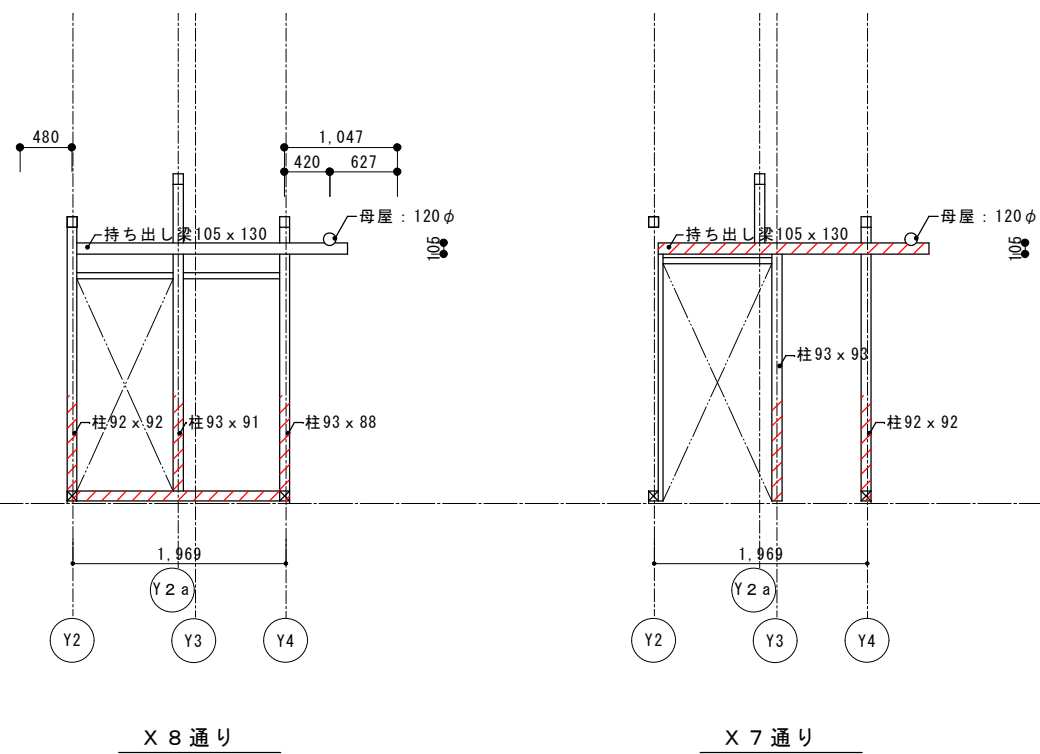
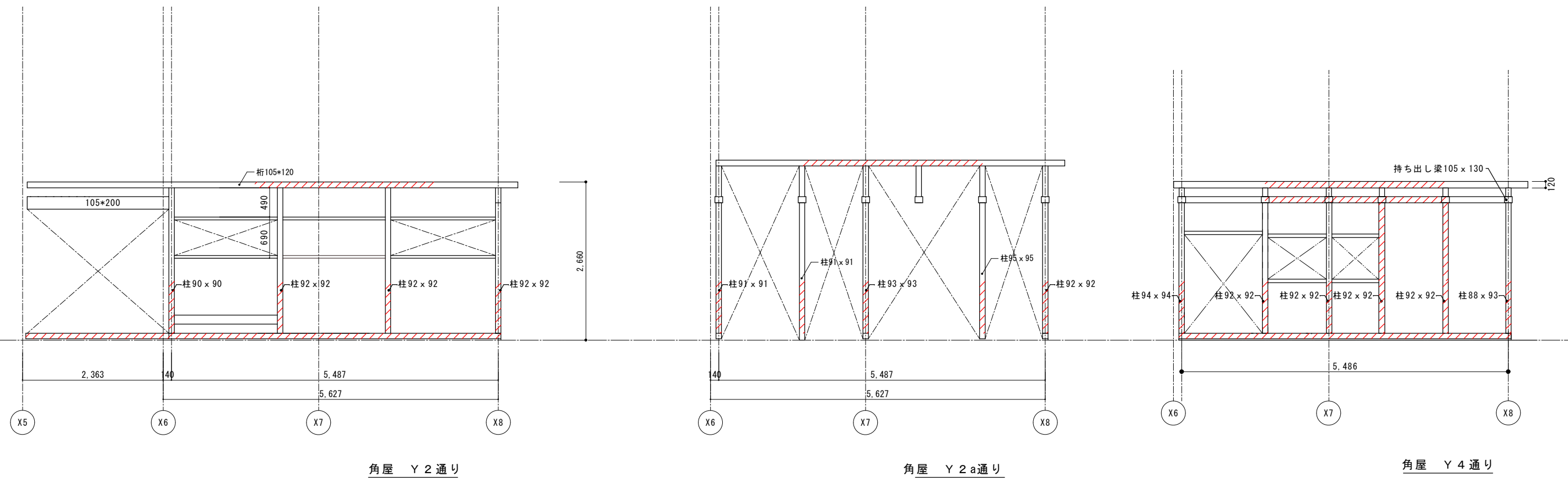



Y 5 通り

凡例

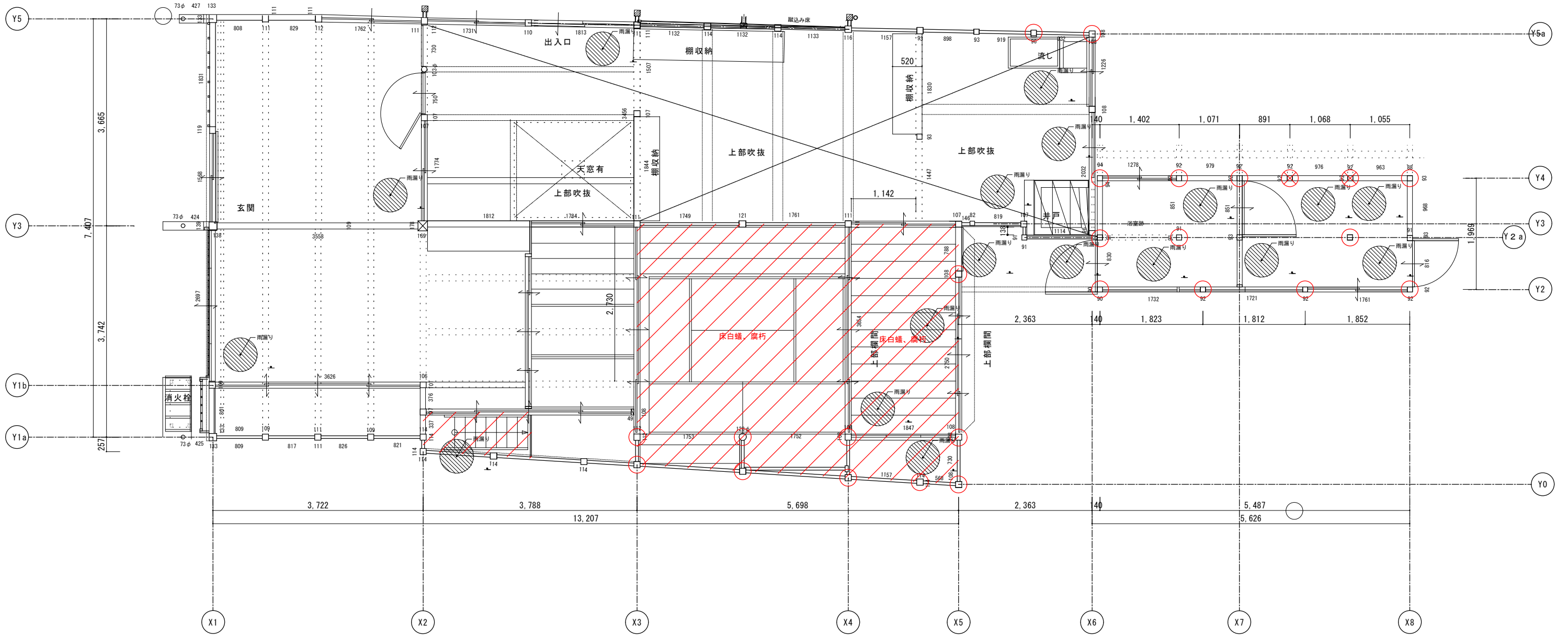
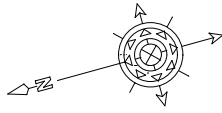
 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状軸組図4	1/70	P-36



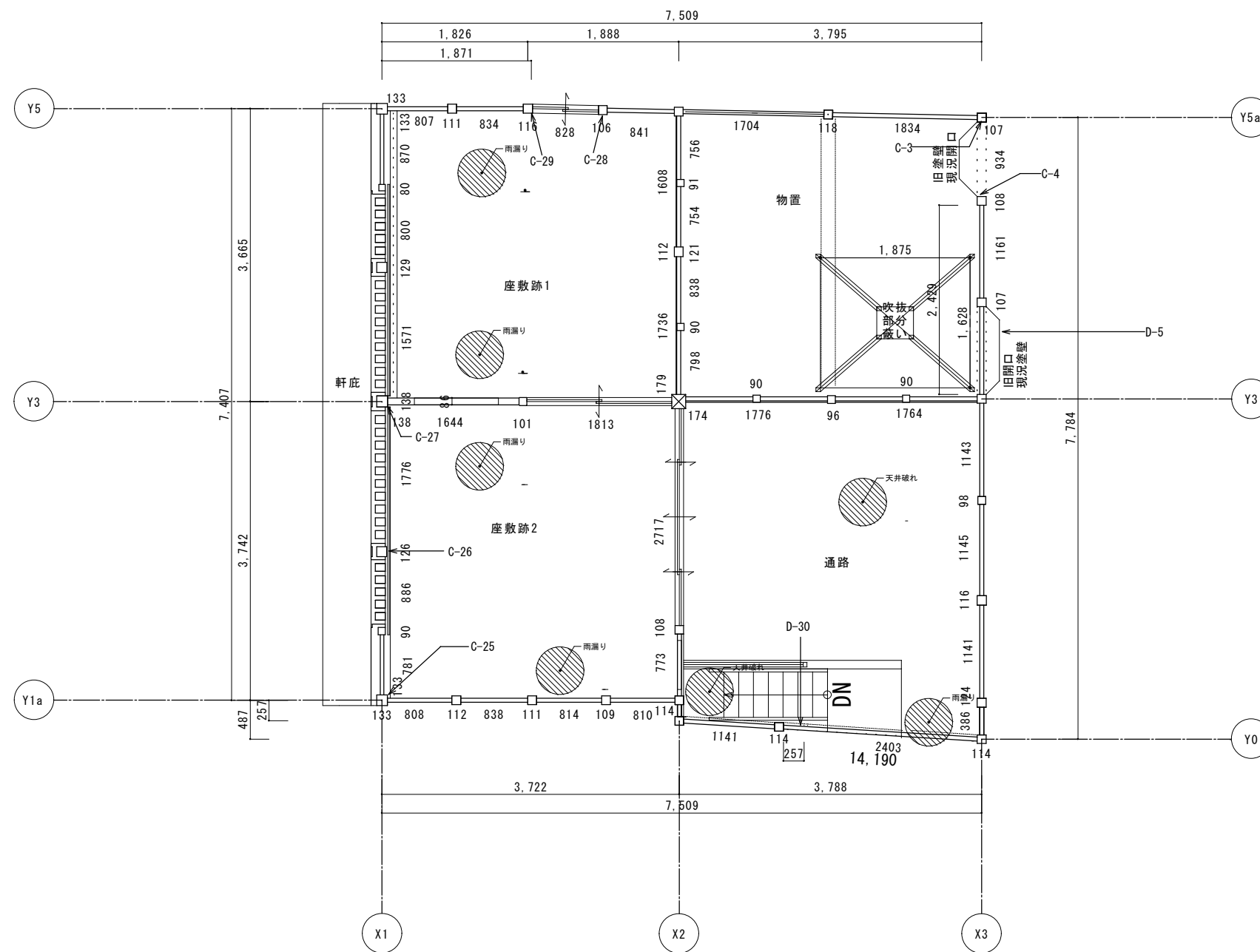
凡例
 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状軸組図5	1/70	P-37






- 凡例
- 柱腐朽を示す。
 - 柱脚腐朽を示す。
 - 白蟻、腐朽、その他劣化を示す。

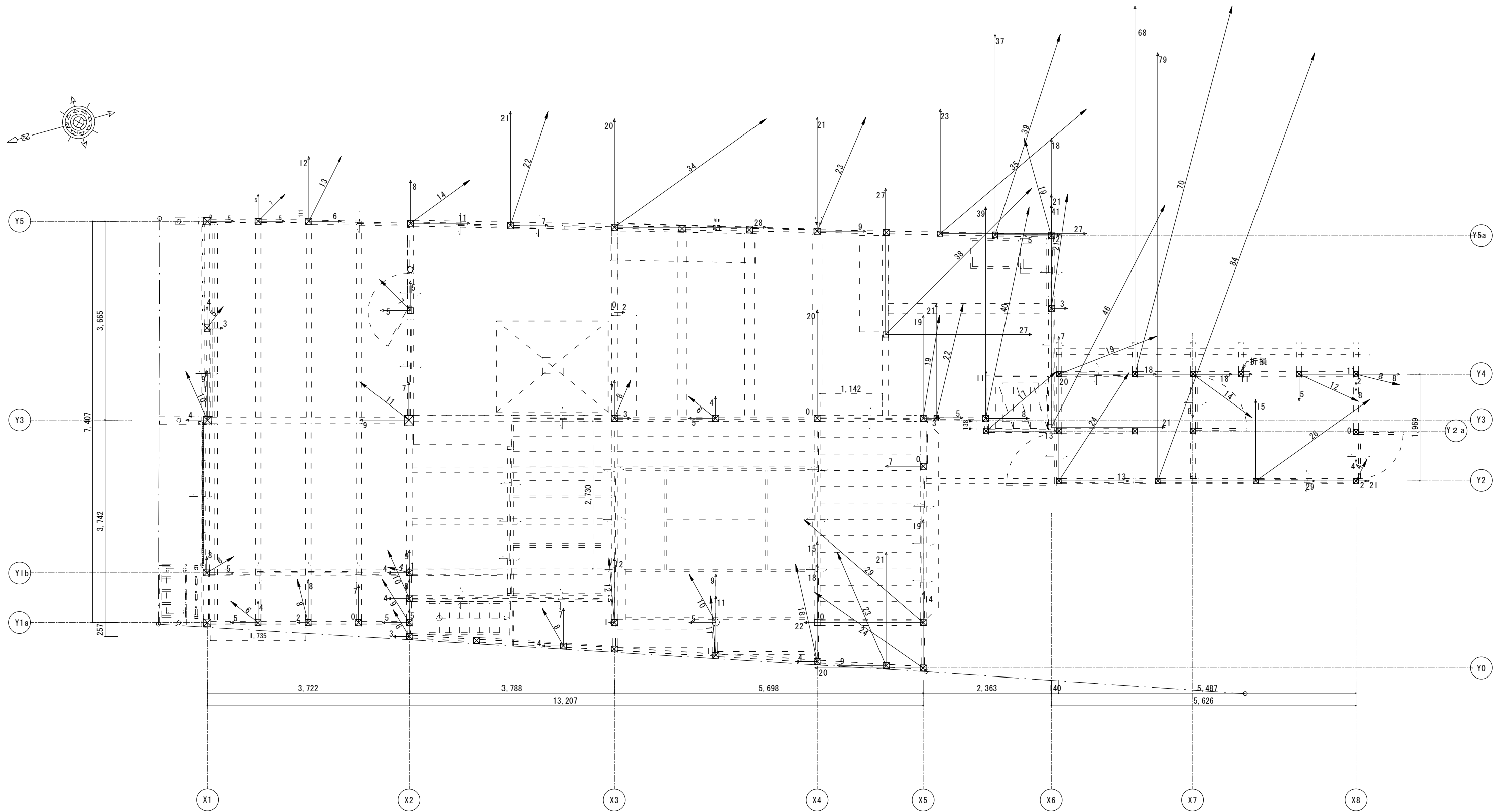
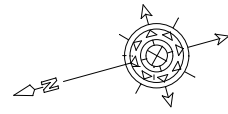
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状一階劣化平面図	1/70	P-38



凡例

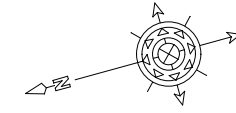
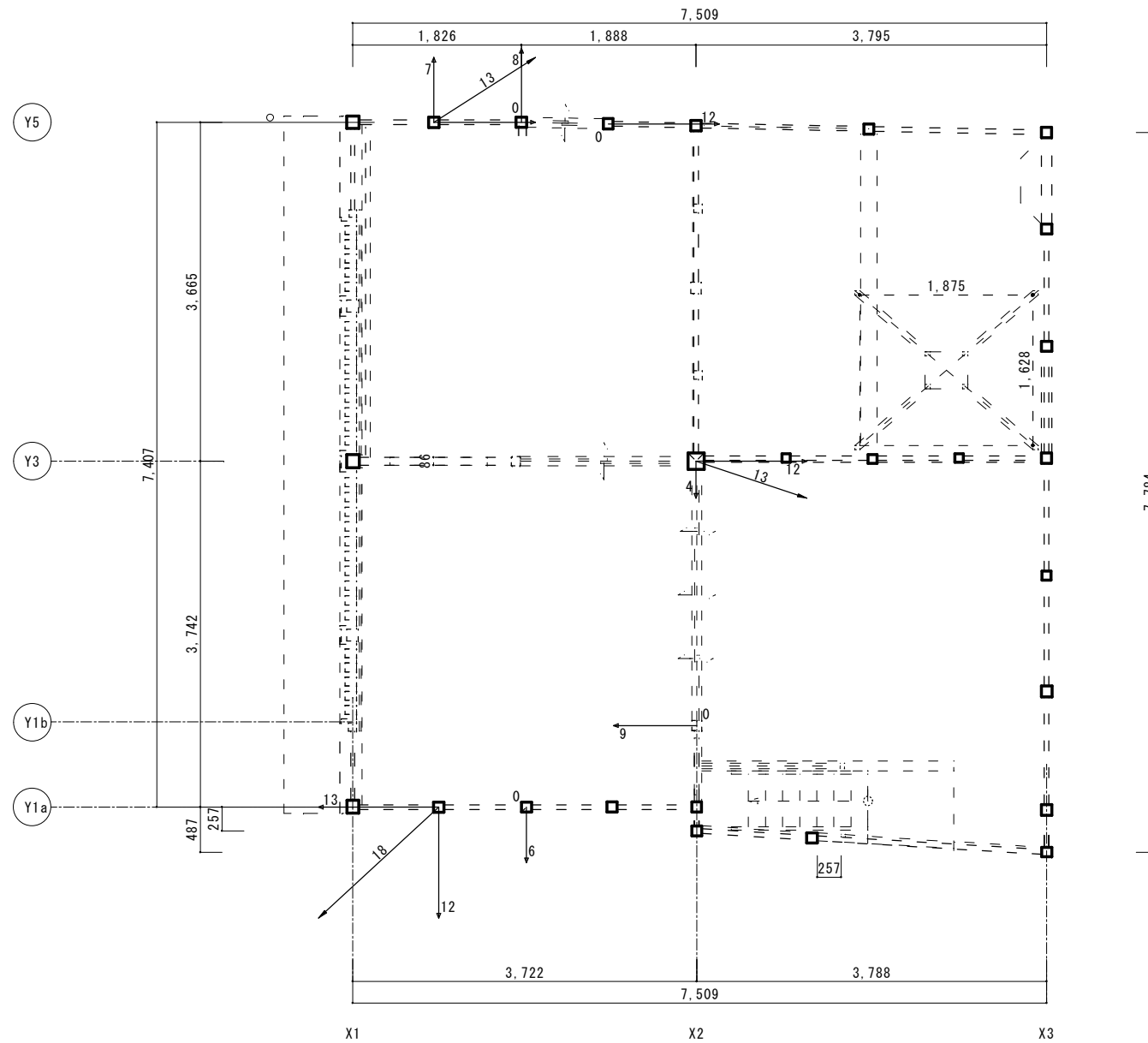
-  柱腐朽を示す。
-  柱脚腐朽を示す。
-  白蟻、腐朽、その他劣化を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階劣化平面図	1/70	P-39



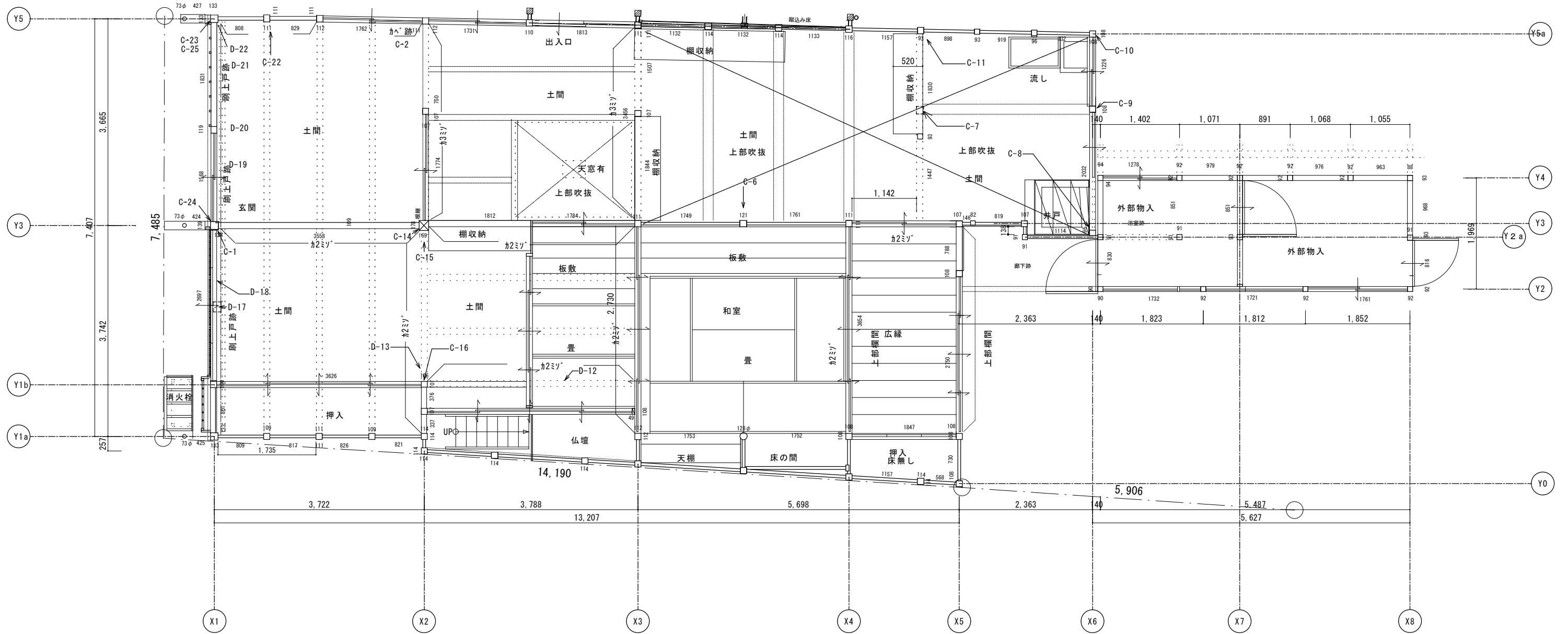
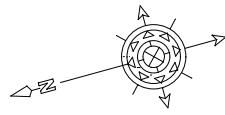
凡例 ← 柱の傾斜、向きを示す。 単位はmm/m	不陸、傾斜調整について 不陸調整目標数値は±10mm 柱の傾斜調整は目標数値±5mm/m 目標数値の達成が困難な場合は、監督員と協議をすること。
---------------------------------------	--

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状一階柱傾き図	1/70	P-40

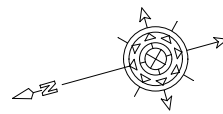
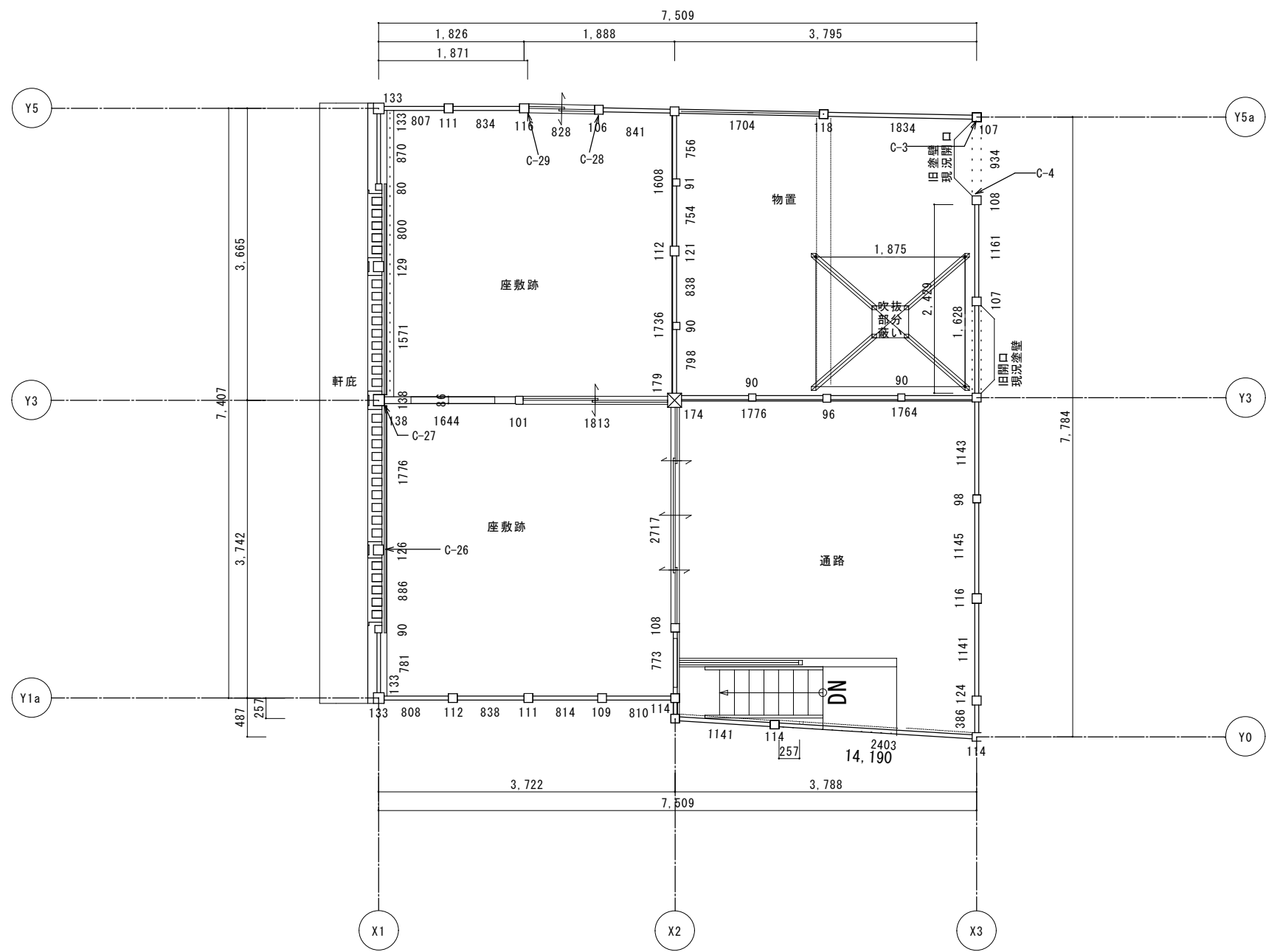


凡例	不陸 傾斜調整について
← 柱の傾斜、向きを示す。 単位はmm/m	不陸調整目標数値は±10mm 柱の傾斜調整は目標数値±5mm/m 目標数値の達成が困難な場合は、監督員と協議をすること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階柱傾き図	1/70	P-41



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状一階痕跡平面図	縮尺 1/70	図面NO P-42
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階痕跡平面図	1/70	P-43

工事特記仕様書	
I. 工事名	関の山車会館管理・展示棟改修工事
II. 工事概要	
1. 工事場所	三重県亀山市関町 木崎地内
2. 敷地面積	1091.48㎡
3. 工事内容	改修工事
様名称	関の山車会館管理・展示棟
構造	木造2階建
建築面積	123.71㎡
延床面積	1階123.71㎡、2階53.66㎡ 計 177.37㎡
工事項目	建築工事
III. 建築工事仕様	
1. 共通仕様	<p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書(平成28年版)」（以下「木造仕様」という。）及び公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」平成28年度版）（以下、標準仕様書という。）、公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」築工事編」平成28年度版）（以下、改修標準仕様書という。）による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し※印の付いたものは適用しない。 使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。 項目に記載の() 内番号は標準仕様書の該当項目、図又は表を示す。 項目に記載の< > 内番号は木造仕様書の該当項目、図又は表を示す。
表 項 目	特 記 事 項
① ① 適用基準等	※ 本特記事項に個別の記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。 ※ 建築工事標準詳細図 (平成28年版)
② 工事実績情報の登録等 (1.1.4)	<p>○ 請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事について、(財)日本建設情報総合センター工事実績情報サービス(以下「JACIG」)が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。</p> <p>データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、契約締結後10日以内にJACIGに対し登録申請を行い、JACIGから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、登録内容の変更時においては、変更契約締結後10日以内に、完成時には、工事完成後10日以内にJACIGに登録申請しなければならない。</p> <p>なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。</p> <p>ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。</p> <p>○ 請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に關し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書(第9号様式)を監督員に提出しなければならない。</p> <p>○ 請負者は、工事を施工するために締結した下請契約の請負代金額(当該下請契約が2以上ある時は、それらの金額の総額)にかかわらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えと共、別に定める様式により、監督員に提出しなければならない。</p> <p>○ 請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。</p>
③ 養生材の処理等 (1.3.8)	<p>・ 引渡しを要するもの()</p> <p>・ 特別管理産業廃棄物 ※有()</p> <p>処理方法()</p> <p>・ 現場において再利用を図るもの()</p> <p>・ 再生資材の利用を図るもの</p> <p>○ アスファルトコンクリート塊</p> <p>○ セメントコンクリート塊</p> <p>・ 建設発生木材</p> <p>・ 引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。</p> <p>○ 引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令よるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。 (マニフェスト A、B2、D票を提示し、E票は、写しを提出すること。)</p>

4 建設副産物情報交換システムの利用	<p>※ 工事者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、は、工事着工前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出すること。</p> <p>また、工事完了後にはJACIGが運用する「建設副産物情報交換システム」へ実績報告を行うこと。</p>																																			
5 三重県産業廃棄物税	<p>※ 本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、請負者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を送付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理累計表を(マニフェストの数量の累計)を越えて請求することはできない。</p>																																			
6 概成工期	<p>※ 建築物等の使用を想定して総合試験運転を行ううえで、関連工事を含めた各工事が支障のない状態にまで完了していること。</p>																																			
7 電気保安技術者 (1.3.3)	※ 適用する																																			
8 技能士 (1.5.2)	※ 職種別に可能なものについては積極的に活用すること。																																			
9 建築材料等	<p>※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿」及び別記記載の資材及び見積メーカー(参考)又はこれらと同等とする。</p> <p>品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。</p> <p>また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、「みえ・グリーン購入基本指針」に基づく環境配慮を行うこと。</p> <p>(同指針に基づき、木材を使用する場合において、原料として使用される原木は、県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採にあたって生産された園における森林に関する法令に照らして合法な木材とする。)</p> <p>※ 本工事に使用する木材は、原則として亀山市内の森林から産出された「地域材」を使用し、調達できない場合は県産材の順に利用するものとする。</p> <p>※ 亀山市で生育及び伐採された原木(以下「亀山市産材」)が多く活用され、所定の品質が確保されることを目的とする。(「三重の木認証材」)</p> <p>※ 請負者(木材供給業者)は、建築物及び工作物に使用する木材について、設計図書に特別の定めがある場合を除き、「亀山市産材」を調達するものとする。</p> <p>※ 請負者(木材供給業者)は、「亀山市産材」以外の木材を調達しなければならない場合は、その木材の調達理由が明確に判る資料を提出して、監督員とその使用について協議し承諾を得るものとする。</p> <p>※ 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。</p> <p>保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散の少ないものとする。</p> <p>接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。</p> <p>塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が少ないものとする。</p> <p>これらの建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散の少ないものとする。</p>																																			
10 リサイクル認定製品の利用	<p>※ 本工事では三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合は監督員と協議すること。</p>																																			
11 施工中の安全管理	<p>※ 接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外へ放出させること。</p>																																			
12 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>※ 測定物質(○で示したものとす。)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>エチルベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> </tr> <tr> <td>施設用途</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>学校、教育施設</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>住宅</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>※ 測定箇所(・ 図示 ○ 監督員と協議の上決定する。)</p> <p>※ 測定方法(※ バッソフ法 ・ アクティブ法)</p> <p>※ 試料は、内装工完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試験運転が終了してから採取することとし、困難な場合は監督員と協議すること。</p> <p>※ 報告書提出部数 2部</p>	適用	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン	施設用途	○	○	○	○	○	○	学校、教育施設	○	○	○	○	○	○	住宅	○	○	○	○	○	○	その他	○	○	○	○	○	○
適用	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																														
施設用途	○	○	○	○	○	○																														
学校、教育施設	○	○	○	○	○	○																														
住宅	○	○	○	○	○	○																														
その他	○	○	○	○	○	○																														

15 特別な材料の工法	<p>※ 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。</p>
14 騒音・振動の防止	<p>※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械を使用する。</p>
16 排出ガス対策建設機械の使用	<p>※ 排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。</p>
17 工事写真	<p>※ 工事写真の撮り方・建築、及び同/建築設備に従い撮影する。</p>
18 完成図等	<p>※ 作成する(※ 完成図 ・ 保全に関する資料)</p> <p>※ 完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等)</p> <p>なお、完成図の著作権にかかるとして使用権は発注者に移譲するものとする。</p> <p>○ CADによる作成(※ 要 ・ 不要)</p> <p>ただし、作成できない場合は監督員との協議による。</p> <p>○ CADによる提出(※ 要 ・ 不要)</p> <p>ただし、提出できない場合は監督員との協議による。</p>
19 完成写真	<p>※ デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚)</p> <p>○ アルバム 1部 (大きさ 335mm×290mm程度)</p> <p>※ 箇所数は 外観4面 各室2面 程度とする。</p> <p>規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。</p>
20 電子納品	<p>※ 工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。(提出部数 ※ 2部 ・ 部)</p> <p>※ 工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル(工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。(提出部数 ※ 2部 ・ 部)</p>
21 設備工事の取合い	<p>施工範囲</p> <p>※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強</p> <p>※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強</p> <p>※ 駆動装置又は電動建具等による建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工</p> <p>※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。</p>
22 設計GL	<p>※ 図示のベンチマーク(B.M) ・ 既設床り廊下 FL=100 (現状地盤は B.M mm)</p>
23 養生その他	<p>工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。</p>
24 事故報告	<p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書(三重県公共工事共通仕様書第13号様式)を監督員に速やかに提出すること。</p> <p>また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。</p>
25 調査協力	<p>受注者は、発注者が行う工コンクリートに関する調査に協力すること。</p> <p>※ 調査内容については、購入先、購入価格、資材の搬入と施工に条件に關すること等。詳細は監督員と別途協議によるものとする。</p>
26 市内企業優先使用	<p>本工事に於いて、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を亀山市内に事業所(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するよう努めること。</p>
27 IS014001への協力	<p>受注者は、亀山市のIS014001に基づく環境保全活動に協力するものとする。詳細は監督員と別途協議するものとする。</p>
28 工法の提案 (1.5.8)	<p>設計図書に定められた工法以外で所要の品質及び性能の確保が可能な工法並びに環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。</p> <p>監督員より別途指示するものとする。</p>
29 提出書類	

2 ① 足場 (2.2.4)	<p>※ 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生 労働省平成15年4月策定)」により、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等の基準」による働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりとも木の機能を有する部材をあらかじめ備えられた手すり専用足場型とするか、または、改善措置機材を用いて手すり専用足場型と同等の機能を確保するものとする。</p>																																																										
2 ② 監督職員事務所 (2.3.1)	<p>※ 設置する監督職員事務所の規模 (単位:㎡)</p> <table border="1"> <tr> <th>規模</th> <th colspan="2">※</th> <th colspan="2">-</th> <th colspan="2">-</th> </tr> <tr> <th>面積</th> <th>(10程度)</th> <th>(20程度)</th> <th>(35程度)</th> <th>(65程度)</th> <th>(100程度)</th> <th></th> </tr> </table> <p>監督職員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁、天井</td> <td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>溶融亜鉛めっき合板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </table> <p>備品等の設置 (2.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>機・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>組</th> <th>台</th> <th>個</th> <th>個</th> <th>個</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>長ぐつ</td> <td>雨がっぱ</td> <td>保護帽</td> <td>懐中電灯</td> <td>衣類ロッカー</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>消火器</td> <td>湯沸器</td> <td>掃除具</td> <td>請負者加入電話機</td> <td>冷蔵庫</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table> <p>構内既存の施設</p> <p>・ 利用できる ※ 利用できない</p> <p>構内既存の施設</p> <p>・ 利用できる(・ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない</p> <p>構内既存の施設</p> <p>・ 利用できる(・ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない</p> <p>※ 本工事で新規受電または既設電氣回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。</p>	規模	※		-		-		面積	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)		部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗	屋根	溶融亜鉛めっき合板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	機・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長ぐつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	湯沸器	掃除具	請負者加入電話機	冷蔵庫	数量	個	台	個	台	台
規模	※		-		-																																																						
面積	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)																																																						
部位等	仕 上 げ																																																										
床	合板張り又はビニール床シート張り																																																										
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗																																																										
屋根	溶融亜鉛めっき合板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																										
種類	機・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計																																																						
数量	組	台	個	個	個																																																						
種類	長ぐつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																						
数量	足	着	個	個	台																																																						
種類	消火器	湯沸器	掃除具	請負者加入電話機	冷蔵庫																																																						
数量	個	台	個	台	台																																																						
3 ③ 仮設便所																																																											
3 ④ 工事用水																																																											
3 ⑤ 工事用電力																																																											
3 ⑥ 土工事																																																											
3 ⑦ 1 埋戻し及び盛り土 (3.2.3)(表3.2.1)	<p>種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種</p>																																																										
3 ⑦ 2 建設発生土の処理 (3.2.5)	<p>・ 自由処分</p> <p>※ 処分地指定 処分地(場内処理)</p> <p>・ 処分地未定につき相互協議する。 暫定運搬距離 8km</p>																																																										
3 ⑦ 3 試験杭及び試験掘り (4.2.2)	<p>・ 試験杭 ・ 位置及び本数 ※ 図示 ※ 本</p> <p>・ 試験掘 ・ 位置、形状及び箇所数 ※ 図示 ・</p>																																																										
3 ⑦ 4 杭の載荷試験 (4.2.3)	<p>試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷</p> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 ※ 図示 ・ 載荷荷重 (kg)</p> <p>報告書 ※ 提出部数 2部</p>																																																										
3 ⑦ 5 地盤の載荷試験 (4.2.4)	<p>試験方法 ※ 平板載荷 2箇所</p> <p>試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。</p> <p>位置 ※ 図示 ・ 地耐力長期 (f₀=100kN/㎡)</p> <p>報告書 ※ 提出部数 2部</p>																																																										
3 ⑦ 6 既成コンクリート杭 (4.3.2)	<p>・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種</p> <p>・ SC杭 ・ 1種 ・ 2種 (・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>・ RC杭 ・ 1種 ・ 2種 (・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>・ 上記以外の建築基準法に基づく杭</p> <p>径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450</p> <p>長さ () m</p> <p>先端形状 ・ 開放型 ・ 閉小型</p> <p>施工方法</p> <p>・ 打込み工法 (支持力)</p> <p>・ 打撃工法</p> <p>・ プレポーリング併用打撃工法 (4.3.3)</p> <p>(掘削深さ 設計GL- m 掘削径 mm) (4.3.4)</p> <p>・ セメントミルク工法 (支持地盤) (4.3.5)</p> <p>・ 特定埋込杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) (支持地盤) (4.3.6)</p> <p>継手 ※ アーク溶接 ・ 無溶接継手 (工法)</p> <p>杭頭の処理 ※ 行う ・ 行わない (4.3.7)</p>																																																										

③ 地業工事 土・地業・基礎工事	5 鋼杭地業	・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ H形鋼管杭 ・ SHK400 ・ SHK400M ・ SHK490M 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 長さ () m 先端形状 ※ 開放形 補強工法 ※ 補強バンド 継手 ※ JISA5525(鋼管ぐい)	(4.4.2) (表4.4.2)
	6 場所打ちコンクリート杭地業	・ 打込み工法 (支持力) ・ 打撃工法 ・ プレボーリング併用打撃工法 (掘削深さ 設計DL- m 掘削径 mm) ・ セメントミルク工法 (支持地盤) ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) (支持地盤) 杭頭の処理 ※ 行う ・ 行わない	(4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.4.5)
	7 地盤改良	・ (表層改良 浅層改良) 工法	(4.5.4)
	⑧ 砂及び砂利地業	厚さ(mm) ※ 60 ・ 図示 ※ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。	(4.6.3)
	⑨ 捨コンクリート地業	厚さ(mm) ※ 60 ・ 50 ※ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。	(4.6.5)
	⑩ 床下防湿層	※ ポリエチレンフィルム(厚さ ※ 0.15mm以上) ※ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。	(4.6.6)
	基礎工事		
	⑪ 鉄筋の種類	鉄筋の記号 径 備考 ※ SD295A ※ D16以下 ・ SD295B ・ SD345 ・ D19以上	(5.2.1)
	12 溶接金網	網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 10 寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 ・ 200×200	(5.2.2)
	⑬ 継ぎ手	径 部位 ※ 重ね継手 ※ D16以下 全て ・ ガス圧接 ・ D19以上 全て	(5.3.4)
⑭ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※ 本造構造物関係共通事項(配筋標準図)表5.11による ・ 図示による	(5.3.5)	
15 圧接完了後の試験	抜取試験方法 ※ 超音波探傷 ・ 引張試験	(5.4.9)	
16 特殊な鉄筋・継手	種類	(5.5.2)	
17 杭頭補強方法	・ A形 ※ B形	(別図1.1)	
18 帯筋	帯筋組立の形 ※ H形 ・ W-1形 ・ SP形 ・ 丸型	(別図1.1)	
19 梁貫通孔補強	配筋種別 ・ H()形 ・ M()形 ・ HM()形	(別図表7.1)	
20 荷物吊上げ用フック	・ A種 ・ B種 ・ C種	(別図表7.3)	

③ コンクリート工事 土・地業・基礎工事	① コンクリートの種類	◎ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ※ I類 ・ II類	(6.2.1)
	① 普通コンクリートの強度・スランプ	設計基準強度 F _c 適用箇所 スランプ ◎ 21 (N/mm ²) 基礎 躯体 ※ 18 ◎ 18 (N/mm ²) 土間 捨て ※ 18 ・ (N/mm ²)	(6.2.2)(6.2.4)
	② コンクリートの仕上り	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ・ A種 ◎ B種 ・ C種	(6.2.5)
	③ セメント	種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種	(6.3.2)(表6.3.2)
	④ 型枠	材料 ※ 複合合板 (厚さ ※12)	(6.8.3)
	⑤ コンクリートの強度試験	圧縮強度試験の供試体の材齢及び養生方法 ※ 材齢28日 (※ 標準養生) ※ 材齢28日 (※ 現場水中養生) ・ 型枠脱型用 (※ 現場水中養生) ・ (・)	(6.9.3)(表6.9.2)
	6 軽量コンクリート	種別 ・ 1類 ・ 2類	(6.10.1)(表6.10.1)
	⑦ 無筋コンクリート	適用箇所 標準仕様書 6.14.1 による ・ 上記以外の適用箇所 () 設計基準強度 ※ 21 (N/mm ²) ・ (N/mm ²) スランプ ※ 15cm ・ 18cm	(6.14.1)

④ 木造工事	木材部位別材料(構造用集成材)																
	規格	使用部位	寸法			材料の種類	樹種	化粧	化粧等級	化粧薄板厚	強度等級	材面の品質	接着性能	曲げ特性	防腐・防蟻処理	その他(含水率)	
			巾	成	長さ												
	集成材の日本農林規格の構造用集成材の規格																
	木材部位別材料(構造材)																
	種類	規格	使用部位	寸法			材料の種類	樹種	化粧等級	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐・防蟻処理	その他			
				巾	成	長さ											
	構造用製材	製材の日本農林規格の目視等級区分構造用製材の規格又は機械等級区分構造用製材の規格	土台	105	90	図示	製材	桧	特一	E90	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤			
			土台	120	120	図示	製材	桧	特一	E90	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤			
			柱	90	90	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤			
柱			105	105	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
柱			120	120	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
柱			150	150	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
梁			105	210	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
梁			105	120	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
梁			120φ	—	図示	製材	松	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
梁			150φ	—	図示	製材	松	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
梁			180φ	—	図示	製材	松	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
梁			240φ	—	図示	製材	松	特一	E70	特一	SD20	B種	現場塗布防蟻剤				
大引			105	105	図示	製材	桧	特一	E70	特一	SD20	C種	現場塗布防蟻剤				
大引			90	90	図示	製材	桧	特一	E70	特一	SD20	C種	現場塗布防蟻剤				
東			90	90	図示	製材	桧	特一	E70	特一	SD20	C種	現場塗布防蟻剤				
母屋			90	90	図示	製材	杉	特一	E70	特一	SD20	C種	現場塗布防蟻剤				
下地用製材			製材の日本農林規格の下地用製材の規格														
木材部位別材料(造作材)																	
種類	規格	使用部位	寸法			材料の種類	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐・防蟻処理	その他					
			巾	成	長さ												
構造用製材	製材の日本農林規格の目視等級区分構造用製材の規格又は機械等級区分構造用製材の規格	天井板	300	21	図示	製材	杉	特一	15%以下	B種							
		天井板	240	12	図示	製材	杉	特一	15%以下	B種							
		半縁	30	20	図示	製材	杉	特一	15%以下	B種							
		廻り縁	50	50	図示	製材	杉	特一	15%以下	B種							
		鴨居	105	50	図示	製材	杉	特一	15%以下	B種							
		差鴨居	120	340	図示	製材	松	特一	15%以下	B種							
		一筋鴨居	50	50	図示	製材	桧	特一	15%以下	B種							
		上がり権	120	150	図示	製材	桧	特一	15%以下	B種							
		敷居	105	150	図示	製材	桧	特一	15%以下	B種							
		一筋敷居	50	50	図示	製材	桧	特一	15%以下	B種							
		縁甲板	105	15	図示	製材	松	特一	15%以下	B種							
		けこみ板	240	24	図示	製材	杉	特一	15%以下	B種							
		下地用製材	製材の日本農林規格の下地用製材の規格														
木材部位別材料(造作用集成材)																	
種類	規格	使用部位	寸法			材料の種類	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐・防蟻処理	その他					
			巾	成	長さ												
集成材の日本農林規格の構造用集成材の規格																	

④ 合板及其他ボード類		
種類	厚さ(mm)・規格等	施工箇所(構造材・仕上げ材の別)
構造用合板	厚さ(mm) ・ 5.5 ① 9 ・ 12 ・ 24 接合強度 ① 特類 ② 1類 等級 ① 級 ② 級 表板種別 ・ 広葉樹 ① 級 ② 級 板面品質 ※C-D 難燃処理 ・ する ① しない ② しない 防虫処理 ・ する ① しない ② しない	
ケイ酸カルシウム板	※0.8Fkタイプ2(無石綿) ・ 6 ・ 12 ・ 16 ・ 化粧ボード(・ 6)	・ 外壁下地 ・ 外部軒天
石膏ボード	① 2.5	① 屋内下地

接合具表

施工箇所	記号品名	種類	材質・規格	備考
土台	アンカーボルト		SS400 M12, M16フック付き	ナット座金付き
土台	貫通ボルト		SS400 M12	ナット座金付き
付け梁	ラグスクリュー		JISB1051 M12 L50	
構造用合板	釘		N75, N50, GNF40	
石膏ボード	釘, ビス		GNF40, 径3.8φ以上L28~40mm	

接合金物表

施工箇所	記号品名	種類	材質・規格	備考
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(ろ)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(は)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(に)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(へ)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	20kNホールダウン金物	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	

⑤ ① 材料等	本工事で使用する材料については部位別材料表による。 本工事で使用する接合部及び接合金具は接合具表及び接合金物表による。	<5.2.2><5.2.4>
② 仕口及び継手の形状加工	◎ 図示	<5.4.2>

⑨ ① 材料等	本工事で使用する下記以外の材料については部位別材料表による。 本工事で使用する接合部及び接合金具は接合具表及び接合金物表による。	<9.1.2>
---------	---	---------

⑬ ① 金属板葺き	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>長尺金属板の種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺き形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 図示</td> <td>※鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H</td> <td>0.35</td> <td>横葺き</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺き形式	◎ 図示	※鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H	0.35	横葺き	<13.3.2>
施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺き形式							
◎ 図示	※鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H	0.35	横葺き							
② 粘土瓦葺き	◎ 煉瓦土葺き ・ 煉瓦筋葺き 軒瓦 ・ 石持無紋 ◎ 吹花軒巴紋	<13.5.3>								
③ とい	◎ といの材料 ※鋼板 (JIS H 3100 鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H) ※硬質塩化ビニル ※板厚 谷とい ◎ 0.4mm その他とい ◎ 0.35mm ※といについては、新設塩化ビニルを既存鋼製にて被い使用すること。	<13.8.2>								
◎ とい受金物	※垂鉛メッキ鋼板製	<13.8.2>								

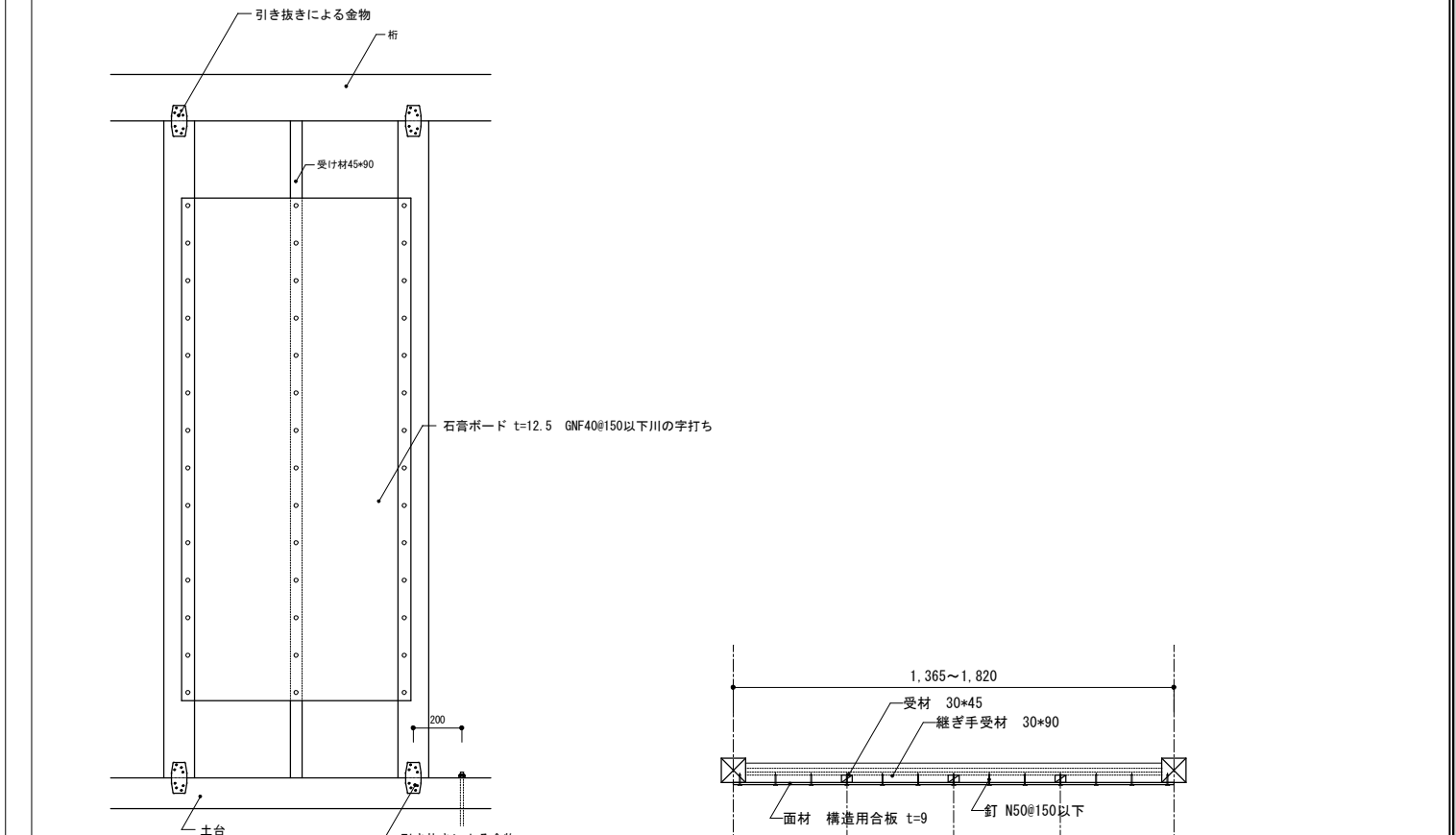
⑮ ① 下地	※ラス系下地 ◎ 平ラス (JISA 5505 平ラスF450) ※防水紙 ◎ 改質アスファルトフェルト	<15.2.3>
② 小舞下地	材料 間渡し竹 ・ しのだけの丸竹 ◎ まだけの割り竹 小舞竹 ◎ まだけの割り竹 ・ しのだけの丸竹 小舞縄 ・ しゅろ ・ 麻 ◎ わら縄	<15.2.6>
③ しっくい塗り	材料 下げお ・ 青麻 ・ しゅろ毛 ・ マニラ麻 ◎ わら縄	<15.6.2>
下地	◎ 平ラス ◎ 小舞土壁塗り	<15.6.3>

⑮ ④ 小舞壁塗り	※色砂は監督員と協議の上、現場合わせとする。	<15.7.2> <15.7.5>
左官工事	工程 ◎ A種 ・ B種	

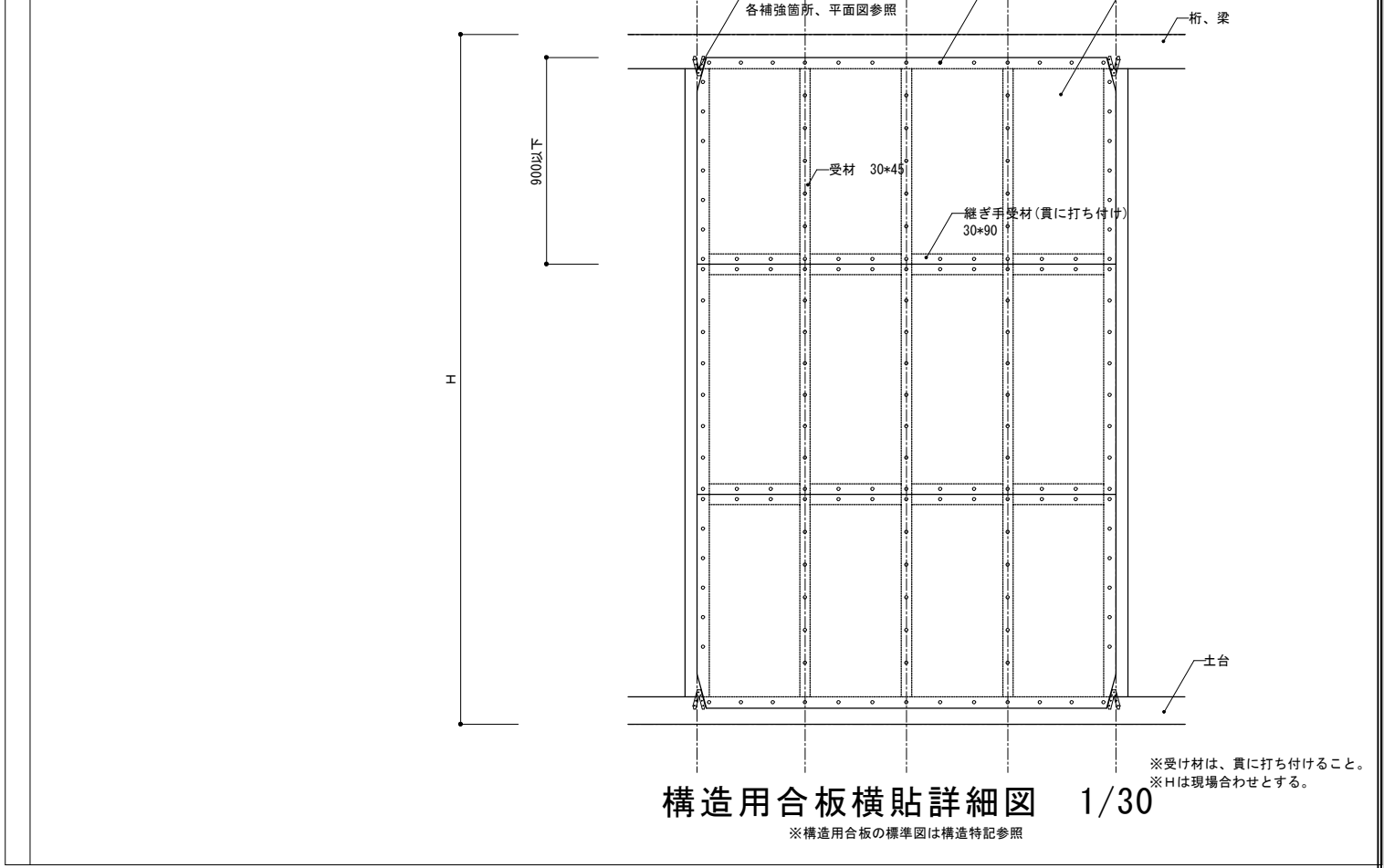
⑮ ① 木製建具	建具材の加工, 組立時の含水率 ・ A種 ◎ 種 ・ C種	<16.7.2>
② 建具用金物	ふすまの材料 ◎ 図示 ・ I型 ・ II型 紙張り障子の材料 ◎ 図示	<16.7.2>
③ ガラス	引戸用錠 ◎ 蝶錠 ◎ 真鍮製ねじ込み錠 ◎ シリンダー錠 引き戸レール ◎ 真鍮レール 材料 ◎ 図示	<16.8.2> <16.14.2>

⑮ ① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆																																											
② 施工一般	<table border="1"> <thead> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>下地の種類</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>錆止め塗料塗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SOP</td> <td>B種</td> <td>構造金物</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・ C種</td> <td>・ A種(見え掛り) ・ B種(見え隠れ)</td> </tr> <tr> <td>EP</td> <td>B種</td> <td>軒天</td> <td>・ ボード面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FE</td> <td>B種</td> <td>鋼製建具</td> <td>・ 鉄鋼面</td> <td></td> <td>・ A種(見え掛り)</td> </tr> <tr> <td>CL</td> <td>B種</td> <td>巾木, 羽目板</td> <td>・ 木部</td> <td>・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>WP</td> <td>B種</td> <td>木部見掛</td> <td>※ 木部</td> <td>3回塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>UP</td> <td>B種</td> <td>フローリング</td> <td>・ 木部</td> <td>サグ・掛け 3回塗</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	塗料の種類	種類	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料塗	SOP	B種	構造金物	鉄鋼面	・ C種	・ A種(見え掛り) ・ B種(見え隠れ)	EP	B種	軒天	・ ボード面	・ A種 ・ B種		FE	B種	鋼製建具	・ 鉄鋼面		・ A種(見え掛り)	CL	B種	巾木, 羽目板	・ 木部	・ A種 ・ B種		WP	B種	木部見掛	※ 木部	3回塗		UP	B種	フローリング	・ 木部	サグ・掛け 3回塗		
塗料の種類	種類	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料塗																																							
SOP	B種	構造金物	鉄鋼面	・ C種	・ A種(見え掛り) ・ B種(見え隠れ)																																							
EP	B種	軒天	・ ボード面	・ A種 ・ B種																																								
FE	B種	鋼製建具	・ 鉄鋼面		・ A種(見え掛り)																																							
CL	B種	巾木, 羽目板	・ 木部	・ A種 ・ B種																																								
WP	B種	木部見掛	※ 木部	3回塗																																								
UP	B種	フローリング	・ 木部	サグ・掛け 3回塗																																								
③ その他塗装	・ 難燃塗装 (木部) モーエンアークア 不燃NM-0700 ファイヤーディレーF4 不燃NM-1493同等品 ・ 錆止め塗料の種類 ・ A種 ・ B種 ・ 古色塗装は現場あわせとする。																																											

⑮ ① 畳敷き	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ◎ D種	<19.6.2>
内装工事		



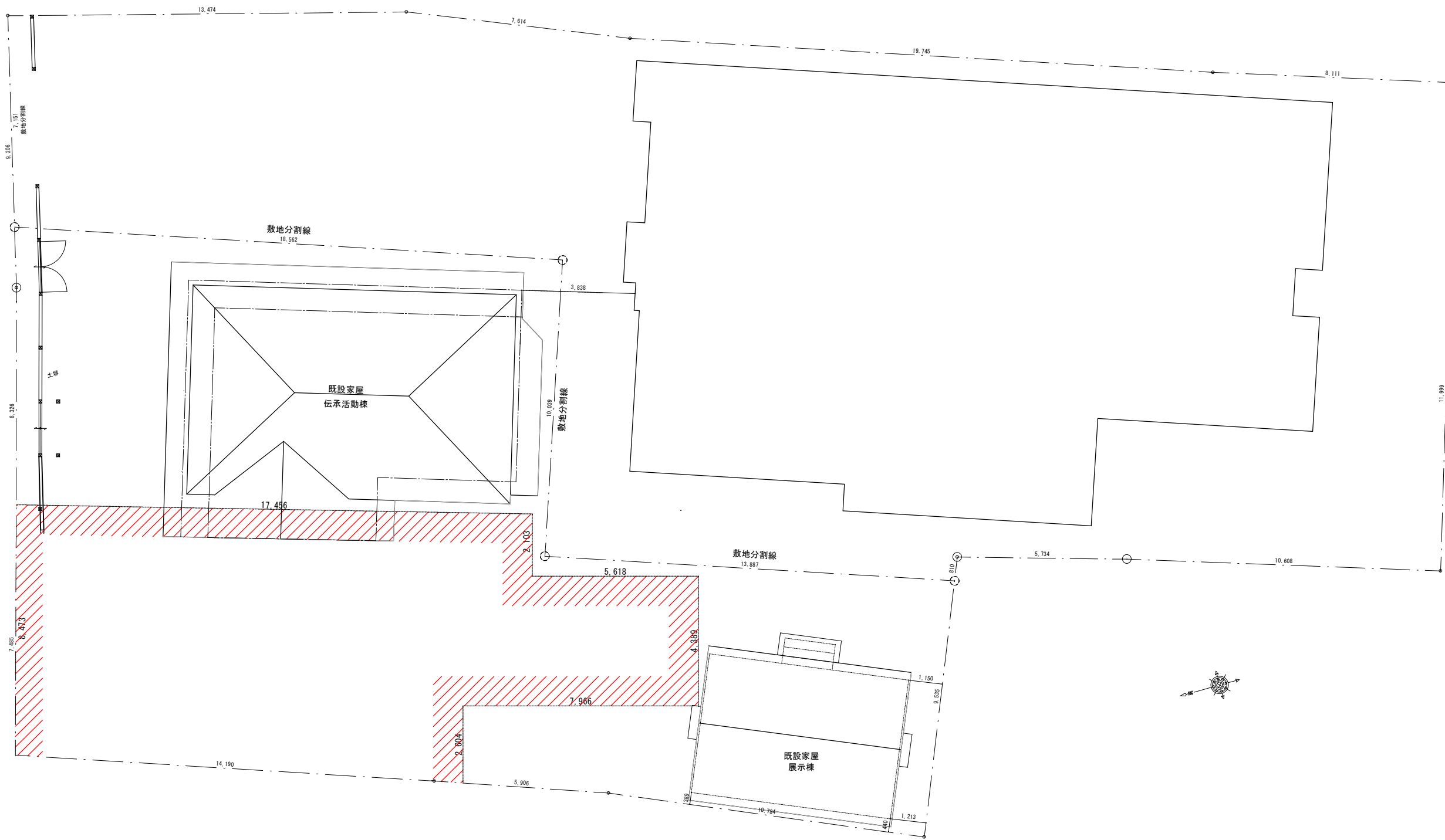
石膏ボード準耐力壁仕様図 1/30



構造用合板横貼詳細図 1/30
※構造用合板の標準図は構造特記参照

工事名	関の山車会館管理・展示棟改修工事	管理者	日付	設計者	日付	担当者	日付	図面名	特記仕様書3	縮尺	—	図面NO	R-03
-----	------------------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	--------	----	---	------	------

シンカイ設計 一級建築士事務所
 亀山市民文化振興局まちなみ文化財室
 〒519-0125 三重県亀山市東町1丁目7-4 TEL 0595-83-5521
 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218



凡例
 ■ 改修工事対象建築物を示す。
 ▨ 足場施工部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修配置図	1/150	R-04

外部仕上表

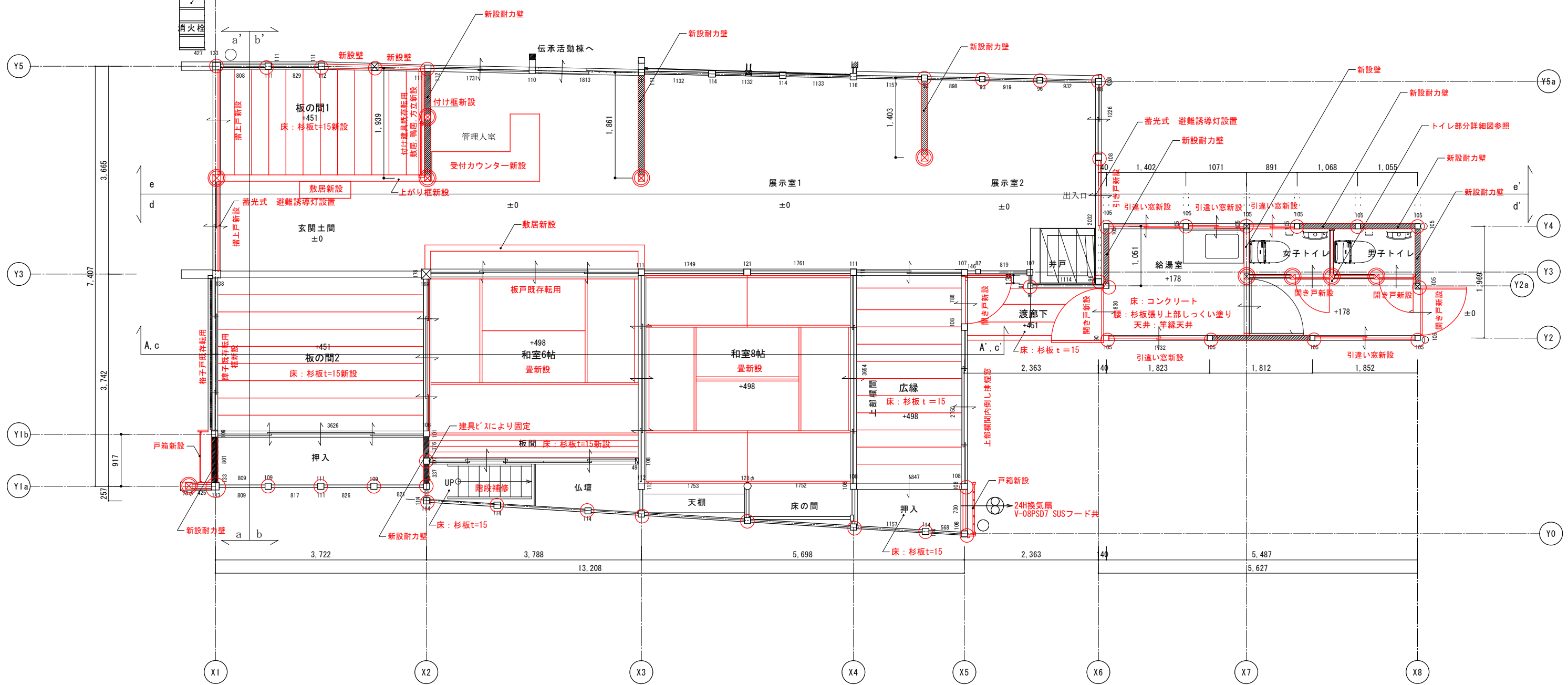
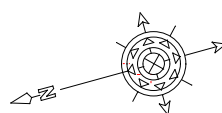
主要構造部

名称	仕様	名称	仕様	備考
屋根	棧瓦土葺き 野地 杉板 垂木90φ半割り桁より45口加工@360 約5寸 銅製雨どい100φ 南塩ビ製100φ	基礎	玉石、御影延べ石 コンクリート布基礎	トップライト4ヶ所
	下屋 棧瓦土葺き 野地 杉板 垂木45*60@360 約5寸 銅製雨樋100φ	床束	杉90*90	
外壁	小壁 土壁しっくい仕上げ 腰壁 杉縦目板張り 木部保護塗料二回塗り	土台	桧 105*90, 140*105	
	虫籠窓 しっくい補修	大引	杉 105*105~135,	
軒天	垂木、野地現し 一部しっくい塗り補修	根太	杉 54~54*50,	
		胴縁	—	
建具	木製引き違いガラス戸、木製開戸 木製引戸新設	間柱	—	
		管柱	桧 105□, 178*169, 120□, 50*105	
基礎	玉石、のべ石基礎 一部鉄筋コンクリート基礎上、のべ石新設	小屋梁	松 120~270φ, 110□	
		軒桁	桧 120*120	
外部土間	のべ石 土間コンクリート	小屋束	杉 90φ, 90□, 120□	
		母屋	杉 120φ	
渡り廊下	床 杉板 t30	垂木	杉 105φ半割り, 60*54, 54□, 45□	
		棟木	桧 120~150φ	

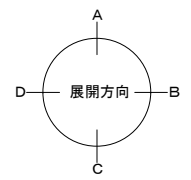
内部仕上表

名称	床 仕上	巾木	腰壁 仕上	廻り縁	天井	備考	
1階	和室8帖	畳 新設 杉板 t=15 新設	畳寄せ	土壁下地 砂壁仕上げ	杉	竿縁杉板 一部取替え	
	和室6帖	畳 新設 杉板 t=15 新設	畳寄せ	土壁下地 砂壁仕上げ	杉	松板 踏み天井	
	広縁	松縁甲板 t=15 新設	杉	一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	竿縁杉板新設	
	玄関土間	土間たたき補修 一部 床上げ 杉板 t=15	一部 杉	一部中塗り仕上げ 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	松板 踏み天井	
	展示室 管理人室	土間たたき補修	—	一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	梁、杉野地板あらかし	
	板の間2	一部 床上げ 杉板 t=15	杉	一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	松板 踏み天井	
	床の間	ケヤキ板	杉	土壁下地 じゅらく壁仕上げ	杉	杉板	
	天棚	ケヤキ板	杉	土壁下地 じゅらく壁仕上げ	杉	杉板	天袋付
	押入、仏間	杉板 一部補修	杉	しっくい 一部中塗り仕上げ	杉	一部 杉板	
	給湯室, 通路 トイレ	コンクリート金コテ押へ	杉	腰板張りH1000上部しっくい塗り 一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6	杉	竿縁天井 杉柱目板	天井高さ2400
2階	小屋裏	松板 t=28	—	しっくい	杉	小屋あらかし	既存さわらず
	通路	松板 t=28上杉板T=9	畳寄せ	土壁下地 プラスタ壁仕上げ	—	竿縁天井 杉柱目板	既存さわらず
	座敷跡2室	松板 t=28上杉板T=9	畳寄せ	土壁下地 モルタル塗り壁仕上げ		曲がり竿縁天井 杉柱目板	既存さわらず

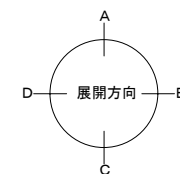
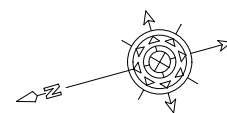
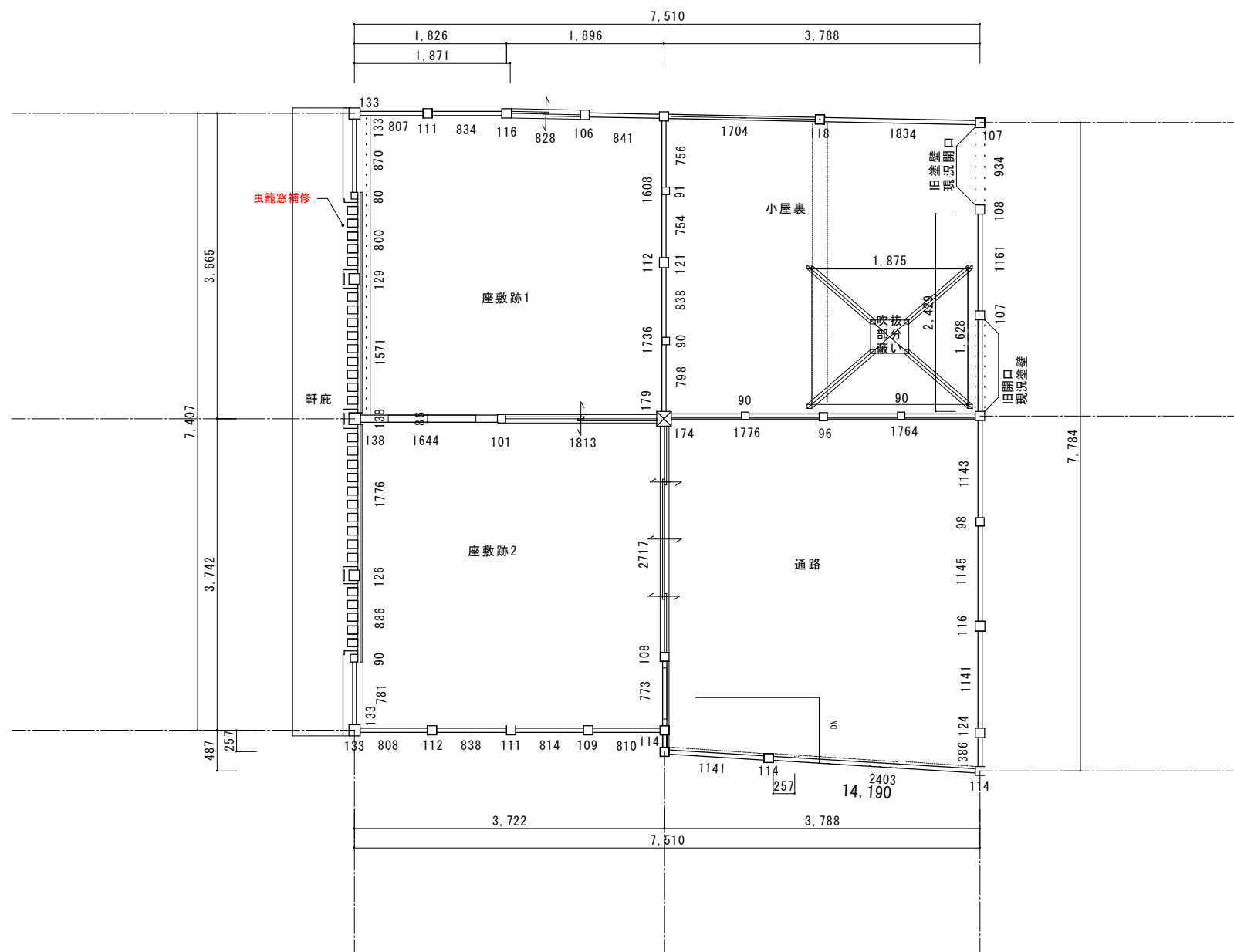
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修仕上表	—	R-05



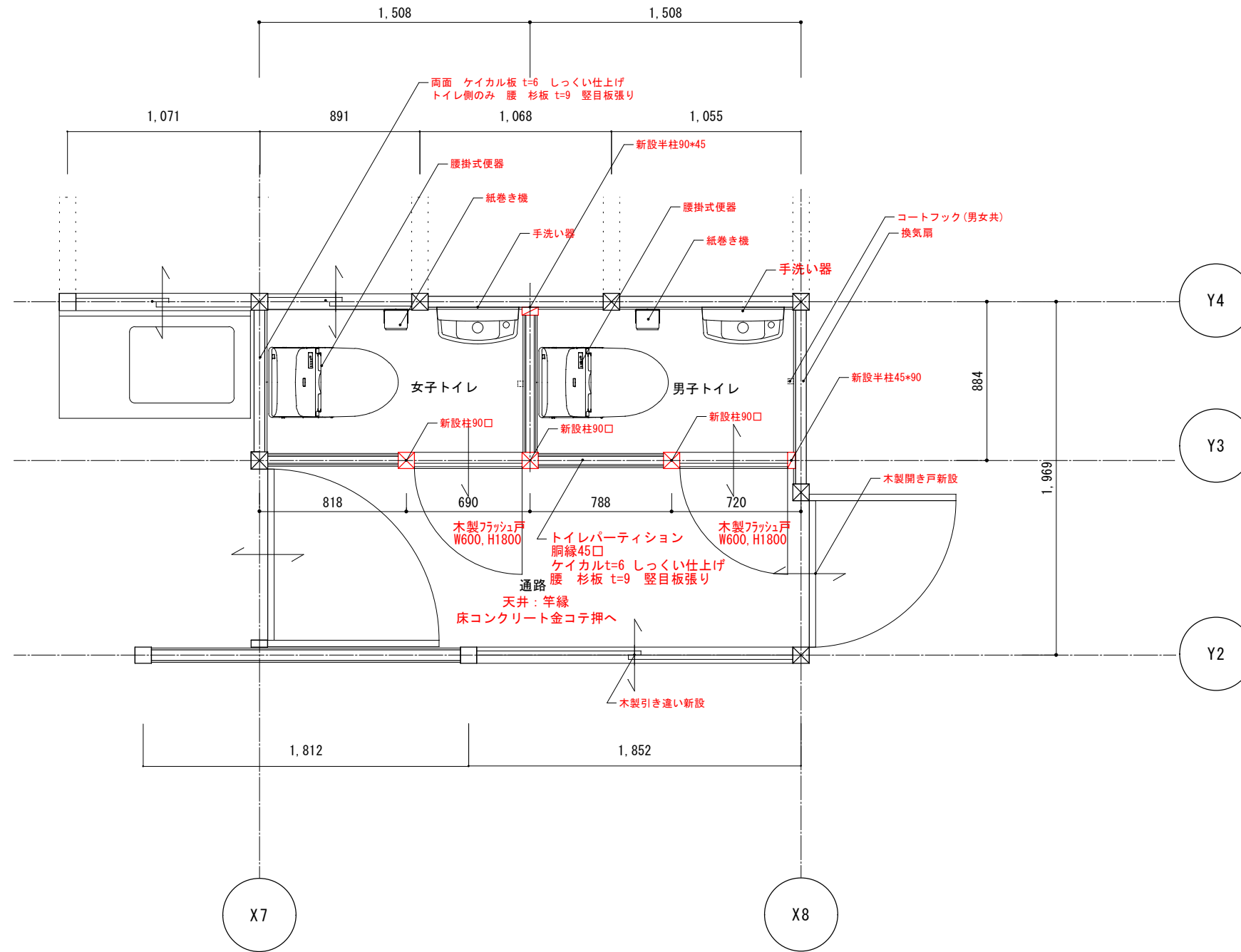
- 改修部分を示す。(赤表記部分も改修)
- 根継ぎ柱を示す。
- 新設柱を示す。



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 改修一階平面図	縮尺 1/70	図面NO R-06

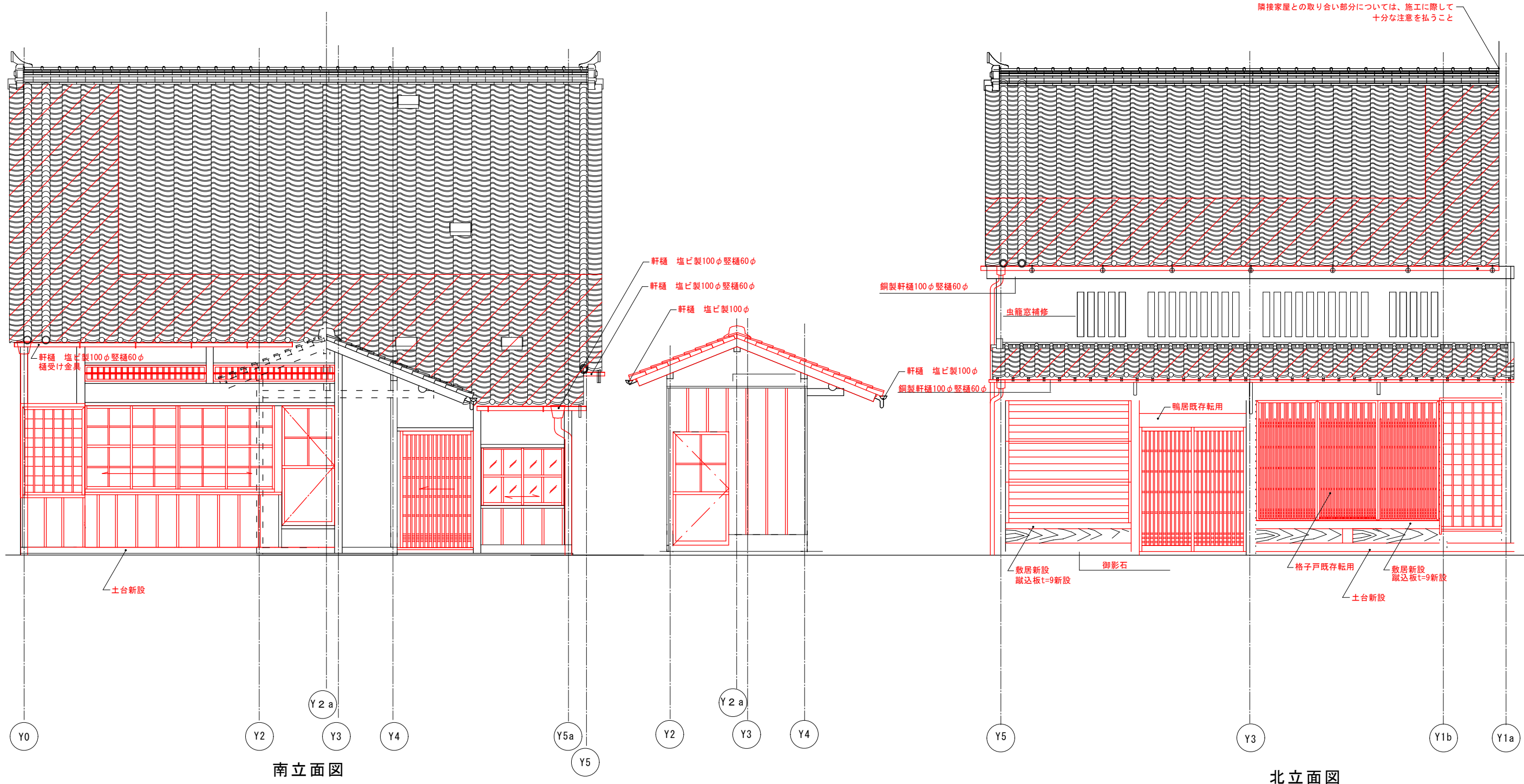


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修二階平面図	1/70	R-07



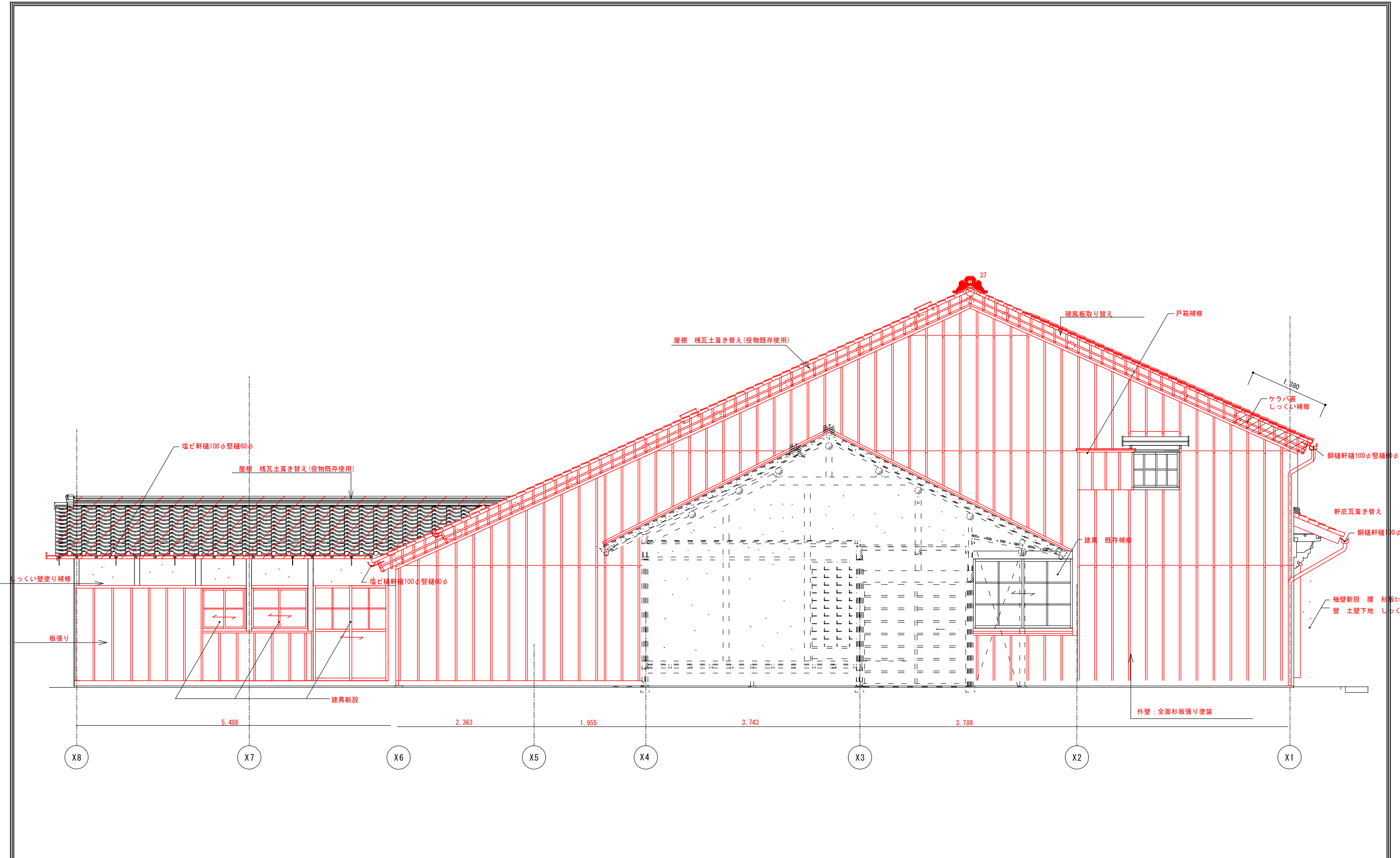
トイレ部分平面詳細図 1/30


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	トイレ平面詳細図	1/30	R-08



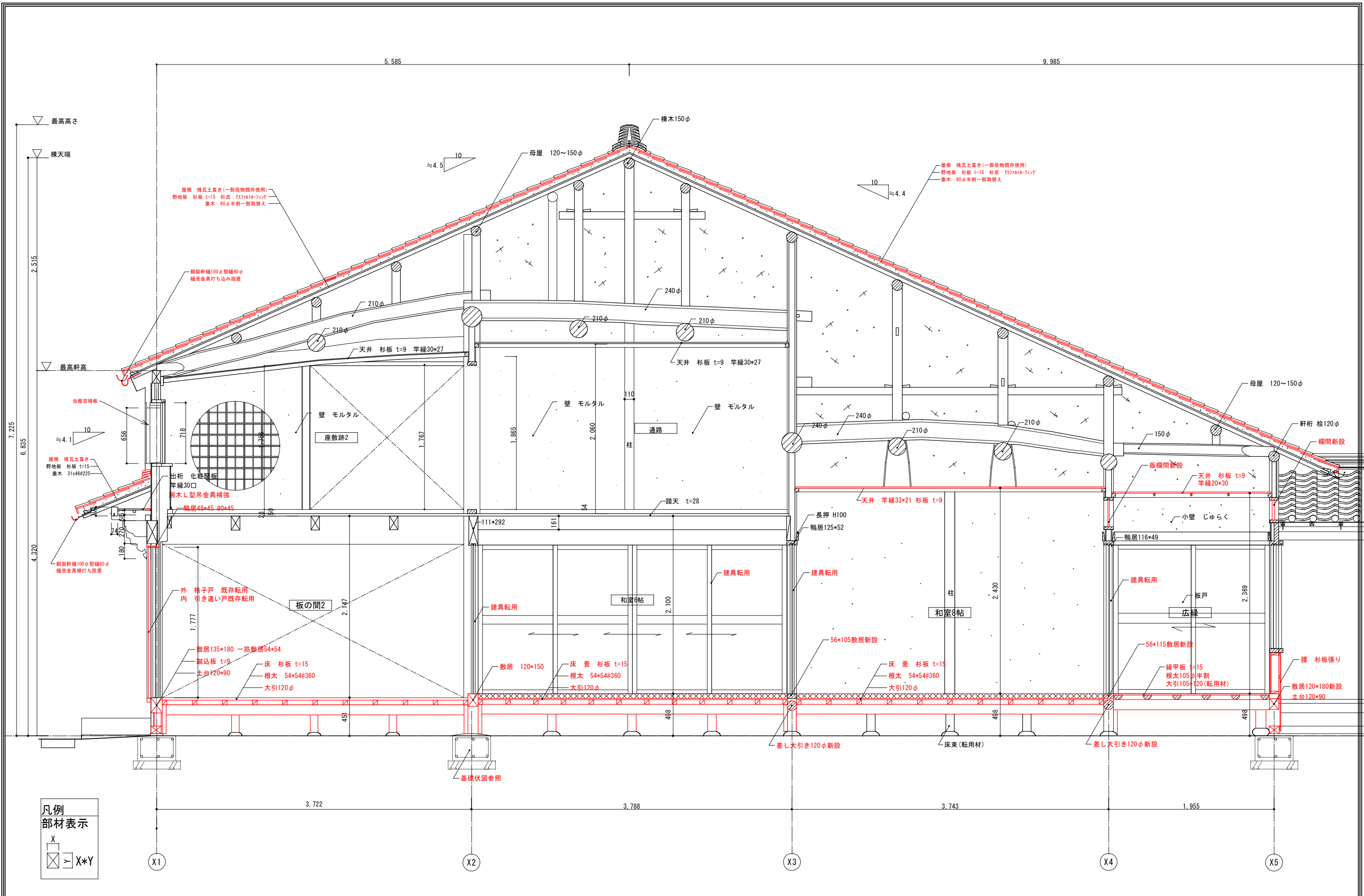
改修部分を示す。(赤表記部分も改修)
(屋根部分葺き替え役物、熨斗既存使用)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修南北立面図	1/60	R-09

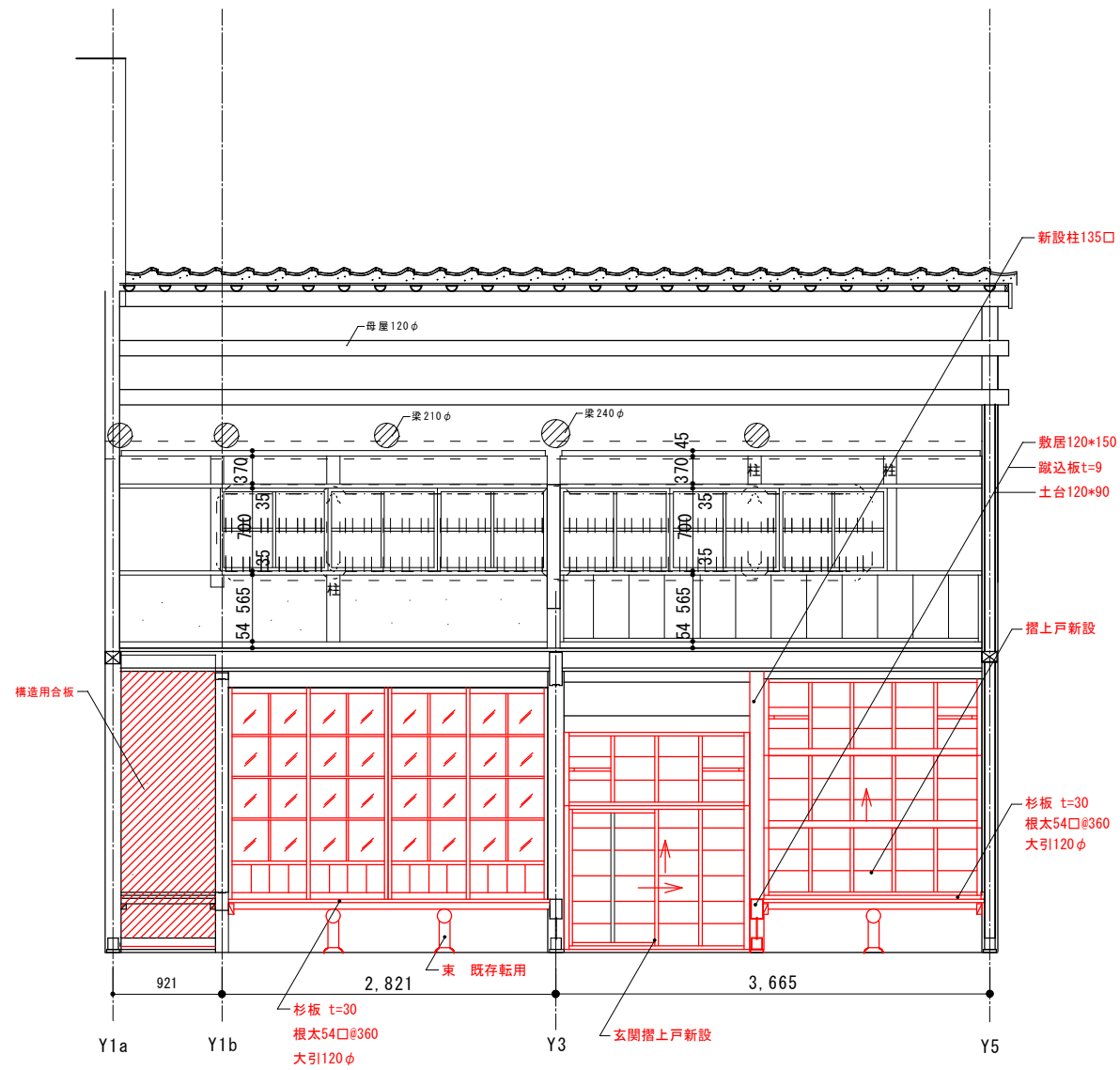


 改修部分を示す。(赤表記部分も改修)

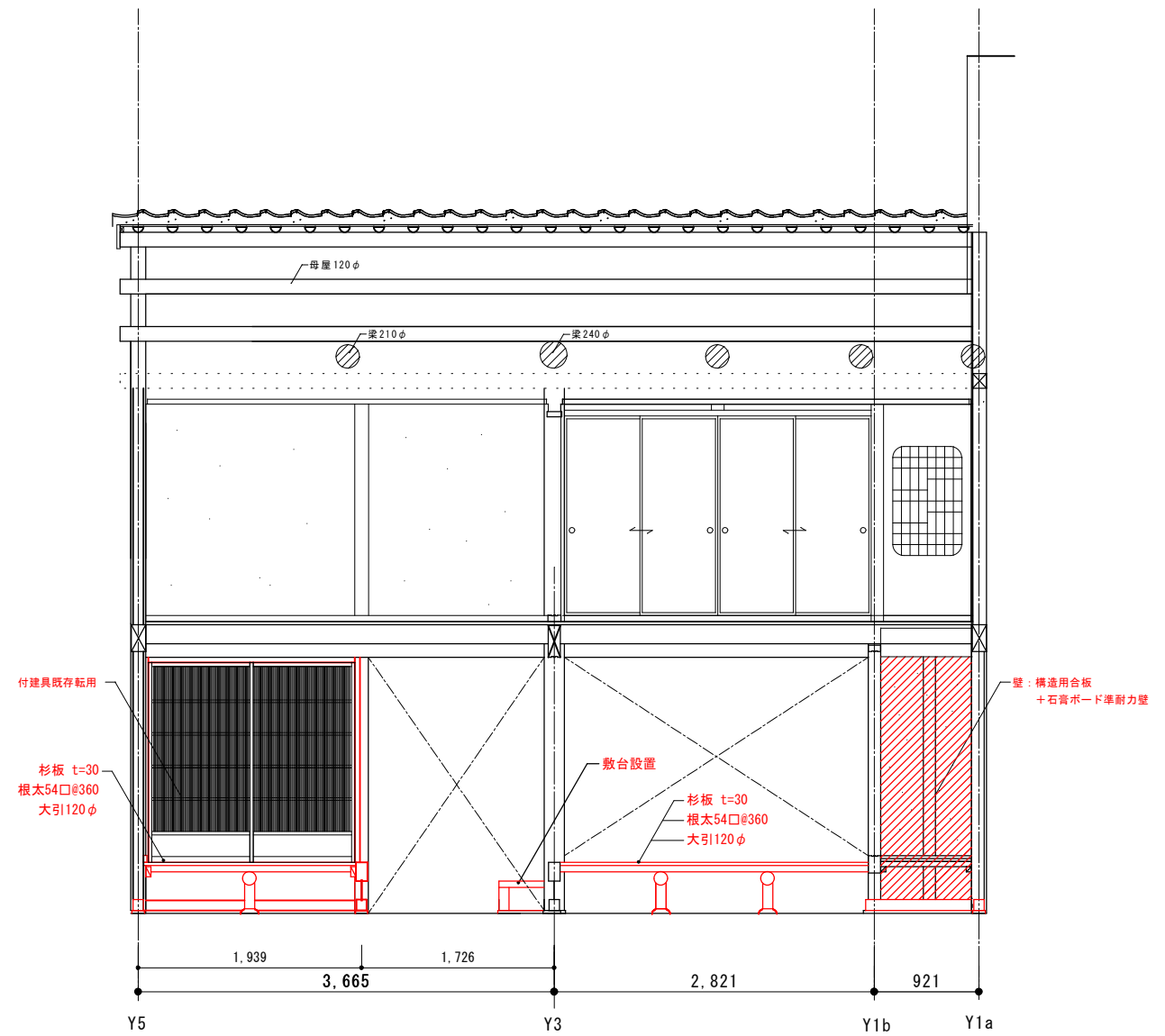
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修東立面図	1/60	R-10



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修矩計図	1/40	R-11

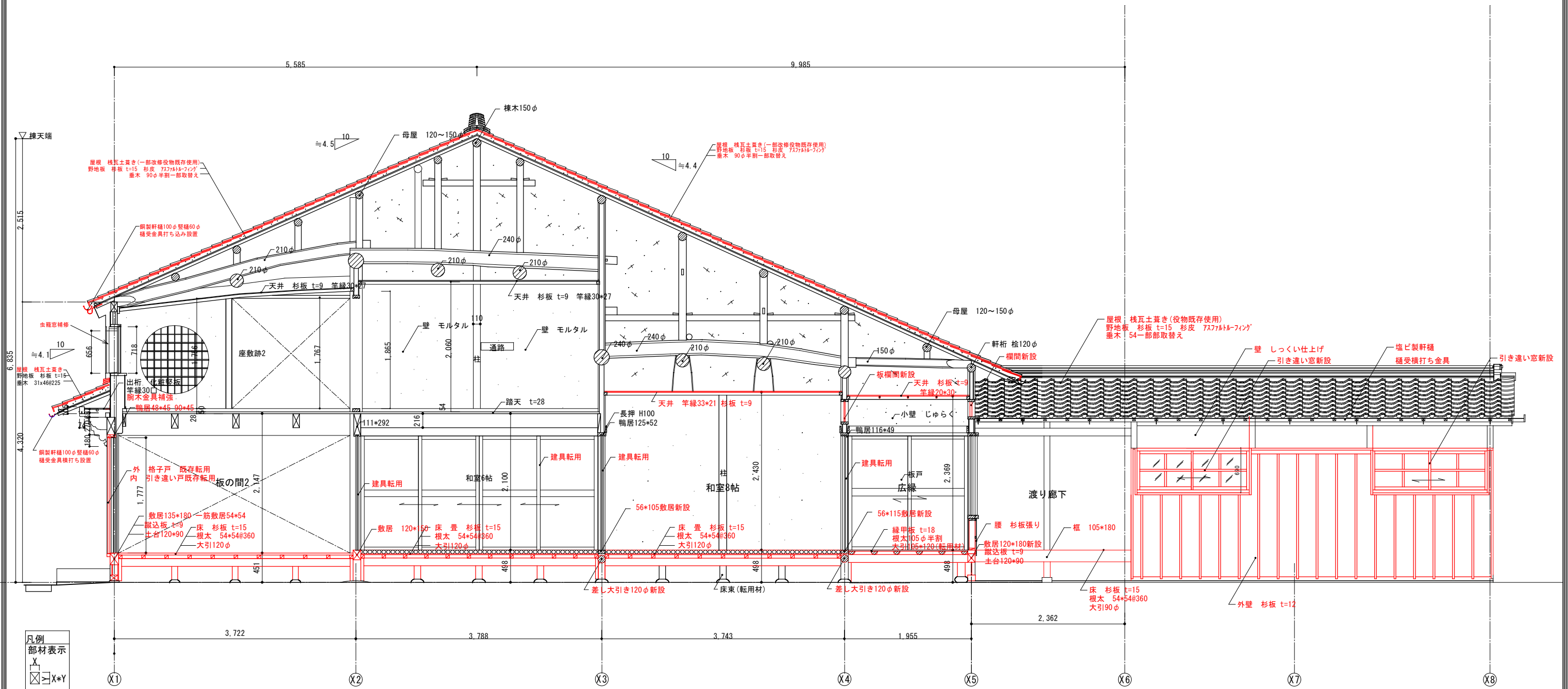


a-a' 断面図



b-b' 断面図

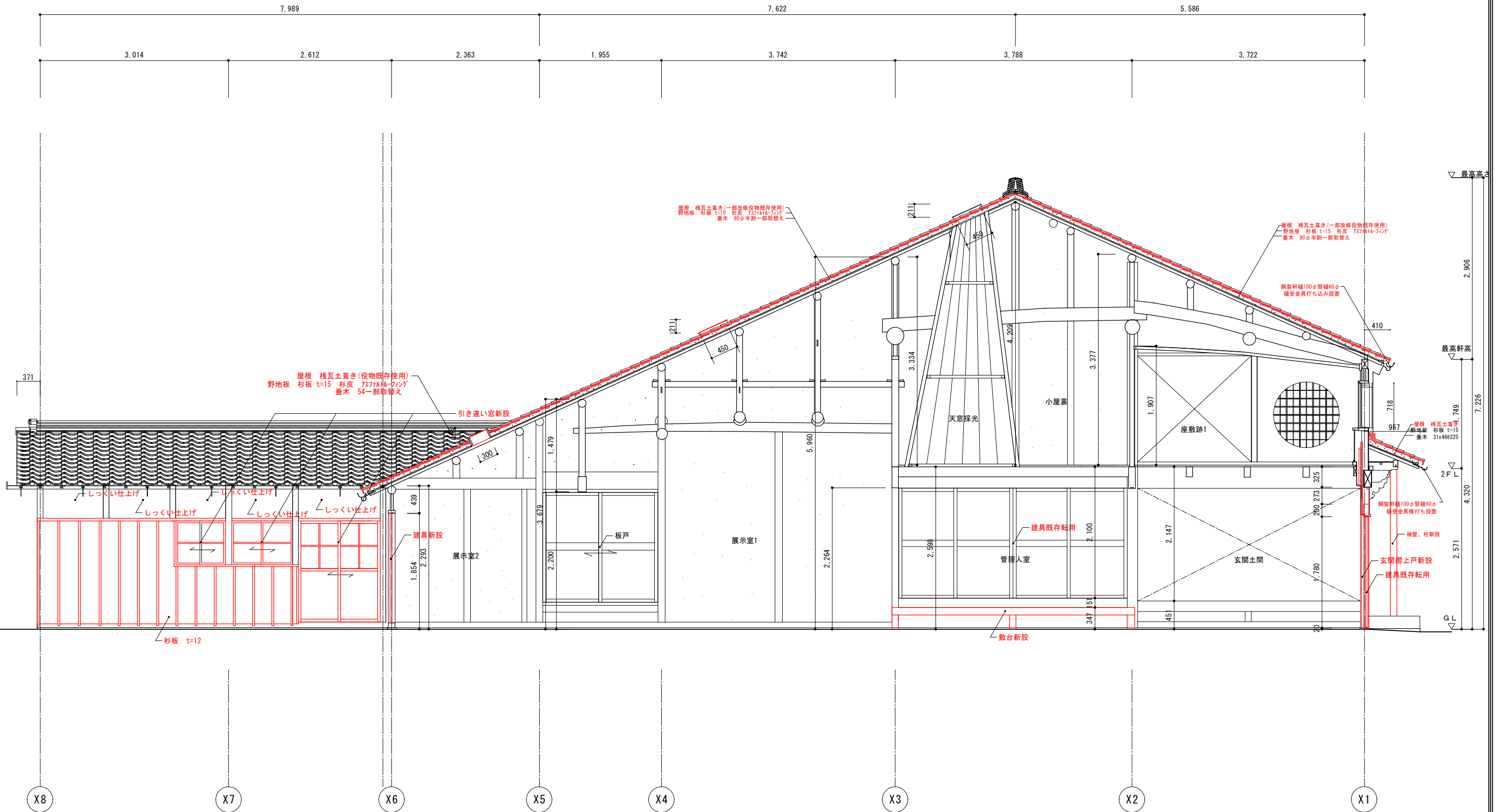
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図01	1/60	R-12



凡例
部材表示
X
X+Y

※赤表記部分は改修部分を示す。
既存部材は可能な限り転用すること。

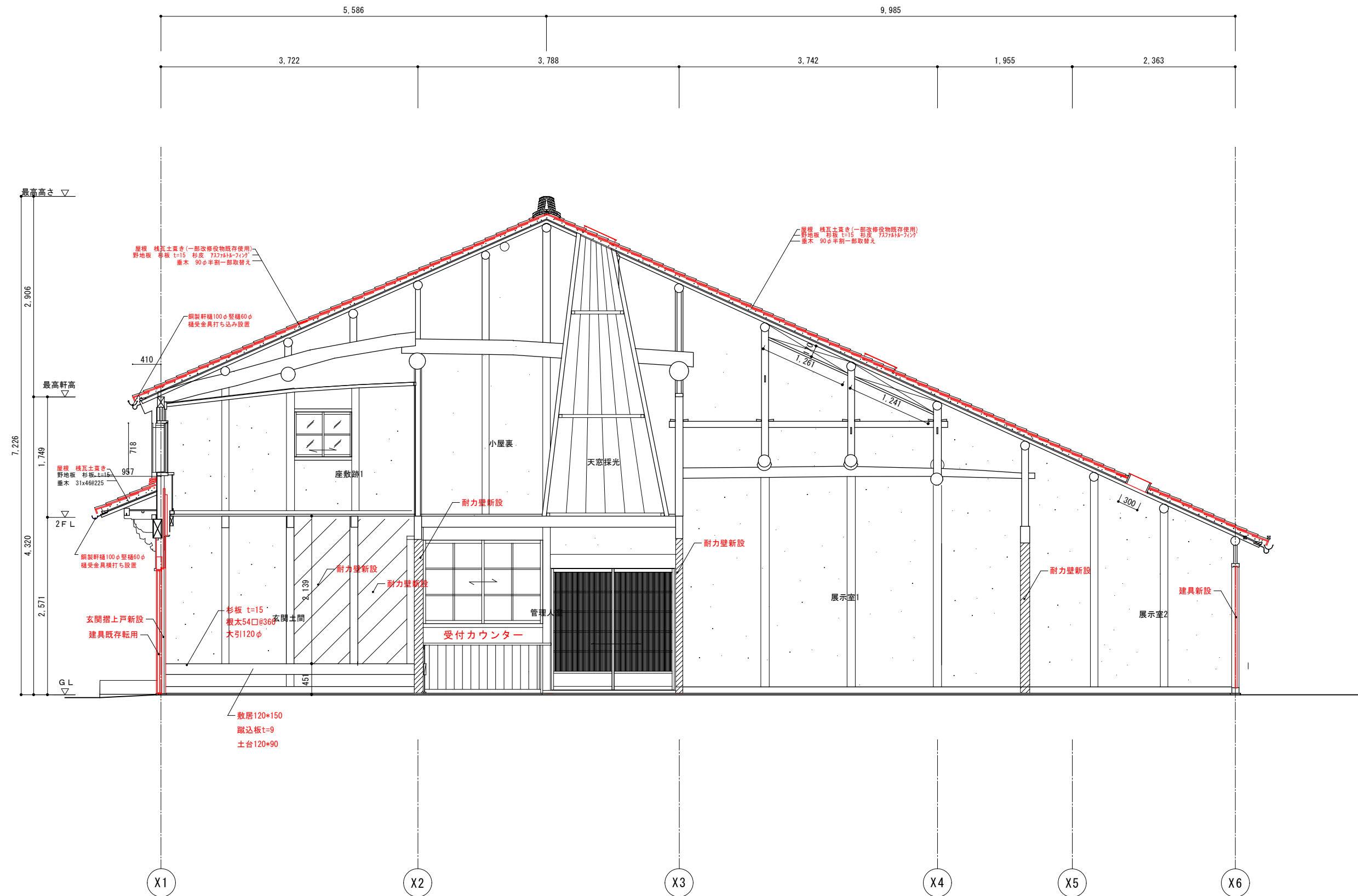
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図02	1/60	R-13



d-d' 断面図

※赤表記部分は改修部分を示す。
 既存部材は可能な限り転用すること。

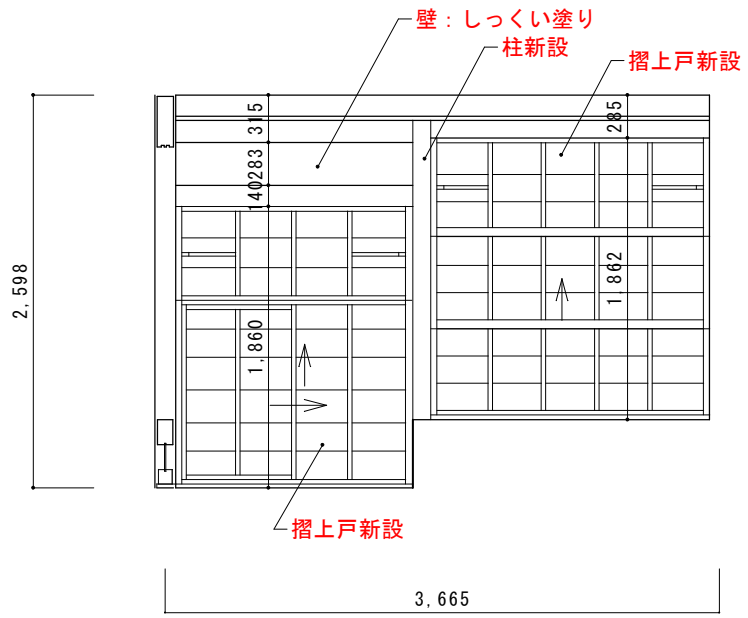
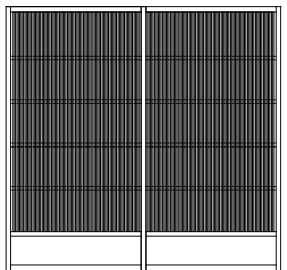
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図03	1/60	R-14



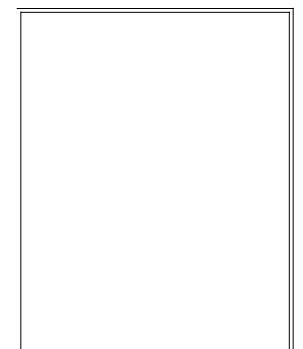
e-e' 断面図

※赤表記部分は改修部分を示す。
 既存部材は可能な限り転用すること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図04	1/60	R-15



424 144



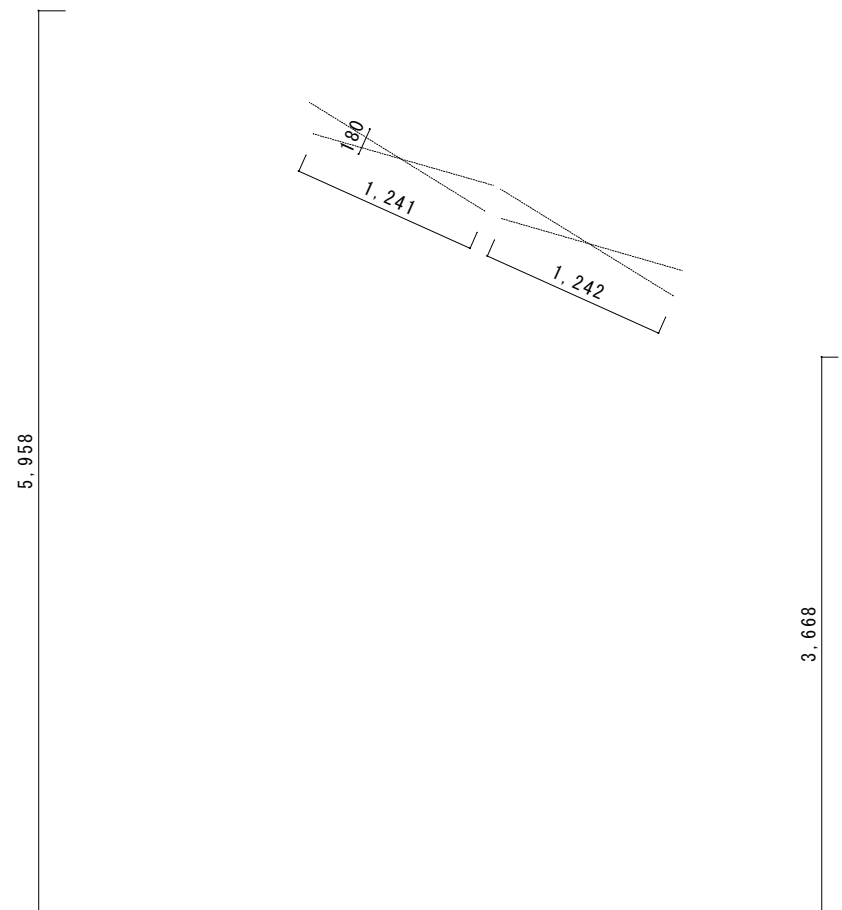
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図1	1/50	R-16

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図2	1/50	R-17

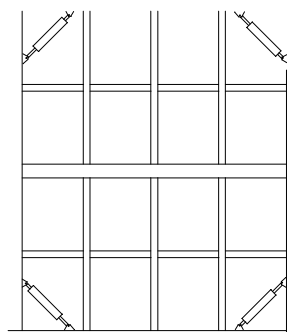
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図3	1/50	R-18

排煙ホーラー
1.125

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図4	1/50	R-19

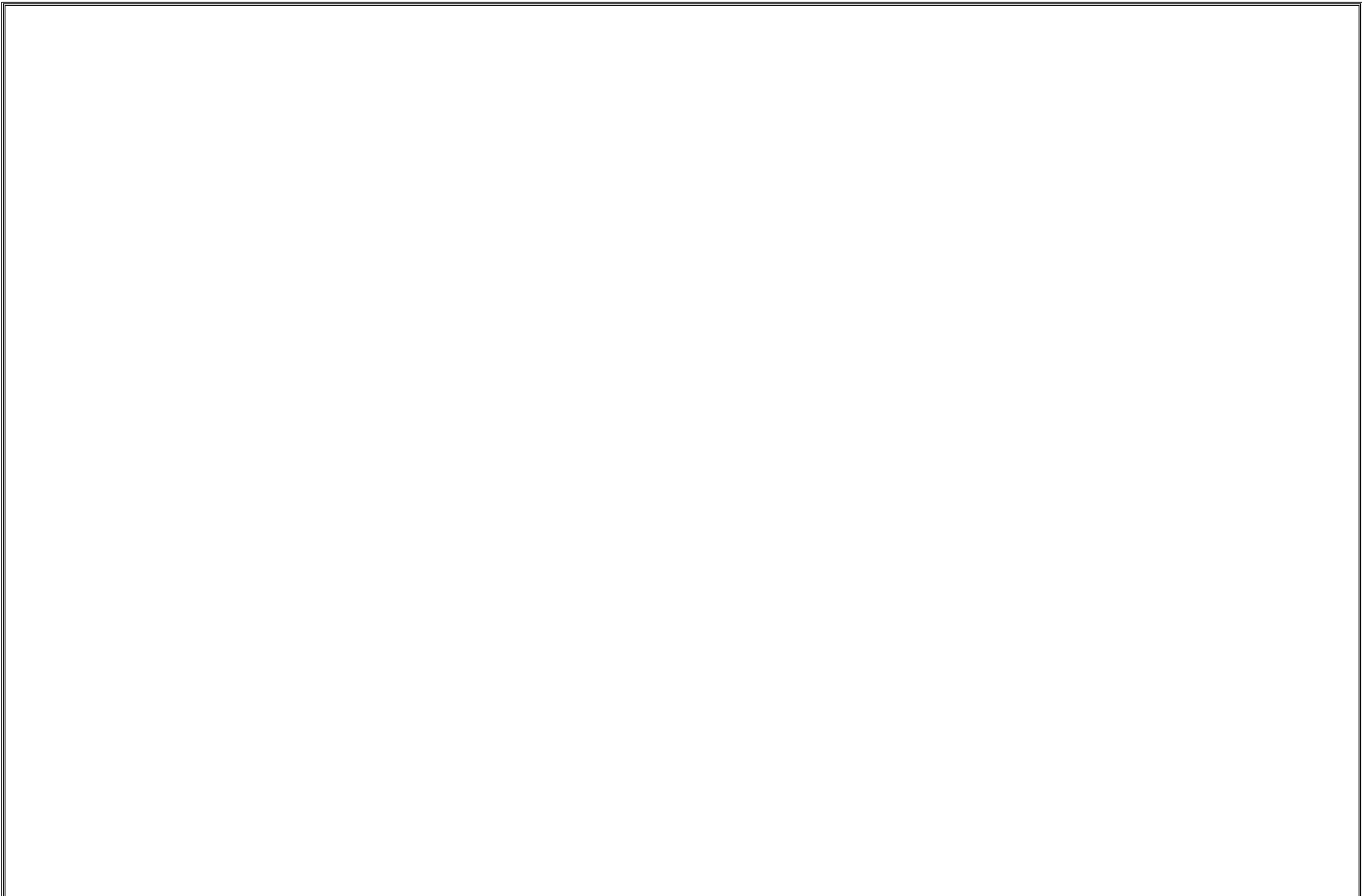


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図5	1/50	R-20



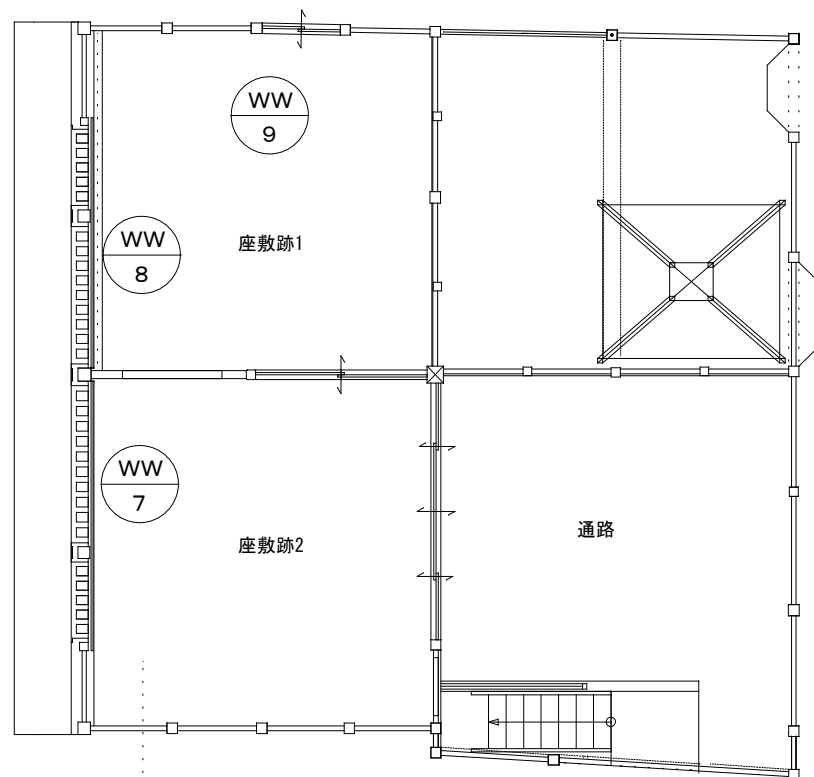
壁：下地軸組及び構造用合板現し（新設）

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図6	1/50	R-21

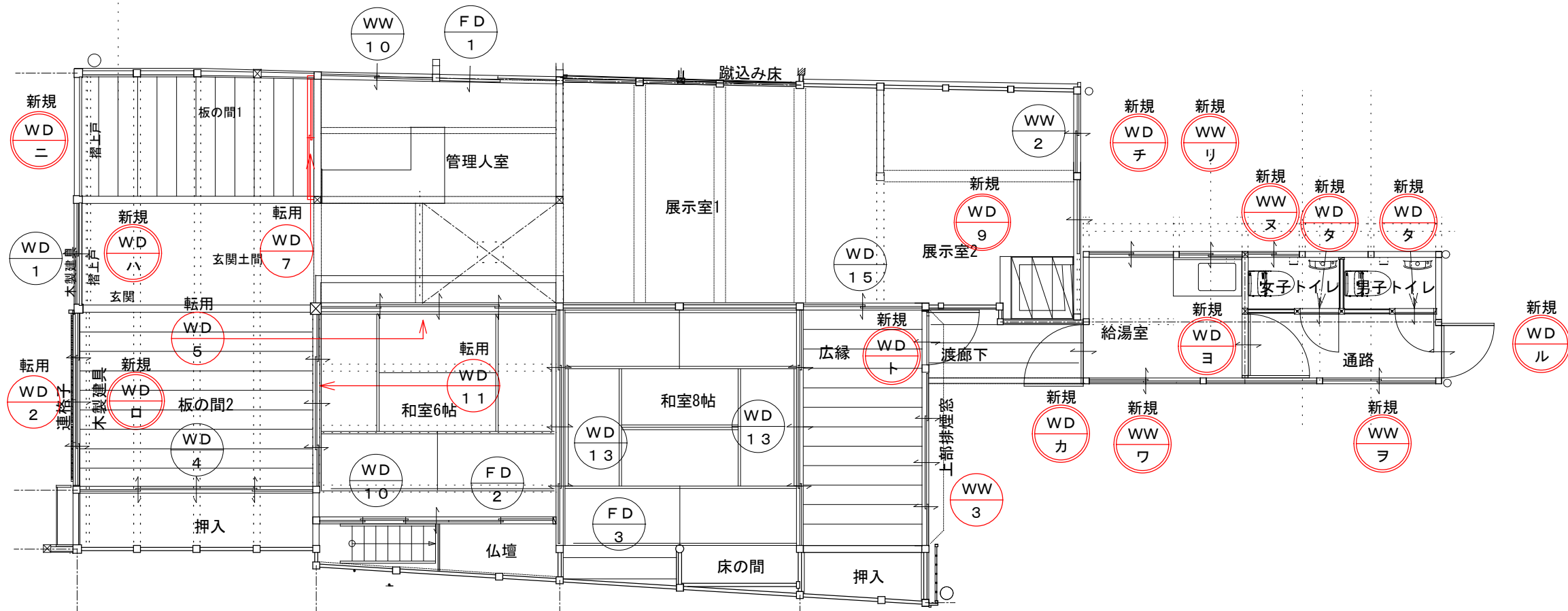


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修トイレ展開図1	1/50	R-22

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修トイレ展開図2	1/50	R-23




 新規建具



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	改修建具キープラン	1/80	R-24

共通事項 下記事項は■印のものを適用する。但し、これと異なる指示のある場合は除く。

- 開き扉の場合、180° 開放を除き、戸当りを設ける。また、戸当りのタイプは現地にて、監督員の確認を得ること。
- 見込寸法については、建具の三方枠は、壁の厚みにより異なるので、内部仕上表を参照し、見積もること。
- 特記なき限り、外部扉にはドアクローザー及び煽り止めを設ける。
- サッシのトロ詰めモルタルは無塩砂を使用し、塩化物を含む混和剤を用いてはならない。
- 網戸の防虫網はサラン製とし、16メッシュとする。

建具の種類と符号					
符号	種類	符号	種類	符号	種類
AD	アルミニウム製ドア	WD	木製ドア	SLW	スライディングウォール
SD	スチールドア	AW	アルミニウム製窓	VS	高気密型シートシャッター
SSD	ステンレス製ドア	SW	スチール製窓	VS2	一般型シートシャッター
LSD	軽量スチールドア	AG	アルミニウム製ガラリ	SS	スチールシャッター
SLD	スライディングドア	SG	スチール製ガラリ	SS	スチール防火シャッター (特定防火設備)
HD	防熱ドア	SK	ユニットカーテン	OS	オーバースラダー
SD	スチール防火ドア (特定防火設備)	PT	パーテーション		

ガラスの種類と符号					
符号	種類	符号	種類	符号	種類
FL	フロート板ガラス	FR	フロストガラス		耐火強化ガラス
PW	網入磨き板ガラス	T	フロート板強化ガラス		エッチングガラス
PWL	線入磨き板ガラス				
F	型板ガラス	ST	学校用強化ガラス		
FW	網入型板ガラス	STF	学校用強化型ガラス		
FWL	線入型板ガラス				

シャッター及びシートシャッターの開閉スイッチの種類と記号		錠の種類と符号		金物の種類と符号	
符号	種類	符号	種類	符号	種類
SS	センサー型	C	空錠 (サムターン付)	DC	ドアクローザー
PS	紐 (プルスイッチ)	PDA	非常開装置本締錠	LH	レバーハンドル
HS	手かざしセンサー型	ED	電気錠	GH	グレモンハンドル
RS	リモコンスイッチ型	PD	シリンダー本締錠	CH	ケースハンドル
PB	押ボタンスイッチ			F	フランス落し
扉：遮音性能				FH	フロアヒンジ
PAT	完全エアータイト仕様	遮音性能：40 d b 以上		PH	ピボットヒンジ
SAT	セミエアータイト仕様	遮音性能：25 d b 以上		BT	丁番 (ステンレス製)
				AH	オートヒンジ

沓摺の材質、形状と符号				ドアガラリの形状			
符号	材質	符号	形状	型	1型	2型	3型
SS-	ステンレス製		目地棒				
AL-	アルミ製		厚肉巾				
			建具枠巾				
			建具枠巾				

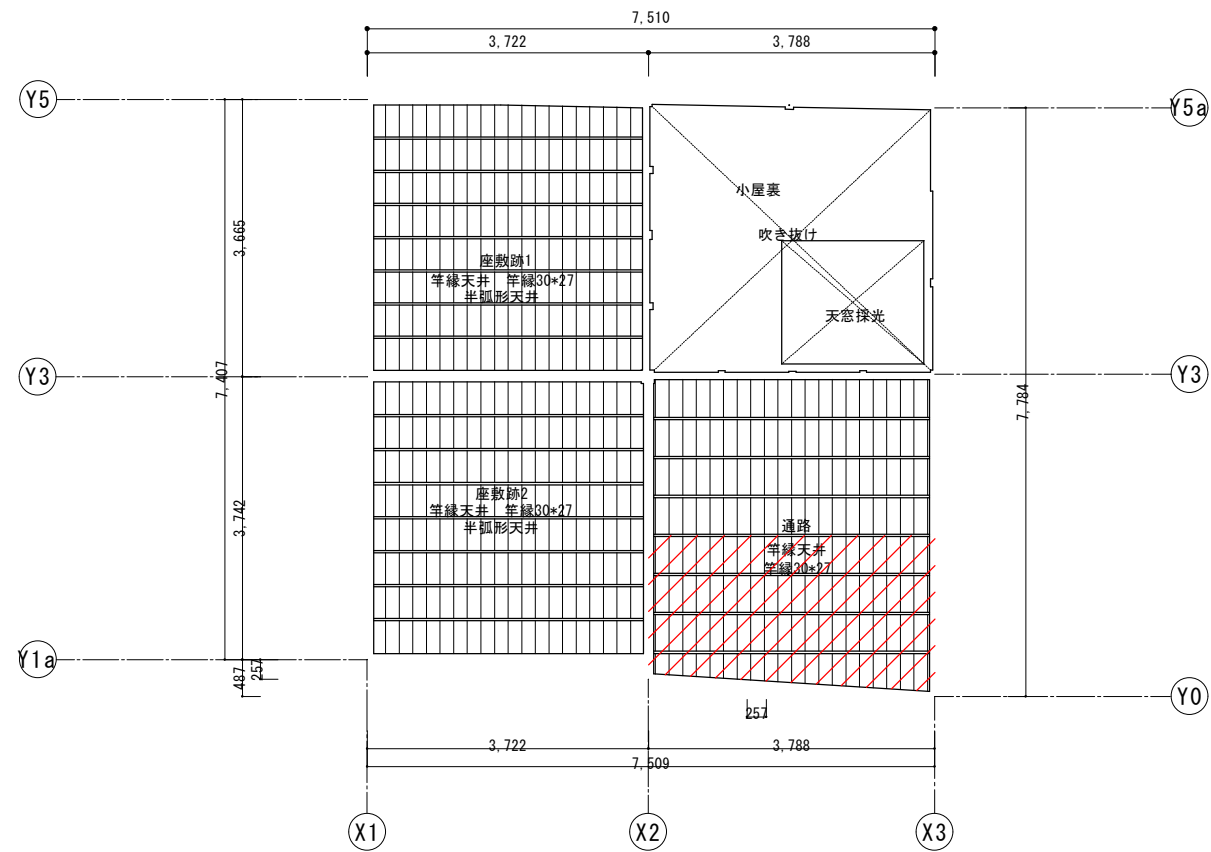
符号・数量	WD-1 (外)	WD-1 (内)	玄関土間	WD-2 (外)	板の間2
型式・見込	木製格子引違い戸 (既設)	木製ガラス引違い戸 (既設)	30	木製格子引違い戸 (既設)	30
姿図					
仕上					
ガラス					
金物	鍵取替 (ねじ込式)			戸車、サル錠	
備考	既存建具移設			既存建具転用	
符号・数量	WD-4		板の間2		
型式・見込	板戸4枚引違い戸 (既設)		30		
姿図					
仕上					
ガラス					
金物					
備考	既存建具さわらず				
符号・数量	WD-5		和室6帖	WW-10 管理入室	
型式・見込	板戸4枚引違い戸 (既設)		30		ガラス戸 引違い戸 (既設)
姿図					
仕上					
ガラス					
金物					
備考	既存転用		既存建具さわらず		

符号・数量	WD-7 (北面)	WD-7 (南面)	土間土間	WD-9 (新設)	展示室2	WD-10	階段
型式・見込	木製格子引違い戸 (既設)	木製障子引違い戸 (既設)	30	木製格子片引戸	30	木製格子引違い戸 (既設)	
姿 図							
仕 上	▲土間FL					▲FL	
ガラス				枠桧 タテ21*15 ヨコ22*6			
金 物				FL2			
備 考	既存建具転用の上 補修、調整、障子張替、引手掘込			丸棒ラッチ取付、引き手、サムソ、シリダ-錠、真鍮レール戸車		既存建具さわらず 金物固定	
符号・数量	WD-11	和室6帖	WD-13 (8枚)	和室8帖	WD-15	広縁	
型式・見込	木製障子引違い戸 (既設)	30	襖障子戸 4枚引違い戸 (既設)	30	板戸 引違い戸 (既設)	30	
姿 図							
仕 上	▲FL						
ガラス							
金 物							
備 考	既存建具転用の上		既存建具調整、障子張替		既存建具さわらず		
符号・数量	FD-2	仏間	FD-3	天棚			
型式・見込	襖戸 引違い戸 (既設)	22.7	襖戸 4枚引違い戸 (既設)	30			
姿 図							
仕 上	▲FL						
ガラス							
金 物							
備 考	既存建具さわらず		既存建具さわらず				

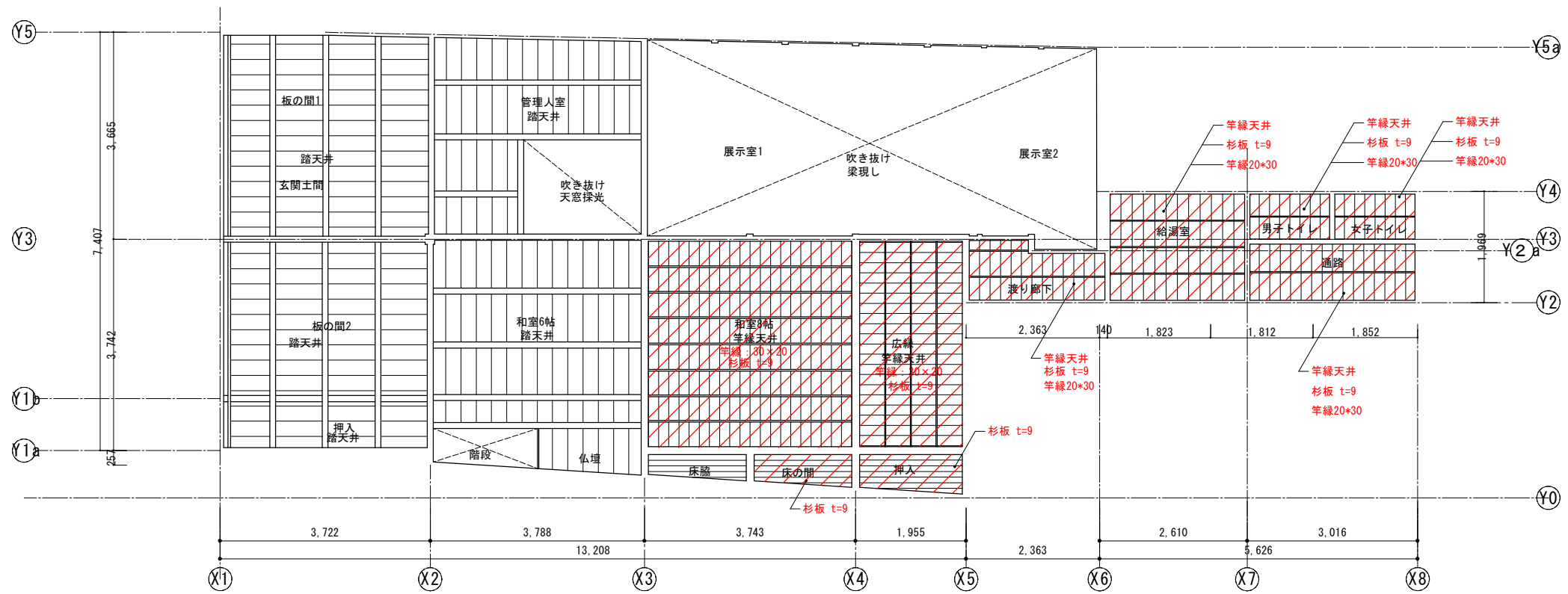
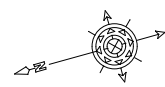
符号・数量	WW-2 展示室2	WW-3 広縁	WW-3 (改修) 2枚 広縁	WW-3 (新設) 広縁
型式・見込	ガラス戸 引違い戸(既設) 30	ガラス戸 4枚引違い戸(既設) 30	欄間格子戸 内倒し戸(既設) 30	ガラス戸 4枚引違い戸(既設) 30
姿 図				
仕 上	ガラス取替 FL3 3枚			桝桧
ガラス				FL3
金 物			はめころし戸を内倒し戸へ転用のため、丁番・フック取付	ねじしまり錠、金物一式、真鍮レール戸車
備 考	既存建具調整	ガラス戸のみ撤去 欄間格子戸補修・改修 →改修、新設図を参照	欄間格子戸 補修、調整、障子張替	既存建具と同デザインにて新設
符号・数量	WW-7 座敷跡2	WW-8 座敷跡1	WW-9 座敷跡1	
型式・見込	ガラス戸 3枚引戸(既設) 30	ガラス戸 3枚引戸(既設) 30	ガラス戸 引違い戸(既設) 30	
姿 図				
仕 上	ガラス取替 FL3 3枚	ガラス取替 FL3 5枚		
ガラス				
金 物				
備 考	既存建具さわらず	既存建具さわらず	既存建具さわらず	
符号・数量	WD-口 (新設) 板の間2	WD-ハ (新設) 玄関土間	WD-ニ (新設) 板の間1	
型式・見込	ガラス格子戸 4枚 30	摺上戸 3枚 30	摺上戸 3枚 30	
姿 図				
仕 上	桝桧 杉板 t=6	桝桧 杉板 t=9	桝桧 杉板 t=9	
ガラス	FL3			
金 物	金物一式、ねじ込み錠	かんぬき	かんぬき	
備 考		摺上戸 桝の調整及び、格子戸との取合いの調整 要 潜り戸付き	摺上戸	

符号・数量	WD-ト (新設)	広縁	WD-チ (新設)	給湯室	WW-リ (新設)	給湯室				
型式・見込	木製ガラス戸	30	木製引違戸 2枚	30	木製引違ガラス戸 2枚	30				
姿 図										
仕 上	桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6					
ガラス	FR3		FR3		FR3					
金 物	かんぬき、丁番、金物一式		引手、金物一式、真鍮レール戸車、スライド、シリンダー錠		引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠					
備 考										
符号・数量	WW-ヌ (新設)	トイレ	WD-ル (新設)	通路	WW-ヲ (新設)	通路	WW-フ (新設)	給湯室	WD-カ (新設)	給湯室
型式・見込	木製引違ガラス戸 2枚	30	木製ガラス戸	30	木製引違ガラス戸 2枚	30	木製引違ガラス戸 2枚	30	木製板戸	30
姿 図										
仕 上	桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6	
ガラス	FR3		FR3		FR3		FR3			
金 物	引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠		かんぬき、丁番、金物一式		引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠		引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠		かんぬき、丁番、金物一式	
備 考										
符号・数量	WD-ヨ (新設)	給湯室	WD-タ (新設)	男子トイレ・女子トイレ						
型式・見込	木製ガラス戸	30	木製ガラス戸	30						
姿 図										
仕 上	桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6							
ガラス	FR3		FR3							
金 物	かんぬき、丁番、金物一式		かんぬき、丁番、金物一式							
備 考										

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 改修建具表4	縮尺 1/50	図面NO R-28
		日付	日付	日付			



二階天井伏図

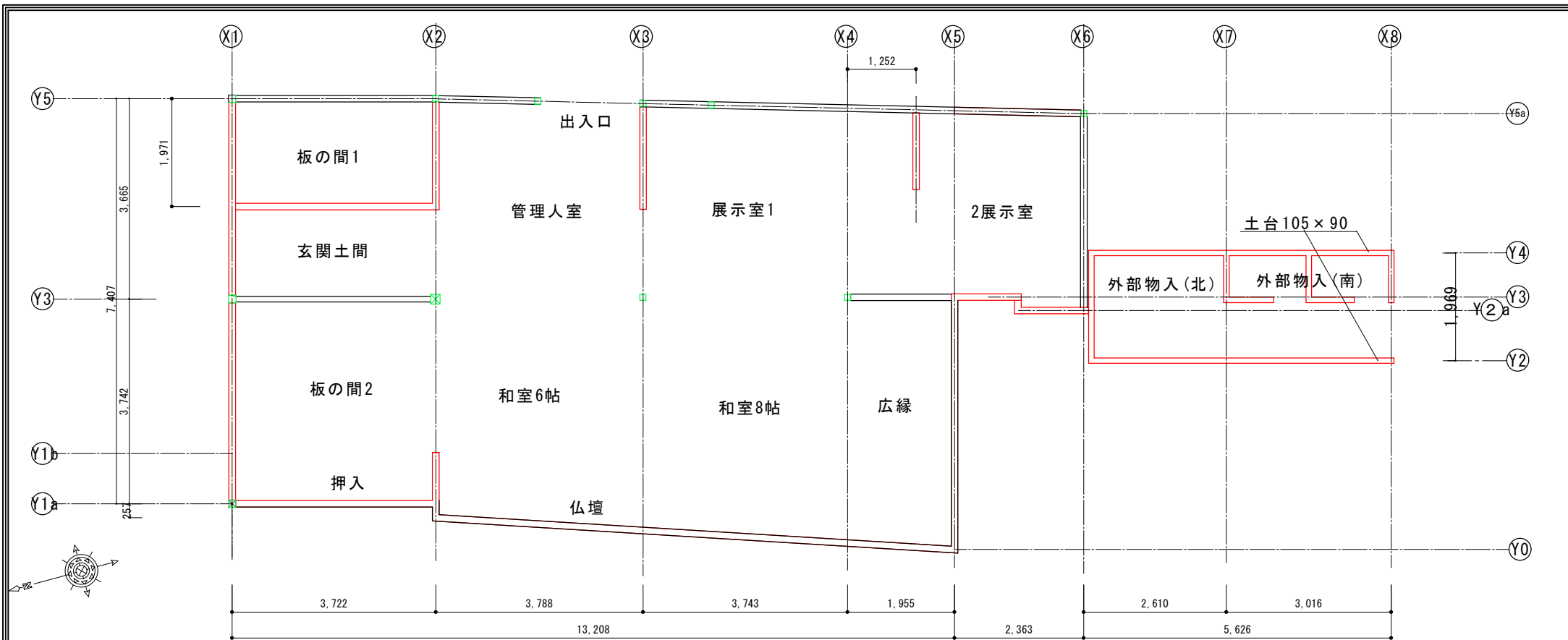


一階天井伏図

凡例

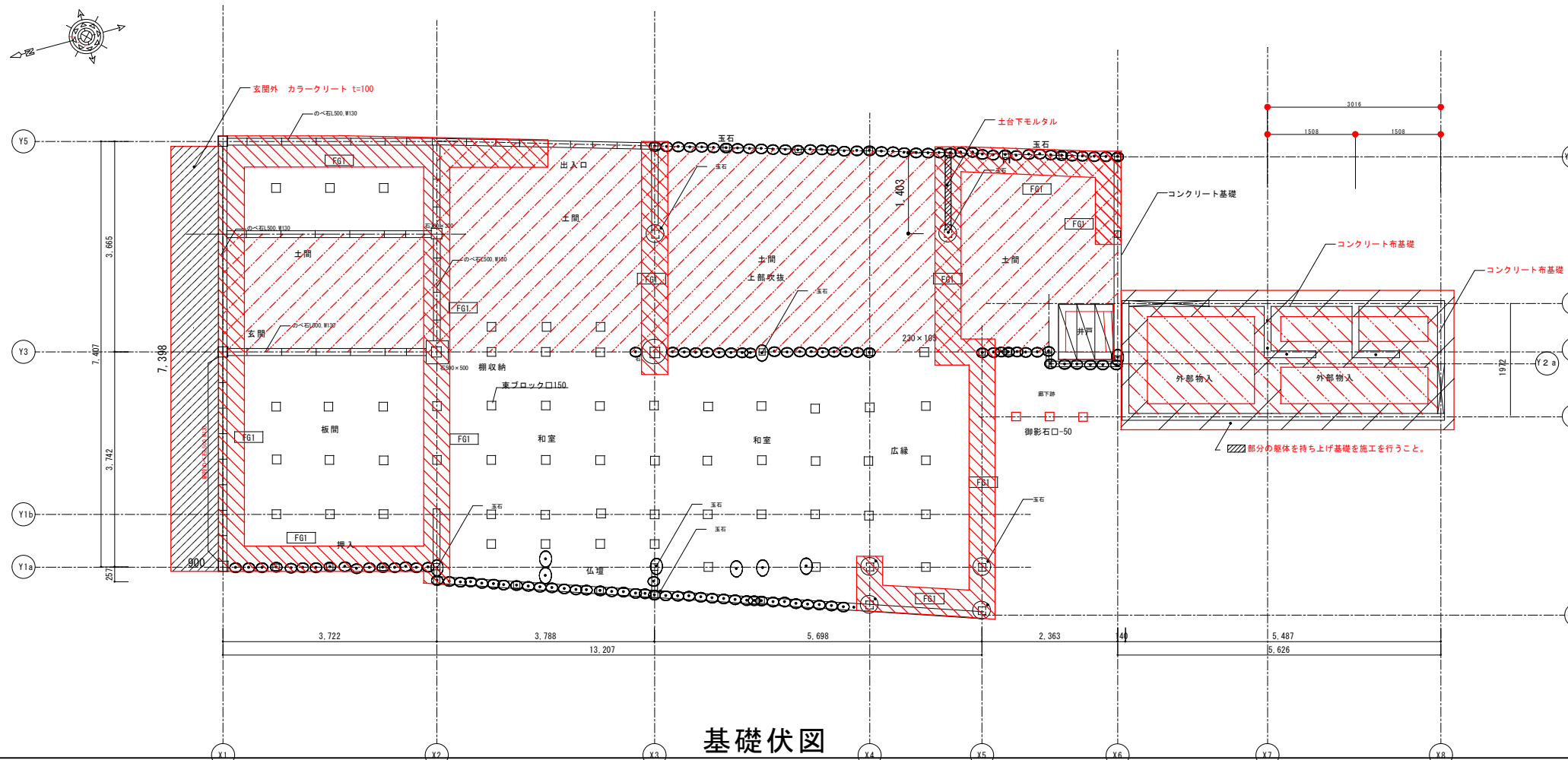
改修部分を示す。
 既存部材は可能な限り転用すること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修天井伏図	1/100	R-29



土台伏図

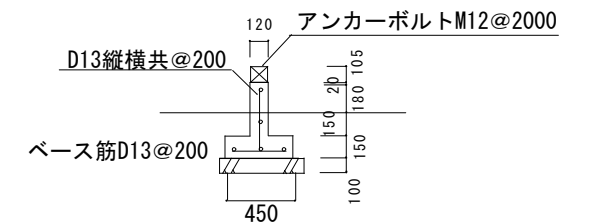
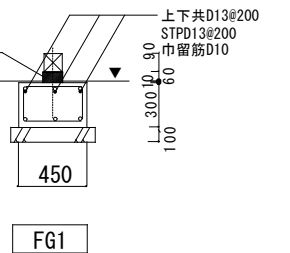
※土台特記なし部分120×90



基礎伏図

見え掛り部分のべ石L500、W130、90
又は既存のべ石、玉石
土台下モルタル充填

アンカーボルトM-12@2000L=300
Fc=21kN/m²



基礎詳細図 1/50

- 改修部分を示す。(赤表記部分も改修)
- 土間たたき補修部分を示す。
- 土間コンクリート(防湿コンクリート)施工範囲を示す。
- カラークリート施工範囲を示す。

工事名
関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者
日付

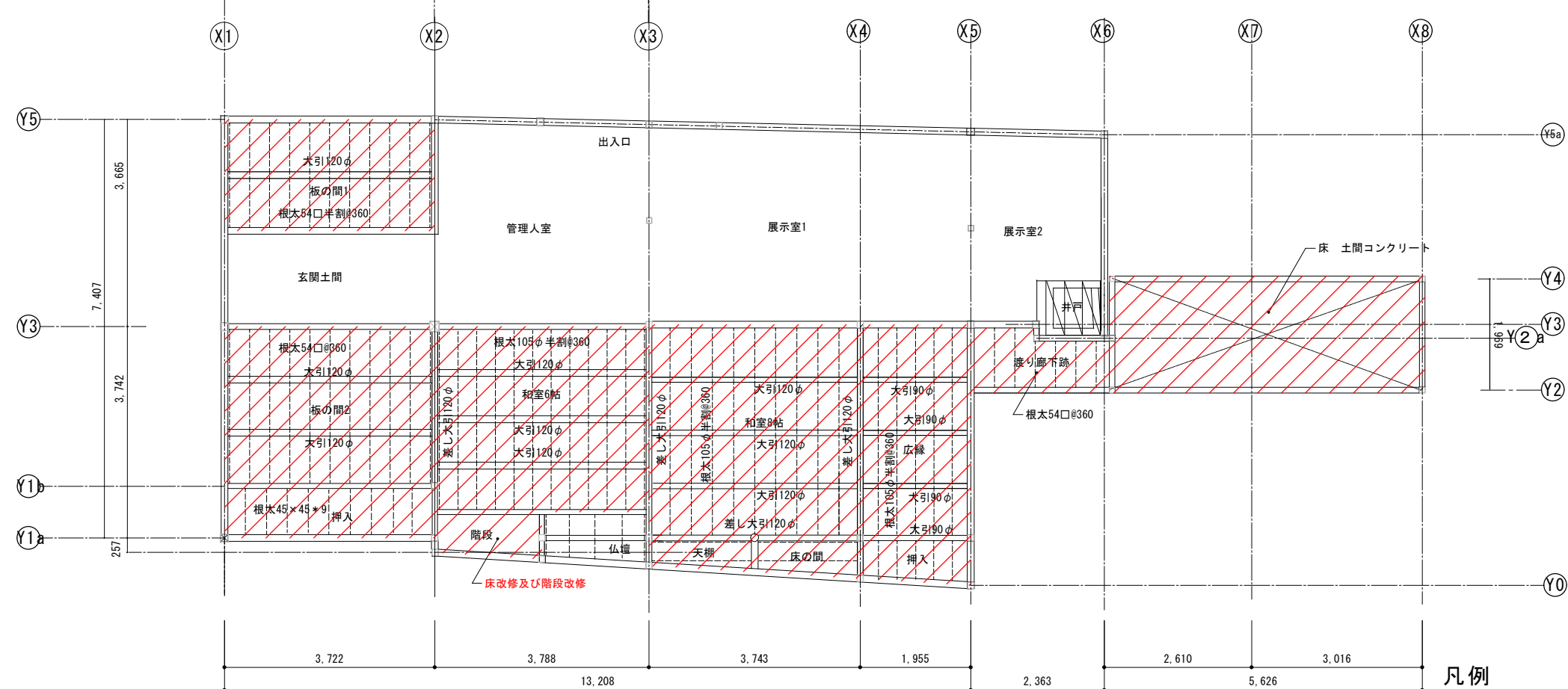
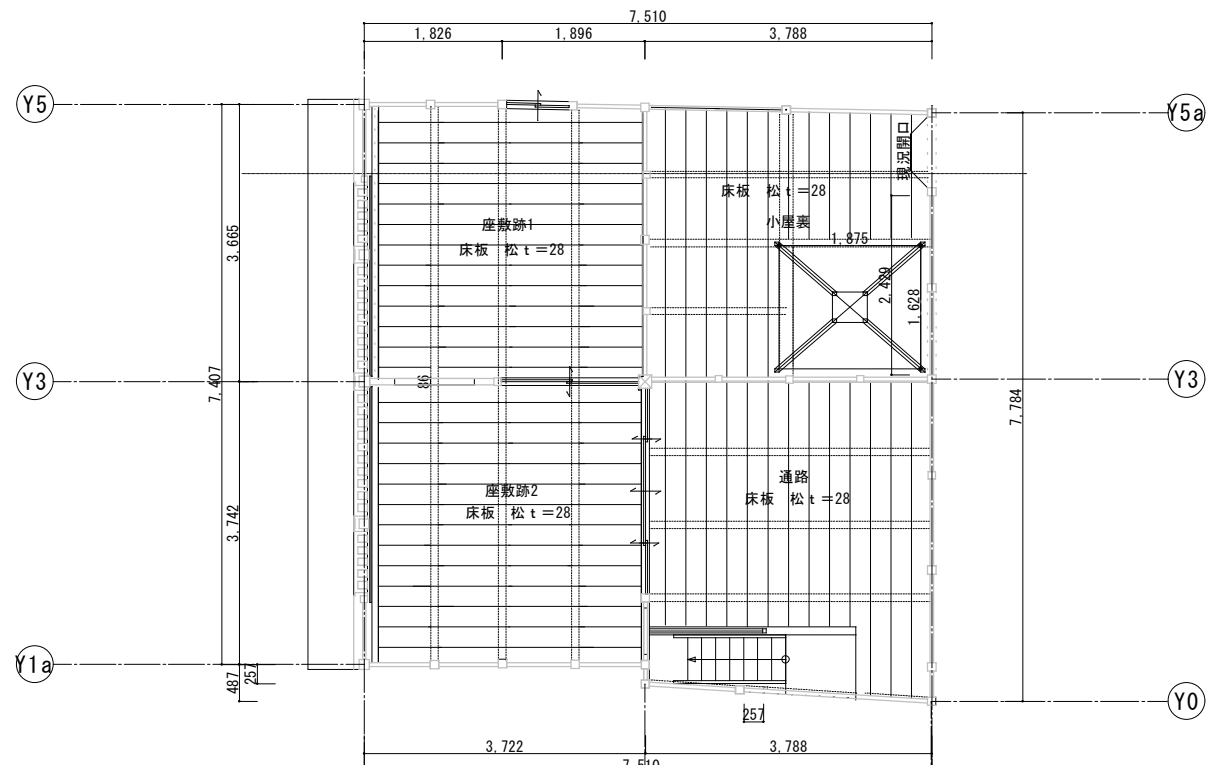
設計者
日付

担当者
日付

図面名
改修基礎伏図

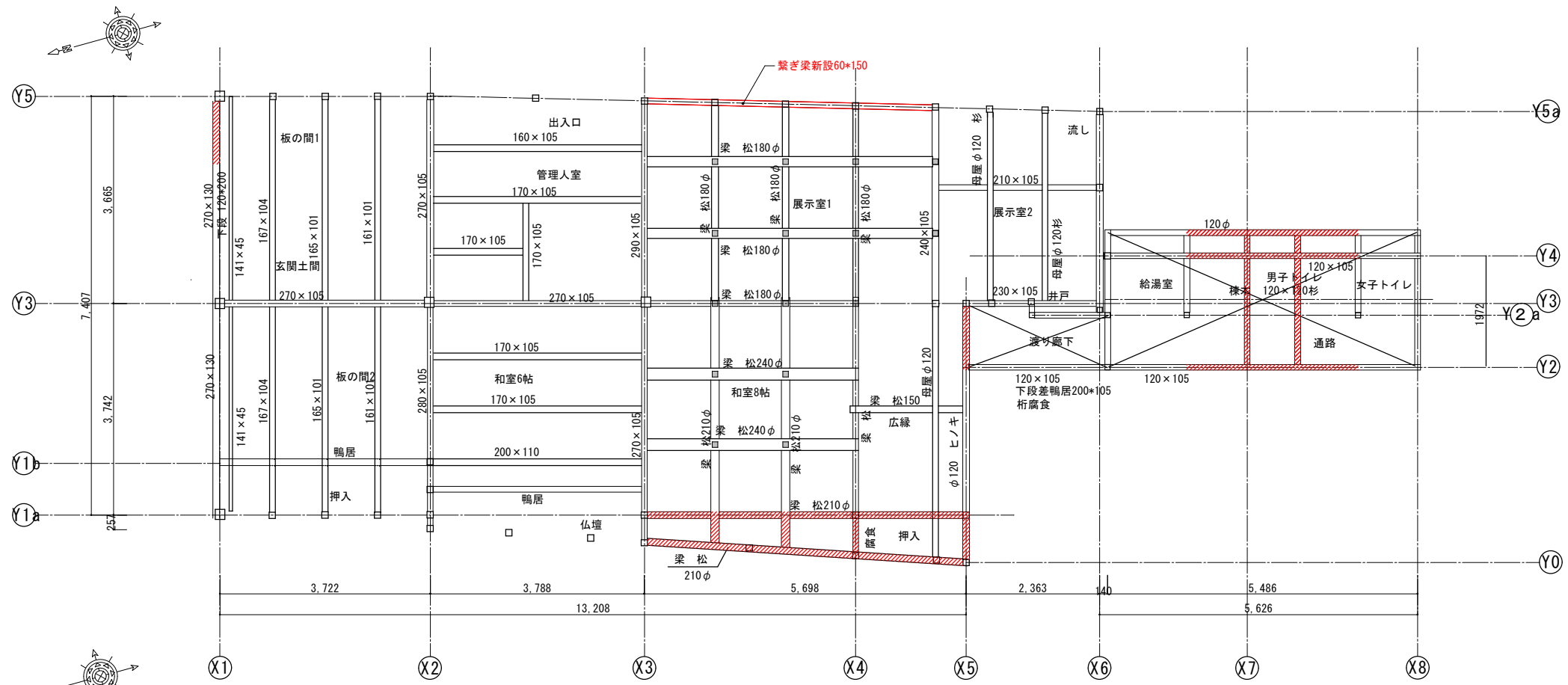
縮尺
1/100

図面NO
R-30



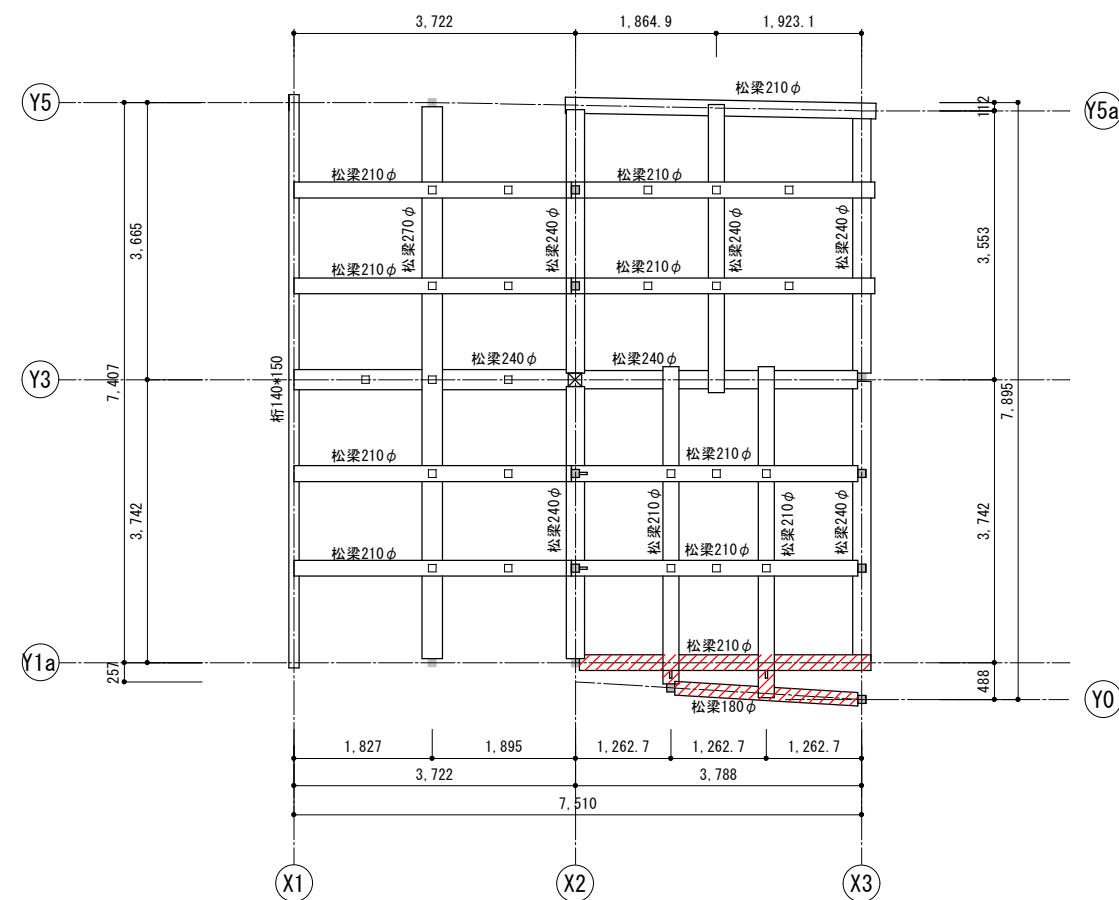
凡例
 改修部分を示す。(赤線部分)
 既存部材は可能な限り転用すること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修床伏図	1/100	R-31



一階梁伏図 (差鴨居含む)

※特記なしの場合 杉材

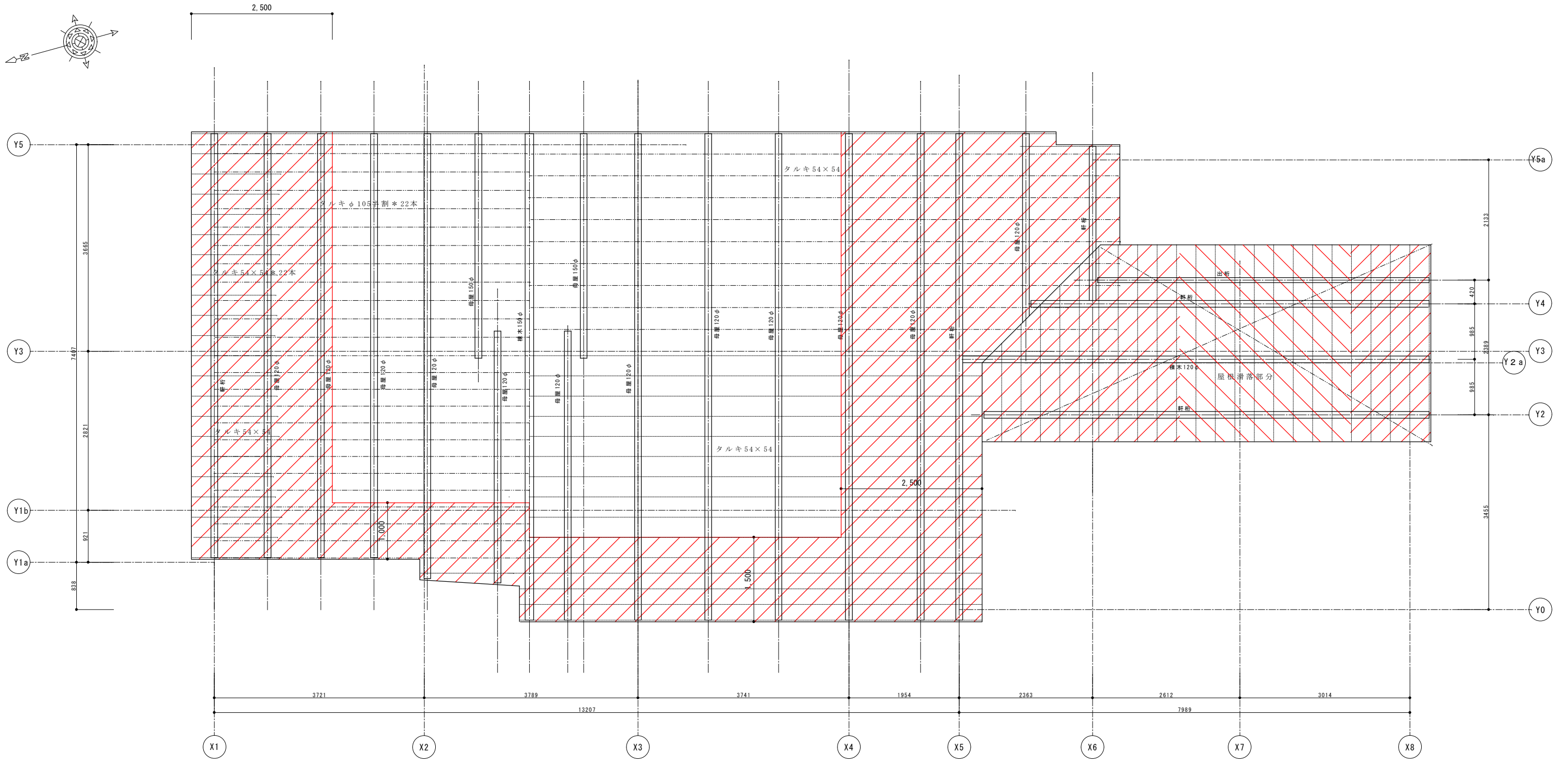
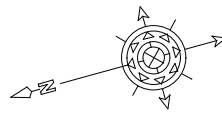


二階梁伏図

凡例

改修部分を示す。

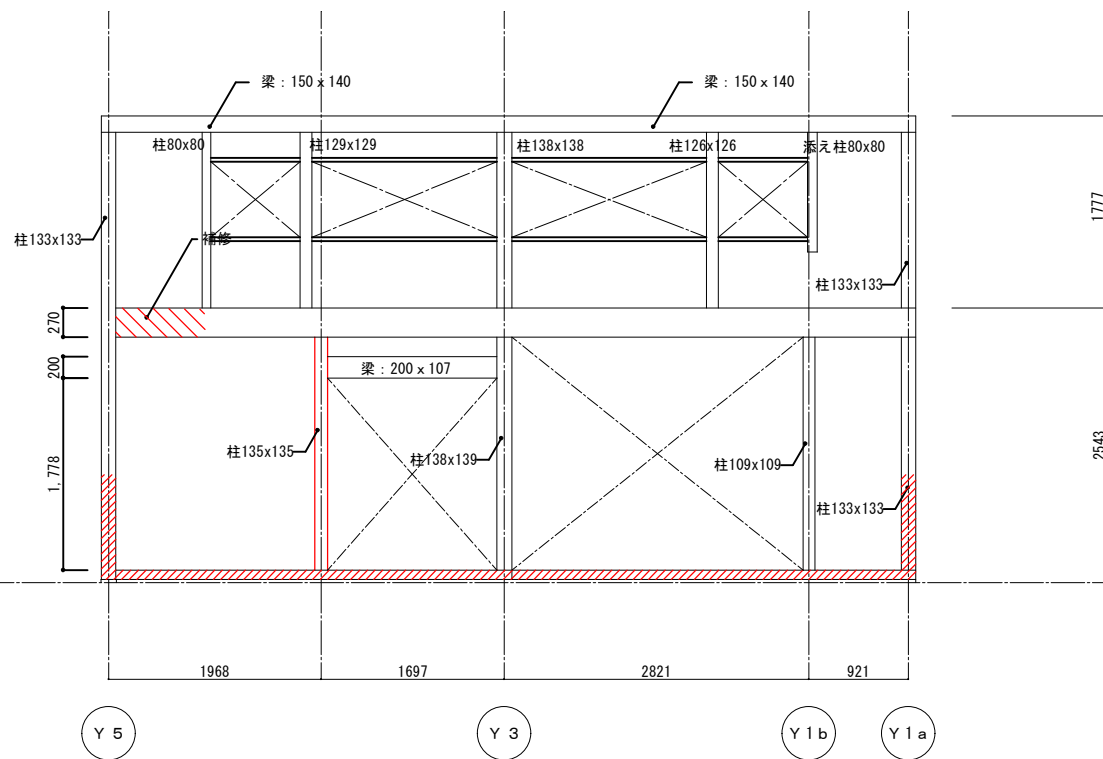
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修梁伏図	1/100	R-32



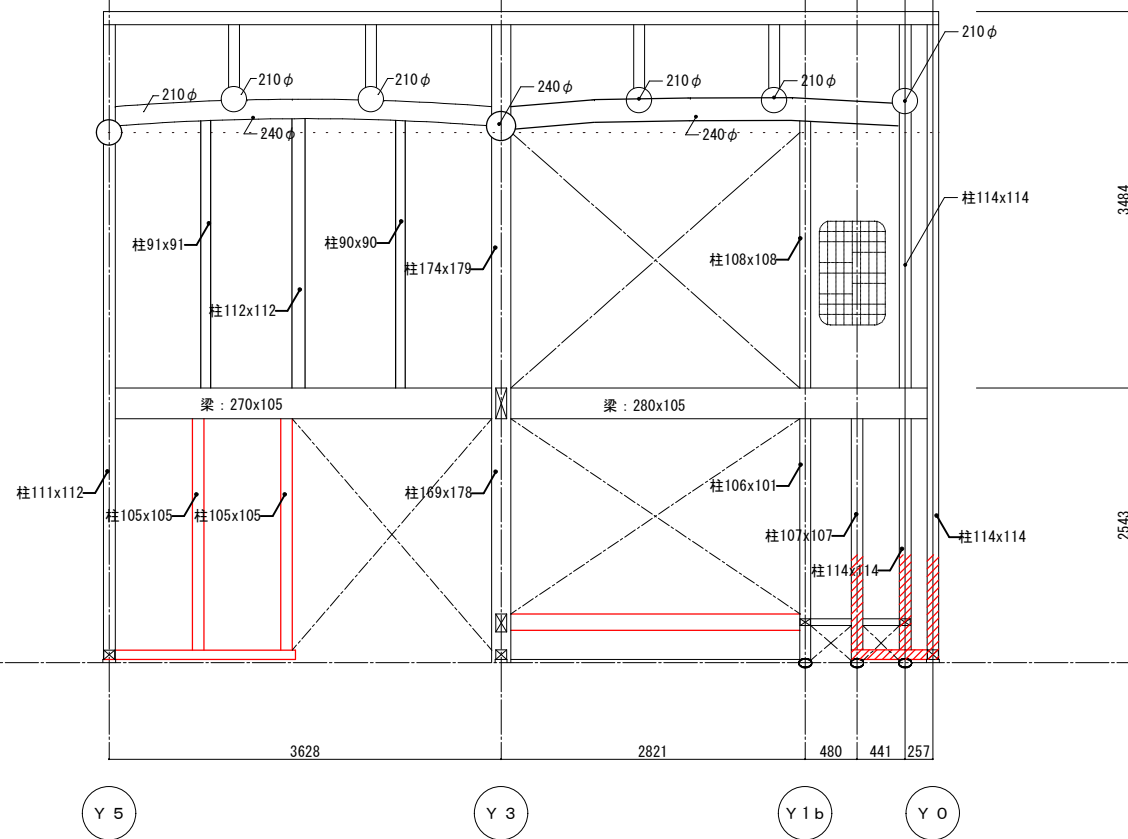
凡例

- 垂木、母屋、野地、棟木全面改修部分を示す。
- 垂木、野地半数改修部分を示す。
(使用可能な材料は極力再使用すること。)

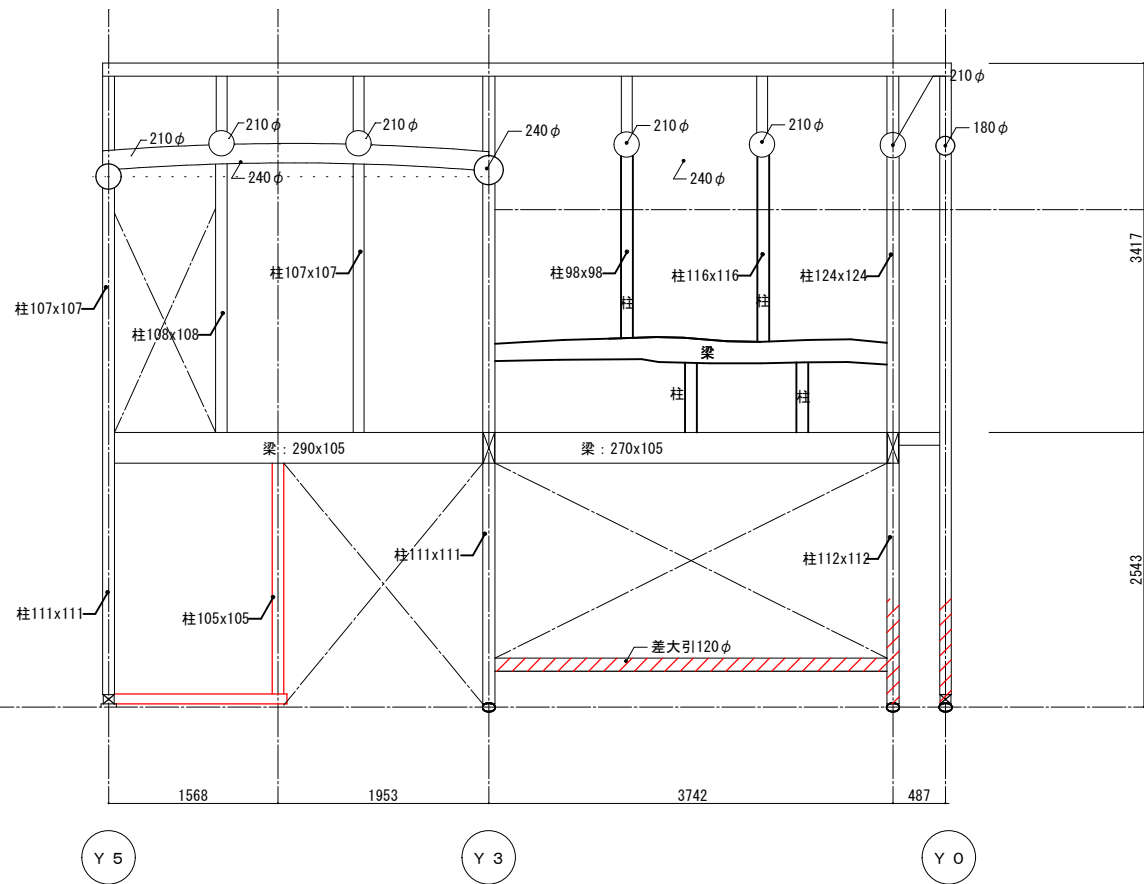
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修小屋伏図	1/100	R-33



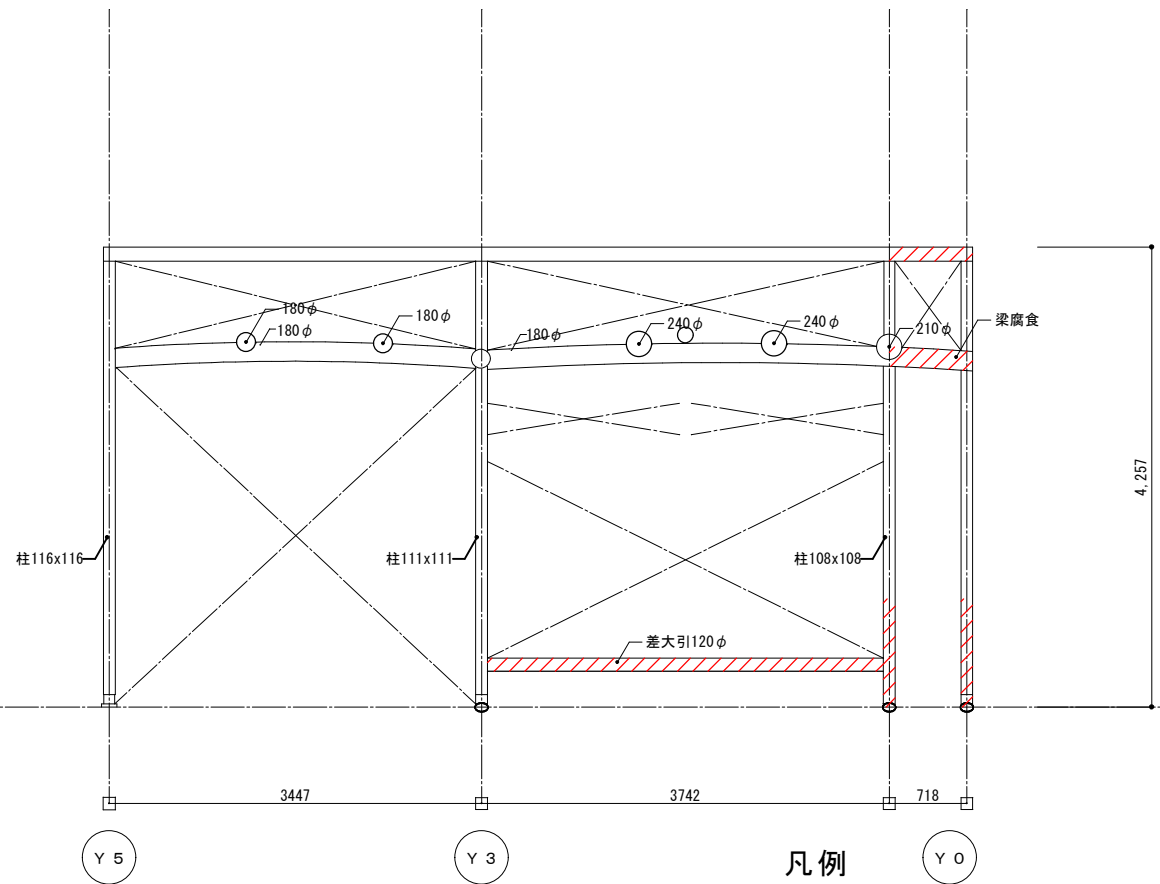
X 1 通り



X 2 通り



X 3 通り

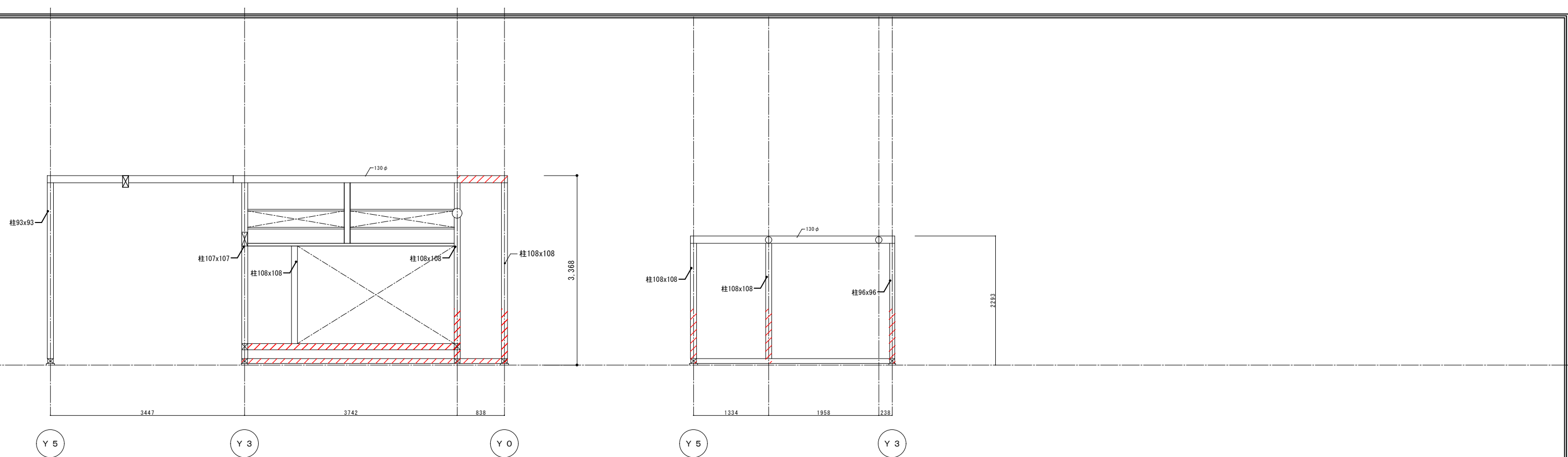


X 4 通り

凡例

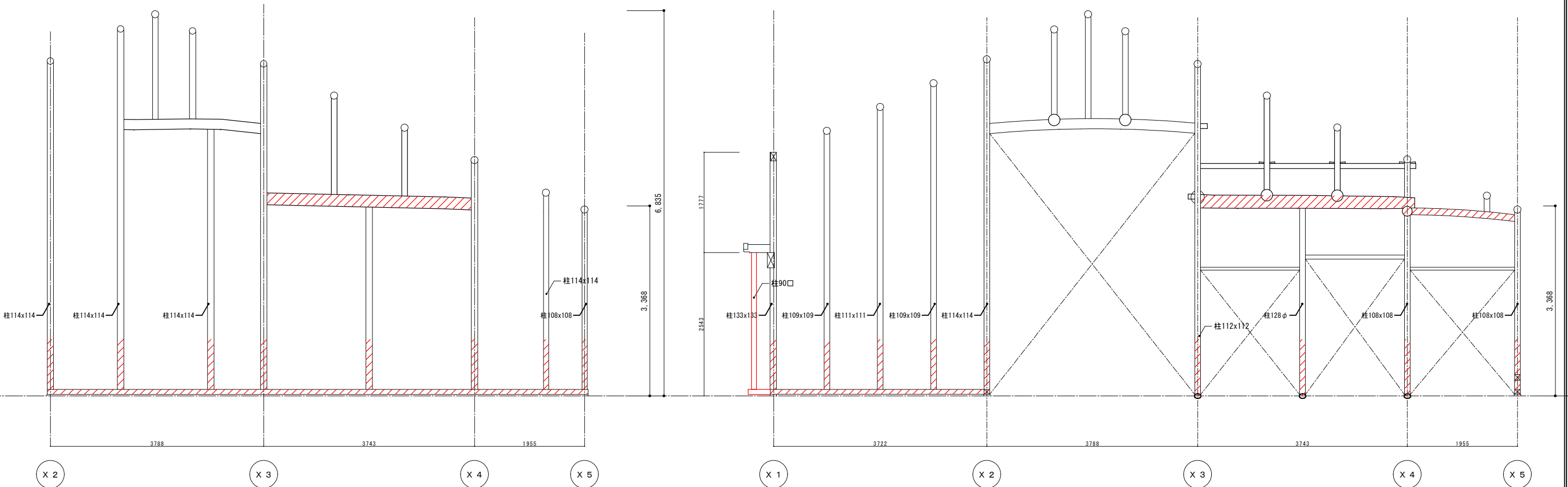
新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 改修軸組図1	縮尺 1/70	図面NO R-34
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



X 5 通り

X 6 通り



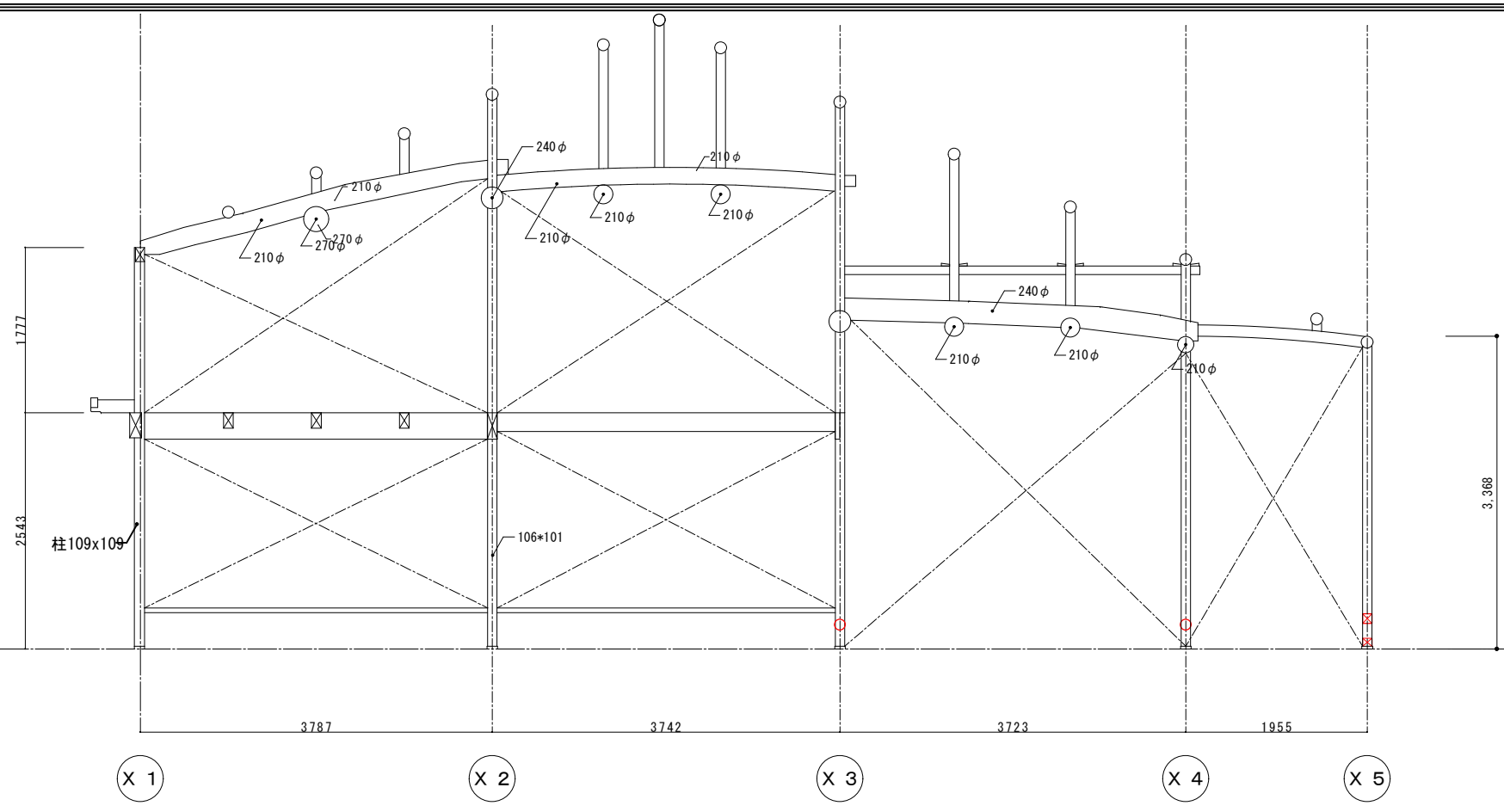
Y 0 通り

Y 1 a 通り

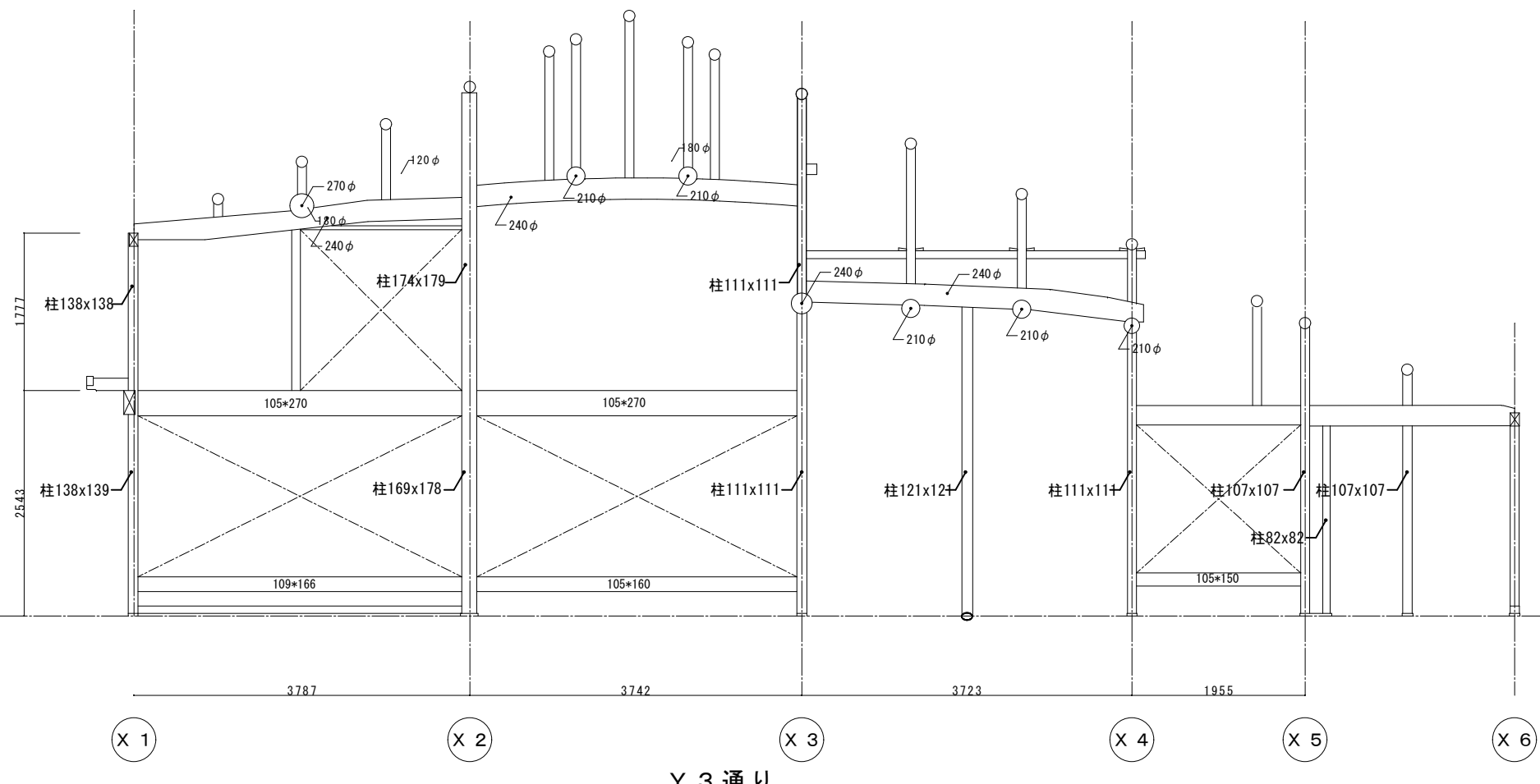
凡例

新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修軸組図2	1/70	R-35



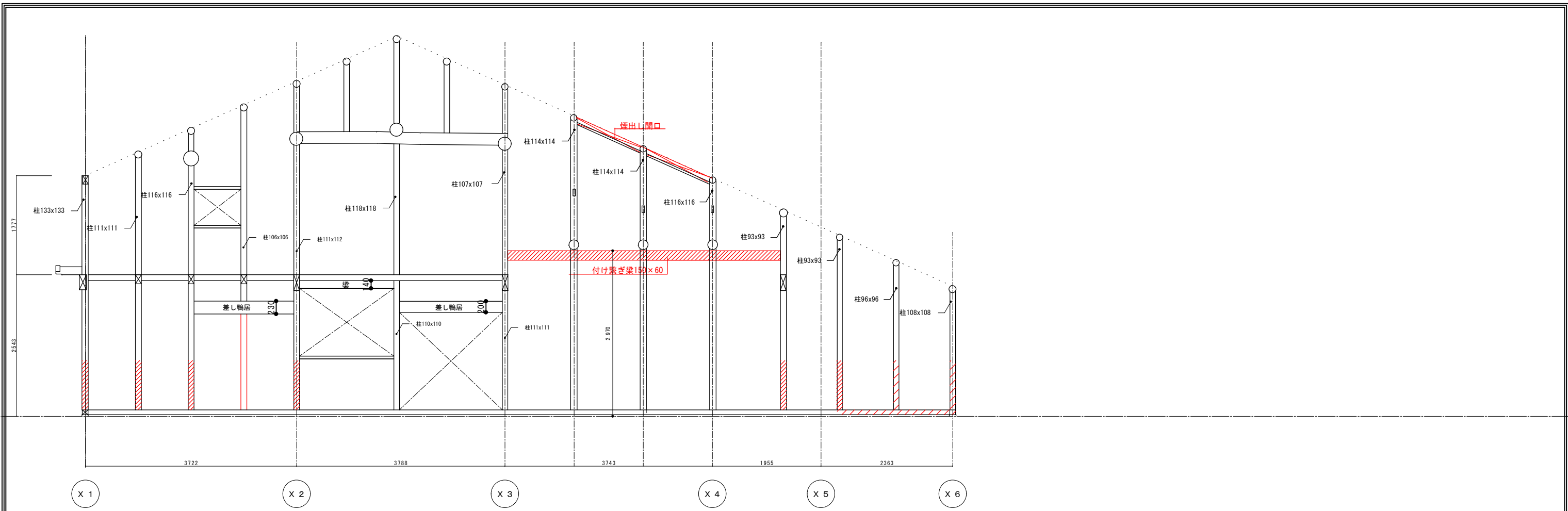
Y 1 b 通り



Y 3 通り

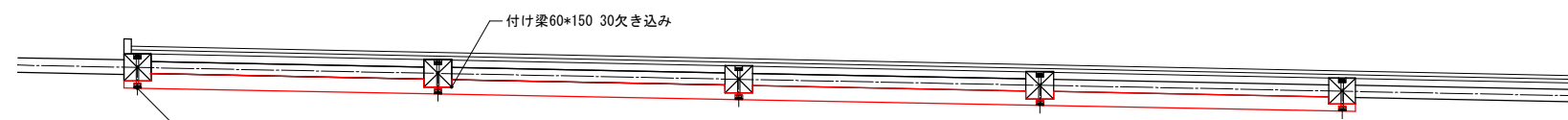
凡例
 新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 改修軸組図3	縮尺 1/70	図面NO R-36
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



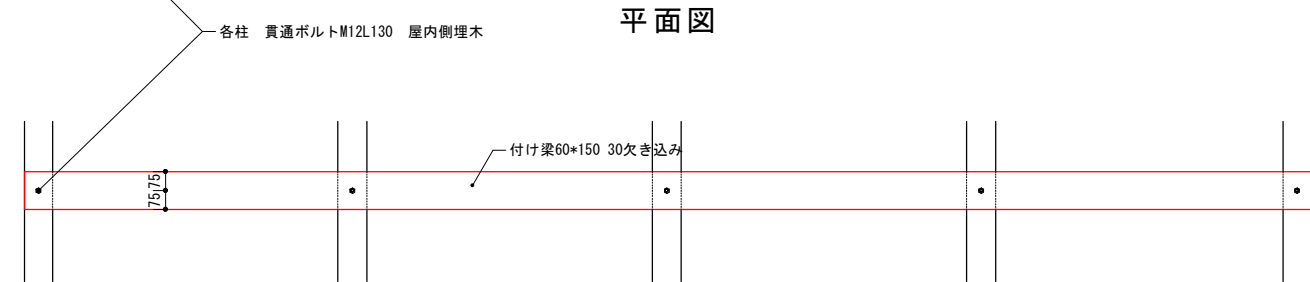
Y 5 通り

外



内


平面図



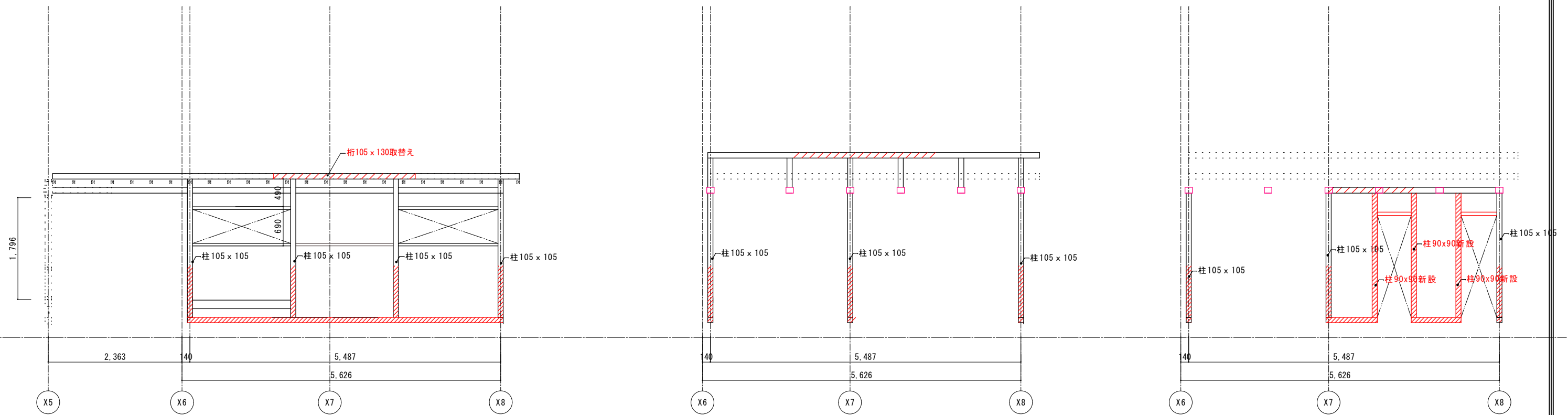
正面展開図

繋ぎ梁詳細図 1/30

凡例

 新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

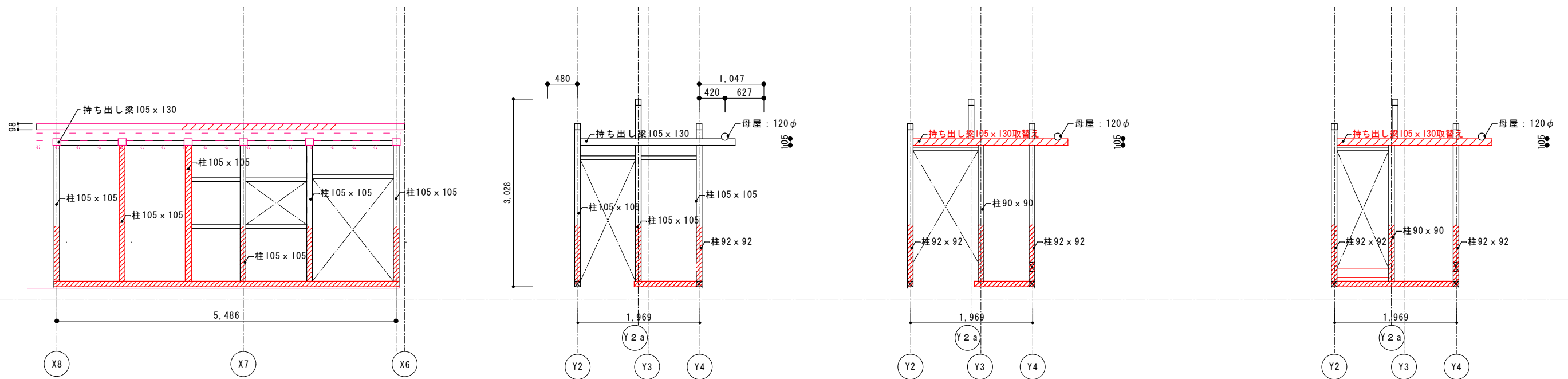
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修軸組図4	1/70	R-37



角屋 Y 2 通り

角屋 Y 2 a 通り

角屋 Y 3' 通り



角屋 Y 4 通り

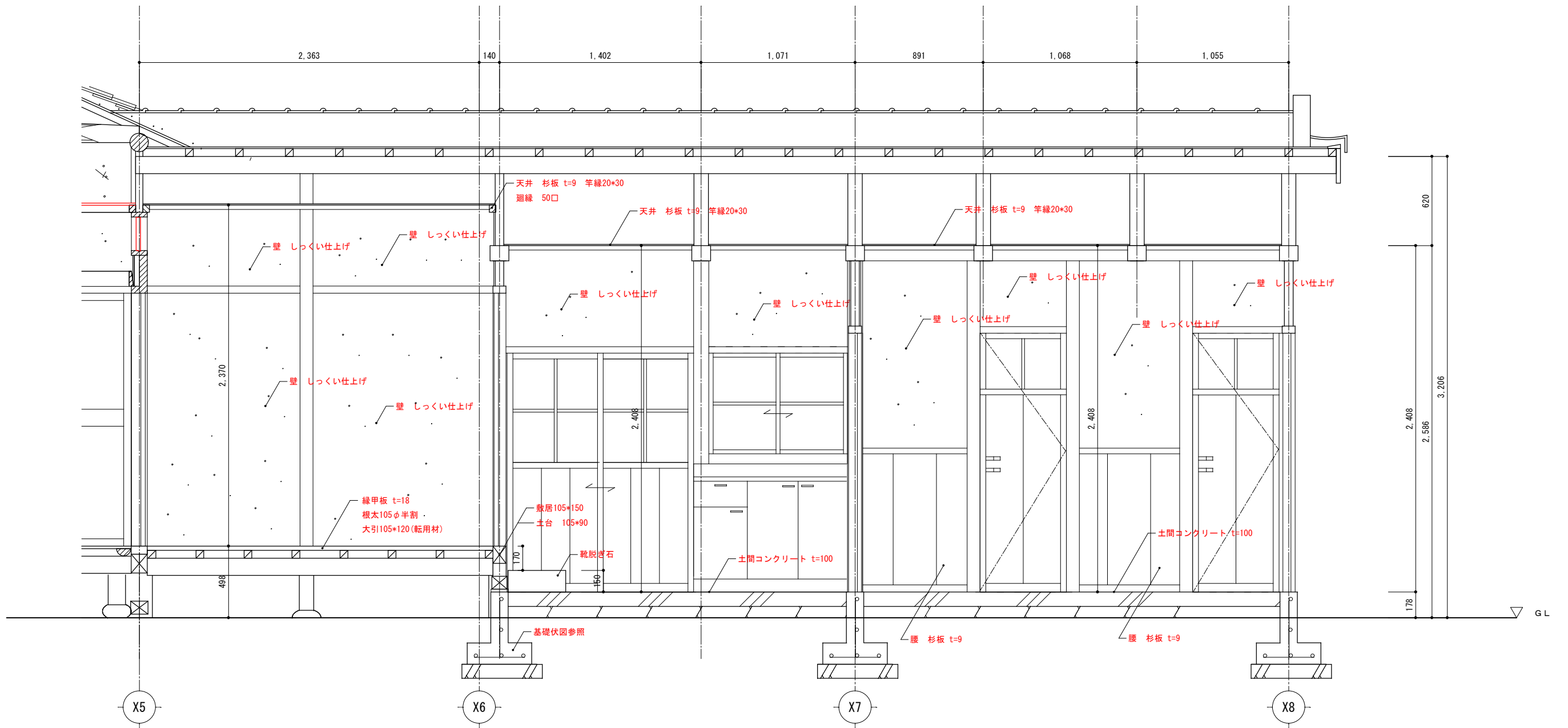
X 8 通り

X 7 通り

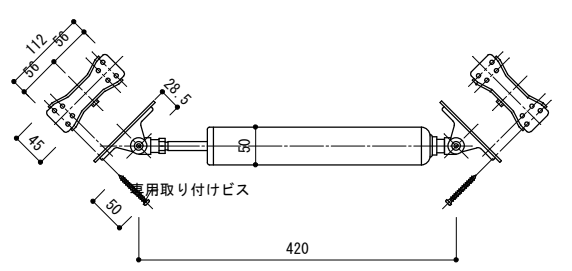
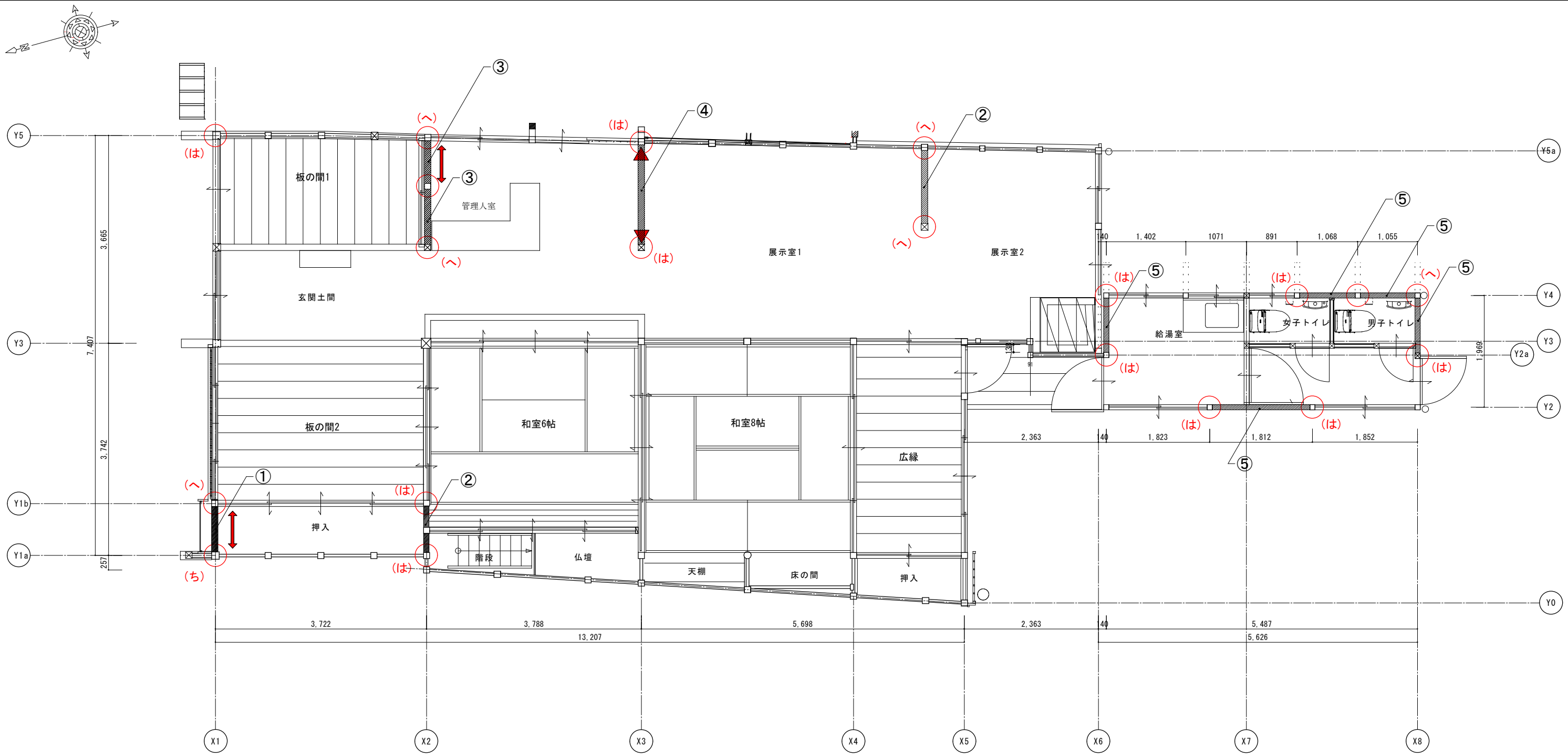
凡例

新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

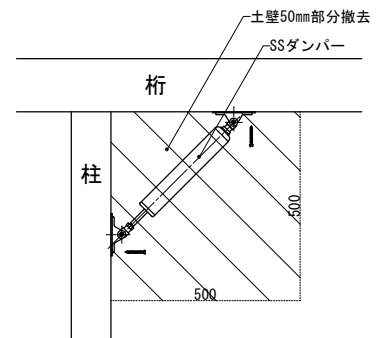
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修軸組図5	1/70	R-38



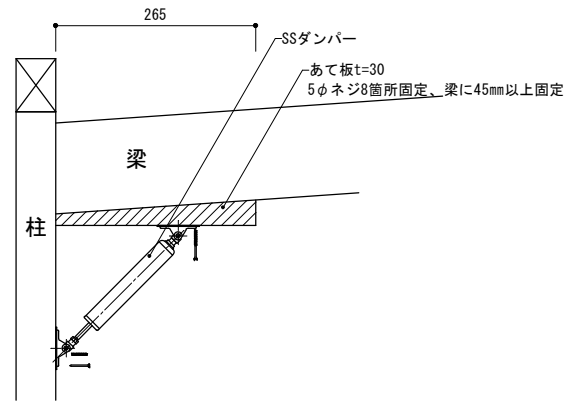
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修トイレ棟断面図	1/30	R-39



油圧ダンパー寸法図 1/10



※土壁の切欠きは最小限とすること。

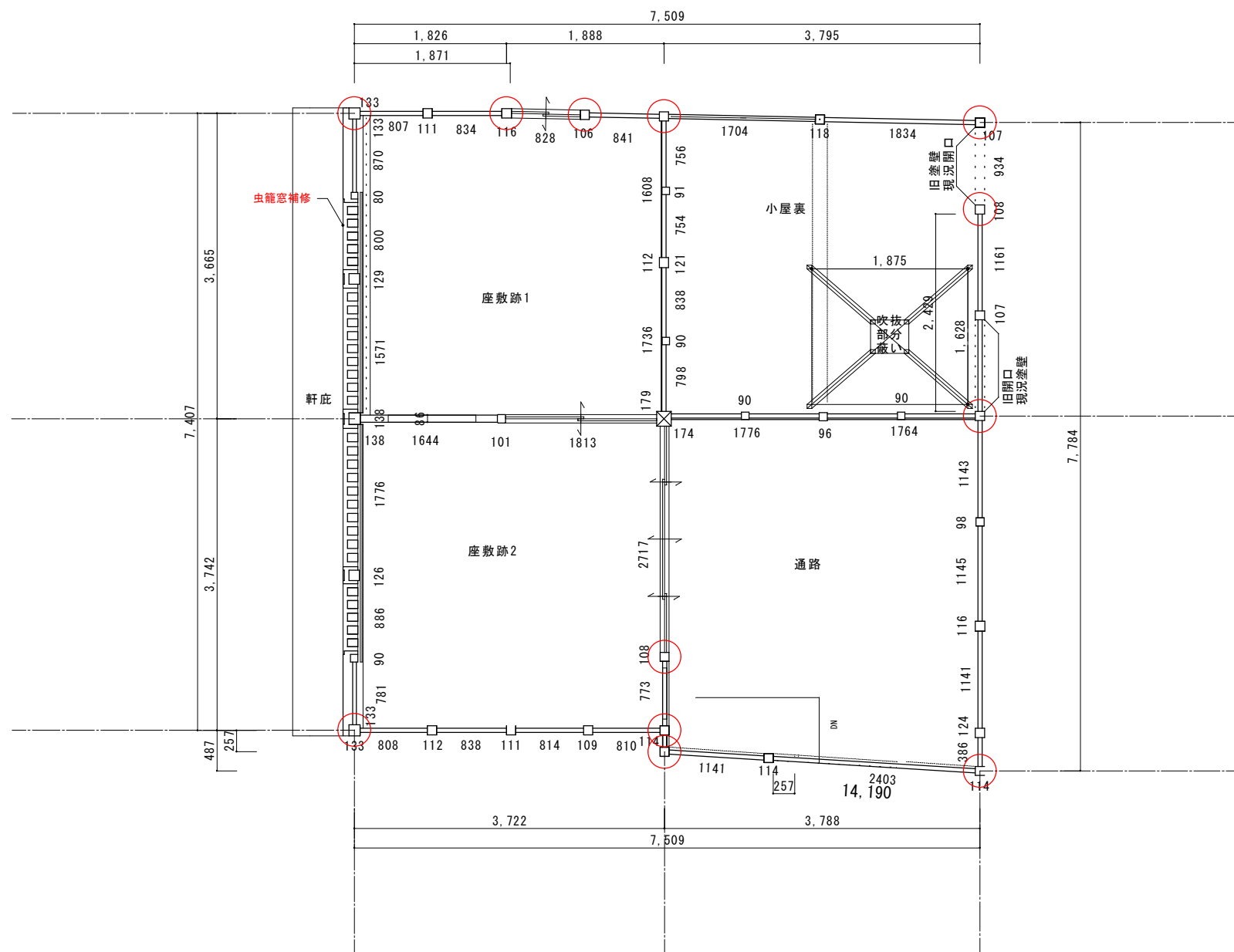


凡例

- SSダンパー-evoltz同等品(上下二段)
- SSダンパー-evoltz L220同等品
- 柱端接合金物を示す。()内は告示記号を示す。
- ① 構造用合板 t=9両面張り(真壁+大壁)
- ② 構造用合板 t=9+石膏ボード t=12 準耐力壁仕様
- ③ 構造用合板 t=9両面張り(大壁+大壁)
- ④ 構造用合板 t=9片面張り(大壁)
- ⑤ 構造用合板 t=9片面張り(真壁)

油圧ダンパー取り付け図 1/10

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	構造補強一階平面図	1/70	R-40

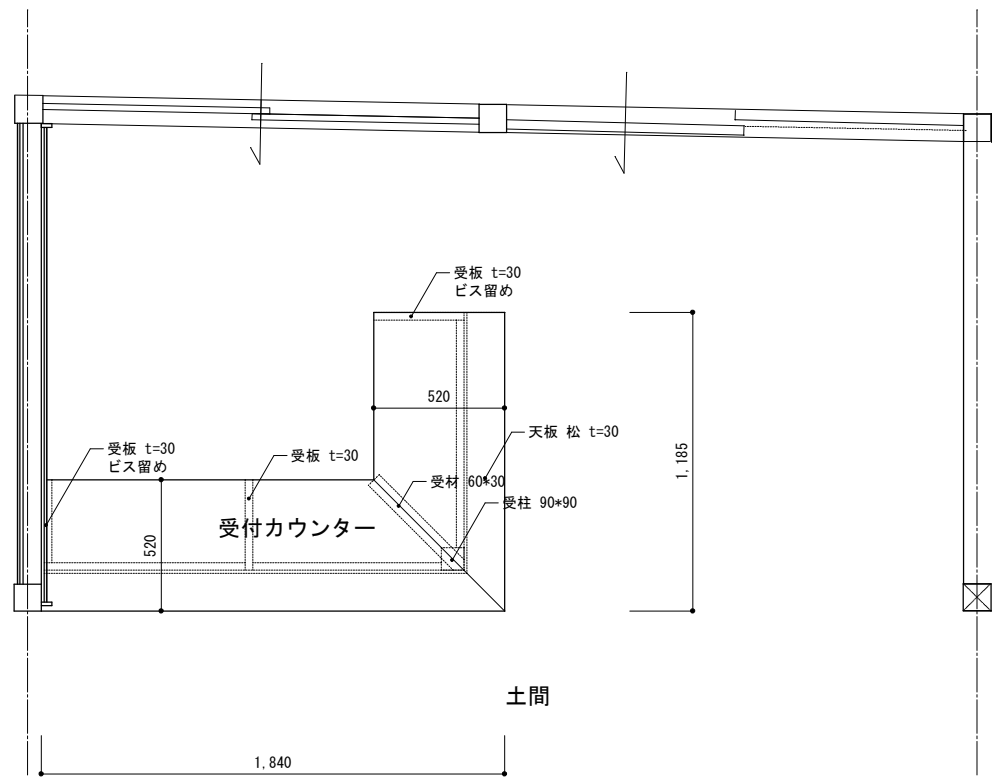


凡例

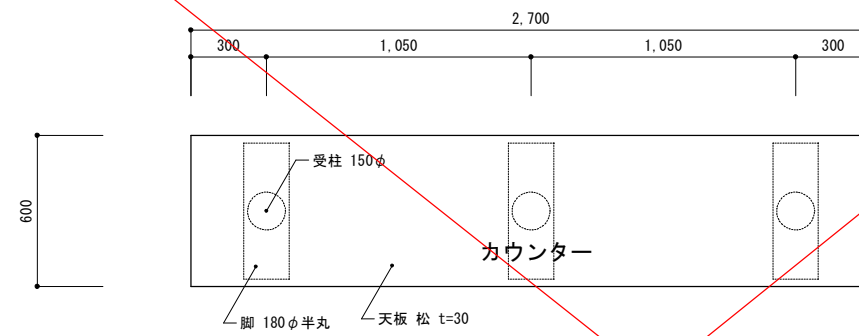


柱端接合金物を示す。告示記号(ろ)を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 構造補強二階平面図	縮尺 1/70	図面NO R-41
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

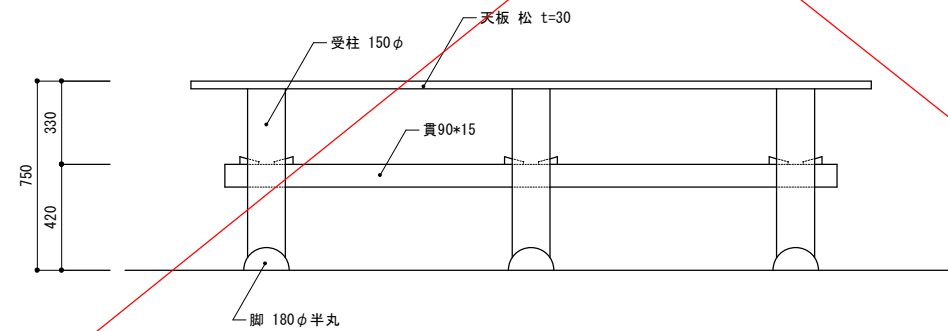


受付カウンター平面図



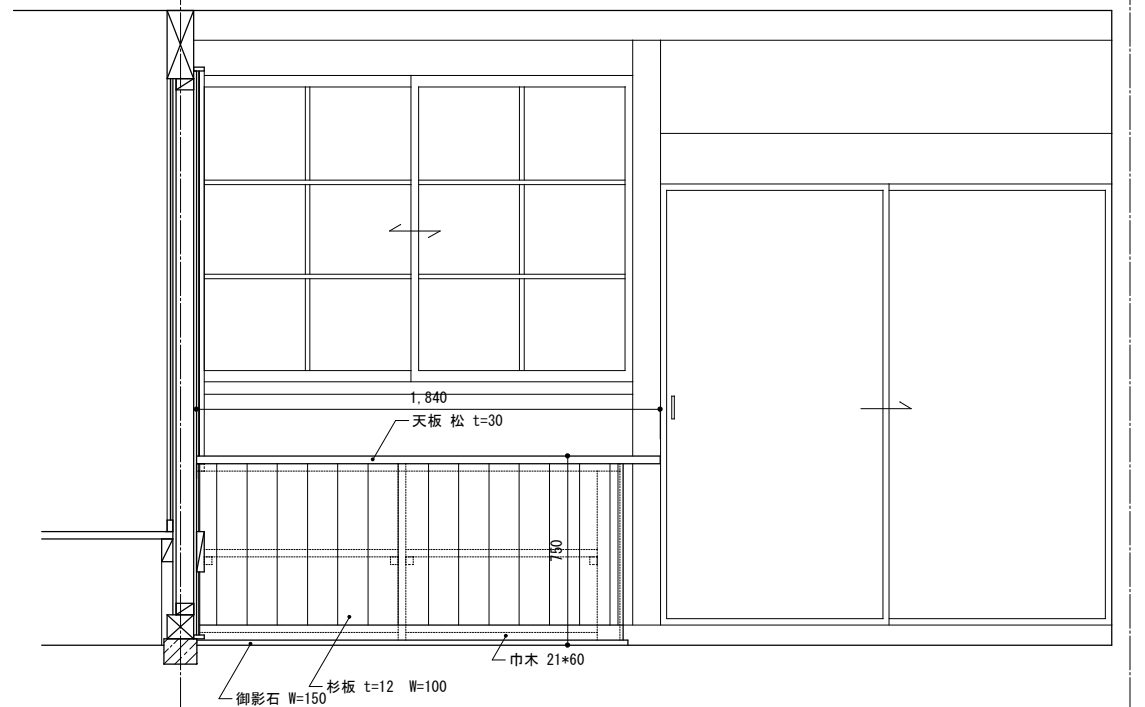
展示カウンター平面図

※木部は全て木部保護塗料二回塗り

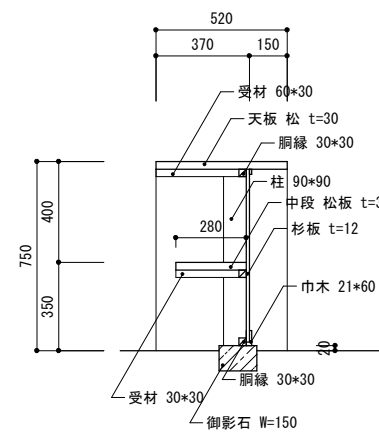


展示カウンター正面図

※木部は全て木部保護塗料二回塗り



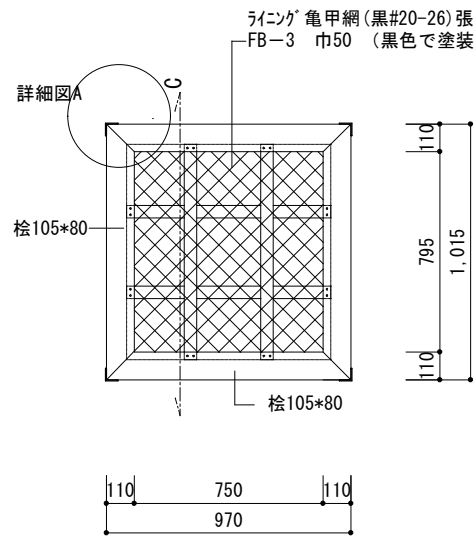
受付カウンター正面図



受付カウンター断面図

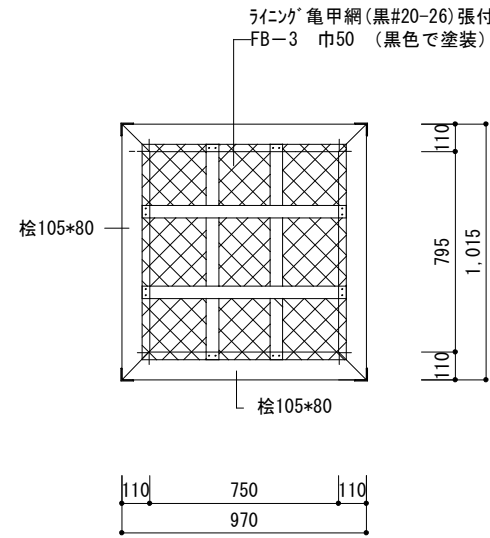
※木部は全て木部保護塗料二回塗り

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	カウンター部分詳細図	1/30	R-42



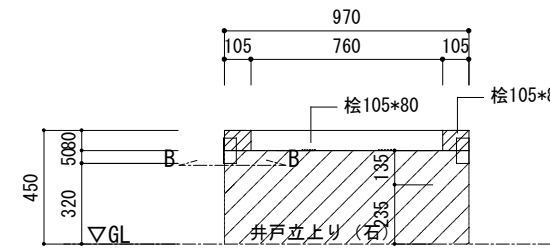
井戸蓋 平面図 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと



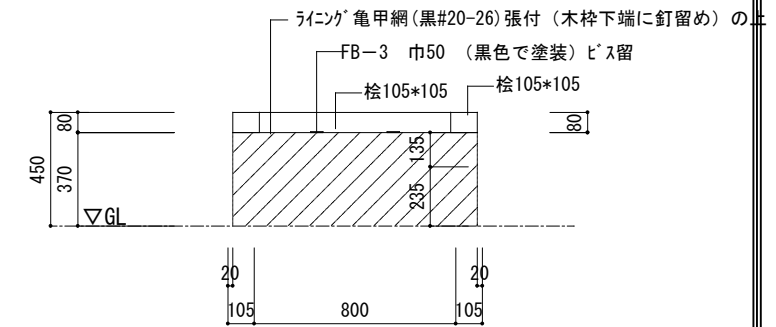
井戸蓋 裏面平面図 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと

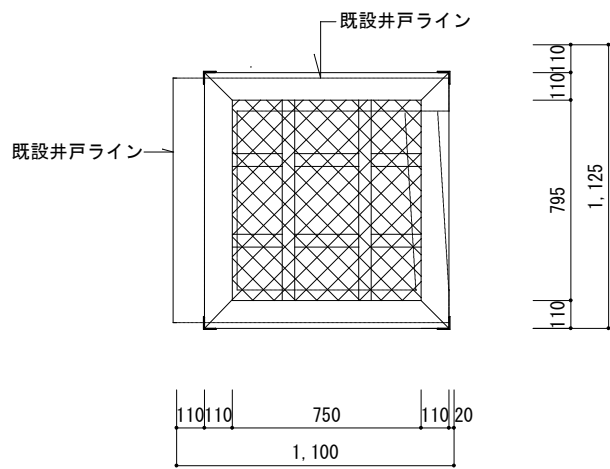


井戸蓋 正面図 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと

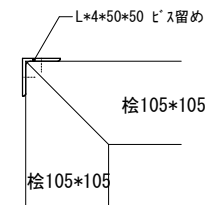


井戸蓋 C-C断面図 1/30

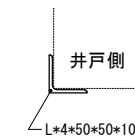


井戸蓋と井戸との取合い 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと



詳細図 A 1/10



断面図 B 1/10

※木部及び鉄部は塗装を行うこと。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修井戸蓋図	1/30	R-43

木質工事特記仕様書（1）

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。
は適用項目を示すものとする。
- (2) 設計図書
設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答を含む）をいう。
- (3) 標準仕様書
設計図書に記載なきものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通大臣官庁官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。
上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
- 指示書（現場説明書及び質疑回答書）
 - 設計図
 - 本仕様書
 - 標準仕様書
- (5) 疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。
- (9) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質

2.1 木質材料

- (1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材
本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。
- | 部 位 | 品 名 | 樹 種 | 区分、等級 | 含水率 | その他 |
|-----|-------|-----|-------------|-----|-----|
| 梁 | 構造用製材 | スギ | 甲 Ⅱ-2級かつE70 | D20 | |
| 柱 | 構造用製材 | スギ | 乙 Ⅱ-2級かつE70 | D20 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

- 記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 乾燥の際割れを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- 含水率は平均含水率として下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点があたらないよう加工する。
- 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

本項の内容は特記無きかぎり構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	曲げヤング係数区分	材 質	接 着	ホルムアルデヒド放 出 量
桁 梁	構造用集成材	べいまつ	水平せん断性能区分		環 境 I	F****
柱	構造用集成材	桧			環 境 I	F****
土台	構造用集成材	桧			環 境 I	F****

(3) 構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無きかぎり構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	強度等級	曲げ性能基準合板1級	板面品質	接 着	寸法 (mm)	ホルムアルデヒド放 出 量
耐力壁	構造用合板	1級	E50-F160	C-D	特類	9mm	F****
屋根	構造用合板	2級		C-D	特類	12mm	F****

・構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

2.2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。

標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ： 電気メッキ： 塗る。
(1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種 類	材 質	適 用 径	使用箇所 頭部/胴部の形状
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	・鉄 ・スズメ鋼	N19~N150	
<input type="checkbox"/> CN釘	・鉄	CN25~CN150	耐力壁、床板、屋根
<input type="checkbox"/> BN釘		BN25~BN125	
<input type="checkbox"/> ZN釘		ZN4.5~9.0	
<input checked="" type="checkbox"/> GN釘		GN25~GN125	石膏ボード用
<input type="checkbox"/> SN釘		3.05 mm	シーリングインシュレーション ファイバーボード
<input type="checkbox"/> 木ネジ	・軟鋼線材		
<input type="checkbox"/> 特殊ネジ	・スズメ鋼		
<input type="checkbox"/> コースレッド	・真鍮		

(2) ボルト、ナット

種 類	材 質	適 用 径	表面処理、部品等級など
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	・SS400	M3~M36	・電気メッキ
<input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト	・SS400	M3~M20	
<input type="checkbox"/> 全ネジ六角ボルト	・SS400	M3~M36	
<input type="checkbox"/> ステンレスボルト	・SUS304		
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	・SS400	M12~M24	・溶融亜鉛メッキ

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS B 1180」参照。

(3) 産金

適 用	材 質	適 用 径	形状・表面処理	その他
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・SPCC (JIS S 3101)	M8~M24		・角産金・丸産金
<input type="checkbox"/>	・SPHC (JIS S 3141)			・電気メッキ

・産金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する産金の大きさ	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ 4.5	4.5	6	9	9	13
	角産金の一辺 40	50	60	80	105	125
	丸産金の直径 45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ 3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角産金の一辺 25	30	35	50	60	70
	丸産金の直径 30	35	40	60	70	80

(4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種 類	材 質	適用径・長さ	表面処理、その他
<input type="checkbox"/> ドリフトピン	・SS400	φ9~φ19	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> コーチスクリューボルト (ラグスクリュー)	・SIRCH10R (JIS S 3507)	φ9~φ19	・電気メッキ
<input type="checkbox"/> スプリットリング	・SS400	φ64、φ102	
<input type="checkbox"/> シアプレート	・		・電気メッキ
<input type="checkbox"/> 木栓	・堅木	M12~M24	

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。

(5) 接合金物、鋼材

種 別	材 質	表面処理	適用、形状、その他
<input checked="" type="checkbox"/> Zマーク	・		
<input type="checkbox"/> Cマーク	・		
<input checked="" type="checkbox"/> 引寄せ金物	・		
<input checked="" type="checkbox"/> その他の金物	・		
<input type="checkbox"/> 鋼材	・SS400	・溶融亜鉛メッキ	・設計図中の特記による

(6) 接着剤（接着接合）

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の変換を受け入れ検査を実施し、監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

部 材	確認する仕様	確認者	材質等級	外観検査	寸法検査	含水率測定 (数値は%を示す)			ヤング係数測定		
						表示	全乾重量法	含水率計	表示	静的試験	動的試験
測 梁	スギ		社内	100	100	100		10本	100	10本	100
G1	監視	監督者		○	○	○			○		○
柱	ヒノキ	社内	100	100	100	検査後		10			
		監視	○	○	○	木口記入			○		
トラス材	ヒノキ	社内	100	100	100	検査後		10			
		監視	○	○	○	木口記入			○		
梁・桁	スギ	社内	100	100	100	検査後		10			
		監視	○	○	○	木口記入			○		

- ・監理者欄の○は立会い検査が必要であることを示す。
- ・材質・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は住木センター認定品を、曲げヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- ・全乾重量法や静的曲げ試験は1荷口につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。
- ・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に準ずる。
- 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

材 料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量 樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放数量	<input checked="" type="checkbox"/> 製造工場の認定書等の写し
構造用LVL	部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放数量	<input checked="" type="checkbox"/> 日本農林規格 (JAS) 表示の確認
構造用合板	寸法、数量 強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放数量	<input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放数量	

(3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
<input checked="" type="checkbox"/> くぎ	・材質、頭・頭径部、長さ、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し
<input type="checkbox"/> 木ネジ種	・材質、径、長さ、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> 表示の確認
<input checked="" type="checkbox"/> ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	<input type="checkbox"/> 木栓曲げ試験
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・材質、径、仕上げ	
<input type="checkbox"/> ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
<input checked="" type="checkbox"/> コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
<input type="checkbox"/> スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	
<input type="checkbox"/> シアプレート	・材質、径、形状、仕上げ	
<input type="checkbox"/> 木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

・設計図書に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

(4) 接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
<input checked="" type="checkbox"/> Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し
<input type="checkbox"/> Cマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> 表示の確認
<input checked="" type="checkbox"/> 引寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
<input checked="" type="checkbox"/> その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
<input type="checkbox"/> 鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その内容を監理者に申し出、承諾を得る。

4. 耐久性（防蟻・防蟻・耐候処理）

(1) 木材の防蟻・防蟻処理

- ・高耐久材の使用（注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材）
- ・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）
JAS保存処理材： K5 K4 K3 K2
AQ認証保存処理材： 1種 2種 3種
- ・現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）
○ 塗布 ○ 吹付 ○ 浸漬（処理量 300ml/m²、一処理回数2回）
日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台	<input type="checkbox"/> ひば	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input checked="" type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
水周り	<input checked="" type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ()	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
その他	<input checked="" type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K4 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> ()

(2) 土壌処理

- 防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
- 防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎）
防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎）
防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎）
防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎）
- 注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

(3) 耐候処理（塗装）

- 口塗膜型、口含浸型、部位（ ）

5. 木材の加工

- (1) 刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
- (2) 加工寸法の精度（下記の値を標準とする）
- ・構造用製材、枠組み壁工法構造用製材の断面寸法
 - 図面表示が抜き立て寸法の場合： ±1.5mm以下
 - 図面表示が仕上がり寸法の場合： +1.5mm、-0mm以下
 - ・構造用製材、枠組み壁工法構造用製材の材長
 - 軸組工法の組手仕口の場合： ±1.5mm以下
 - ボルト接合法の場合： ±5mm以下
 - ・集成材、構造用単板積層材
 - 短辺： ○ ±1.5mm
 - 長辺： ○ ±1.5%かつ±5mm以下
 - 材長： ○ ±5mm以下 ○ ()
 - ・ボルト穴径： d+1.5mm (d≦M12)、d+2.0mm (d≧M16) (dはボルト径)
 - ・ドリフトピンの穴径： d±0mm (dはボルト径)
- (3) 表面仕上げ
○製材： プレーナー ○化粧材： サンダー ○野物材： ○板材： ○
- (4) 面取り
○柱： () mm
○梁： () mm

6. 接合

- (1) 仕口、継手の原則
・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1. (3) 標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用慣例に従う。一般的な適用慣例については、9. 軸組接合法接合部標準仕様による。
- ・採用する方法は監理者の承諾を得る。
- ・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗を有する補強部材を併用する。
- (2) 釘接合
・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。
- ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
- ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。
- ・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。
- ・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。
- ・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。
- ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。
- (3) 木ネジ接合
・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- ・木ネジの先孔の径： 針葉樹・・・主材 $d_{1.0}$ 、側材 $d_{1.0}$ (dはボルト径)
広葉樹・・・主材 $d_{1.0}$ 、側材 $d_{1.0}$ (先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。)
- ・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではならない。
- ・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。
- (4) ボルト接合
・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、産金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。
- ・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
- ・ボルトの締め付けは、産金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。
- ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
- ・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (5) コーチスクリュー接合
・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する産金は同じ脚部径のボルトに準ずる。
- ・脚部の先孔の径は脚部と同径とし、長さも脚部と同寸とする。
- ・ネジ部の先孔の径： 比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の ~ % 60 70
その他の樹種・・・・・・ネジ径の ~ % 40 70 (長さはネジ部の長さと同寸とする。)
- ・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んでほならない。
- ・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。
- (6) ドリフトピン接合
・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形ともなう部材の開きを防止する。
- ・ドリフトピンは孔に密着させる。
- ・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

木質工事特記仕様書(2)

- (7) ジベル接合
- ・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をたせる。
 - ・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (8) 既成金物の接合
- ・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間に密着するように締め付ける。
- (9) 接着接合
- ・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
 - ・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。
- (10) その他の方法による接合
- ・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。

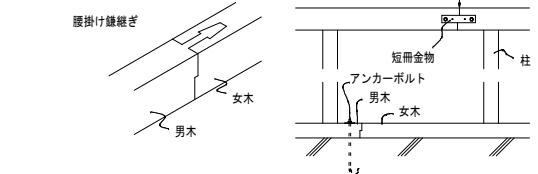
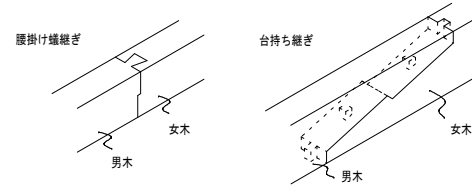
7. 運搬・建て方

- (1) 輸送計画
- 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
- 輸送計画書の提出 []
- (2) 集積・保管
- 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。 □ 集積場の確認 []
- (3) 建方計画
- 建方計画書の提出
- アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (4) 施工時の安全性
- 建方作業中および作業後、横架材上に諸材または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の措置を施す。
- 施工時の安全性に対する検討書の提出 □ 施工時荷重条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
- ・芯出しは、型板を用いて基準型に正しく合わせて適切な機器等で正確に行う。
 - ・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
 - ・アンカーボルトはダブルナットとする。 □ 適用除外 []
 - ・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
 - 通り芯からの誤差 : $\pm 3\text{mm}$ 以下 □ []
- (6) 建方精度
- ・建方の精度基準は下記による。
 - 建物の倒れ : □ $e \leq H/2500+10\text{mm}$ かつ $e \leq 50\text{mm}$ □ []
 - 梁の水平度 : □ $e \leq L/700+5\text{mm}$ かつ $e \leq 15\text{mm}$ □ [] (節点間のレベル差)
 - 建物のわん曲 : □ $e \leq L/2500\text{mm}$ かつ $e \leq 25\text{mm}$ □ []
 - 柱据え付け面の高さ及び位置
 - 柱据え付け面の基準高さからの誤差 : □ $\pm 3\text{mm}$ 以下 □ []
 - 通り芯からの誤差 : □ $\pm 3\text{mm}$ 以下 □ []
 - 階高 : □ $-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$ □ []
- ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
- (7) 施工状況の検査
- ・アンカーボルト施工時の立会い検査
 - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ アンカーボルト径、間隔
 - 施工者自主検査記録の提出 []
 - ・地組み時の立会い検査
 - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
 - 施工者自主検査記録の提出 []
 - ・建方時の立会い検査
 - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
 - 施工者自主検査記録の提出 []
 - ・建方後の施工状況の検査
 - 防蟻・防蟻処理 □ 材料の加工寸法検査 □ ファスナーの施工状況
 - 接合金物の施工状況 □ その他 []
 - 施工者自主検査記録の提出 []
 - ・最終確認
 - 工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
 - 施工者自主検査記録の提出 []

8. 軸組構法接合部の標準仕様

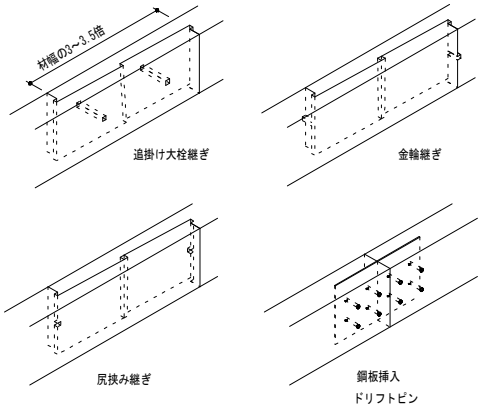
(1) 横架材同士の継手

1. 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け蟻継ぎ
 - ・せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
 - ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - ・逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
 - ・柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。



2. 曲げ応力や引張力を負担する継手

- ：追掛け大栓・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
- ・伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。

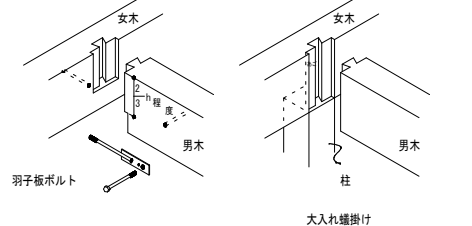


(2) 柱の継手

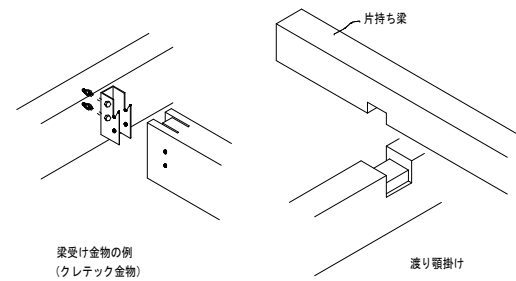
- ・伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
- ・やむを得ず柱の継ぎ手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。

(3) 横架材どうしの仕口

1. せん断力が母材全断面の3割以下の仕口：(大入れ) 蟻掛け
 - ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
 - ・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
 - ・男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。

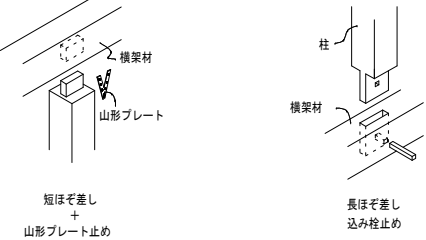


2. せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物
 - ・既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。
3. 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り腰掛け
 - ・逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



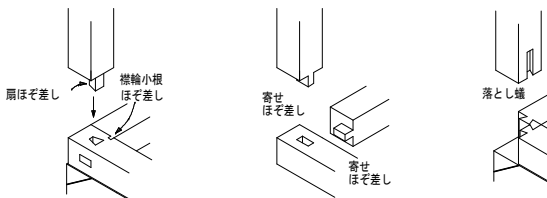
(4) 柱と横架材の仕口

1. 柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み止め
 - ・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。



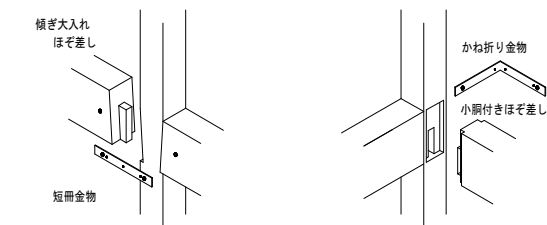
2. 土台の出隅隅部

- ：土台同士は横輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は順ほぞ差し又は寄せほぞ差し(但し、柱持ちの場合、落とし蟻又は土台を寄せほぞ差しとする。)
- ・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。



3. 通し柱と順差し：小頭付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物

- ・梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



(5) 筋かい端部

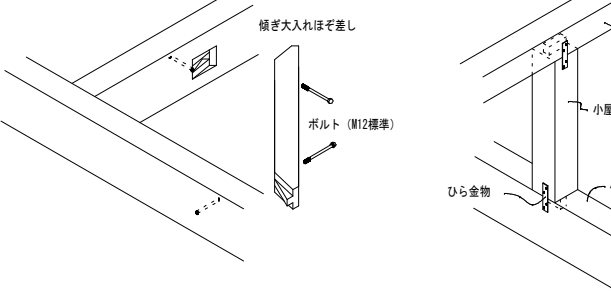
- ・平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。

(6) 火打ち・方杖

- ・角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
- ・Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。

(7) 小屋束の上下端部

- ・短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み止めとする。
- ・短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい2本又はひら金物又は山形プレート止めとする。

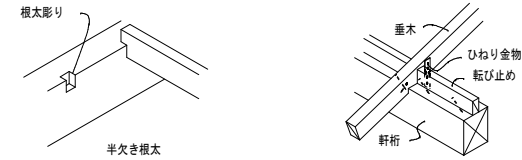


(8) 根太、踵木と横架材

- ・落とし込み根太：横架材に大入れ or 根太掛け+斜め釘
- ・半欠き根太：横架材に大入れ腰掛け+斜め釘
- ・転ばし根太：根太が直角断面の場合、横架材に転ばし止め

根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本+転ばし止め

- ・踵木：横架材に踵木道を廻り、転ばし根太と同様に止める。
- ・風の負力の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。



(9) 間柱と横架材

- ・上下横架材に深さ3mm程度大入れ+斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+斜め釘

(10) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

縦横方向	加力方向		図
	縦横方向	縦横直交方向	
E1	15d	10d	[Diagram]
P1	12d	10d	
E2	5d	8d	[Diagram]
P2	5d	8d	

(d: 釘径)

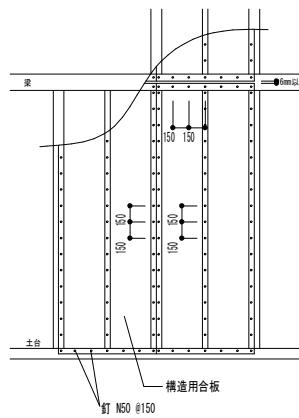
(11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

縦横方向	加力方向		図
	縦横方向	縦横直交方向	
E1	7d (荷重非負制御) 4d (荷重非負制御)	7d	[Diagram]
P1	7d	t/4-2 2SL/4/6 3d~5d t/4/6 5d	
E2	t/4/6 t/d/6 1.5d(t>2P/2)	1.5d	[Diagram]
P2	3d	4d	

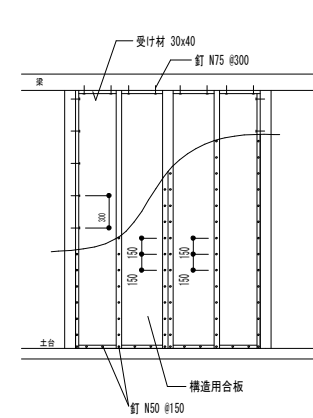
(d: ボルト径, t: 主材厚)

(12) 面材耐力壁

1. 大壁造の場合



2. 真壁造の場合



- ・受付材は柱や横架材にN75-#300以下で平打ちする。

仕様書

工事名称 関の山車会館管理・展示棟改修工事

I. 工事概要

1. 工事場所

2. 施設概要

Table with 5 columns: 建物名称, 構造及び階数, 敷地面積, 延床面積, 消火令の適用, 備考

3. 工事種目 (O印の付いたものが対象)

Table with 2 columns: 工事種別 (屋内), 工事種別 (屋外)

4. 指定部分

II. 特記仕様書

1. 特記仕様書の取り扱いについて

- 1) 項目番号にO印の付いたものを適用する。
2) 特記事項の印の適用は下記による。
O印の無い場合は、※印を適用する。
O印の有る場合は、・印を適用し、※印を適用しない。

2. 一般共通事項

Table with 2 columns: 項目, 設備概要

Table with 2 columns: 項目, 設備概要

一般共通事項

電灯設備

Table with 2 columns: 項目, 特記事項

Table with 2 columns: 項目, 特記事項

メーカーリスト (下記メーカー又は同等品以上とする。)



- ③ 火災報知設備警戒区域(伝承活動棟)
- ⑥ 火災報知設備警戒区域(伝承活動棟)

工事名
関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室
〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 ⅴ 0595-96-1218

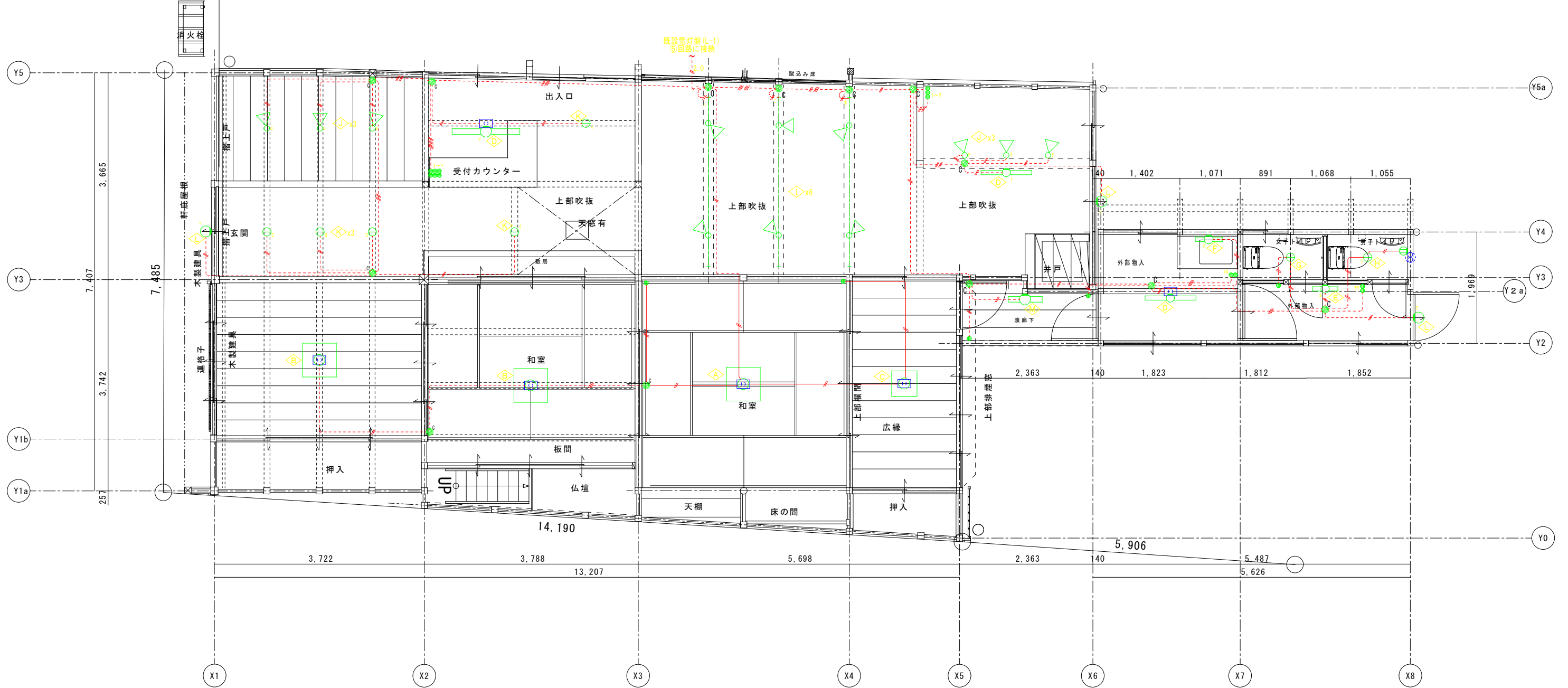
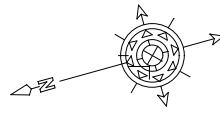
管理者	設計者	担当者
日付	日付	日付

図面名
配置図

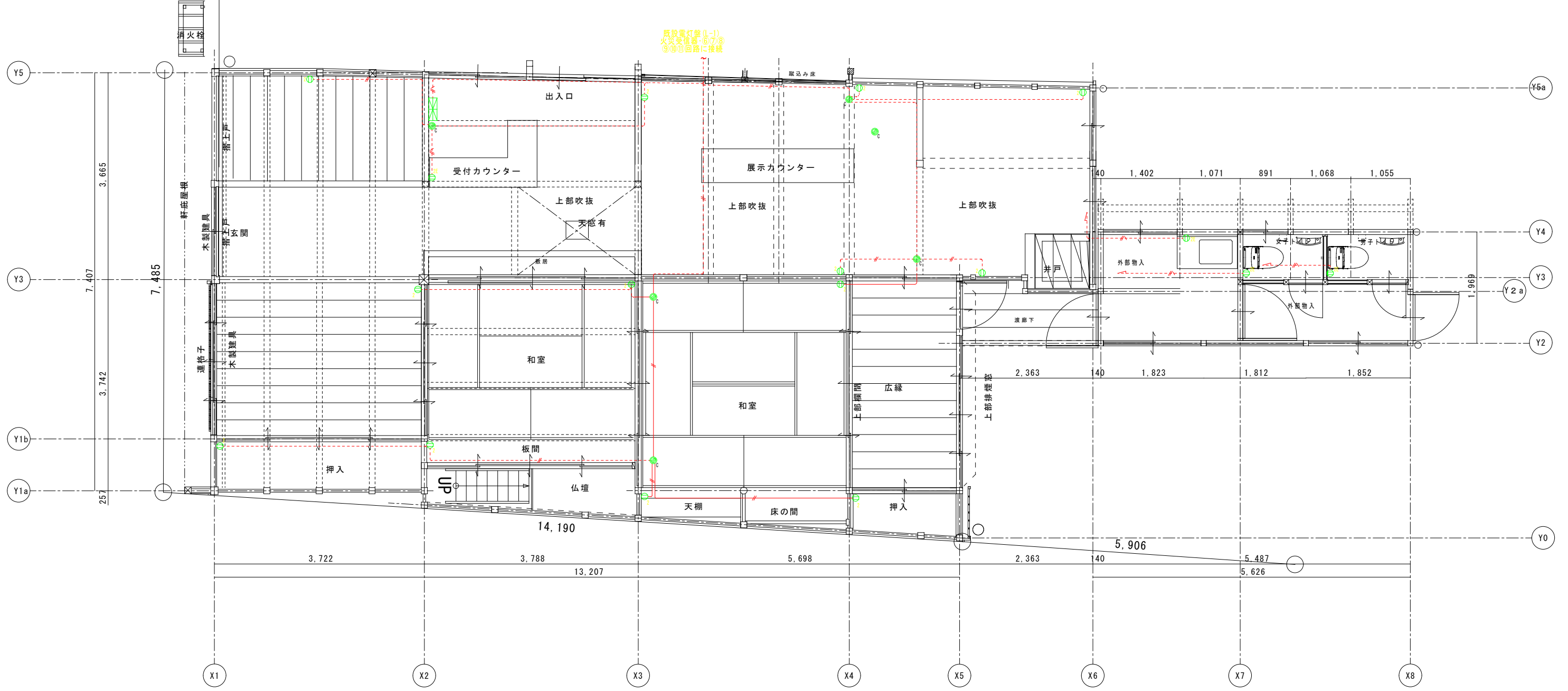
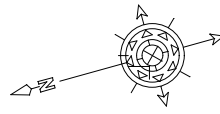
縮尺	図面NO
A2 1/100	E-02
A3 1/141	

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	開閉器				負荷容量(VA)			備考(回路名称)		
				種類	P	E	A	F	A	T		電灯	コンセント
(既設)電灯盤 L-1 屋内壁掛型 AC 1φ3W 200/100V		01	100	MCCB	2	2	50	20			145.0	火災報知受信機用	
		02	100	MCCB	2	2	50	20					予備
			100/200	ELCB	3	3	60	40	1,305.6	8,400.0	145.0		主幹
		①	100	MCCB	2	1	30	20	242.2				伝承棟照明
		②	100	MCCB	2	1	30	20		1,000.0			前室・和室6帖押入・8帖コンセント
		③	100	MCCB	2	1	30	20		800.0			玄関・内玄関・和室6帖・4.5帖
		④	100	MCCB	2	1	30	20		600.0			和室4.5帖・屋外コンセント
		⑤	100	MCCB	2	1	30	20		557.8			管理棟照明
		⑥	100	MCCB	2	1	30	20		900.0			かみ切り・入口板間コンセント
		⑦	100	MCCB	2	1	30	20		1,200.0			和室・広縁コンセント
		⑧	100	MCCB	2	1	30	20		1,000.0			展示場コンセント
		⑨	100	MCCB	2	1	30	20		300.0			ミニキッチンコンセント
		⑩	100	MCCB	2	1	30	20		300.0			女子トイレコンセント
		⑪	100	MCCB	2	1	30	20		300.0			男子トイレコンセント
⑫	100	MCCB	2	1	30	20					予備		
⑬	100	MCCB	2	1	30	20					予備		
⑭	100	MCCB	2	1	30	30	505.6	1,000.0			展示棟(土蔵)電源送り		

A	B	C	D
LEDシーリングライト	LEDシーリングライト	LEDシーリングライト 20形丸形スリム蛍光灯1灯器具相当	LED水平管蛍光灯 40形直管蛍光灯1灯器具相当
星白色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束4700lm、消費電力57W、電圧100V 天井取付型、回転取付方式、カチットF 等温天井取付アダプタ対応 アクリル強化樹脂張り、木製(白木) リモコンで(100%~5%)調光	星白色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束3900lm、消費電力46W、電圧100V 天井取付型、回転取付方式、カチットF 等温天井取付アダプタ対応 アクリル強化樹脂張り 木製(白木) リモコンで(100%~5%)調光	星白色(5000K)、高演色Ra95 器具光束1445lm、消費電力22W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) 全方向照、点灯保持時間調整機能付 調光お知らせ機能付	電球色(2700K)、高演色Ra95 器具光束1404lm、消費電力23W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付 コード3m付、ローリングキャップ付 L1200タイプ
パナソニック LGBZ3779	パナソニック LGBZ2779	パナソニック LGB53000LE1	パナソニック SF061B
LED水平管蛍光灯 20形直管蛍光灯1灯器具相当	LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当	LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当
電球色(2700K)、高演色Ra95 器具光束740lm、消費電力12.9W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) スイッチ付、調光化対応タイプ L600タイプ	星白色(5000K)、Ra83 器具光束1100lm、消費電力12W、電圧100V 取付タイプ、天井取付型、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(乳白) スイッチ付、調光化対応タイプ W=580 H=65 出しろ64	星白色(3500K)、Ra83 器具光束437lm、消費電力7.6W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) 全方向照、点灯保持時間調整機能付 調光お知らせ機能付	星白色(3500K)、Ra83 器具光束437lm、消費電力7.6W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) 全方向照、点灯保持時間調整機能付 調光お知らせ機能付
パナソニック SF055B	パナソニック LGB85030LE1	パナソニック LGBC58064LE1	パナソニック LGBC58084LE1
LEDスポットライト 250形 HID70形器具相当	LEDスポットライト 100形電球1灯器具相当	LED小型シーリングライト 40形電球1灯器具相当	LEDポーチライト 40形電球1灯器具相当
LED<ワンコア(ひと軸)電球タイプ> 器具光束2040lm、消費電力23W、電圧100V 3500K、Ra85、ビーム角60度 灯体:アルミダイカスト(ブラック/中消し仕上) 100V配線ダクト用 灯体回転角90°・長さ127 音響遮蔽率90%	電球色(2700K)、Ra83 器具光束570lm、消費電力9.7W、電圧100V 取付タイプ、天井取付型、照明センサー付、天井取付型 セット:アルミダイカスト(ブラック) 可動範囲上下90度、回転方向360度	電球色(2700K)、Ra84 器具光束559lm、消費電力4.9W、電圧100V 天井取付型、シーリングユニオ方式 アクリル強化樹脂張り、木製(ダークブラウン仕上) 木製(ダークブラウン仕上)	電球色(2700K)、Ra80 器具光束525lm、消費電力3.4W、電圧100V アクリル強化樹脂張り、音響遮蔽 木製(白) カバー:アクリル(乳白)
パナソニック NTS02092BLE1	パナソニック LGB84555LE1	パナソニック LGB58067Z	パナソニック LGW85082K
LEDポーチライト 40形電球1灯器具相当			
電球色(2700K)、Ra80 器具光束264lm、消費電力5.8W、電圧100V 防塵型、ツマミネジ方式 木製:木製(ホワイト/ブラック) カバー:アクリル(乳白)			
パナソニック LGW85011Z			

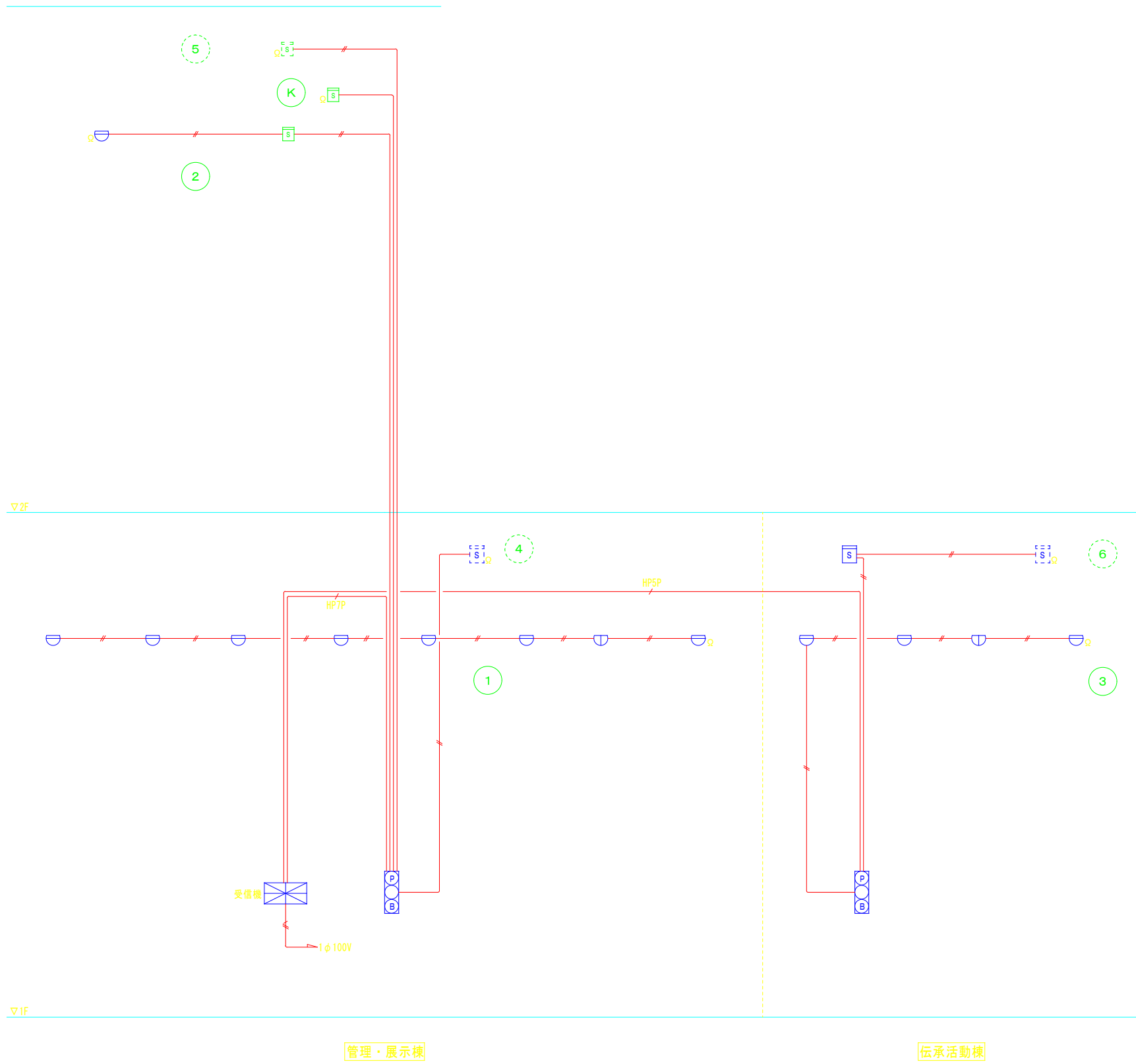


- ※ 特記事項
- 1) 凡例
- 1個露出タンブラスイッチ 1P10A
 - 2個露出タンブラスイッチ 1P10Ax2
 - 3個露出タンブラスイッチ 1P10Ax3
 - 3個x2露出タンブラスイッチ 1P10Ax3
 - VVFジョイントBox (参考:WJ3201B)
 - 引掛シーリング
- 2) 配線
- ・VVF配線は被覆の色は茶色とする。
 - VVF1.6-3C 1C-E
 - 2.0 — VVF2.0-2C
 - VVF1.6-2C
 - VVF1.6-3C
 - VVF1.6-2Cx2
 - VVF1.6-2G+1.6-3C
 - VVF1.6-3Cx2
 - 露出配線
 - 天井・壁隠蔽配線(天井配線はころがしとする)



- ※ 特記事項
- 凡例
 - 埋込コンセント2P15Ax2(接地極付)
 - 露出コンセント2P15Ax2(接地極付)
 - 露出コンセント2P15Ax2
 - VVFジョイントBox(参考:WJ3201B)
 - 配線
 - VVF配線は被覆の色は茶色とする。
 - コンセント回路はすべて2.0mm配線とする。
 - VVF2.0-3C 1C:E
 - VVF2.0-2C
 - 露出配線
 - 天井・壁隠蔽配線(天井配線はころがしとする)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 1階 改修後平面図 コンセント設備図	縮尺 A2 1/50 A3 1/70	図面NO E-05
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 電 0595-96-1218								



記号	名称	備考
⊗	受信機	P型1級8窓
⊗⊗	総合盤	P型1級(露出型)
○	P型発信機	1級
○	表示灯	AC24V、LED
⊗	火災警報ベル	DC24V、10mA
Ω	終端抵抗	10kΩ
⊖	光電式スポット型感知器	2種、非蓄積型
⊖	差動式スポット型感知器	2種
⊖ _W	差動式スポット型感知器	2種 防水型
⊖	定温式スポット型感知器	1種、75℃
⊗	冷蔵庫・冷凍庫制御盤	
Ⓝ	警戒区域番号	
---	警戒区域線	
—	配管配線	いんべい
□	ジャンクション・ボックス	
⊗	ブル・ボックス	

注記

- 特記なき配管配線は下記による。
(二重天井内はケーブルところがし配線とする。)
(壁内配線は配管保護のこと。)

—//—	AE0. 9-2C (PF16)	AE: 警報用ケーブル
—##—	AE0. 9-2C x 2 (PF16)	
—###—	AE0. 9-2C x 3 (PF16)	
—HSP—	HP1. 2-2C (PF22)	HP: 耐熱ケーブル
—H7P—	HP1. 2-5P (PF22)	

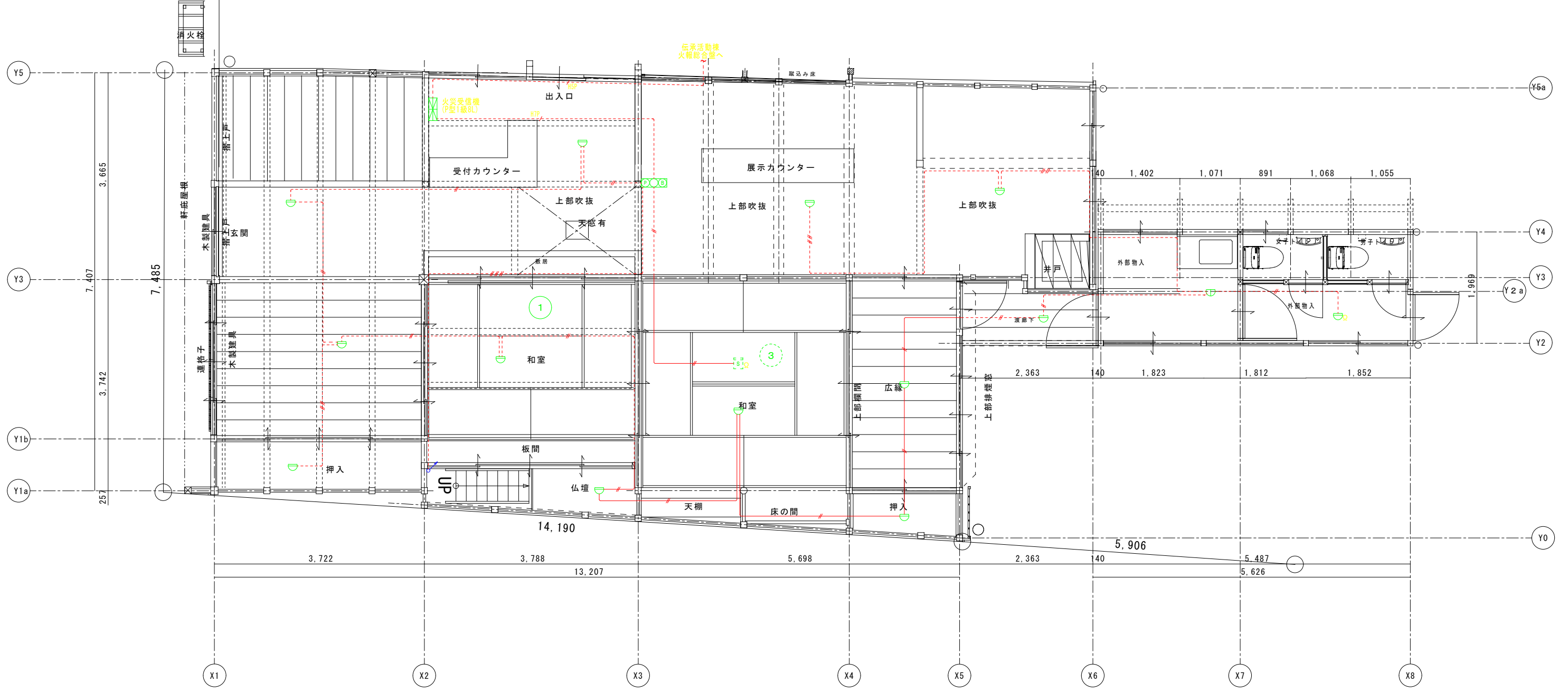
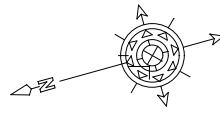
2. 受信機仕様

- P型1級、壁掛型、窓式、主音響(音声警報)内蔵、蓄積式
予備電源内蔵、自動断線警報機能付
- 表示内訳
・火災表示 7L

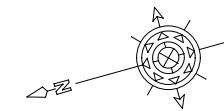
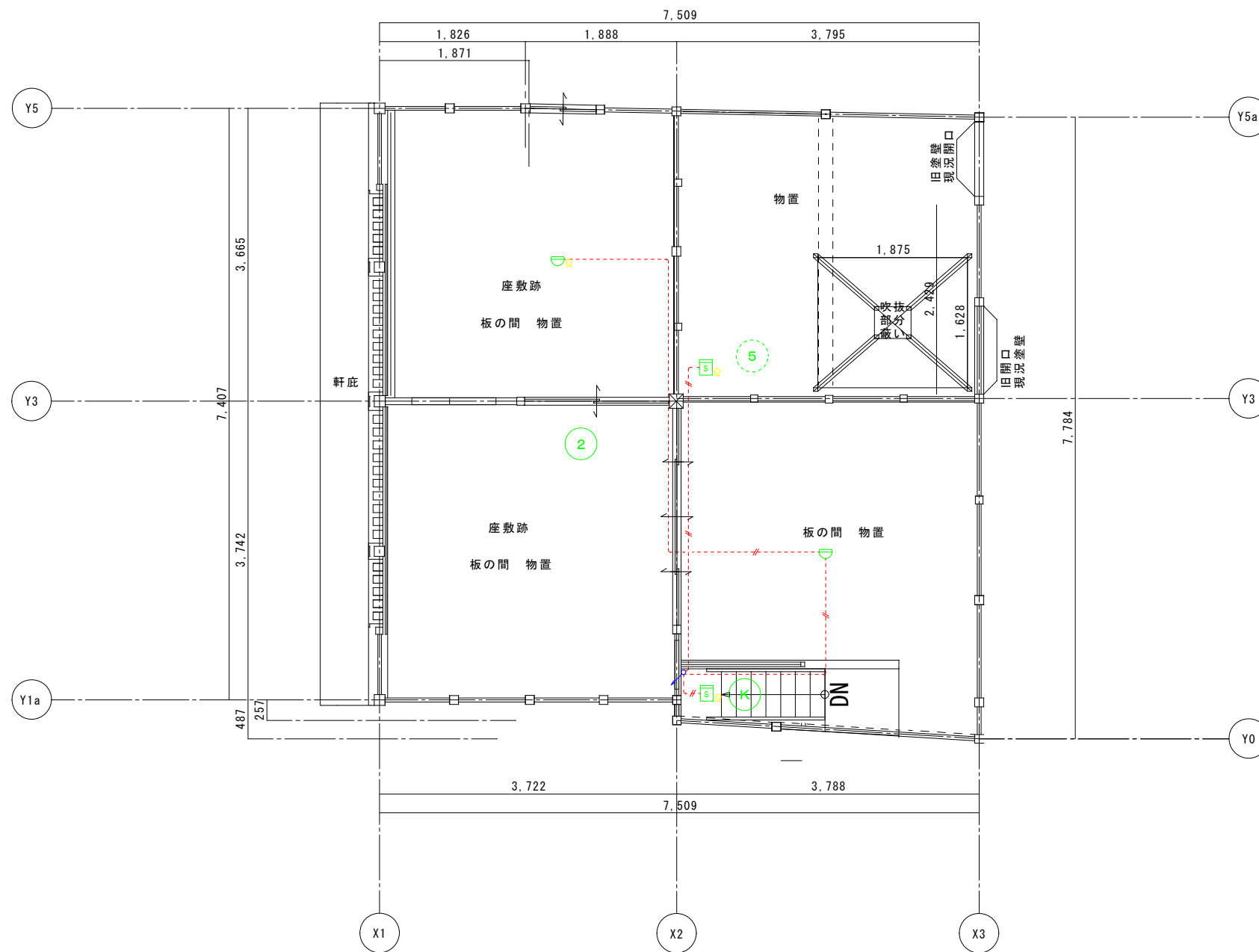
3. 感知器はすべて確認灯付とする。

4. 区画貫通処理

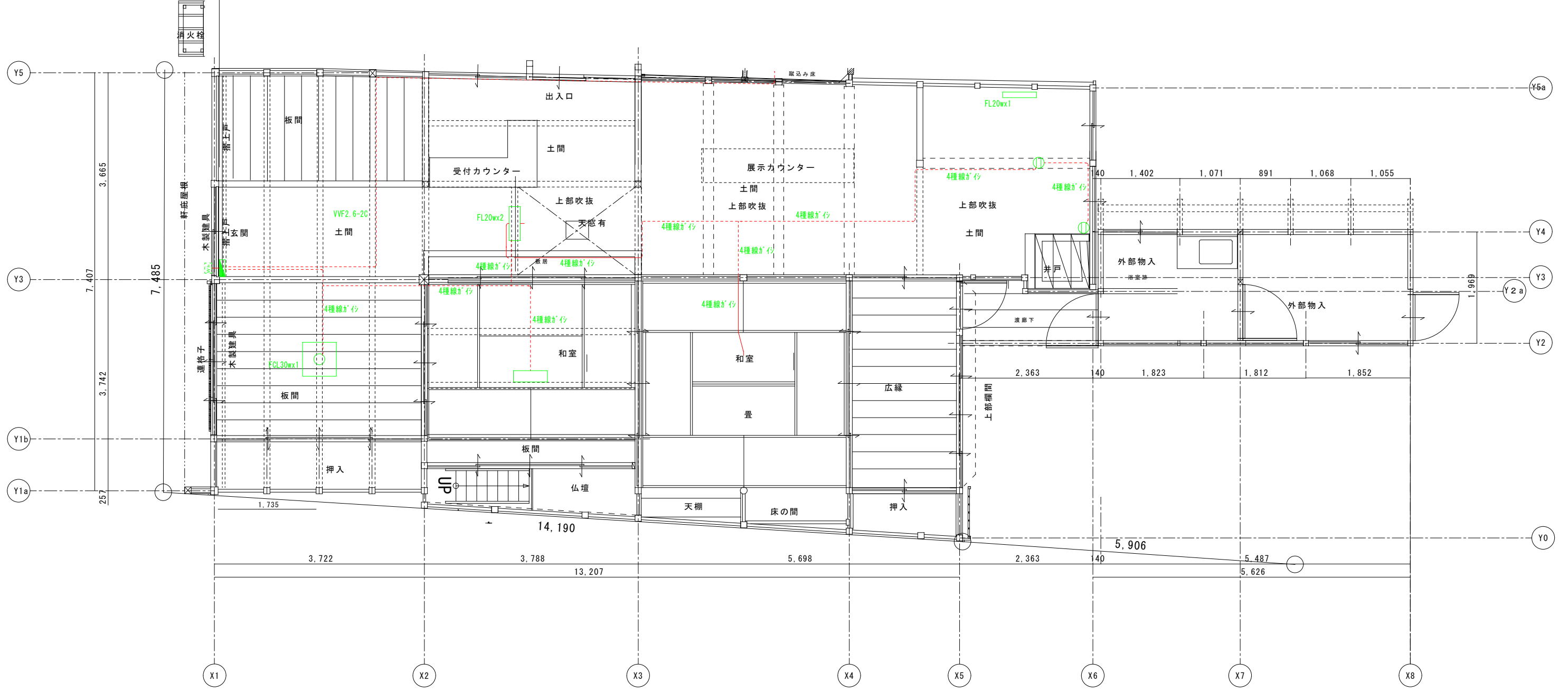
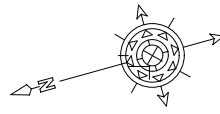
防火区画、令114条区画貫通箇所は電線管1m突き出し配管に依る施工
又は、国土交通大臣認定の材料、工法に依り施工のこと。



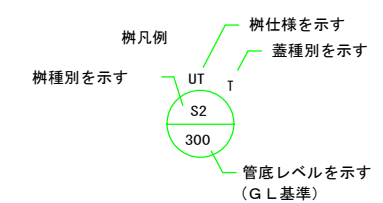
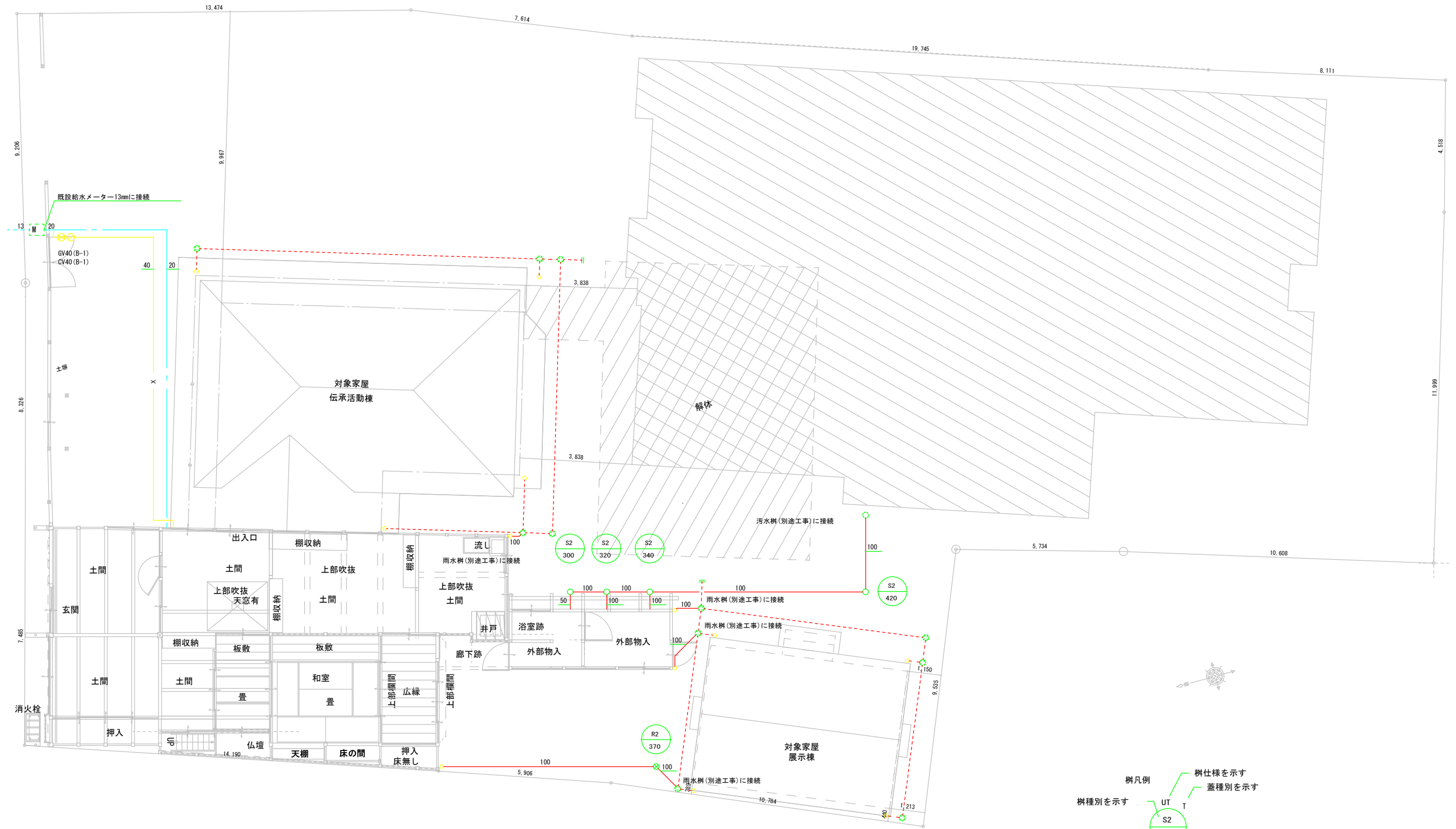
- ※ 特記事項
- 凡例
 - △ 差動式スポット型感知器
 - ▽ 定温式スポット型感知器
 - 光電式スポット型煙感知器
 - 総合盤
 - 配線
 - EM-AE1.2-2C
 - EM-AE1.2-2Cx2
 - EM-AE1.2-2Cx3
 - EM-HP1.2-5P
 - EM-HP1.2-7P
 - 露出配線
 - 天井・壁隠蔽配線(天井配線はこがしとする)



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 2階 改修後平面図 火災報知設備	縮尺 A2 1/50 A3 1/70	図面NO E-08
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 Ⅸ 0595-96-1218								



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 Ⅱ 0595-96-1218			日付	日付	日付	1階 改修前平面図 撤去図	A2 1/50 A3 1/70	E-09






注記) 排水勾配 屋外 1/100 屋内 1/50を基準とする。
 計画地は寒冷地ではないため、凍結防止対策は行なわない。
 ウォーターハンマー防止の為、配管類は堅固に支持、固定すること。
 排水トラップ封水高 50mm以上 100mm以下とする。
 樹レベルは参考とする。
 埋設標示設置のこと。
 上水、下水関係は市町村施工基準に準じること。

凡例	
	今回改修箇所を示す
	既設又は別途工事を示す

注記) 外部の仕上撤去復旧は建築工事とする

図示記号

記号	名称
	給水管
	排水管
	消火管

樹仕様



種別	記号	樹寸法	蓋	備考
小口径汚水樹	S-2	200φ	下記による	記号 ○
小口径雨水樹	R-2	200φ	下記による	記号 ⊗
小口径樹 特記なきは塩ビ蓋、Tと表示はT-14（鋳鉄蓋）、格子と表示は格子蓋とする。				

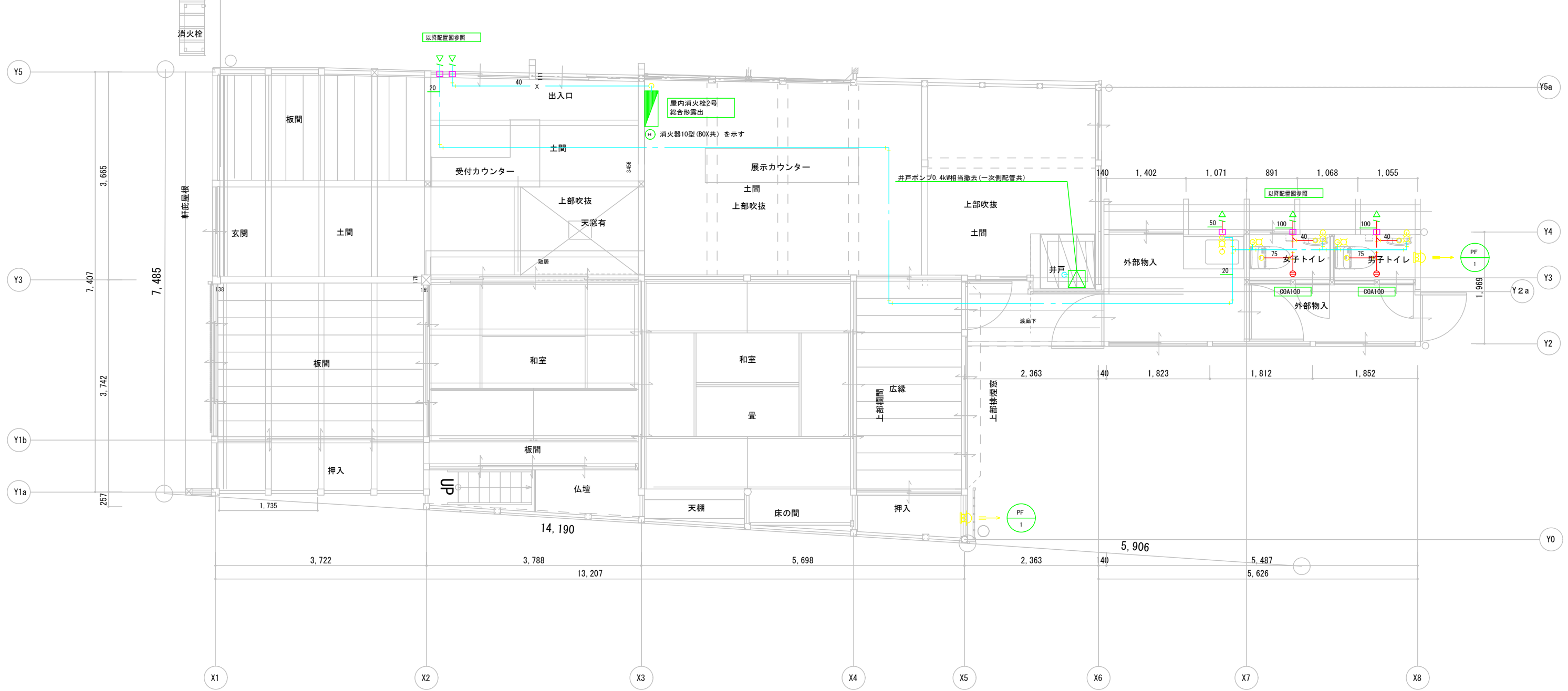
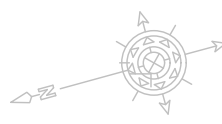
換気機器表

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所及び備考
			電源	送風機		
			(φ-V)	(W)		
PF-1	パイプ用ファン	形式 角形格子グリル φ100	1-100	4.6	1	男子トイレ
	V-08PSD7	風量 70 m3/h 5 Pa				
		付属品 SUS深形フード、他一式共				
注記	消費電力は参考とする					

衛生器具表

名称	品番	附属品	男子トイレ	女子トイレ	通し	合計
洋風便器	CES9423	(ウオシュレット一体形)	1	1		2
欄干二連紙巻器	YH701		1	1		2
手洗器	LSL870AP	ハンドル式単水栓	1	1		2
化粧鏡	YM3545A	350*450	1	1		2
シングルフック	YKH21R		1	1		2
キッチン	建築工事				1	1
自在水栓	T130AUN13C				1	1

凡例
  コア抜き箇所を示す
 注記) 壁・床・天井等の撤去復旧は建築工事とする



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	龜山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県龜山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218			日付	日付	日付	1階 改修平面図 給排水・換気設備	A2 1/50 A3 1/70	M-04